



OrderPatent

②

119



JAPANESE PATENT OFFICE

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 11025164 A  
(43) Date of publication of application: 29.01.1999

{51} Int. Cl. G06F 17/60

(21) Application number: 091956423

(22) Date of filing: 08.07.1997

**(54) METHOD AND DEVICE FOR PROCESSING PURCHASE OF NEW VEHICLE AND TRADE-IN ASSESSMENT AND METHOD AND DEVICE FOR PROCESSING MARKET REGISTRATION OF USED CAR**

### (57) Abstract

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To assist a seller without sufficient knowledge to reasonably identify a vehicle in accordance with user's requests, to simply and smoothly retrieve an optimum vehicle required by the user from a wide market beyond the stock of a company itself, and to simply and properly execute the trade-in assessment of a current vehicle even when a seller has no experience for trade-in assessment.

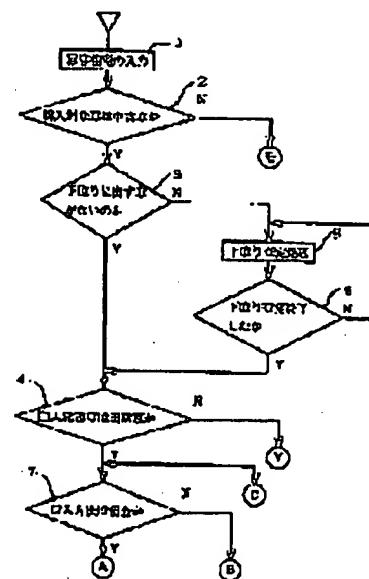
**SOLUTION:** When a trade-in vehicle exists, trade-in assessment for the trade-in vehicle is executed (S3, S5, S6), a purchasing method and a budget are specified (S7), whether the trade-in vehicle is a domestic car or a foreign-made car is specified (S4), and a maker, ideal conditions of a vehicle to be purchased and a vehicle type are specified. Then used cars corresponding to the specification of the vehicle type and the selected vehicle type, grade and ideal conditions are extracted from previously stored retail common stock of regis-

(71) Applicant: INO BYOICHI

(72) Inventor: INO BYOICHI

tered vehicles, a used car matched with the budget is specified and a payment method is arithmetically processed.

COPYRIGHT: (C)1999.JPO



Best Available Copy

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-25164

(43)公開日 平成11年(1999)1月29日

(51)Int.Cl.<sup>6</sup>

G 06 F 17/60

識別記号

F I

G 06 F 15/21

D

審査請求 未請求 請求項の数23 FD (全131頁)

(21)出願番号 特願平9-196423

(22)出願日 平成9年(1997)7月8日

(71)出願人 393031243

伊野 良一

東京都杉並区方南2丁目4番7号

(72)発明者 伊野 良一

東京都杉並区成田東1丁目25番8号

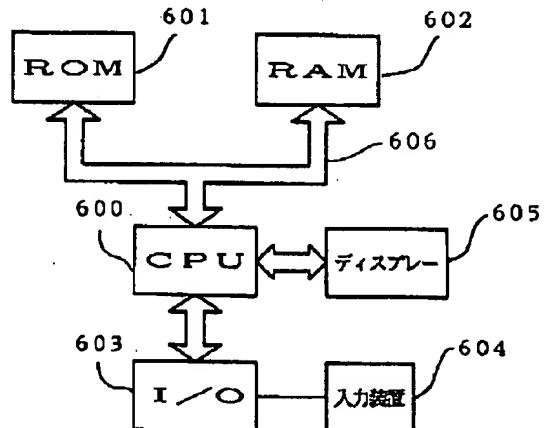
(74)代理人 弁理士 大塚 明博 (外1名)

(54)【発明の名称】 車の新規購入と下取査定の処理方法、及び車の新規購入と下取査定の処理装置、並びに中古車の販路登録の処理方法及び装置

(57)【要約】

【課題】 販売員に十分な知識がなくてもユーザーの希望に沿って車の特定を無理なく誘導し、ユーザーの希望する最適の車を自社在庫を越えた広い市場から簡単にかつスムーズに検索すると共に、応対する販売員に下取査定の経験がない場合であっても、現車の下取査定を簡単にかつ適性に行えるようにする。

【解決手段】 下取車がある場合 下取車の下取査定を行い、購入方法及び予算、国産車か外国車かの特定、メーカーの特定、購入希望車の理想条件を特定し、車種タイプの特定、選定した車種・グレード及び理想条件に該当する中古車を予め記憶されている小売共通在庫登録車の中から抽出し、予算に合った中古車を特定し、支払い方法を演算処理するようにする。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 車の購入に当り、下取車がある場合下取車の下取査定を行い、購入方法及び予算を特定し、購入希望車が国産車か外国車かの特定をし、メーカー希望が有る場合には予め記憶されているメーカーの中から希望するメーカー名を、希望するメーカーが無い場合には予め記憶されているメーカーの中から任意のメーカーを特定し、購入希望車の理想条件としての車全体の外的イメージを特定すると共に車の大きさを特定し、ボディカラー、乗車定員、ミッション、駆動輪、燃料形態、ナンバープレート、排気量、年式のそれぞれを予め記憶されている理想条件の中から特定し、希望するメーカーの車種タイプを特定すると共に特定した車種タイプのグレードを予め記憶されているグレードの中から特定し、前記選定した車種・グレード及び理想条件に該当する中古車を予め記憶されている小売共通在庫登録車の中から抽出して一覧表示し、前記予算に合った中古車を前記一覧表示した小売共通在庫登録車の中から特定し、支払い方法を演算処理するようにした車の新規購入と下取査定の処理方法。

【請求項2】 購入希望車のメーカー・車種タイプが決まっている車の購入に当り、下取車がある場合下取車の下取査定を行い、購入方法及び予算を特定し、購入希望車が国産車か外国車かの特定をし、購入希望車の理想条件としてのボディカラー、乗車定員、ミッション、駆動輪、燃料形態、ナンバープレート、排気量、年式のそれぞれを予め記憶されている理想条件の中から特定し、希望するメーカーの車種タイプを特定すると共に特定した車種タイプのグレードを予め記憶されているグレードの中から特定し、前記選定した車種・グレード及び理想条件に該当する中古車を予め記憶されている小売共通在庫登録車の中から抽出して一覧表示し、前記予算に合った中古車を前記一覧表示した小売共通在庫登録車の中から特定し、支払い方法を演算処理するようにした車の新規購入と下取査定の処理方法。

【請求項3】 車の購入に当り、下取車がある場合下取車の下取査定を行い、購入方法及び予算を特定し、購入希望車が国産車か外国車かの特定をすると共にメーカーと車種タイプを特定し、希望するメーカーの車種タイプについて予め記憶されている小売共通在庫登録車群の中から、年式別、グレード別、ボディカラー別、走行距離別、価格帯別のいずれか複数の条件又はすべての条件を任意に順次選定し、該順次選定する条件毎に、選定した条件に基づいて一覧表示される予め記憶されている小売共通在庫登録車群の中から希望する条件の小売共通在庫登録車群を選定して、所定の条件に合った中古車を前記一覧表示した小売共通在庫登録車の中から特定し、支払い方法を演算処理するようにした車の新規購入と下取査定の処理方法。

【請求項4】 車の購入に当り、下取車がある場合下取

車の下取査定を行い、購入方法及び予算を特定し、購入希望車が国産車か外国車かの特定をし、展示されている中古車を特定し、支払い方法を演算処理するようにした車の新規購入と下取査定の処理方法。

【請求項5】 上記下取車の下取査定は、下取査定対象車の初年度登録年月日及び車検満了年月日を特定し、当該下取査定対象車の製造メーカーと排気量を特定して、前記下取査定対象車の車種タイプとミッションとを特定すると共に、メーターの状況及び当該下取査定対象車の走行距離を特定することによって下取査定対象車の特定を行い、前記初年度登録年月日から予め記憶されている該初年度登録年月日当時販売されていた当該査定対象車と同一モデルの車種の1又は2以上の発売期間の中から当該査定対象車の発売期間を選定し、前記発売期間のモデル車種について予め記憶されたグレードの中から当該査定対象車のグレード、エンジン型式、駆動装置、ドア数、過給器、乗車定員を選定し、前記製造メーカーの前記発売期間における前記車種タイプ、前記グレードの車種として発売された予め記憶されているボディカラーから当該査定対象車のボディカラーを選定し、当該査定対象車の外装の現況による加減算額を求め、当該査定対象車の加修・補修歴の入力による加修・補修算額を求め、当該査定対象車の外装関係の現状入力による減算額を求め、当該査定対象車の内装の現況による加減算額を求め、当該査定対象車の電装品の現況による加減算額を求め、当該査定対象車の機関・足回りの現況による加減算額を求め、前記査定対象車の車種タイプ、グレード及びボディーカラーに基づいて選定された予め記憶されている年式によって査定された基本査定価格の中から当該査定対象車の年式の基本査定価格に、前記外装の現況による加減算額と、前記内装の現況による加減算額と、前記電装品の現況による加減算額と、前記機関・足回りの現況による加減算額と、前記査定対象車の走行距離と当該車種タイプの標準走行距離との多少に基づいて1km当たりの加減算額に基づく走行距離実績額を加算すると共に車検の期間が残存する場合に1月当たりの加算額に基づく車検残存期間加算額を加算して下取査定価格を決定するようにしたものである請求項1、2又は3に記載の車の新規購入と下取査定の処理方法。

【請求項6】 上記外装の現況は、修復歴の有無、改造の有無、全塗装の必要性の有無、全塗装歴の有無、現状事故車か否かである請求項1、2、3、4又は5に記載の車の新規購入と下取査定の処理方法。

【請求項7】 上記加修・補修歴の入力は、バンパー、

フェンダー、エプロン、トア、ミラー、電動ミラー、ス

テップ、ポンネット、ルーフ、トランクの蓋、トランク

の床、インナーパネル左、インナーパネル右、ラジエターセルのそれぞれについての加修・補修歴の有無、ルームクリーニングの有無、シート補修痕の有無、ドア内張りの補修痕の有無、天井の補修痕の有無、じゅうたんの補修痕の有無である請求項1, 2, 3, 4, 5又は6に記載の車の新規購入と下取査定の処理方法。

【請求項8】 上記外装関係の現状入力は、バンパー、フェンダー、エプロン、ドア、ミラー、電動ミラー、ステップ、ポンネット、ルーフ、トランクの蓋、トランクの床、インナーパネル左、インナーパネル右、ラジエターセルのそれぞれについての異常の有無、タイヤの使用可・不可、ガラスの交換の要・不要、ヘッドライトの交換の要・不要、テール・コンビランプの交換の要・不要である請求項1, 2, 3, 4, 5, 6又は7に記載の車の新規購入と下取査定の処理方法。

【請求項9】 上記内装の現況は、室内の状況の問題の有無、トランクルームの状況の問題の有無、タバコ・ペットの臭いの問題の有無、ダッシュボードの破損の問題の有無である請求項1, 2, 3, 4, 5, 6, 7又は8に記載の車の新規購入と下取査定の処理方法。

【請求項10】 上記電装品の現況は、エアコンの使用の可否、バッテリの使用の可否、時計の使用の可否、パワーウィンドウ左前の使用の可否、パワーウィンドウ左後の使用の可否、パワーウィンドウ右前の使用の可否、パワーウィンドウ右後の使用の可否、ワイパー関係の使用の可否、メーターパネルの使用の可否である請求項1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8又は9に記載の車の新規購入と下取査定の処理方法。

【請求項11】 上記機関・足回りの現況は、エンジンの通常の使用の可否、ミッションの通常の使用の可否、動力伝達装置の通常の使用の可否、ステアリングの通常の使用の可否、サスペンションの通常の使用の可否、ブレーキの通常の使用の可否、マフラーの通常の使用の可否、その他の機関・足回りの通常の使用の可否のいずれかである請求項1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9又は10に記載の車の新規購入と下取査定の処理方法。

【請求項12】 上記購入方法は、現金購入、ローン購入、リース購入のいずれかである請求項1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10又は11に記載の車の新規購入と下取査定の処理方法。

【請求項13】 上記予算は、中古車購入者の税込み年収から、現金購入の場合、下取車が無いときは税込み年収に基づいて予め決定されている最適現金支払予算額を、下取車があるときは下取査定額を前記最適現金支払予算額に加算した額を現金予算額と、ローン購入の場合、通常ローンにあっては、下取車が無いときは税込み年収に基づいて予め決定されている最適ローン総予算額に基づく最適ローン支払額を、下取車があるときは下取査定額を前記最適ローン総予算額に加算した額に基づく最適ローン支

払額をローン予算額とし、フリーローンにあっては、下取車が無いときは税込み年収に基づいて予め決定されている最適ローン総予算額に基づいて残価設定ローン支払額を、下取車があるときは下取査定額を前記最適ローン総予算額に加算した額に基づいて残価設定ローン支払額をローン予算額と、リース購入の場合、下取車が無いときは税込み年収に基づいて予め決定されている最適リース総予算額に基づく最適リース支払額を、下取車があるときは下取査定額を前記最適リース総予算額に加算した額に基づく最適リース支払額をリース予算額と、したものである請求項1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11又は12に記載の車の新規購入と下取査定の処理方法。

【請求項14】 上記下取査定において、当該下取車のオークション価格を下取査定額の表示と共に暗号化して表示するようにしたものである請求項1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 12又は13に記載の車の新規購入と下取査定の処理方法。

【請求項15】 中古車の購入に当り下取車がある場合、該下取車の下取りの査定を行う下取査定手段と、中古車購入の購入方法及び購入予算を演算する購入方法及び購入予算演算手段と、購入希望中古車が国産車か外国車を入力する製造国入力手段と、メーカー希望が有る場合に予め記憶されているメーカーの中から希望するメーカー一名、購入中古車の理想条件としての車全体の外的イメージを選定すると共に車の大きさを選定し、ボディカラー、乗車定員、ミッション、駆動輪、燃料形態、ナンバープレート、排気量、年式のそれぞれを予め記憶されている理想条件の中から選定する理想条件選定手段と、

希望するメーカーが無い場合に予め記憶されているメーカーの中から任意のメーカーを特定して入力するメーカー入力手段と、前記メーカー入力手段によって入力したメーカーの車種・グレードを予め記憶されている車種・グレードの中から選定する車種・グレード選定手段と、前記理想条件選定手段によって選定された諸条件と前記車種・グレード選定手段によって選定された車種・グレードに該当する中古車を予め記憶されている小売共通在庫登録車の中から抽出して一覧表示する該当中古車抽出手段と、前記購入方法及び購入予算演算手段において演算した予算に合った中古車を前記該当中古車抽出手段によって抽出された小売共通在庫登録車の中から特定する最適中古車特定手段と、前記最適中古車特定手段によって選定された中古車の支払い方法を演算処理する支払演算処理手段と、によって構成してなる車の新規購入と下取査定の処理装置。

【請求項16】 購入希望車のメーカー・車種タイプが決まっている中古車の購入に当り下取車がある場合に、該下取車の下取りの査定を行う下取査定手段と、中古車購入の購入方法及び購入予算を演算する購入方法及び購入予算演算手段と、購入希望中古車が国産車か外国車を

入力する製造国入力手段と、希望するメーカーの車種タイプを特定するメーカー・車種タイプ特定手段と、購入中古車の理想条件としてのボディカラー、乗車定員、ミッション、駆動輪、燃料形態、ナンバープレート、排気量、年式のそれぞれを予め記憶されている理想条件の中から選定する理想条件選定手段と、前記メーカー・車種タイプ特定手段によって特定したメーカー・車種タイプのグレードを予め記憶されているグレードの中から選定するグレード選定手段と、前記理想条件選定手段によって選定された諸条件と、前記メーカー・車種タイプ特定手段によって特定されたメーカー・車種タイプと、前記グレード選定手段によって選定されたグレードに該当する中古車を予め記憶されている小売共通在庫登録車の中から抽出して一覧表示する該当中古車抽出手段と、前記購入方法及び購入予算演算手段において演算した予算に合った中古車を前記該当中古車抽出手段によって抽出された小売共通在庫登録車の中から特定する最適中古車特定手段と、前記最適中古車特定手段によって選定された中古車の支払い方法を演算処理する支払演算処理手段と、によって構成してなる車の新規購入と下取査定の処理装置。

【請求項17】 中古車の購入に当り下取車がある場合、該下取車の下取りの査定を行う下取査定手段と、中古車購入の購入方法及び購入予算を演算する購入方法及び購入予算演算手段と、購入希望中古車が国産車か外国車を入力する製造国入力手段と、メーカー・車種タイプを特定するメーカー・車種タイプ特定手段と、特定した条件について予め記憶されている小売共通在庫登録車群の中から、年式別に抽出して一覧表示し、該一覧表示された小売共通在庫登録車群の中から希望する年式条件の小売共通在庫登録車群を特定する年式特定手段と、特定した条件について予め記憶されている小売共通在庫登録車群の中から、グレード別に抽出して一覧表示し、該一覧表示された小売共通在庫登録車群の中から希望するグレード条件の小売共通在庫登録車群を特定するグレード特定手段と、特定した条件について予め記憶されている小売共通在庫登録車群の中から、ボディカラー別に抽出して一覧表示し、該一覧表示された小売共通在庫登録車群の中から希望するボディカラー条件の小売共通在庫登録車群を特定するボディカラー特定手段と、特定した条件について予め記憶されている小売共通在庫登録車群の中から、走行距離帯別に抽出して一覧表示し、該一覧表示された小売共通在庫登録車群の中から希望する走行距離帯条件の小売共通在庫登録車群を特定する走行距離帯特定手段と、特定した条件について予め記憶されている小売共通在庫登録車群の中から、価格帯別に抽出して一覧表示し、該一覧表示された小売共通在庫登録車群の中から希望する価格帯条件の小売共通在庫登録車群を特定する価格帯特定手段と、前記各特定手段によって順次特定され選定した中古車の支払い方法を演算処理する支払

演算手段と、によって構成してなる車の新規購入と下取査定の処理装置。

【請求項18】 中古車の購入に当り下取車がある場合、該下取車の下取りの査定を行う下取査定手段と、中古車購入の購入方法及び購入予算を演算する購入方法及び購入予算演算手段と、購入希望中古車が国産車か外国車を入力する製造国入力手段と、展示されている中古車の特定に基いて予め自社在庫登録されている当該展示車両の詳細情報を読み出し表示する展示車情報表示手段と、前記展示車情報表示手段によって表示された中古車の支払い方法を演算処理する支払演算処理手段と、によって構成してなる車の新規購入と下取査定の処理装置。

【請求項19】 上記下取査定手段は、予め記憶されている多数の製造メーカーの中から査定対象車の製造メーカーを選定する製造メーカー選定手段と、査定対象車の初年度登録年月日、車検満了年月日、排気量を入力する初年度登録等入力手段と、前記製造メーカー選定手段において選定した製造メーカーと、前記初年度登録等入力手段によって入力した初年度登録年月日・排気量に基づいて、予め記憶されている初年度登録年月日に発売された該製造メーカーの車種タイプの中から査定対象車の車種タイプを選定する車種タイプ選定手段と、査定対象車の現在の総走行距離を入力する走行距離入力手段と、前記車種タイプ選定手段によって選定した査定対象車の車種タイプに基づいて、予め記憶されている当該車種タイプに存在する複数のグレードの中から査定対象車のグレードを選定するグレード選定手段と、前記初年度登録等入力手段によって入力した初年度登録年月日から予め記憶されている該初年度登録年月日当時販売されていた当該査定対象車と同一モデルの車種の1又は2以上の発売期間の中から当該査定対象車の発売期間を選定する発売期間選定手段と、前記発売期間選定手段によって選定された発売期間に基づいて、予め記憶されている複数のボディカラーの中から当該査定対象車のボディカラーを選定するボディカラー選定手段と、前記査定対象車の外装の現況の変化による加減算額を入力する外装査定額入力手段と、前記査定対象車の加修・補修歴の変化による加修・補修減算額を入力する加修・補修査定額入力手段と、前記査定対象車の外装関係の現状の変化による減算額を入力する外装関係の現状査定額入力手段と、前記査定対象車の内装の現況の変化による加減算額を入力する内装査定額入力手段と、前記査定対象車の電装品の現況の変化による加減算額を入力する電装品加減算額入力手段と、前記査定対象車の機関・足回りの現況の変化による加減算額を入力する機関・足回り加減算額入力手段と、前記査定対象車の車種タイプ、グレード及びボディーカラーに基づいて選定された年式別にそれぞれ査定された予め記憶されている複数の基本査定価格の中から当該査定対象車の年式の基本査定価格を選択し、該基本査定価格に、前記外装査定額入力手段に基いて査定した外

装の現況による査定額と、前記内装査定額入力手段に基いて査定した内装の現況による査定額と、前記電装品加減算額入力手段に基いて査定した内装の現況による査定額と、前記機関・足回り加減算額入力手段に基いて査定した機関・足回りの現況による査定額と、前記査定対象車と同一の車種タイプが当該査定対象車と同一の期間経過したときの標準的な走行距離との多少に基づき1km当たりの評価額によって決定される加減算額に基づく走行距離実績額とを加算すると共に車検の期間が残存する場合に1月当たりの加算額に基づく車検残存期間加算額を加算して確定査定価格を確定する確定査定価格演算手段と、によって構成したものである請求項15, 16, 17又は18に記載の車の新規購入と下取査定の処理装置。

【請求項20】 上記下取査定において、当該下取車のオークション価格を下取査定額の表示と共に暗号化して表示するようにしたものである請求項15, 16, 17, 18又は19に記載の車の新規購入と下取査定の処理装置。

【請求項21】 車の購入に当り、下取車がある場合 下取車の下取査定を行い、購入方法及び予算を特定し、購入希望車が国産車か外国車かの特定をし、メーカー希望が有る場合には予め記憶されているメーカーの中から希望するメーカー名を、希望するメーカーが無い場合には予め記憶されているメーカーの中から任意のメーカーを特定し、購入希望車の理想条件としての車全体の外的イメージを特定すると共に車の大きさを特定し、ボディカラー、乗車定員、ミッション、駆動輪、燃料形態、ナンバープレート、排気量、年式のそれぞれを予め記憶されている理想条件の中から特定し、希望するメーカーの車種タイプを特定すると共に特定した車種タイプのグレードを予め記憶されているグレードの中から特定し、前記特定したメーカーの車種・グレードを予め記憶されている車種・グレードの中から特定し、前記選定した車種・グレード及び理想条件に該当する中古車が予め記憶されている小売共通在庫登録車の中に登録されていない場合に、希望する車種・グレード及び理想条件の中古車を希望予算で購入し優先的に購入交渉を予約するユーザー予約登録を行うようにした中古車の販路登録の処理方法。

【請求項22】 中古車の購入に当り下取車がある場合、該下取車の下取りの査定を行う下取査定手段と、中古車購入の購入方法及び購入予算を演算する購入方法及び購入予算演算手段と、購入希望中古車が国産車か外国車を入力する製造国入力手段と、メーカー希望が有る場合には予め記憶されているメーカーの中から希望するメーカー名を、希望するメーカーが無い場合には予め記憶されているメーカーの中から任意のメーカーを特定して入力するメーカー入力手段と、購入中古車の理想条件としての車全体の外的イメージを選定すると共に車の大きさを選定し、ボディカラー、乗車定員、ミッション、駆動輪、燃料形態、ナンバープレート、排気量、年式のそ

れぞれを予め記憶されている理想条件の中から選定する理想条件選定手段と、前記メーカー入力手段によって入力したメーカーの車種・グレードを予め記憶されている車種・グレードの中から選定する車種・グレード選定手段と、前記理想条件選定手段によって選定された諸条件と前記車種・グレード選定手段によって選定された車種・グレードに該当する中古車を予め記憶されている小売共通在庫登録車の中から抽出して一覧表示する該当中古車抽出手段と、前記該当中古車抽出手段によって表示した中に前記理想条件選定手段によって選定された諸条件と前記車種・グレード選定手段によって選定された車種・グレードに該当する中古車が全く登録されていない場合に、希望する車種・グレード及び理想条件の中古車が中古車市場に登録された際、優先的に購入交渉権が与えられるユーザー予約登録手段と、によって構成してなる車の中古車の販路登録の処理装置。

【請求項23】 新車の購入に当り、下取車がある場合 下取車の下取査定を行い、購入方法及び予算を特定し、購入希望車が国産車か外国車かの特定をし、

20 メーカー希望が有る場合には予め記憶されているメーカーの中から希望するメーカー名を、希望するメーカーが無い場合には予め記憶されているメーカーの中から任意のメーカーを特定し、購入希望車の理想条件としての車全体の外的イメージを特定すると共に車の大きさを特定し、ボディカラー、乗車定員、ミッション、駆動輪、燃料形態、ナンバープレート、排気量、年式のそれぞれを予め記憶されている理想条件の中から特定し、希望するメーカーの車種タイプを特定すると共に特定した車種タイプのグレードを予め記憶されているグレードの中から特定し、前記特定したメーカーの車種・グレードを予め記憶されている車種・グレードの中から特定し、前記選定した車種・グレード及び理想条件に該当する新車を予め記憶されている新車の中から抽出して一覧表示し、前記予算に合った新車を前記一覧表示した新車の中から特定し、支払い方法を演算処理するようにした車の新規購入と下取査定の処理方法。

【発明の詳細な説明】

#### 【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、ユーザーが新車又は中古車を購入する際に現車の処分を考慮した購入方法に係り、特に簡易に購入希望車を選定することのできる車の新規購入と下取査定の処理方法、及び車の新規購入と下取査定の処理装置、並びに中古車の販路登録の処理方法及び装置に関する。

#### 【0002】

【従来の技術】 経済事情の変化は、自動車産業の拡大、特に中古車市場の肥大化を招来している。このような状況の下、中古車業者は、中古車をより安く仕入れ、ユーザーにより高く販売することで利益を得ている。一般的のユーザーは、中古車を手に入れる場合、個人売買とうい

うことはほとんど無く、中古車業者（ディーラー）から購入するというのが一般的である。ディーラーから購入する場合には、初めて車を購入する場合、現在乗っている車（現車）から別な中古車に乗り換える場合がある。前者の場合は、購入する中古車の選定だけであるが、後者の場合は、現車を下取りに出して新たに中古車を購入することから下取価格が購入中古車の選定に影響を及ぼすことになる。この場合、新たな中古車に乗り換えるユーザーは現車をより高く売ることを望み、ディーラーはより安く買い取ることを望む。このように中古車業者と需要者とは、利害が相反する要素を持っており、時として中古車の評価が適正に行われないことがあり、互いの信頼関係が損ねられる結果が生じている。さらに、ディーラーは自社の所有する中古車をユーザーに薦めようとし、ユーザーの希望と一致しないことも互いの信頼関係を損なう原因となっている。

【0003】また、ユーザーが新しい中古車を購入する際に現車を下取に出す場合、従来は中古車の売買を行ってたって売買対象の中古車を適正に評価する基準がなく、中古車を買い取る側である中古車業者（ディーラー）の勘で査定が行われていた。このため、同じ中古車であっても中古車業者（ディーラー）によって買取り価格に大きな差が生じることがしばしば起こっていた。そこで、中古車業者及び需要者の双方が、両者の信頼関係に立った中古車の評価査定基準に基づいて中古車が適正な価額で売買されることを強く望むようになってきた。このため、種々なる条件を基礎として設定された中古車の基準となる価額をメーカー別、車種タイプ別、グレード別に表にした冊子が業者向けに発行され、また需要者向けとして各種自動車関係雑誌等に掲載されている。かかる中古車価額の設定は、年式、仕様、グレードの他にその時の人気度合いをも基礎として冊子から探し出すようになっている。

#### 【0004】

【発明が解決しようとする課題】中古車を選ぶ側にあっては、多くの中古車市場の中から希望する中古車を選択したいと望むが、ディーラーは他のディーラーが所有する中古車を把握する手段がなく、展示してある中古車、あるいは他の支店に展示してある自社所有の中古車の範囲でしか紹介できず、広域の中古車市場の中から希望する中古車を選択できるような手段は皆無であった。また、下取査定を行う際に用いる冊子は、中古車業者（ディーラー）が一般ユーザーから中古車を下取りする際の下取査定価格を決定するときに用いるものである。このため、この冊子では、メーカー毎、車種タイプ毎、年式毎、仕様毎、グレード毎、ボディーカラー毎に分類されて価格が設定されている。そこで、中古車業者は、一般ユーザーが自己の車（中古車）を売るために持ち込んだ場合、一般ユーザーから持ち込まれた下取査定対象車について、メーカー名、車種、タイプ、年式、仕様、

グレード、ボディーカラーを中古車業者自らが特定し、この冊子に纏められている表の中から特定した中古車に該当する車種の基本査定価格（車を単なる物品として算出した新車価格からの残存価値価格）を選び出して決定し、現時点の当該車種の人気の度合い、走行距離の相違、各種部品の傷み具合等による査定者（中古車業者）の特別助成額を加味して、当該査定対象車の最終買取り査定価格を決定していた。このためユーザーには不明朗なものとなっていた。

【0005】本発明の第1の目的は、ユーザーが新たに車を購入する際に、応対する販売員に十分な知識がなくともユーザーの希望に沿って車の特定を無理なく誘導し、ユーザーの希望する最適の車を自社在庫を越えた広い市場から簡単にかつスムーズに検索すると共に、応対する販売員に下取査定の経験がない場合であっても、現車の下取査定を簡単にかつ適性に行えるようにしようということにある。

【0006】本発明の第2の目的は、ユーザーが新たに車を購入する際に、ユーザーの希望に沿って車の特定を無理なく誘導し、ユーザーの希望する最適の車を簡単にかつスムーズに選定し、ユーザーの希望する最適の車に該当する車が無い場合に、ユーザーの希望する最適の車が市場に出たときに優先的に買取り交渉ができるようにしようということにある。

#### 【0007】

【課題を解決するための手段】本願請求項1に記載の車の新規購入と下取査定の処理方法は、車の購入に当り、下取車がある場合、下取車の下取査定を行い、購入方法及び予算を特定し、購入希望車が国産車か外国車かの特定をし、メーカー希望が有る場合には予め記憶されているメーカーの中から希望するメーカー名を、希望するメーカーが無い場合には予め記憶されているメーカーの中から任意のメーカーを特定し、購入希望車の理想条件としての車全体の外的イメージを特定すると共に車の大きさを特定し、ボディーカラー、乗車定員、ミッション、駆動輪、燃料形態、ナンバープレート、排気量、年式のそれぞれを予め記憶されている理想条件の中から特定し、前記特定したメーカーの車種・グレードを予め記憶している車種・グレードの中から特定し、前記選定した車種・グレード及び理想条件に該当する中古車を予め記憶されている小売共通在庫登録車の中から抽出して一覧表示し、前記予算に合った中古車を前記一覧表示した小売共通在庫登録車の中から特定し、支払い方法を演算処理するようにしたのである。このように構成することにより、ユーザーが新たに車を購入する際に、応対する販売員に十分な知識がなくともユーザーの希望に沿って車の特定を無理なく誘導し、ユーザーの希望する最適の車を自社在庫を越えた広い市場から簡単にかつスムーズに検索することができ、適正な価格で現車を下取りすることができる。

【0008】本願請求項2に記載の車の新規購入と下取査定の処理方法は、購入希望車のメーカー・車種タイプが決まっている車の購入に当り、下取車がある場合 下取車の下取査定を行い、購入方法及び予算を特定し、購入希望車が国産車か外国車かの特定をし、購入希望車の理想条件としてのボディカラー、乗車定員、ミッション、駆動輪、燃料形態、ナンバープレート、排気量、年式のそれぞれを予め記憶されている理想条件の中から特定し、希望するメーカーの車種タイプを特定すると共に特定した車種タイプのグレードを予め記憶されているグレードの中から特定し、前記選定した車種・グレード及び理想条件に該当する中古車を予め記憶されている小売共通在庫登録車の中から抽出して一覧表示し、前記予算に合った中古車を前記一覧表示した小売共通在庫登録車の中から特定し、支払い方法を演算処理するようにしたものである。このように構成することにより、ユーザーが新たに車を購入する際に、応対する販売員に車両に関する十分な知識がなくてもユーザーの希望に沿って車の特定を無理なく誘導し、ユーザーの希望する最適の車を自社在庫を越えた広い市場から簡単にかつスムーズに検索することができ、適正な価格で現車を下取りすることができる。

【0009】本願請求項3に記載の車の新規購入と下取査定の処理方法は、車の購入に当り、下取車がある場合 下取車の下取査定を行い、購入方法及び予算を特定し、購入希望車が国産車か外国車かの特定をすると共にメーカーと車種タイプを特定し、希望するメーカーの車種タイプについて予め記憶されている小売共通在庫登録車群の中から、年式別、グレード別、ボディカラー別、走行距離別、価格別のいづれか複数の条件又はすべての条件を任意に順次選定し、該順次選定する条件毎に、選定した条件に基づいて一覧表示される予め記憶されている小売共通在庫登録車群の中から希望する条件の小売共通在庫登録車群を選定して、所定の条件に合った中古車を前記一覧表示した小売共通在庫登録車の中から特定し、支払い方法を演算処理するようにしたものである。このように構成することにより、ユーザーが新たに車を購入する際に、応対する販売員に車両に関する十分な知識がなくてもユーザーの希望に沿って車の特定を無理なく誘導し、ユーザーの希望する最適の車を自社在庫を越えた広い市場から簡単にかつスムーズに検索することができる。

【0010】本願請求項4に記載の車の新規購入と下取査定の処理方法は、車の購入に当り、下取車がある場合 下取車の下取査定を行い、購入方法及び予算を特定し、購入希望車が国産車か外国車かの特定をし、展示されている中古車を特定し、支払い方法を演算処理するようにしたものである。このように構成することにより、ユーザーが新たに車を購入する際に、応対する販売員に車両に関する十分な知識がなくてもユーザーの希望に沿って

車の特定をすることができ、売買契約をスムーズに行うことができる。

【0011】本願請求項5に記載の車の新規購入と下取査定の処理方法は、上記下取車の下取査定を、下取査定対象車の初年度登録年月日及び車検満了年月日を特定し、当該下取査定対象車の製造メーカーと排気量を特定して、前記下取査定対象車の車種タイプとミッションとを特定すると共に、メーカーの状況及び当該下取査定対象車の走行距離を特定することによって下取査定対象車の特定を行い、前記初年度登録年月日から予め記憶されている該初年度登録年月日当時販売されていた当該査定対象車と同一モデルの車種の1又は2以上の発売期間の中から当該査定対象車の発売期間を選定し、前記発売期間のモデル車種について予め記憶されたグレードの中から当該査定対象車のグレード、エンジン型式、駆動装置、ドア数、過給器、乗車定員を選定し、前記製造メーカーの前記発売期間における前記車種タイプ、前記グレードの車種として発売された予め記憶されているボディカラーから当該査定対象車のボディカラーを選定し、当該査定対象車の外装の現況による加減算額を求め、当該査定対象車の加修・補修歴の入力による加修・補修減算額を求め、当該査定対象車の外装関係の現状入力による減算額を求め、当該査定対象車の内装の現況による加減算額を求め、当該査定対象車の電装品の現況による加減算額を求め、当該査定対象車の機関・足回りの現況による加減算額を求め、前記査定対象車の車種タイプ、グレード及びボディカラーに基づいて選定された予め記憶されている年式によって査定された基本査定価格の中から当該査定対象車の年式の基本査定価格に、前記外装の現況による加減算額と、前記内装の現況による加減算額と、前記電装品の現況による加減算額と、前記機関・足回りの現況による加減算額と、前記査定対象車の走行距離と当該車種タイプの標準走行距離との多少に基づいて1km当たりの加減算額に基づく走行距離実績額を加算すると共に車検の期間が残存する場合に1月当たりの加算額に基づく車検残存期間加算額を加算して下取査定価格を決定するようにしたものである。このように構成することにより、ユーザーが新たに車を購入する際に、応対する販売員に下取査定の経験がない場合であっても、現車の下取査定を簡単にかつ適性に行うことができる。

【0012】本願請求項6に記載の車の新規購入と下取査定の処理方法は、上記外装の現況を、修復歴の有無、改造の有無、全塗装の必要性の有無、全塗装歴の有無、現状事故車か否かにしたものである。このように構成することにより、外装の現況を正確に把握し、ディーラー査定価格に適正に反映させ、適正な確定査定価格を誰にでも簡単に短時間で算出することができる。

【0013】本願請求項7に記載の車の新規購入と下取査定の処理方法は、上記加修・補修歴の入力を、バンパー、フェンダー、エプロン、ドア、ミラー、電動ミラー、

一、ステップ、ポンネット、ルーフ、トランクの蓋、トランクの床、インナーパネル左、インナーパネル右、ラジエータセルのそれぞれについての加修・補修歴の有無、ルームクリーニングの有無、シート補修痕の有無、ドア内張りの補修痕の有無、天井の補修痕の有無、じゅうたんの補修痕の有無にしたものである。このように構成することにより、加修・補修歴を正確に把握し、ディーラー査定価格に適正に反映させ、適正な確定査定価格を誰にでも簡単に短時間で算出することができる。

【0014】本願請求項8に記載の車の新規購入と下取査定の処理方法は、上記外装関係の現状入力は、バンパー、フェンダー、エプロン、ドア、ミラー、電動ミラー、ステップ、ポンネット、ルーフ、トランクの蓋、トランクの床、インナーパネル左、インナーパネル右、ラジエータセルのそれぞれについての異常の有無、タイヤの使用可・不可、ガラスの交換の要・不要、ヘッドラムブの交換の要・不要、テール・コンビランプの交換の要・不要にしたものである。このように構成することにより、外装関係の現状を正確に把握し、ディーラー査定価格に適正に反映させ、適正な確定査定価格を誰にでも簡単に短時間で算出することができる。

【0015】本願請求項9に記載の車の新規購入と下取査定の処理方法は、上記内装の現況を、室内の状況の問題の有無、トランクルームの状況の問題の有無、タバコ・ペットの臭いの問題の有無、ダッシュボードの破損の問題の有無にしたものである。このように構成することにより、内装の現況を正確に把握し、ディーラー査定価格に適正に反映させ、適正な確定査定価格を誰にでも簡単に短時間で算出することができる。

【0016】本願請求項10に記載の車の新規購入と下取査定の処理方法は、上記電装品の現況を、エアコンの使用の可否、バッテリの使用の可否、時計の使用の可否、パワーウィンドウ左前の使用の可否、パワーウィンドウ左後の使用の可否、パワーウィンドウ右前の使用の可否、パワーウィンドウ右後の使用の可否、ワイパー関係の使用の可否、メーター・パネルの使用の可否にしたものである。このように構成することにより、電装品の現況を正確に把握し、ディーラー査定価格に適正に反映させ、適正な確定査定価格を誰にでも簡単に短時間で算出することができる。

【0017】本願請求項11に記載の車の新規購入と下取査定の処理方法は、上記機関・足回りの現況を、エンジンの通常の使用の可否、ミッションの通常の使用の可否、動力伝達装置の通常の使用の可否、ステアリングの通常の使用の可否、サスペンションの通常の使用の可否、ブレーキの通常の使用の可否、マフラーの通常の使用の可否、その他の機関・足回りの通常の使用の可否のいずれかにしたものである。このように構成することにより、機関・足回りの現況を正確に把握し、ディーラー査定価格に適正に反映させ、適正な確定査定価格を誰に

でも簡単に短時間で算出することができる。

【0018】本願請求項12に記載の車の新規購入と下取査定の処理方法は、上記購入方法を、現金購入、ローン購入、リース購入のいずれかにしたものである。このように構成することにより、車両購入者が任意に支払い方法・支払い条件を選定することができる。

【0019】本願請求項13に記載の車の新規購入と下取査定の処理方法は、上記予算を、中古車購入者の税込み年収から、現金購入の場合、下取車が無いときは税込み年収に基づいて予め決定されている最適現金支払予算額を、下取車があるときは下取査定額を前記最適現金支払予算額に加算した額を現金予算額と、ローン購入の場合、通常ローンにあっては、下取車が無いときは税込み年収に基づいて予め決定されている最適ローン総予算額

20 に基づく最適ローン支払額を、下取車があるときは下取査定額を前記最適ローン総予算額に加算した額に基づく最適ローン支払額をローン予算額とし、フリーローンにあっては、下取車が無いときは税込み年収に基づいて予め決定されている最適ローン総予算額に基づいて残価設定ローン支払額を、下取車があるときは下取査定額を前記最適ローン総予算額に加算した額に基づいて残価設定ローン支払額をローン予算額とし、リース購入の場合、下取車が無いときは税込み年収に基づいて予め決定されている最適リース総予算額に基づく最適リース支払額を、下取車があるときは下取査定額を前記最適リース総予算額に加算した額に基づく最適リース支払額をリース予算額と、したるものである。このように構成することにより、車両購入の支払い条件を購入者の経済状況を考慮して最適の支払い方法・支払い条件を提示することができる。

【0020】請求項14に記載の車の新規購入と下取査定の処理方法は、上記下取査定において、当該下取車のオークション価格を下取査定額の表示と共に暗号化して表示するようにしたものである。このように構成することにより、下取査定時に特別な経験を有していない者でも簡単に当該下取車の下取り価格の査定幅を特定することができる。

【0021】本願請求項15に記載の車の新規購入と下取査定の処理装置は、中古車の購入に当り下取車がある場合、該下取車の下取りの査定を行う下取査定手段と、中古車購入の購入方法及び購入予算を演算する購入方法及び購入予算演算手段と、購入希望中古車が国産車か外国車を入力する製造国入力手段と、メーカー希望が有る場合には予め記憶されているメーカーの中から希望するメーカー名、購入中古車の理想条件としての車全体の外的イメージを選定すると共に車の大きさを選定し、ボディカラー、乗車定員、ミッション、駆動輪、燃料形態、ナンバープレート、排気量、年式のそれぞれを予め記憶されている理想条件の中から選定する理想条件選定手段と、希望するメーカーが無い場合には予め記憶されてい

るメーカーの中から任意のメーカーを特定して入力するメーカー入力手段と、前記メーカー入力手段によって入力したメーカーの車種・グレードを予め記憶されている車種・グレードの中から選定する車種・グレード選定手段と、前記理想条件選定手段によって選定された諸条件と前記車種・グレード選定手段によって選定された車種・グレードに該当する中古車を予め記憶されている小売共通在庫登録車の中から抽出して一覧表示する該当中古車抽出手段と、前記購入方法及び購入予算演算手段において演算した予算に合った中古車を前記該当中古車抽出手段によって抽出された小売共通在庫登録車の中から特定する最適中古車特定手段と、前記最適中古車特定手段によって選定された中古車の支払い方法を演算処理する支払演算処理手段と、によって構成したものである。このように構成することにより、ユーザーが新たに車を購入する際に、応対する販売員に車両に関する十分な知識がなくてもユーザーの希望に沿って車の特定を無理なく誘導し、ユーザーの希望する最適の車を自社在庫を越えた広い市場から簡単にかつスムーズに検索することができ、適正な価格で現車を下取りすることができる。

【0022】本願請求項16に記載の車の新規購入と下取査定の処理装置は、購入希望車のメーカー・車種タイプが決まっている中古車の購入に当り下取車がある場合に、該下取車の下取りの査定を行う下取査定手段と、中古車購入の購入方法及び購入予算を演算する購入方法及び購入予算演算手段と、購入希望中古車が国産車か外国車を入力する製造国入力手段と、希望するメーカーの車種タイプを特定するメーカー・車種タイプ特定手段と、購入中古車の理想条件としてのボディカラー、乗車定員、ミッション、駆動輪、燃料形態、ナンバープレート、排気量、年式のそれぞれを予め記憶されている理想条件の中から選定する理想条件選定手段と、前記メーカー・車種タイプ特定手段によって特定したメーカー・車種タイプのグレードを予め記憶されているグレードの中から選定するグレード選定手段と、前記理想条件選定手段によって選定された諸条件と、前記メーカー・車種タイプ特定手段によって特定されたメーカー・車種タイプと、前記グレード選定手段によって選定されたグレードに該当する中古車を予め記憶している小売共通在庫登録車の中から抽出して一覧表示する該当中古車抽出手段と、前記購入方法及び購入予算演算手段において演算した予算に合った中古車を前記該当中古車抽出手段によって抽出された小売共通在庫登録車の中から特定する最適中古車特定手段と、前記最適中古車特定手段によって選定された中古車の支払い方法を演算処理する支払演算処理手段と、によって構成したものである。このように構成することにより、ユーザーが新たに車を購入する際に、応対する販売員に車両に関する十分な知識がなくてもユーザーの希望に沿って車の特定を無理なく誘導し、ユーザーの希望する最適の車を自社在庫を越えた広い市

場から簡単にかつスムーズに検索することができ、適正な価格で現車を下取りすることができる。

【0023】本願請求項17に記載の車の新規購入と下取査定の処理装置は、中古車の購入に当り下取車がある場合、該下取車の下取りの査定を行う下取査定手段と、中古車購入の購入方法及び購入予算を演算する購入方法及び購入予算演算手段と、購入希望中古車が国産車か外国車を入力する製造国入力手段と、メーカー・車種タイプを特定するメーカー・車種タイプ特定手段と、特定した条件について予め記憶している小売共通在庫登録車群の中から、年式別に抽出して一覧表示し、該一覧表示された小売共通在庫登録車群の中から希望する年式条件の小売共通在庫登録車群を特定する年式特定手段と、特定した条件について予め記憶されている小売共通在庫登録車群の中から、グレード別に抽出して一覧表示し、該一覧表示された小売共通在庫登録車群の中から希望するグレード条件の小売共通在庫登録車群を特定するグレード特定手段と、特定した条件について予め記憶している小売共通在庫登録車群の中から、ボディカラー別に抽出して一覧表示し、該一覧表示された小売共通在庫登録車群の中から希望するボディカラー条件の小売共通在庫登録車群を特定するボディカラー特定手段と、特定した条件について予め記憶している小売共通在庫登録車群の中から、走行距離帯別に抽出して一覧表示し、該一覧表示された小売共通在庫登録車群の中から希望する走行距離帯条件の小売共通在庫登録車群を特定する走行距離帯特定手段と、特定した条件について予め記憶している小売共通在庫登録車群の中から、価格帯別に抽出して一覧表示し、該一覧表示された小売共通在庫登録車群の中から希望する価格帯条件の小売共通在庫登録車群を特定する価格帯特定手段と、前記各特定手段によって順次特定され選定した中古車の支払い方法を演算処理する支払演算処理手段と、によって構成したものである。このように構成することにより、ユーザーが新たに車を購入する際に、応対する販売員に車両に関する十分な知識がなくてもユーザーの希望に沿って車の特定を無理なく誘導し、ユーザーの希望する最適の車を自社在庫を越えた広い市場から簡単にかつスムーズに検索することができ、適正な価格で現車を下取りすることができる。

【0024】本願請求項18に記載の車の新規購入と下取査定の処理装置は、中古車の購入に当り下取車がある場合、該下取車の下取りの査定を行う下取査定手段と、中古車購入の購入方法及び購入予算を演算する購入方法及び購入予算演算手段と、購入希望中古車が国産車か外国車を入力する製造国入力手段と、展示されている中古車の特定に基いて予め自社在庫登録されている当該展示車両の詳細情報を読み出し表示する展示車情報表示手段と、前記展示車情報表示手段によって表示された中古車の支払い方法を演算処理する支払演算処理手段と、によって構成したものである。このように構成することによ

り、ユーザーが新たに車を購入する際に、応対する販売員に車両に関する十分な知識がなくてもユーザーの希望に沿って車の特定をすることができ、売買契約をスムーズに行うことができる。

【0025】本願請求項19に記載の車の新規購入と下取査定の処理装置は、上記下取査定手段を、予め記憶されている多数の製造メーカーの中から査定対象車の製造メーカーを選定する製造メーカー選定手段と、査定対象車の初年度登録年月日、車検満了年月日、排気量を入力する初年度登録等入力手段と、前記製造メーカー選定手段において選定した製造メーカーと、前記初年度登録等入力手段によって入力した初年度登録年月日・排気量に基づいて、予め記憶されている初年度登録年月日に発売された該製造メーカーの車種タイプの中から査定対象車の車種タイプを選定する車種タイプ選定手段と、査定対象車の現在の総走行距離を入力する走行距離入力手段と、前記車種タイプ選定手段によって選定した査定対象車の車種タイプに基づいて、予め記憶されている該車種タイプに存在する複数のグレードの中から査定対象車のグレードを選定するグレード選定手段と、前記初年度登録等入力手段によって入力した初年度登録年月日から予め記憶されている該初年度登録年月日当時販売されていた当該査定対象車と同一モデルの車種の1又は2以上の発売期間の中から当該査定対象車の発売期間を選定する発売期間選定手段と、前記発売期間選定手段によって選定された発売期間に基づいて、予め記憶されている複数のボディカラーの中から当該査定対象車のボディカラーを選定するボディカラー選定手段と、前記査定対象車の外装の現況の変化による加減算額を入力する外装査定額入力手段と、前記査定対象車の加修・補修歴の変化による加修・補修減算額を入力する加修・補修査定額入力手段と、前記査定対象車の外装関係の現状の変化による減算額を入力する外装関係の現状査定額入力手段と、前記査定対象車の内装の現況の変化による加減算額を入力する内装査定額入力手段と、前記査定対象車の電装品の現況の変化による加減算額を入力する電装品加減算額入力手段と、前記査定対象車の機関・足回りの現況の変化による加減算額を入力する機関・足回り加減算額入力手段と、前記査定対象車の車種タイプ、グレード及びボディカラーに基づいて選定された年式別にそれぞれ査定された予め記憶されている複数の基本査定価格の中から当該査定対象車の年式の基本査定価格を選択し、該基本査定価格に、前記外装査定額入力手段に基いて査定した外装の現況による査定額と、前記内装査定額入力手段に基いて査定した内装の現況による査定額と、前記電装品加減算額入力手段に基いて査定した内装の現況による査定額と、前記機関・足回り加減算額入力手段に基いて査定した機関・足回りの現況による査定額と、前記査定対象車と同一の車種タイプが当該査定対象車と同一の期間経過したときの標準的な走行距離との多少に基づき1km

当りの評価額によって決定される加減算額に基づく走行距離実績額とを加算すると共に車検の期間が残存する場合に1月当りの加算額に基づく車検残存期間加算額を加算して確定査定価格を確定する確定査定価格演算手段と、によって構成したものである。このように構成することにより、ユーザーが新たに車を購入する際に、応対する販売員に下取査定の経験がない場合であっても、現車の下取査定を簡単にかつ適性に行うことができる。

【0026】本願請求項20に記載の車の新規購入と下取査定の処理方法は、上記下取査定において、当該下取車のオークション価格を下取査定額の表示と共に暗号化して表示するようにしたものである。このように構成することにより、下取査定時に特別な経験を有していない者でも簡単に当該下取車の下取り価格の査定幅を特定することができる。

【0027】本願請求項21に記載の中古車の販路登録の処理方法は、車の購入に当たり、下取車がある場合下取車の下取査定を行い、購入方法及び予算を特定し、購入希望車が国産車か外国車かの特定をし、メーカー希望が有る場合には予め記憶されているメーカーの中から希望するメーカー名を、希望するメーカーが無い場合には予め記憶されているメーカーの中から任意のメーカーを特定し、購入希望車の理想条件としての車全体の外的イメージを特定すると共に車の大きさを特定し、ボディカラー、乗車定員、ミッション、駆動輪、燃料形態、ナンバープレート、排気量、年式のそれぞれを予め記憶されている理想条件の中から特定し、希望するメーカーの車種タイプを特定すると共に特定した車種タイプのグレードを予め記憶されているグレードの中から特定し、前記特定したメーカーの車種・グレードを予め記憶されている車種・グレードの中から特定し、前記選定した車種・グレード及び理想条件に該当する中古車が予め記憶されている小売共通在庫登録車の中に登録されていない場合に、希望する車種・グレード及び理想条件の中古車を希望予算で購入し優先的に購入交渉を予約するユーザー予約登録を行うようにしたものである。このように構成することにより、購入者は各ディーラーを回って自分の希望する車両を探し回らなくても、購入者が希望する車両が市場に出回った際に直ちに購入の交渉を行えるようになることができる。

【0028】本願請求項22に記載の中古車の販路登録の処理装置は、中古車の購入に当たり下取車がある場合、該下取車の下取りの査定を行う下取査定手段と、中古車購入の購入方法及び購入予算を演算する購入方法及び購入予算演算手段と、購入希望中古車が国産車か外国車を入力する製造国入力手段と、メーカー希望が有る場合には予め記憶されているメーカーの中から希望するメーカー名を、希望するメーカーが無い場合には予め記憶されているメーカーの中から任意のメーカーを特定して入力するメーカー入力手段と、購入中古車の理想条件として

の車全体の外的イメージを選定すると共に車の大きさを選定し、ボディカラー、乗車定員、ミッション、駆動輪、燃料形態、ナンバープレート、排気量、年式のそれを予め記憶されている理想条件の中から選定する理想条件選定手段と、前記メーカー入力手段によって入力したメーカーの車種・グレードを予め記憶されている車種・グレードの中から選定する車種・グレード選定手段と、前記理想条件選定手段によって選定された諸条件と前記車種・グレード選定手段によって選定された車種・グレードに該当する中古車を予め記憶されている小売共通在庫登録車の中から抽出して一覧表示する該当中古車抽出手段と、前記該当中古車抽出手段によって表示した中に前記理想条件選定手段によって選定された諸条件と前記車種・グレード選定手段によって選定された車種・グレードに該当する中古車が全く登録されていない場合に、希望する車種・グレード及び理想条件の中古車が中古車市場に登録された際、優先的に購入交渉権が与えられるユーザー予約登録手段と、によって構成したものである。このように構成することにより、購入者は各ディーラーを回って自分の希望する車両を探し回らなくとも、購入者が希望する車両が市場に出回った際に直ちに購入の交渉を行えるようになることができる。

【0029】本願請求項23に記載の新規購入と下取査定の処理方法は、新車の購入に当り、下取車がある場合 下取車の下取査定を行い、購入方法及び予算を特定し、購入希望車が国産車か外国車かの特定をし、メーカー希望が有る場合には予め記憶されているメーカーの中から希望するメーカー名を、希望するメーカーが無い場合には予め記憶されているメーカーの中から任意のメーカーを特定し、購入希望車の理想条件としての車全体の外的イメージを特定すると共に車の大きさを特定し、ボディカラー、乗車定員、ミッション、駆動輪、燃料形態、ナンバープレート、排気量、年式のそれを予め記憶されている理想条件の中から特定し、希望するメーカーの車種タイプを特定すると共に特定した車種タイプのグレードを予め記憶されているグレードの中から特定し、前記特定したメーカーの車種・グレードを予め記憶している車種・グレードの中から特定し、前記選定した車種・グレード及び理想条件に該当する新車を予め記憶されている新車の中から抽出して一覧表示し、前記予算に合った新車を前記一覧表示した新車の中から特定し、支払い方法を演算処理するようにしたものである。このように構成することにより、新車の購入を希望するユーザーが内外国で現在発売されている新車の状況を詳細に把握していくなくても、ユーザーの希望を順次特定していくことによりユーザーの希望する車を無理なく誘導して探し出し、ユーザーの希望に最も適した車を簡単にかつスマートに検索することができ、下取車がある場合に、適正な価格で現車を下取りすることができる。

【0030】

【発明の実施の形態】以下、本発明に係る実施の形態について説明する。図1～図95には、本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法及び車の新規購入と下取査定の処理装置の一実施の形態が示されている。本実施の形態における車の新規購入と下取査定の処理方法及び車の新規購入と下取査定の処理装置は、ユーザーが新たに、あるいは現在乗っている車から乗り換えるために新たな車（新車・中古車）を購入しようとする際に、車販売業者（ディーラー）がユーザーの希望する最適の車、特に中古車を広い市場領域で簡単にかつ適格に見付け出せるようになると共に、ディーラーに下取り査定を行う知識が不足していても、誰にでも簡単に現在使用している車（現車）を適正な価格で下取り査定ができるようしようというものである。

【0031】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法は、コンピュータによって処理されるもので、図1～図11には、本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の一実施の形態を示す処理フローチャートが示されている。

【0032】図において、ステップ1において、車の購入を希望するユーザーの顧客情報の入力を図12に示す如く行う。顧客情報には、新しく車を購入する顧客者の氏名、生年月日、住所、連絡先（電話番号）、勤め先、部署名、勤務先電話番号がある。顧客者の氏名は、業者（ディーラー）から車を購入しようとする人の氏名（例えば、日本太郎）でユーザーを確定するため、生年月日は、車を購入しようとする人の生まれた日で車を購入する層がどの位の年齢層かを認識するためのものである。また、住所は、ユーザーが現在住んでいる場所（例え

ば、東京都新宿区西新宿7-22-45N・Sエクセルビル5F）でユーザーの特定を行い、連絡先はユーザーの自宅の電話番号（例えば、03-5963-7810）で、その他の連絡先は、自宅以外の電話番号（例えば、携帯電話：030-754-8304）で自宅の電話で連絡がかない場合に緊急に連絡できる電話番号である。また、勤め先はユーザーの勤務している会社名（例えば、株式会社ナイス）で、部署名はその会社の配属先（例えば、営業部）で、勤務先電話は会社の電話番号（例えば、03-3730-9647）で、勤務先に内

線がある場合には内線番号を入力して、顧客を特定し、顧客リストを作成する際に整理するために役立てる。このステップ1において車の購入を希望するユーザーの顧客情報の入力が完了すると、ステップ2において、購入する車が中古車か否かを判定する。このステップ2において購入する車が中古車であると判定すると、ステップ3において、下取りに出す車がないか否かを判定する。すなわち、中古車を購入するユーザーが現在乗っている車（現車）を下取りに出すか否かの判定を行う。この現車を下取りに出すか出さないかによって購入する車の車種が変わってくるので、中古車販売においてこの下

50

取の有無は重要なことである。ステップ3において下取車がないと判定すると、ステップ4においてユーザーが購入希望している車が国産車か外国車かを判定する。

【0033】このステップ3において下取車があると判定すると、ステップ5において現車の下取査定を行う。このステップ5における現車の下取査定は、図13～図18に示す処理フローチャートによって行われる。まず、ステップ5-1において、下取り本査定か否かを判定する。すなわち、下取り査定を本査定でやるか、暫定査定でやるかを判定する。本査定というのは、外装状況から工具セットまで、すべての項目を査定し、正式の下取り査定額を算出するもので、この本査定で算出された下取り査定額は、ディーラーが下取りを保証する額である。また、暫定査定というのは、査定処理において不可欠な基本項目のみを査定し、暫定（概算）の下取り査定額を算出する方法で、この暫定査定で算出された査定額は、あくまでも下取りする際の目安で、ディーラーが下取りを保証する額ではない。

【0034】ステップ5-1において下取り査定を本査定でやると判定すると、ステップ5-2において、下取り車を特定するため、図19に示す如き下取り車情報の入力と車種タイプの選定を行う。ステップ5-2において下取り車情報の入力と車種タイプの選定を行うと、ステップ5-3において、下取り車を特定するために、メーカー、車種、タイプ、年式、排気量、グレード、ボディカラー、ミッション、A/C有無、S/R有無、現車走行距離、車検満了年月、登録番号、車台番号、査定担当者を入力する。メーカーは、予め記憶されている複数のメーカー名（対象とする全メーカー、トヨタ、ニッサン、ホンダ、ベンツ、BMW等）が表示され、この中から現車に該当するメーカー名を選択できるようになっている。表示されたメーカー名の中から現車に該当するメーカー名、例えば、トヨタを選択すると、当該メーカーから発売されている車種／タイプの選択に入る。発売されている車種／タイプの中から現車の車種／タイプを、例えば、クラウン・セダンと選択する。

【0035】年式は、初年度登録年月によって決定され、新車で購入したときに陸運局（関東地方であれば、関東陸運局）に登録した年月で、例えば、平成7年9月などである。この初年度登録年月が、例えば、平成7年9月であれば、現車の年式は、平成7年1月～平成7年12月に発売された車ということになる。また、排気量は、現車の排気量で、例えば、3000ccと入力する。グレードは、現車のグレードで、例えば、RサルーンGと入力し、現車のボディカラーをホワイトパールと入力する。ミッションは、オートマチックか、マニュアルミッションかの選択をするもので、現車のミッションの状態、例えば、オートマチックを入力する。A/Cは、エアコンで、エアコンの有・無を選択するもので、現在の普通乗用車の場合、標準でエアコン有である。また、S

/Rは、サンルーフで、サンルーフの有・無を選択するもので、現在の普通乗用車の場合、標準装備でサンルーフ無である。

【0036】現車走行距離は、現車の現在までの総走行距離のことで、走行距離評価（Km査定）の基礎になるもので必須入力項目である。この現車走行距離を入力しても、現車の基準走行距離（初年度登録年月日から現在の時点までに現車が走行する平均的な走行距離）を遙かに超えて走行している超多走行の場合（例えば、基準走行距離が33,000Kmであるのに、80,000Kmをオーバーするような走行距離の場合）は、原則として査定不可（査定できない）となり、処理を続行しようとすると、本査定ではなく暫定査定となる。この現車走行距離は、現車の査定時までに走行した総走行距離を入力すればよく、例えば、24,396Km（少走行）である。

【0037】車検満了年月は、実際に車検が満了する日で、現車が初年度登録年月から3年未満であれば、初年度登録年の3年後の応答日の前日、すなわち、例えば、初年度登録年月が平成7年9月であれば、車検満了年月は平成10年9月ということになる。車台番号は、自動車毎につけられた番号で、例えば、88888である。査定担当者は、業者（ディーラー）の誰が担当したかを明確にするためのもので必須入力項目ではない。このステップ5-3において下取り車を特定するための事項を入力すると、ステップ5-4において、現車の下取査定をする際に必要な必須情報の入力が終了したか否かを判定する。すなわち、ステップ5-4においては、現車を査定するに必要な基本データであるメーカー、車種、タイプ、初年度登録年月（年式）、排気量、車検満了年月、現車走行距離の入力が終了しているか否かを判定する。これらのデータが入力されないと次の処理がなされない。これら入力基本データの内、車検満了年月と排気量は必須入力項目ではなく、データの入力がなくとも処理を続行することは可能となっている。このステップ5-4において、現車の下取査定をする際に必要な必須情報の入力が終了していないと判定すると、現車の下取査定をする際に必要な必須情報の入力行われるまで待つ。

【0038】このようにして必要事項を入力すると、図20に示す如く顧客情報の入力と車種タイプの選定が終了する。

【0039】また、このステップ5-4において、現車の下取査定をする際に必要な必須情報の入力が終了したと判定すると、現車について下取り査定を実行して、まず、ステップ5-5において、現車の外装の現状入力を図20に示す如く入力する。この外装の現状入力は、図20に示す如く、修復歴の有無、改造車であるか否か、全塗装の必要があるか否か、現状事故車か否かの4項目である。修復歴の有無は、以前に外装破損を起こし修復してある場合、修復歴有で、外装破損を起こしていなけ

れば修復歴無となる。この修復歴には、軽度、中度、重度の区別があり、重度の修復歴の場合には、事故の大きさや事故の後遺症（事故後の癖）などがまちまちで、人間の判断による査定が不可欠なことから下取査定ができないと判断する。すなわち、重度の修復歴の場合には、下取りしない。軽度の修復歴の場合、中度の修復歴の場合には、修復の状態を判断して下取査定額に反映させる。しかし、軽度の修復歴、中度の修復歴であっても、軽度の修復歴、中度の修復歴が複数箇所ある場合は、過去に複数回事故を起こした可能性が高く、車両の価値としては高く評価できない。そこで、軽度の修復歴を2点、中度の修復歴を3点とし、修復歴の合計点数が6点を超える（7点以上になる）と、重度の修復歴有りと同一と判断し、下取査定ができないと判断する。

【0040】改造車については、改造車でないのが原則で、改造している場合、その改造がドレスアップ改造なのか、違法改造なのかの入力が必要である。違法改造というのは、道路運送車両法に定める安全基準に該当しない改造のことである。道路運送車両法に定める安全基準を満足するドレスアップ改造は、適法な改造であるので下取査定が行われる。しかし、違法改造の場合は、道路運送車両法に定める安全基準を満足するように、すなわち適法な状態に戻すための再改造を必要とするため下取査定額の算定が困難なため下取査定ができないと判断する。すなわち、違法改造車の場合には、下取りしない。全塗装については、外装の傷みが酷く塗装をし直す必要があるかないか、また、全塗装歴があるか否かで、この全塗装歴有りの場合に元色全塗装（新車のときと同じ色で全塗装し直し）なのか色替全塗装（新車のときと別な色で全塗装し直し）なのかである。また、現状事故車については、現車の外装が事故（例えば、ぶつけて凹みがある等）を起こし、損傷のある箇所をそのままにしてある状態であるとか、事故を起こした直後で破損状態が酷い場合などである。これら修復歴有、違法改造、全塗装要、現状事故はいずれも査定上マイナス要因である。そして、原則として重度の修復歴有、重度の現状事故車の場合は、本査定はできず、暫定査定となる。このように重度の修復歴有、重度の現状事故車の場合は、中古車市場で売買が成立する確立が低いことに基づいている。

【0041】ステップ5-5において現車についての外装の現状入力を行うと、ステップ5-6において、現車の外装現状において修復歴無しか否かを判定する。このステップ5-6において現車の外装現状において修復歴無しと判定すると、ステップ5-7に移る。また、ステップ5-6において現車の外装現状において修復歴無しでない、すなわち、修復歴有りと判定すると、ステップ5-8において、図21に示す如き現状入力を行う。すなわち、修復歴の入力箇所として、例えば、右前（中度）、前面（OK）、左前（OK）、フロアパネル（O

K）、右横（中度）、左横（OK）、トランクフロア（OK）、右後（OK）、後面（OK）、左後（OK）、屋根（OK）、フレーム&第一メンバーの交換修正（なし）、事故の疑いの有無（車両状態が不明瞭）（なし）、フレーム修正機の傷跡の有無（なし）と入力する。右前と右横の中度は、修復の程度を表しており、OKは、修復の無しを表している。ステップ5-5において現車の外装現状において修復歴有りと判定したにも拘らずステップ5-8において、図21に示す如き修復歴の状況の入力を全く行わないで処理を続行する場合には、本査定ではなくなり、暫定査定となる。さらに重度の修復歴有りの場合は、査定不可となる。

【0042】ステップ5-8において現車についての修復歴の状況入力をを行うと、ステップ5-9において、修復歴箇所の入力が行われたか否かを判定する。このステップ5-9においては、ステップ5-5において修復歴有りと入力しているため、少なくとも1か所以上の修復歴の入力がなければならず、少なくとも1か所以上の修復歴の入力が行われるのを待つ。

【0043】ステップ5-9において修復歴箇所の入力が終了したと判定するか、またはステップ5-6において修復歴無しと判定すると、ステップ5-7において、現車について現状で事故車でないか否かを判定する。現状で事故車ということは、現車の外装が事故（例えば、ぶつけて凹みがある等）を起こし、損傷のある箇所をそのままにしてある状態であるとか、事故を起こした直後で破損状態が酷い場合などである。ステップ5-5の現車の外装の現状入力において現車の現状が事故車であると入力してある場合は、ステップ5-10において、図22に示す如き現車の事故箇所の現状入力をを行う。すなわち、ステップ5-10における事故箇所の入力箇所として、右前（OK）、前面（OK）、左前（OK）、フロアパネル（OK）、右横（OK）、左横（OK）、トランクフロア（中度）、右後（中度）、後面（OK）、左後（OK）、屋根（OK）、フレーム&第一メンバーの交換、修正（なし）を入力する。トランクフロアと右後の中度は、事故の程度を表しており、OKは、事故による損傷無しを表している。

【0044】ステップ5-10において現車についての現状事故箇所の状況入力をを行うと、ステップ5-11において、現状事故箇所の入力を終了したか否かを判定する。このステップ5-11においては、ステップ5-7において現状事故車と判定しているため少なくとも1か所以上の現状事故箇所の入力がなければならず、現状事故箇所の入力が行われるのを待つ。このステップ5-7において現状事故車と判定したにも拘らずステップ5-10において、図22に示す如き事故箇所の状況の入力を全く行わないで処理を続行する場合には、本査定ではなくなり、暫定査定となる。また、ステップ5-10において現車についての現状事故箇所で1か所でも重度の

事故箇所がある場合は、査定不可となる。現状事故車については、現車の外装が事故（例えば、ぶつけて凹みがある等）を起こし、損傷のある箇所をそのままにしてある状態であるとか、事故を起こした直後で破損状態が酷い場合などである。したがって、事故を起こしたのが過去でも現在修復していなければ現状事故車となる。現状事故車には、事故の程度によって軽度、中度、重度の区別があり、重度の事故車の場合には、事故の大きさや事故の後遺症（事故後の癖）などがまちまちで、人間の判断による査定が不可欠なことから下取査定ができないと判断する。すなわち、重度の事故車の場合には、下取りしない。このように重度の現状事故車の場合に下取査定ができないとするのは、中古車市場で売買が成立する確立が低いことに基づいている。軽度の事故車の場合、中度の事故車の場合には、事故の状態を判断して下取査定額に反映させる。しかし、軽度の事故車、中度の事故車であっても、軽度の事故箇所、中度の事故箇所が複数箇所ある場合には、複数回事故を起こした可能性が高く、車両の価値は低下しているものと考えられる。そこで、軽度の事故箇所を2点、中度の事故箇所を3点とし、事故箇所の合計点数が6点を超える（7点以上になる）と、重度の事故車と同一であると判断し、下取査定ができないと判断する。

【0045】ステップ5-11において現状事故箇所の入力を終了したと判定するか、ステップ5-7において現状事故車でないと判定すると、ステップ5-12において、図23に示す如き加修・補修歴の入力を行う。加修・補修歴として、例えば、バンパーの状態（無し）、フェンダーの状態（無し）、エプロンの状態（無し）、ドアの状態（無し）、ミラーの状態（無し）、電動ミラーの状態（無し）、ステップの状態（無し）、ポンネットの状態（無し）、ルーフの状態（無し）、トランクの蓋の状態（無し）、トランクの床の状態（無し）、インナーパネル左の状態（無し）、インナーパネル右の状態（無し）、ラジエータセルの状態（無し）、ルームクリーニング（済み）、シートの補修痕（無し）、ドア内張りの補修痕（無し）、天井の補修痕（無し）、じゅうたんの補修痕（無し）を入力する。各項目に対しては、加修・補修歴がある場合には、軽度の傷、重度の傷、軽度の凹み、重度の凹み、軽度の腐食、重度の腐食、交換歴が有りのいずれかの損傷の程度を入力する。これら加修・補修歴の入力項目は、評価無し（加修・補修歴無し）以外は、いずれも加修・補修歴における損傷の程度によって査定上マイナス要因になり得るものである。

【0046】ステップ5-12において加修・補修歴の入力を行うと、ステップ5-13において、図23に示す如き加修・補修歴の入力についての全項目の入力がなされたか否かの判定を行う。このステップ5-13において図23に示す如き加修・補修歴の入力の全項目に対する入力がなされたと判定すると、ステップ5-14に

おいて、外装現状についての必要事項の入力が全て行われたか否かを判定する。すなわち、ステップ5-5において外装現状について修復歴の有無、改造の有無、全塗装要否、現状事故の有無の入力を行い、ステップ5-14において必要事項の入力が全て行われていないと判定すると、外装現状について必要事項の入力が全て行われるまで待ち、ステップ5-14において必要事項の入力が全て行われたと判定すると、ステップ5-15において、図24に示す如き外装関係の現状入力を行う。外装関係の現状入力項目としては、バンパーの状態、フェンダーの状態、エプロンの状態、ドアの状態、ミラーの状態、電動ミラーの状態、ステップの状態、ポンネットの状態、ルーフの状態、トランクの蓋の状態、トランクの床の状態、インナーパネル左の状態、インナーパネル右の状態、ラジエータセルの状態、タイヤの使用の可否、ガラス交換の要否、ヘッドライトの状態、テール・コンビランプの状態がある。各項目に対しては、軽度の傷、重度の傷、軽度の凹み、重度の凹み、軽度の腐食、重度の腐食、交換をする、のいずれかの損傷状態を入力する。これら外装関係の現状入力項目は、評価無し（損傷無し）以外は、いずれも査定上マイナス要因である。ステップ5-15において外装関係に問題がない場合は、外装関係の現状入力でバンパーの状態、フェンダーの状態、エプロンの状態、ドアの状態、ミラーの状態、電動ミラーの状態、ステップの状態、ポンネットの状態、ルーフの状態、トランクの蓋の状態、トランクの床の状態、インナーパネル左の状態、インナーパネル右の状態、ラジエータセルの状態のそれぞれが異常なし（損傷無し）、タイヤ使用可、ガラス交換の不要、ヘッドライトの状態OK、テール・コンビランプの状態OKを入力する。

【0047】また、ステップ5-15において外装関係に問題がある場合は、外装関係の現状入力で各項目に対して、軽度の傷（A）、重度の傷（B）、軽度の凹み（C）、重度の凹み（D）、軽度の腐食（E）、重度の腐食（F）、交換をする（X）、のいずれかの損傷状態を記号で入力する。例えば、図24に示す如く、バンパーの状態（リア：X）、フェンダーの状態（右後：X）、エプロンの状態（リア：C）、ドアの状態（異常なし）、ミラーの状態（異常なし）、電動ミラーの状態（異常なし）、ステップの状態（異常なし）、ポンネットの状態（C）、ルーフの状態（異常なし）、トランクの蓋の状態（A）、トランクの床の状態（C）、インナーパネル左の状態（異常なし）、インナーパネル右の状態（異常なし）、ラジエータセルの状態（異常なし）、タイヤの使用の可否（左前後・右前後：使用可、スペア：有り）、ガラス交換の要否（フロント・左前後ドア・右前後ドア・リア：不要）、ヘッドライトの状態（OK）、テール・コンビランプの状態（OK）を入力する。これら外装関係の現状入力項目は、評価無し（損傷

無し)以外は、いずれも査定上マイナス要因である。

【0048】ステップ5-15において外装関係の現状入力をを行うと、ステップ5-16において、図24に示す如き外装関係の現状入力についての全項目の入力がなされたか否かの判定を行う。このステップ5-16においては、図24に示す如き外装関係の現状入力についての全項目の入力がされるのを待ち、ステップ5-16において図24に示す如き外装関係の現状入力の全項目に対する入力がなされたと判定すると、内装の現状入力を行う。現車についての内装の状況の現状入力は、図25に示す如く、室内の状況、トランクルームの状況、タバコ・ペットの臭い、ダッシュボードの破損の4項目である。内装の現状入力は、図25に示す如く、室内の状況、トランクルームの状況、タバコ・ペットの臭い、ダッシュボードの破損の4項目である。室内の状況は、室内の状況に問題がないかあるかで、問題がある場合、問題の状況が、室内の汚れ、シートの破損、ドア内張の破損、天井の破損、じゅうたんの破損に関する項目についてチェックを行う。すなわち、問題がある場合は、室内の汚れが無いか有るか、シートの破損が無いか有るか、ドア内張の破損が無いか有るか、天井の破損が無いか有るか、じゅうたんの破損が無いか有るかを入力する。トランクルームの状況については、トランクルームの状況に問題が無いか有るかで、タバコ・ペットの臭いは、車室内にタバコ・ペットの臭いが着いているか否かの問題であり、ダッシュボードの破損は、ダッシュボードが破損しているか否かの問題である。これら内装の現状入力項目は、問題なし以外は、いずれも査定上マイナス要因である。

【0049】まず、ステップ5-17において、室内の状況に問題ないか否かの判定を行う。そして、ステップ5-17において室内の状況に問題があると判定すると、ステップ5-18において、問題の状況として、室内の汚れが有るか無いか、シートの破損が有るか無いか、ドア内張の破損が有るか無いか、天井の破損が有るか無いか、じゅうたんの破損が有るか無いかを入力する。すなわち、ステップ5-16においては、図25に示す如く、室内の状況について、室内の汚れ有り、シートの破損有り、ドア内張の破損無し、天井の破損無し、じゅうたんの破損の無しを入力する。

【0050】このステップ5-18において室内の状況の入力が行われると、ステップ5-19において、室内の状況の入力が行われたか否かの判定を行い、室内の状況の問題箇所の入力が終了するのを待つ。このステップ5-19において室内の状況の問題箇所の入力が終了したと判定するか、またはステップ5-17において室内の状況に問題がないと判定すると、ステップ5-20において、トランクルームの状況に問題が有るか無いか、車室内にタバコ・ペットの臭いが着いているか否か、ダッシュボードが破損しているか否かを入力する。すなわ

ち、ステップ5-20においては、図25に示す如く、トランクルームの状況に問題なし、室内にタバコ・ペットの臭い(室内の臭い)に問題なし、ダッシュボードの破損に問題なしの入力を行う。

【0051】ステップ5-20において各種項目の入力が行われると、ステップ5-21において、図25に示す如き内装の現状入力についての全項目の入力がなされたか否かの判定を行う。このステップ5-21において図25に示す如き室内の現状入力の全項目に対する入力がなされたと判定すると、ステップ5-22において、現車についての電装品の現状の入力を行う。電装品の現状入力は、図26に示す如く、エアコン、バッテリ、時計、パワーウィンドウ左前、パワーウィンドウ左後、パワーウィンドウ右前、パワーウィンドウ右後、ワイパー関係、メーターパネルの9項目である。これらについては、いずれも通常の使用が可能かどうか、すなわち、エアコンの通常の使用が可否、バッテリの通常の使用が可能か交換が必要か、時計の通常の使用が可能か交換が必要か、パワーウィンドウ左前の通常の使用が可能か作動不可修理要か、パワーウィンドウ左後の通常の使用が可能か作動不可修理要か、パワーウィンドウ右前の通常の使用が可能か作動不可修理要か、パワーウィンドウ右後の通常の使用が可能か作動不可修理要か、ワイパー関係の通常の使用が可能か交換が必要か、メーターパネルの通常の使用が可否の入力を行う。

【0052】これら電装品の現状入力項目は、通常の使用が可能以外は、いずれも査定上マイナス要因である。

【0053】ステップ5-22において電装品の現状についての入力(例えば、通常の使用が可能)を行うと、ステップ5-23において、図26に示す如き電装品の現状入力についての全項目の入力がなされたか否かの判定を行う。このステップ5-23において図26に示す如き電装品の現状入力の全項目に対する入力がなされたと判定すると、ステップ5-24において、現車についての機関・足回りの現状の入力を行う。機関・足回りの現状入力は、図27に示す如く、エンジン、ミッション、動力伝達装置、ステアリング、サスペンション、ブレーキ、マフラー、その他の機関・足回りの8項目である。これらについては、いずれも通常に使用できるか、通常の使用が困難か否かの入力を行う。これら機関・足回りの現状入力項目は、通常の使用が困難な場合は、いずれも査定上マイナス要因である。

【0054】ステップ5-24において機関・足回りの現状についての入力(例えば、通常の使用が可能)を行うと、ステップ5-25において、図27に示す如き機関・足回りの現状入力についての全項目の入力がなされたか否かの判定を行う。このステップ5-25においては、図26に示す如き機関・足回りの現状入力の全項目に対する入力がなされるまで待ち、機関・足回りの現状入力の全項目に対する入力がなされたと判定すると、す

ステップ5-26において、現車についての装備品の現状の入力を行う。装備品の現状の入力は、図28、図29に示す如く、ステレオ・コンポ・CD、テレビ、ナビゲーション、空気清浄機、アルミホイール、spoイラー、エアバック、4WS、ABS、工具、ジャッキの10項目である。これらについては、いずれも標準装備か、オプション装備か、使用状態が使用可能か不可能かの入力を行う。ステレオ・コンポ・CD以外は、標準装備では無しで、テレビ、ナビゲーション、空気清浄機、アルミホイール、spoイラー、エアバック、4WS、ABSはオプションで追加装備となる。工具、ジャッキは、装備されているのが通常である。標準装備のステレオ・コンポ・CDについては、使用可能の状態で通常で、『無し』であったり、『使用不可』であったりした場合には、査定上マイナス要因となる。また、テレビ、ナビゲーション、空気清浄機、アルミホイール、spoイラー、エアバック、4WS、ABSについては、オプション(OP)で追加装備されれば査定上プラス要因となる。OP-A、OP-B、OP-Cはそれぞれオプションのグレードを示しており、OP-Aが査定金額が最も高く、OP-B、OP-Cと査定金額は下がっていく。これらオプション装備品についても、使用可能の状態か否かで査定金額は異なる。使用が不可能の状態の場合、オプション装備品を単に取り外すだけでは新車当時の仕様に戻らないような場合は、むしろ査定上マイナス要因となる。工具、ジャッキは、装備されているのが当然で、工具が不足している場合、工具、ジャッキが無い場合は、査定上マイナス要因となる。さらに特に高価な工具、ジャッキがオプション装備されている場合は、その状況によって査定上プラス要因になることがある。

【0055】装備品の現状入力が終了すると、現車の査定に必要な全ての情報の入力を完了することになる。そこで、このステップ5-26において装備品の現状入力をを行うと、ステップ5-27において、図28、図29に示す如き装備品の現状入力についての全項目の入力がなされたか否かの判定を行う。

【0056】このステップ5-27において図28、図29に示す如き装備品の現状入力の全項目に対する入力がなされたと判定すると、ステップ5-28において、図30に示す如く、各種減額、修理実費の入力を行う。すなわち、ステップ5-28においては、外装関係では、修復歴が有るが、これは一律で減額が決められており、また、現状事故車としての減額が一律に決められているので、内装関係の室内の状況についての減額を、例えば200,000円と入力する。このステップ5-28において各種減額、修理実費の入力した後、ステップ5-29において、各種減額、修理実費についての入力項目全部の入力がなされたか否かの判定を行う。このステップ5-29において図30に示す如き各種減額、修理実費についての入力項目全部に対する入力があったと

判定すると、ステップ5-30において、現車についての下取り本査定の演算を行う。演算が終了すると、ステップ5-31において、演算結果が確定下取り本査定額として図31に示す如く表示される。この確定下取り本査定額の表示には、査定日付(例えば、平成9年5月17日)、確定買取り査定額(例えば、¥1,516,743)が同時に表示される。また、確定下取り本査定額の表示には、右上隅に暗号化された数字が、例えば、GSAX1667Xと表示されている。このGSAX1667Xは、下取り査定した車のオークション落札予測価格(¥1,667,000)を示したもので、確定買取り査定額(例えば、¥1,516,743)に対するオークション落札予測価格である。このGSAX1667X(オークション落札予測価格)は、本査定の該当車がオークション(中古車の業者間で行われる競り市場)会場で取り引きされる最低の落札予測価格であり、このオークション落札予測価格が表示されることによって当該下取車の下取価格の決定を容易にし、下取査定額の下限値を誰にでも簡単に決めることができる。

【0057】ステップ5-31において演算結果が確定下取り本査定額(¥1,516,743)として表示されると、ステップ5-32において、確定下取り本査定額についての査定詳細情報の表示を行うか否かの判定を行う。このステップ5-32において、確定下取り本査定額についての査定詳細情報の表示を行わないと判定すると、このフローを終了する。そして、このステップ5-32において、確定下取り本査定額についての査定詳細情報の表示を行うと判定すると、ステップ5-33において、図32～図33の査定詳細情報の表示を行う。

査定詳細情報の表示は、外装の現状について入力した各項目についてのそれぞれの金額、内装の現状について入力した各項目についてのそれぞれの金額、電装品の現状について入力した各項目についてのそれぞれの金額、機関・足回りの現状について入力した各項目についてのそれぞれの金額、装備品の現状について入力した各項目についてのそれぞれの金額、基準走行距離に対する現車走行距離による走行距離の多少に基づいた走行距離評価額、さらに、買取り時から車検満了日までの車検期間による車検の残期間による車検残存期間加算額のそれぞれである。この査定詳細情報の表示においても、オークション落札予測価格がGSAX1667Xと表示され、当該査定車のオークション会場で取り引きされる最低落札予測価格が表示される。

【0058】外装関係についての価は、本実施の形態においては、バンパー、フェンダー、エプロン、ポンネット、トランク、修復歴有り、現状事故車、ドア、ミラー、電動ミラー、ステップ、レーフ、タイヤ、ガラス、インナーパネル、ヘッドラップ、テール・コンビランプ、改造車、全塗装要について、評価0(評価減無し)である。また、内装関係についての評価は、本実施の形

態においては、室内の状況、トランクルームの破損等、室内の臭い、ダッシュボードについて、評価0（評価減無し）である。電装関係についての評価は、本実施の形態においては、エアコン、バッテリ、時計、パワーウィンドウ、ワイパー関係、メーターパネルについて、いずれも評価0（評価減無し）である。さらに、機関・足回りについての評価は、本実施の形態においては、エンジンの修理等、ミッションの修理等、動力伝達装置の修理等、ステアリングの修理等、サスペンションの交換、ブレーキの修理等、マフラーの修理等、その他の機関の修理等について、いずれも評価0（評価減無し）である。装備品関係についての評価は、本実施の形態においては、ステレオ・コンポ・CD、テレビ、ナビゲーション、空気清浄機、アルミホイール、スポイラー、エアバック、4WS、ABS、工具、ジャッキについて、いずれも評価0（評価減無し）である。

【0059】本実施の形態の場合は、現車走行距離が4,396Kmであるのに対し、基準走行距離が11,000Kmで、この基準走行距離に対する現車は、6,654Km少走行となり、この6,654Km少走行に対する走行距離評価は、¥66,540となる。

【0060】このステップ5-29において図30に示す如き各種減額、修理実費について入力項目全部の入力がされていないと判定すると、ステップ5-34において、各種減額、修理実費の必要入力項目の内、金額の入力されていない項目のある状態で下取り査定の演算を行うか否かの判定をする。このステップ5-34において、各種減額、修理実費の必要入力項目の内、金額の入力されていない項目のある状態で下取り査定の演算を行わないと判定すると、ステップ5-28に戻り、入力されていない各種減額、修理実費の必要入力項目の入力を行う。また、ステップ5-34において各種減額、修理実費の必要入力項目の内、金額の入力されていない項目があつても、この入力不十分の状態で下取り査定の演算を行うと判定すると、ステップ5-35において、現車について下取り本査定ではなく暫定下取り査定として演算を行う。演算が終了すると、ステップ5-36において、演算結果が確定下取り暫定査定額として図34に示す如く表示される。この確定下取り暫定査定額の表示には、査定日付（例えば、平成9年5月17日）、有効期限（例えば、平成9年5月31日）、確定買取り査定額（例えば、¥1,716,743）が同時に表示される。

【0061】また、ステップ5-1において下取り査定が、本査定でない、すなわち暫定下取り査定であると判定すると、ステップ5-37において、下取り車を特定するため、図19に示す如き下取り車情報の入力と車種タイプの選定を行う。ステップ5-37において下取り車情報の入力と車種タイプの選定を行うと、ステップ5-38において、下取り車を特定するために、メーカ

一、車種、タイプ、年式、排気量、グレード、ボディカラー、ミッション、A/C有無、S/R有無、現車走行距離、車検満了年月、登録番号、車台番号、査定担当者を入力する。これらの入力項目は、ステップ5-3における入力項目と同一である。なお、査定担当者は、業者（ディーラー）の誰が担当したかを明確にするためのもので必須入力項目ではない。このステップ5-38において下取り車を特定するための事項を入力すると、ステップ5-39において、現車の下取査定をする際に必要な必須情報の入力が終了したか否かを判定する。すなわち、ステップ5-39においては、現車を査定するに必要な基本データであるメーカー、車種、タイプ、初年度登録年月（年式）、排気量、車検満了年月、現車走行距離の入力が終了しているか否かを判定する。これらのデータが入力されないと次の処理がなされない。これら入力基本データの内、車検満了年月と排気量は必須入力項目ではなく、データの入力がなくても処理を続行することは可能となっている。このステップ5-39において、現車の下取査定をする際に必要な必須情報の入力が終了していないと判定すると、現車の下取査定をする際に必要な必須情報の入力行われるまで待つ。

【0062】このようにして必要事項を入力すると、図19に示す如く顧客情報の入力と車種タイプの選定が終了する。

【0063】ステップ5-39において、現車の下取査定をする際に必要な必須情報の入力が終了したと判定すると、ステップ5-40において、現車についての暫定下取り査定の演算を行う。演算が終了すると、ステップ5-41において、演算結果が確定下取り本査定額として図34に示す如く表示される。この暫定下取り査定額の表示には、査定日付（例えば、平成9年5月17日）、有効期限（例えば、平成9年5月31日）、確定買取り査定額（例えば、¥1,716,743）が同時に表示される。

【0064】このようにしてステップ5において下取り査定処理が行われる。このステップ5において下取り査定処理が行われると、ステップ6において、下取り査定処理が終了したか否かを判定する。このステップ6において下取り査定処理が終了していないと判定するとステップ5に戻り、下取り査定処理を行い、下取り査定処理が終了するまで待つ。また、ステップ6において下取り査定処理が終了したと判定するとステップ4において、ユーザーが購入希望している車が国産車か外国車かを判定する。このようにステップ4においてユーザーが購入希望している車が国産車であると判定すると、ステップ7において、希望する国産車の購入支払い方法は現金か否かを判定する。このステップ7において、希望する国産車の購入支払い方法が現金であると判定すると、ステップ8において、購入国産車の購入予算額が決定しているか否かを判定する。このステップ8において、購入国

産車の購入予算額が決定していると判定すると、ステップ9において、決定している購入予算額を入力する。このステップ9において現金購入予算額の入力が終了すると、ステップ20において、小売り共通在庫に直接アクセスするのか否かを判定する。

【0065】また、ステップ8において購入国産車の購入予算額が決定していないと判定すると、ステップ10において現金購入による予算の作成処理を行う。現金購入による予算の作成は、図35に示す処理フローチャートに基づいて行われる。まず、ステップ10-1において、税込み年収の選択を行う。すなわち、購入者の1年間の税込みの総所得額を図36に示す如き年収区分表に基づいて、該当する年収区分（例えば、350万円以上400万円未満）を特定する。この税込み年収が理想（価格面で）の中古車を選択するときの基準となる。このステップ10-1において税込み年収の選択を行うと、ステップ10-2において、下取りがあるか否かを判定し、下取りがあると判定すると、ステップ10-3において、図37に示す如く、下取査定額（例えば、510,000円）を入力し、この下取査定額を購入予算に加算しないのか、全て加算する（例えば、510,000円）のか、一部加算する（例えば、300,000円）のかを選択する。さらに、購入予算額の欄に、税込み年収に対応して記憶されている理想の購入予算額として予め決定されている購入予算額の中から選択した税込み年収に即した理想的な購入予算額（例えば、2,000,000円）を入力し、下取加算充当額（例えば、510,000円又は300,000円）を入力する。また、下取額の加算額によっては精算して戻し金が有ることがある。この精算戻し金が有る場合には、その金額を表示する。さらに、本体車両価格に当てる予算額（車両充当予算）、中古車を購入する際に必要な諸費用に当てる予算額（諸費用充当予算）、車両を購入する際に必要な保険の支払いに当てる（保険料充当予算）、総支払予算額のそれぞれを入力する、これらの入力にあたっては、諸費用と保険料の両方を現金予算額に含ませるか、諸費用のみを現金予算額に含ませるか、保険料のみを現金予算額に含ませるか、諸費用と保険料の両方を現金予算額に含ませないかのいずれかを選択し、それぞれの項目の箇所に入力する。

【0066】また、ステップ10-2において、下取りがないと判定すると、ステップ10-4において、図38に示す如く、購入予算額の欄に購入予算額（車両本体価格の予算額）と総支払予算額を入力すると共に、本体車両価格に当てる予算額（車両充当予算）、中古車を購入する際に必要な諸費用に当てる予算額（諸費用充当予算）、車両を購入する際に必要な保険の支払いに当てる（保険料充当予算）、総支払予算額のそれぞれを入力する、これらの入力にあたっては、諸費用と保険料の両方を現金予算額に含ませるか、諸費用のみを現金予算額に含ませるか、諸費用と保険料の両方を現金予算額に含ませないかのいずれかを選択し、それぞれの項目の箇所に入力する。

含ませるか、保険料のみを現金予算額に含ませるか、諸費用と保険料の両方を現金予算額に含ませないかのいずれかを選択し、それぞれの項目の箇所に入力する。また、下取額の加算額によっては精算して戻し金が有ることがある。この精算戻し金が有る場合には、その金額を表示する。このステップ10-3において購入予算額及び下取加算充当額を入力し、ステップ10-4において購入予算額の入力を行うと、ステップ10-5において、現金で購入するという購入方法に変更があるか否かを判定する。このステップ10-5において現金での購入方法を変更しないと判定するとステップ10における現金購入による予算の作成処理を終了する。また、ステップ10-5において現金での購入方法を変更すると判定すると、ステップ10-6において、購入方法がローン購入か否かを判定する。このステップ10-6において購入方法がローン購入であると判定したときは、ステップ16におけるローン予算の作成処理に移り、ステップ10-6において購入方法がローン購入でないと判定したときは、購入方法がリース購入しかないので、ステップ19におけるリース購入による予算の作成処理に移る。

【0067】また、ステップ7において、希望する国産車の購入支払い方法が現金購入でないと判定すると、ステップ11において、購入方法がローン購入か否かを判定する。このステップ11において購入方法がローン購入であると判定すると、ステップ12において、購入国産車のローン予算額が決定しているか否かを判定する。このステップ12において、購入国産車のローン予算額が決定していると判定すると、ステップ13において、通常ローンか否かの判定をする。このステップ13において、通常ローンであると判定をすると、ステップ14において、決定しているローン予算額によって通常ローンの予算の作成をする。また、ステップ13において通常ローンでないと判定をすると、ステップ15において、決定しているローン予算額によってフリーローンの予算の作成をする。ここにいう通常ローンは、購入金額全体を対象とし、普通一般に行われている頭金額、月々返済額を決めるもので、フリーローンは、3年後、5年後等に支払い残として残る残価を予め設定し、設定した残価になるよう3年、5年等のローンを組むものである。ステップ12において購入国産車のローン予算額が決定していないと判定すると、ステップ16において、ローン予算の作成処理を行う。ローン予算の作成は、図39に示す処理フローチャートに基づいて行われる。まず、ステップ16-1において、税込み年収の選択を行う。すなわち、購入者の1年間の税込みの総所得額を図36に示す如き年収区分表に基づいて、該当する年収区分（例えば、350万円以上400万円未満）を特定する。この税込み年収が理想（価格面で）の中古車を選択するときの基準となる。このステップ16-1において

税込み年収の選択を行うと、ステップ16-2において、通常ローンか否かの判定を行い、このステップ16-2において通常ローンであると判定すると、ステップ16-3において、下取りがあるか否かを判定し、下取りが有ると判定すると、ステップ16-4において、図40に示す如く、概算予算の入力を行う。この概算予算の入力では、下取査定額（例えば、510,000円）を入力し、この下取査定額をローン予算に加算しないのか、全て加算する（例えば、510,000円）のか、一部加算する（例えば、300,000円）のかを選択する。さらに、ローン予算額（車両本体価格の予算額）の欄に、税込み年収に対応して記憶されている理想的な購入予算額として予め決定されているローン予算額の中から選択した税込み年収に即した理想的なローン予算額（例えば、2,000,000円）を入力し、下取加算充当額（例えば、510,000円又は300,000円）を入力する。また、下取額の加算額によっては精算して戻し金が有ることがある。この精算戻し金が有る場合には、その金額を表示する。さらに、本体車両価格に当てる予算額（車両充当予算）、中古車を購入する際に必要な諸費用に当てる予算額（諸費用充当予算）、車両を購入する際に必要な保険の支払いに当てる（保険料充当予算）、総支払予算額のそれぞれを入力する。これらの入力にあたっては、諸費用と保険料の両方を現金予算額に含ませるか、諸費用のみを現金予算額に含ませるか、保険料のみを現金予算額に含ませるか、諸費用と保険料の両方を現金予算額に含ませないかのいずれかを選択し、それぞれの項目の箇所に入力する。

【0068】かかる後、図41に示す如く、予算の入力を行う。図41に示す予算の入力では、購入予算の内訳で、本体車両価格に当てる予算額（車両充当予算）、中古車を購入する際に必要な諸費用に当てる予算額（諸費用充当予算）、車両を購入する際に必要な保険の支払いに当てる（保険料充当予算）、総支払予算額のそれぞれを入力する。これらの入力にあたっては、諸費用と保険料の両方を現金予算額に含ませるか、諸費用のみを現金予算額に含ませるか、保険料のみを現金予算額に含ませるか、諸費用と保険料の両方を現金予算額に含ませないかのいずれかを選択し、それぞれの項目の箇所に入力する。

【0069】ステップ16-3において下取車がないと判定すると、ステップ16-5において、図42に示す如く、概算予算の入力を行う。この概算予算の入力では、下取車がないので購入予算額の欄に購入ローン予算額とだけを入力する。さらに、本体車両価格に当てる予算額（車両充当予算）、中古車を購入する際に必要な諸費用に当てる予算額（諸費用充当予算）、車両を購入する際に必要な保険の支払いに当てる（保険料充当予

算）、総支払予算額のそれぞれを入力する。これらの入力にあたっては、諸費用と保険料の両方を現金予算額に含ませるか、諸費用のみを現金予算額に含ませるか、保険料のみを現金予算額に含ませるか、諸費用と保険料の両方を現金予算額に含ませないかのいずれかを選択し、それぞれの項目の箇所に入力する。

【0070】かかる後、図42に入力したローン購入予算額を基に、図43に示す如く、予算の入力を行う。図41に示す予算の入力では、購入予算の内訳で、本体車両価格に当てる予算額（車両充当予算）、中古車を購入する際に必要な諸費用に当てる予算額（諸費用充当予算）、車両を購入する際に必要な保険の支払いに当てる（保険料充当予算）、総予算額のそれぞれを入力し、支払い方法では、下取加算充当額、現金支払額、頭金合計額（下取加算充当額と現金支払額とを加算した額）、ローン設定額、支払回数指定、ローンタイプ（月々均等あるいはボーナス併用）のそれぞれを入力し、支払明細欄では、支払回数、初回支払額、月々支払額、ボーナス払い、ボーナス回数、頭金、月々払い総額、ボーナス払総額、総支払額、ローン元金、ローン金利を入力する。

【0071】ステップ16-2において通常ローンでない、すなわちフリーローンであると判定すると、ステップ16-6において、下取りがあるか否かを判定し、下取りが有ると判定すると、ステップ16-7において、図44に示す如く、概算予算の入力を行う。この概算予算の入力では、下取査定額（例えば、510,000円）を入力し、この下取査定額をローン予算に加算しないのか、全て加算する（例えば、510,000円）のか、一部加算する（例えば、300,000円）のかを選択する。さらに、ローン予算額（車両本体価格の予算額）の欄に、税込み年収に対応して記憶されている理想的な購入予算額として予め決定されている購入ローン予算額の中から選択した税込み年収に即した理想的なローン予算額（例えば、2,000,000円）を入力し、下取加算充当額（例えば、510,000円又は300,000円）を入力する。また、下取額の加算額によっては精算して戻し金が有ることがある。この精算戻し金が有る場合には、その金額を表示する。さらに、本体車両価格に当てる予算額（車両充当予算）、中古車を購入する際に必要な諸費用に当てる予算額（諸費用充当予算）、車両を購入する際に必要な保険の支払いに当てる（保険料充当予算）、総支払予算額のそれぞれを入力する。これらの入力にあたっては、諸費用と保険料の両方を現金予算額に含ませるか、諸費用と保険料の両方を現金予算額に含ませないかのいずれかを選択し、それぞれの項目の箇所に入力すると共に想定車両残価と総支払予算額を入力する。

【0072】かかる後、図45に示す如く、予算の入力を行う。図45に示す予算の入力では、購入予算の内訳で、本体車両価格に当てる予算額（車両充当予算）、中

古車を購入する際に必要な諸費用に当てる予算額（諸費用充当予算），車両を購入する際に必要な保険の支払いに当てる（保険料充当予算），総予算額のそれぞれを入力し、支払い方法では、下取加算充当額、現金支払額、頭金合計額（下取加算充当額と現金支払額とを加算した額），ローン設定額、支払回数指定、ローンタイプ（月々均等あるいはボーナス併用）のそれぞれを入力し、支払明細欄では、支払回数、初回支払額、月々支払額、ボーナス払い、ボーナス回数、頭金、月々払い総額、ボーナス支払額、総支払額、ローン元金、ローン金利を入力する。

【0073】ステップ16-6において下取車がないと判定すると、ステップ16-8において、図46に示す如く、概算予算の入力を行う。この概算予算の入力では、下取車がないので購入予算額の欄にローン予算額とだけを入力する。さらに、本体車両価格に当てる予算額（車両充当予算），中古車を購入する際に必要な諸費用に当てる予算額（諸費用充当予算），車両を購入する際に必要な保険の支払いに当てる（保険料充当予算），総支払予算額のそれぞれを入力する。これらの入力にあたっては、諸費用と保険料の両方を現金予算額に含ませるか、諸費用と保険料の両方を現金予算額に含ませないかのいずれかを選択し、それぞれの項目の箇所に入力すると共に想定車両残価と総支払予算額を入力する。

【0074】かかる後、図46に入力したローン予算額を基に、図47に示す如く、予算の入力を行う。図41に示す予算の入力では、購入予算の内訳で、本体車両価格に当てる予算額（車両充当予算），中古車を購入する際に必要な諸費用に当てる予算額（諸費用充当予算），車両を購入する際に必要な保険の支払いに当てる（保険料充当予算），総予算額のそれぞれを入力し、支払い方法では、下取加算充当額、現金支払額、頭金合計額（下取加算充当額と現金支払額とを加算した額），ローン設定額、支払回数指定、ローンタイプ（月々均等あるいはボーナス併用）のそれぞれを入力し、支払明細欄では、支払回数、初回支払額、月々支払額、ボーナス払い、ボーナス回数、頭金、月々払い総額、ボーナス支払額、総支払額、ローン元金、ローン金利を入力する。

【0075】ステップ16-4において下取額を加算して通常ローン予算額を入力し、ステップ16-5において下取額を加算しないで通常ローン予算額を入力し、ステップ16-7において下取額を加算してフリーローン予算額を入力し、ステップ16-8において下取額を加算しないでフリーローン予算額を入力すると、ステップ16-9において、ローンで購入するという購入方法に変更があるか否かを判定する。このステップ16-9においてローンでの購入方法を変更しないと判定するとステップ16-9におけるローン予算の作成処理を終了する。また、ステップ16-9においてローンでの購入方法を変更すると判定すると、ステップ16-10において

て、購入方法を現金に変更するか否かを判定する。このステップ16-10において購入方法が現金に変更すると判定すると、ステップ10における現金予算の作成処理に移り、ステップ16-10において購入方法を現金に変更しないと判定すると、ステップ19におけるリース予算の作成処理に移る。

【0076】また、ステップ11において購入方法がローンでないと判定すると、リース購入であり、ステップ17において、購入国産車の購入リース予算額が決定しているか否かを判定する。このステップ17において、購入国産車の購入リース予算額が決定していると判定すると、ステップ18において、決定しているリース購入予算額を入力する。このステップ18においてリース購入予算額の入力が終了すると、ステップ20において、小売り共通在庫に直接アクセスするのか否かを判定する。

【0077】また、ステップ17において購入国産車のリース購入予算額が決定していないと判定すると、ステップ19においてリース予算の作成処理を行う。リース予算の作成は、図48に示す処理フローチャートに基づいて行われる。まず、ステップ19-1において、税込み年収の選択を行う。すなわち、購入者の1年間の税込みの総所得額を図36に示す如き年収区分表に基づいて、該当する年収区分（例えば、350万円以上400万円未満）を特定する。この税込み年収が理想（価格面で）の中古車を選択するときの基準となる。このステップ19-1において税込み年収の選択を行うと、ステップ19-2において、下取りがあるか否かを判定し、下取りが有ると判定すると、ステップ19-3において、

図49に示す如く、下取車ありの場合の中古車リース購入の概算予算の入力を行う。この概算予算の入力では、下取査定額（例えば、510,000円）を入力し、この下取査定額を購入予算に加算しないのか、全て加算する（例えば、510,000円）のか、一部加算する（例えば、300,000円）のかを選択する。さら

に、購入予算額の欄に、税込み年収に対応して記憶されている理想の購入予算額として予め決定されている購入予算額の中から選択した税込み年収に即した理想的な購入予算額（例えば、2,000,000円）を入力し、下取加算充当額（例えば、510,000円又は300,000円）を入力する。また、下取額の加算額によっては精算して戻し金が有ることがある。この精算戻し金が有る場合には、その金額を表示する。さらに、本体車両価格に当てる予算額（車両充当予算），中古車を購入する際に必要な諸費用に当てる予算額（諸費用充当予算），車両を購入する際に必要な保険の支払いに当てる（保険料充当予算），総支払予算額のそれぞれを入力する。これらの入力にあたっては、諸費用と保険料の両方を現金予算額に含ませるか、諸費用と保険料の両方を現金予算額に含ませないかのいずれかを選択し、それぞれ

の項目の箇所に入力する。

【0078】かかる後、図50に示す如く、下取車ありの場合の中古車リース購入の確定予算の入力を行う。図50に示す予算の入力では、購入予算の内訳で、本体車両価格に当てる予算額（車両充当予算）、中古車を購入する際に必要な諸費用に当てる予算額（諸費用充当予算）、車両を購入する際に必要な保険の支払いに当てる（保険料充当予算）、総予算額のそれぞれを入力し、支払い方法では、下取加算充当額、現金支払額、頭金合計額（下取加算充当額と現金支払額を加算した額）、リース残総額、リース期間指定、支払いタイプ（月々均等あるいはボーナス併用）のそれぞれを入力し、支払明細欄では、リース期間、初回支払額、月々支払額、ボーナス払い、ボーナス回数、頭金、月々払い総額、ボーナス払総額、総支払額、リース元金、リース金利を入力する。

【0079】また、ステップ19-2において、下取車がないと判定すると、ステップ19-4において、図51に示す如く、下取車なしの場合の中古車リース購入の概算予算の入力を行う。この概算予算の入力では、下取車がないので購入予算額の欄に購入予算額（車両本体価格の予算額）とリース期間だけを入力することになる。かかる後、図52に示す如く、下取車なしの場合の中古車リース購入の確定予算の入力を行う。

【0080】このステップ19-3において購入予算額、下取加算充当額、リース期間等を入力し、ステップ19-4において購入予算額及びリース期間の入力をを行うと、ステップ19-5において、リース購入による購入方法を別な購入方法に変更するか否かを判定する。このステップ19-5においてリース購入による購入方法を変更しないと判定するとステップ19におけるリース予算の作成処理を終了する。また、ステップ19-5においてリースでの購入方法を変更すると判定すると、ステップ19-6において、購入方法をローン購入に変更するか否かを判定する。このステップ19-6において購入方法をローンに変更すると判定したときは、ステップ16におけるローン購入による予算の作成処理に移り、ステップ19-6において購入方法をローンに変更しないと判定したときは、購入方法が現金ということになるので、ステップ10における現金購入による予算の作成処理に移る。

【0081】このステップ9、ステップ10、ステップ14、ステップ15、ステップ16、ステップ18、ステップ19において購入予算額の入力が終了すると、ステップ20において、作成した予算の保存をするか否かの判定を行う。このステップ20において予算の保存をすると判定すると、ステップ21において予算の保存を行う。このステップ21において予算の保存を行なうか、ステップ20において予算の保存をしないと判定すると、ステップ22において、購入予算の変更をするかの

判定を行う。この購入予算の変更は、購入方法の変更、購入金額、ローンの初回金の額等、ステップ7～19において設定した内容のすべてが対象となる。このステップ22において購入予算の変更をすると判定すると、ステップ7に戻る。また、ステップ22において購入予算を変更しないと判定すると、ステップ23において、予算の対比を行うか否かを判定する。この予算の対比は、今回作成した予算と前回作成した予算とを対比する訳であるが、前回作成した予算が保存されていない場合は対比はできない。したがって、予算の対比ができる場合は、ステップ21において作成した予算を保存し、ステップ22において予算を変更して予算を再作成した場合に可能となる。このステップ23において予算の対比を行うと判定すると、ステップ24において、予算の対比を行う。このステップ24において予算の対比を行うと、ステップ25において対比した予算のいずれかの予算を選択する。このステップ25において予算の選択を行うか、ステップ23において予算の対比を行わないと判定すると、ステップ26において、小売り共通在庫に直接アクセスするか否かを判定する。この小売り共通在庫というのは、ディーラーが所有しているユーザーに販売（小売り）する中古車を他のディーラーの顧客に対しても販売できるように各ディーラー間で提携して所有する共通市場に共通の在庫として登録してある中古車のことである。したがって、小売り共通在庫に直接アクセスするということは、現在、共通市場に共通の在庫として登録してある中古車を直接検索して購入希望の中古車を選択することである。このステップ26において小売り共通在庫に直接アクセスすると判定すると、ステップ30においてセミアリティ処理を行う。

【0082】また、ステップ26において小売り共通在庫に直接アクセスしないと判定すると、ステップ28において展示車両の購入相談か否かを判定する。展示車両の購入相談というのは、ディーラーの展示場に実際に展示されている車両を購入を希望することで、小売り共通在庫での検索を必要としないものである。このステップ28において展示車両の購入相談であると判定すると、ステップ29において、アリティ処理を行う。また、ステップ28において展示車両の購入相談でないと判定すると、フルバーチャル処理が行われる。すなわち、ステップ28において展示車両の購入相談でないと判定すると、ステップ30において、図53に示す如き購入予定車の理想条件の設定を行う。購入予定車の理想条件には、イメージ、大きさ、ボディカラー、定員、ミッション、駆動輪、燃料形態、ナンバープレート、排気量、年式／使用期間がある。この図53に示す如き購入予定車の理想条件を順次選択していく。ステップ30において表示された購入予定車の理想条件の内イメージを選択すると、ステップ31において、購入予定車についての仕様形態（イメージ）を図54に示す如く一覧表示する。

41

このイメージは、購入希望する車の外観がどのようなものであるかを特定するもので、同じ形態を探るにしてもメーカーによって異なっており、漠然と車の形態を特定するもので、イメージには、ハッチバック、セダン、ハードトップ、クーペ、オープン又はキャンバストップ、クロカン4WD、ワゴン/バン(2Box)、トラック、バスがある。ステップ31においてイメージを一覧表示すると、ステップ32において、これらのイメージの中から希望するイメージを選択する。

【0083】ステップ32において希望するイメージの選択を行うと、ステップ33において、図55に示す如く購入予定車の全体の大きさを一覧表示する。この大きさは、車の大小を自動車の大小の種別にしたがって特定するもので、大きさには、大型車、中型車、小型車、軽自動車がある。このステップ33において購入予定車の全体の大きさの一覧表示を行うと、ステップ34において、この大きさの中から希望する大きさを選択する。

【0084】ステップ34において希望する大きさを選択すると、ステップ35において、図56に示す如く、購入予定車についてのボディカラーの色系を一覧表示する。このボディカラーの色系は、購入予定車として希望する色系統を示すもので、単色を示すものではなく、同じ色系統でもメーカーによって異なっており、漠然とどういった色系統を希望するかを示すものである。ボディカラーの色系には、白系、真珠系、黄系、橙系、桃系、茶系、赤系、緑系、青系、紺系、紫系、金系、銀系、鉄系、黒系がある。ステップ35において購入予定車のボディカラーの色系の一覧表示を行うと、ステップ36において、このボディカラーの色系の中から希望するボディカラーの色系を選択する。ステップ36において希望するボディカラーの色系を選択すると、ステップ37において、図57に示す如く、購入予定車についての乗車定員を一覧表示する。この乗車定員は、購入予定車に乗車できる最大人数のことで、乗車定員には、1人、2人、3人、4人、5人、6人、7人、8人、9人、10人以上がある。このステップ37において購入予定車の乗車定員の一覧表示を行うと、ステップ38において、この乗車定員の中から希望する乗車定員数を選択する。

【0085】ステップ38において希望する乗車定員数を選択すると、ステップ39において、図58に示す如きミッションから希望するミッションの選択を行う。このミッションには、オートマチック・トランス・ミッション(オートマチック)とマニュアル・トランス・ミッション(マニュアル)がある。このステップ33においてミッションの選択を行うとステップ40において、図59に示す如き駆動輪(方式)から希望する駆動輪の選択を行う。この駆動輪には、2WD(前輪駆動又は後輪駆動)と4WD(4輪駆動)がある。このステップ40において駆動輪の選択を行うとステップ41において、図60に示す如き燃料形態から希望する燃料形態の

42

選択を行う。この燃料形態には、ガソリン(ガソリンエンジン)と軽油(ディーゼルエンジン)がある。このステップ41において燃料形態の選択を行うと、ステップ42において、図61に示す如きナンバープレートから希望するナンバープレートの選択を行う。このナンバープレートには、1ナンバー、3ナンバー、4ナンバー、5/7ナンバーがある。このナンバープレートは、予め基準が定められており、1ナンバーは、普通貨物車(トラック)、3ナンバーは、普通乗用車(排気量2000ccを超える乗用車)、4ナンバーは小型貨物車(商用車)、5/7ナンバーは、小型乗用車(排気量2000cc以下の乗用車)となっている。また、このナンバープレートは、購入希望する車の大きさとも関係してくる(例えば、大きさを大型車として5/7ナンバーを希望することはできない)。

【0086】ステップ42においてナンバープレートの選択を行うと、ステップ43において、図62に示す如く、購入予定車についての排気量を一覧表示する。この排気量は、購入予定車として希望する排気量枠を示すもので、排気量には、1000cc以下、1001cc~1500cc、1501cc~2000cc、2001cc~2500cc、2501cc~3000cc、3001cc~3500cc、3501cc~4000cc、4001cc~4500cc、4501cc~6000cc、6001cc以上がある。この排気量の選択は、購入希望する車の大きさ、ナンバープレートと関係している。このステップ43において購入予定車についての排気量の一覧表示が行われると、ステップ44において、一覧表示された排気量の中から希望する排気量の選択を行う。ステップ44において排気量の選択を行うと、ステップ45において、図63に示す如き使用期間又は年式のいずれかについて、希望する使用期間又は希望する年式の選択を行う。使用期間の場合は、使用した年限(例えば、4年)を選択し、年式の場合は、初年度登録年(例えば、平成5年)を選択する。この使用期間又は年式の選択は、中古車の価格帯等を特定する上で重要なものである。

【0087】このステップ45において使用期間又は年式の設定を行うと、ステップ46において、ステップ30における購入予定車の理想条件の入力を全て行ったか否かを判定し、このステップ46において購入予定車の理想条件の入力を全て行っていないと判定すると、購入予定車の理想条件の入力が全て行われるのを待つ。また、ステップ46において、購入予定車の理想条件の入力を全て行ったと判定すると、ステップ47において、購入予定車の車種・グレードが未定か否かを判定する。ステップ47において購入予定車の車種・グレードが未定であると判定すると、ステップ48においてフルバーチャル処理を行い、ステップ47において購入予定車の車種・グレードが未定でない、すなわち、購入予定車の車種・グレードが決定していると判定すると、ステップ

10

20

30

40

50

49においてセミバーチャル処理を行う。ステップ47において購入予定車の車種・グレードが未定であると判定し、ステップ48のフルバーチャル処理を選択すると、まず、ステップ50において、購入希望の車について希望するメーカーはないのか否かを判定する。このステップ50において希望するメーカーがないと判定すると、ステップ51において、図64に示す如く国産メーカー名を一覧表示する。このステップ51において国産メーカー名の一覧表示を行うと、ステップ52において、この国産メーカー名の中から希望するメーカー名（例えば、トヨタ）を選択する。また、ステップ50において希望するメーカーがあると判定すると、ステップ53において、希望する国産メーカー名を入力する。このようにステップ52において希望するメーカー名（例えば、トヨタ）を選択し、ステップ53において希望する国産メーカー名を入力すると、ステップ54において、図65に示す如く選定したメーカーの中で予算に合った車種・タイプを一覧表示する。予算に合った車種・タイプであるため、車種・タイプによって初年度登録月が異なってくる。このステップ54において予算に合った車種・タイプを一覧表示すると、ステップ55において、一覧表示した車種・タイプの中から希望する車種・タイプ（例えば、クラウン・4ドアハードトップ、初年度登録：平成5年8月）を選択する。

【0088】このステップ55において希望する車種・タイプ（例えば、クラウン・4ドアハードトップ、初年度登録月：平成5年8月）を選択すると、ステップ56において、図66に示す如く、選択した車種・タイプの外観をデジタル・カメラで写した車体全体の写真を見て確認する。ステップ56において選択した車種・タイプの確認をすると、ステップ57において、選定した車種・タイプについてのグレードを図67に示す如く一覧表示する。ここで例として挙げたクラウン・4ドアハードトップ（初年度登録月：平成5年8月）のグレードは、5種類で、RサルーンG マルチV, RサルーンG, Rサルーン マルチV, Rサルーン, Rツーリング マルチVである。このステップ57において選定した車種・タイプについてのグレードの一覧表示をすると、ステップ58において、一覧表示したグレードの中から希望するグレード（例えば、RサルーンG マルチV）を選択する。ステップ58において、一覧表示したグレードの中から希望するグレードを選択すると、ステップ59において、図68に示す如く選択したグレードの確認を行う。図68に示される確認事項は、メーカー名（トヨタ）、車種（クラウン）、タイプ（4ドアハードトップ）、排気量（3000cc）、グレード（RサルーンG マルチV）、年式（平成5年8月発売）、ミッション（フロア4速オートマチック）、適正走行距離（37,600km）、流通小売価格（2,340千円）、車体の全体写真である。適正走行距離は、当該車の平均的な

総走行距離を示したもので、流通小売価格というのは、外観上損傷がなく、平均的距離を乗った車の買取価格から適正利益を上乗せして決定した標準小売販売価格のことである。また、図68に示される確認事項は、右上隅に暗号化された数字が、例えば、GSAX2290Xと表示されている。このGSAX2290Xは、購入予定した車のオークション落札価格（¥2,229,000）を示したもので、流通小売価格（¥2,340,000）に対するオークション落札価格である。このオークション落札価格と流通小売価格を比較することによって当該中古車の粗利益を瞬時に知ることが可能となる。

【0089】ステップ59において選択したグレードの確認を行うと、ステップ60において、図69に示す如く選択した車種・タイプ、グレードのカタログ情報の表示を行う。このステップ60においてカタログ情報の表示を行うと、ステップ61において、選択したグレードを保存するか否かを判定する。このステップ61において選択したグレードを保存しないと判定すると、ステップ62において、小売共通在庫に登録されている希望する各種条件に適合した中古車の検索を行う。また、このステップ61において選択したグレードを保存すると判定すると、ステップ63において、図65に示す如く選定したメーカーの中で予算に合った車種・タイプを一覧表示する。このステップ63において予算に合った車種・タイプを一覧表示すると、ステップ64において、一覧表示した車種・タイプの中から前回選定した希望した車種・タイプのグレードとは異なる車種・タイプ（例えば、マークII・4ドアハードトップ、初年度登録：平成7年1月）を選択する。ステップ64において希望する車種・タイプを選択すると、ステップ65において、選択した車種・タイプを確認する。ステップ65において選択した車種・タイプの確認をすると、ステップ66において、選定した車種・タイプについてのグレードを一覧表示し、ステップ67において、この一覧表示されたグレードの中から希望するグレード（グランデG マルチV）を選択する。

【0090】ステップ67において、一覧表示したグレードの中から希望するグレードを選択すると、ステップ68において、図68と同様に新たに選択した車種・タイプのグレードの確認を行う。確認事項は、メーカー名（トヨタ）、車種（マークII）、タイプ（4ドアハードトップ）、排気量（3000cc）、グレード（グランデG マルチV）、年式（平成7年1月発売）、ミッション（フロア4速オートマチック）、適正走行距離（19,700km）、流通小売価格（2,185千円）、車体の全体写真である。このステップ68において車種・タイプのグレードの確認を行うと、ステップ69において、図69に示すカタログ情報と同様に新しく選択した車種・タイプ、グレードのカタログ情報の表示を行う。このステップ69においてカタログ情報の表示を行

うと、ステップ70において、前回保存した車種・タイプのグレードと新しく選定した車種・タイプのグレードとの対比を行うか否かを判定する。このステップ70において前回保存した車種・タイプのグレードと新しく選定した車種・タイプのグレードとの対比を行なわないと判定するとステップ62に移る。また、このステップ70において前回保存した車種・タイプのグレードと新しく選定した車種・タイプのグレードとの対比を行なわないと判定すると、図70に示す如く、ステップ71において、前回選択した車種・タイプのグレードと今回新しく選択した車種・タイプのグレードとを対比して表示する。そして、ステップ72において、この表示された2種類の車種・タイプのグレードのいずれかを選択する。このステップ72においていずれかの車種・タイプのグレードを選択すると、ステップ73において、サンルーフ/エアバックの希望設定を行う。すなわち、このステップ73においては、ユーザーが購入希望する中古車にサンルーフの装備のあるものを希望するか、エアバックが装備されているものを希望するかの希望設定を行う。このステップ73においてユーザーが購入希望する中古車にサンルーフの装備のあるものを希望すれば、小売価格も高くなり、購入予算に影響してくる。同様に、エアバックが装備されているものを希望すれば、小売価格も高くなり、購入予算に影響してくる。このステップ73におけるサンルーフ/エアバックの希望設定では、サンルーフ及びエアバック共に希望する場合、サンルーフ又はエアバックのいずれかを希望する場合、サンルーフ及びエアバックの両方を希望しない場合のいずれかを選択することになる。

【0091】ステップ73においてサンルーフ/エアバックの希望設定を行うと、ステップ74において、希望走行距離を入力する。この希望走行距離は、希望する車種・タイプのグレードの適正走行距離を基準に、適正走行距離より少走行の距離、適正走行距離と同様の距離、適正走行距離より多走行距離のいずれかを具体的な数値で入力する。このステップ74において希望走行距離を入力を行うと、ステップ75において、サンルーフ/エアバック、希望走行距離によって予算額を超過したか否かを判定する。すなわち、ステップ73においてサンルーフ及び又はエアバックの装備している車を希望すると予算額が超過し、希望走行距離が適正走行距離より多走行距離の場合は、予算額が超過する。ステップ75においてサンルーフ/エアバック、希望走行距離によって予算額が超過したと判定すると、ステップ76において予算額の変更を行うか否かを判定する。このステップ76においては、ユーザーが希望する中古車の条件が変更になったのであるから予算額を変更してまで希望する中古車を求めるのかの判定を行

う。このステップ76において予算額の変更を行わないと判定すると、ステップ73に戻り、ステップ76において予算額の変更を行わないと判定すると、ステップ77において、図71に示す如く、装備品の希望を選択する。装備品としては、ステレオ・コンポ・CD、テレビ、ナビゲーション、空気清浄機、アルミホイール、エアロパーツがある。これらについては、装備品のグレードによってオプションA、オプションB、オプションCの区別がある。このステップ77において装備品の希望を選択すると、ステップ78において、装備品の希望によって予算額が超過したか否かを判定する。ステップ78において装備品の装備された車を希望しないことによって予算額に変更がなく、予算額が超過していないと判定すると、ステップ80に移る。また、この装備品の希望による予算額の超過は、図71に示す如き装備品のいずれかが装備されていることを希望することによって、予算超過となる。ステップ78において装備品の希望によって予算額が超過したと判定すると、ステップ79において、予算額の変更をするか否かを判定する。このステップ73において予算額の変更をしないと判定すると、ステップ77に戻り、装備品の希望をしないに変更する。また、ステップ79において予算額の変更をすると判定すると、ステップ80において、図72に示す如く、在庫検索条件の確認を行う。この在庫検索条件の確認には、右上隅に暗号化された数字が、図6.8と同様にGSAX2290Xと表示されている。このGSAX2290Xは、在庫検索を行うときの当該車種・グレードの標準の中古車のオークション落札予測価格である。在庫検索条件としては、メーカー名(トヨタ)、車種(クラウン)、タイプ(4ドアハードトップ)、排気量(3000cc)、グレード(RサルーンG マルチV)、年式(平成5年8月発売)、ミッション(フロア4速オートマチック)、ボディカラー(真珠)、走行距離(30,000km前後を希望)、車両価格(2,800千円を希望)がある。このステップ80において在庫検索条件の確認を行うと、ステップ62に移る。

【0092】ステップ61において選択したグレードを保存しないと判定するか、ステップ70において前回保存した車種・タイプのグレードと新しく選定した車種・タイプのグレードとの対比を行なわないと判定するか、ステップ80において在庫検索条件の確認を行うとステップ62において、小売共通在庫に登録されている希望する各種条件に適合した中古車の検索を行う。このステップ62において小売共通在庫に登録されている希望する各種条件に適合した中古車の検索を行うと、ステップ81において、条件に合った中古車があつたか否かの判定を行う。このステップ81において条件に合った中古車があつたと判定すると、ステップ82において、選定した車種・タイプのグレードの小売共通在庫に登録された在庫状況の表示を行う。また、このステップ81にお

いて条件に合った中古車が無いと判定すると、ステップ83において、希望する条件に合った中古車の予約登録を行うか否かの判定を行う。すなわち、選定した車種・タイプのグレードの小売共通在庫にユーザーが希望する条件に合った中古車が登録されていないため、現在、ユーザーが希望する条件に合った中古車を購入できない状態となっており、ユーザーが、希望する条件に合った中古車が小売共通在庫に登録されるまで待つと主張した場合に、希望する条件に合った中古車が小売共通在庫に登録されたときに最先に購入交渉権を得るために予約を行う登録(予約登録)をするか否かを判定する。

【0093】ステップ83において希望する条件に合った中古車の予約登録を行わないと判定すると、ステップ84において、中古車購入の希望条件を変更するか否かの判定を行う。すなわち、ユーザーの希望する条件に合った中古車が見つからない場合に、希望する条件を変更する意思があるか否かを判定する。このステップ84において中古車購入の希望条件を変更しないと判定すると、この処理フローは、終了する。また、ステップ84において中古車購入の希望条件を変更する、すなわち、ユーザーが中古車購入の希望条件を変更することによって小売共通在庫に登録されている中古車の購入を希望する場合には、ステップ50に戻り、ユーザーの中古車購入の希望条件の選定をやり直す。また、ステップ83において希望する条件に合った中古車の予約登録を行うと判定すると、ステップ85において、中古車購入の予約登録処理を行う。この予約登録は、ユーザーが希望する条件の中古車を希望しており、当該希望条件に適合した中古車が小売共通在庫として登録されたときに優先的に売買交渉権を確保する登録である。この予約登録によって、ユーザーは該当する車が市場に出されてた時に優先的に購入する権利が確保され、ディーラーは、現在どのような車が求められているかが明確になり、中古車在庫の回転を早くするための情報として役に立つ。まず、図73に示す如く、在庫なしの画面表示が成されると、ユーザーは、処理を終了するか予約登録をするかの選択を行う。予約登録をする場合は、まず、一定の予約金(例えば、10,000円)を入金し、図74に示す如く、予約条件の選択を行う。すなわち、ユーザーが選択した車種・タイプ、グレードの詳細な条件を1つ又は2つ表示し、自分が希望する車種・タイプ、グレードの車を選択する。さらに、図75に示す如きユーザーの顧客情報を入力することによって予約登録を完了する。

【0094】また、ステップ81において条件に合った中古車があったと判定すると、ステップ82において、図76に示す如く選定した車種・タイプのグレードの小売共通在庫に登録された在庫状況を最高価格のものから低価格のものへ価格順に(降順)表示されている。図76では、共通在庫総数352,117台中、ユーザーが指定した同一車種/タイプのものが24,398台ある

ことを示しており、この内、年式が平成5年8月発売のものは、9台あり5台が最高価格のものから表示されている。図中、商談中となっているものは、現在他のユーザーが購入するかどうか検討している状態を示している。この商談中のものは、商談中の表示が解除されるまで購入交渉はできない。この表示方法には、図77に示す如く、価格順表示(昇順、降順)、車検順表示(多順、少順)、走行順表示(多順、少順)がある。このステップ82において選定した車種・タイプのグレードの小売共通在庫に登録された在庫状況の表示が行われると、ステップ86において、図76に示される如く表示された小売共通在庫の在庫の中から購入希望車両(例えば、ボディカラーにシルキーエレガントトーニングII、初年度登録が平成5年10月、価格が2,520,000円の車)を選定する。ステップ86において購入希望車両を選定すると、ステップ87において、小売共通在庫の在庫中より選定した車両の詳細情報を図78に示す如く表示する。

【0095】図78における在庫車両の詳細情報としては、メーカー名(トヨタ)、車種(クラウン)、タイプ(4ドアハードトップ)、グレード(RサルーンG マルチV)、ミッション(フロア4速オートマチック)、年式(平成5年10月登録)、ボディカラー(シルキーエレガントトーニングII)、イメージカラー(シルキーホワイト)、走行距離(34,500km)、車検満了日(平成10年10月22日)、修復歴の有無(無し)、定期点検記録簿(有り)、あがり区分(自家用)、装備記号、車両所在地(水道橋ショールーム)、車両本体価格(2,520,000円)、整備点検受渡し(6ヶ月または5000km)が明示される。この図78において、車両ナンバーとして表示されるものは隠し数字で、図78に示されている車両No000001は、業者コード(当該車両を所有している業者のコード番号)で、車両No00003は、小売共通在庫として登録されている在庫車両番号を示している。また、この車両番号No000001の下段に示されるNo002400は、自社在庫登録の場合は、当該車両の仕入総額を示し、当該車両が小売共通在庫である場合には、当該車両の仕切価格(当該車両を所有する業者が他の業者に当該車両を売り渡す業者間取り引き価格)を示している。さらに、この車両番号No000003の下段に示されるNo000120は、収益(粗利)を表示している。すなわち、図78に示される車両を2,520,000円で販売すると、当該車両を自社が所有する(自社在庫登録)場合には、販売価格(車両本体価格)から仕入総額を差し引いた粗利益額(120,000円)を表示することになる。この仕入総額(又は、仕切価格)と粗利益額とを表示することにより車両本体価格の調整を行う際に瞬時にその調整が可能か否か明かとなるので、誰にでも簡単に販売価格の調整を行うことができ、熟練を要せず販売交渉をおこなうことができる。この図78に

示される車両の個別のデータは、備考情報として、図7-9に示す如く表示することができ、当該在庫車両の所有業者情報を図8-0に示す如く表示することができる。

【0096】ステップ8-7において小売共通在庫の在庫中より選定した車両の詳細情報を表示すると、ステップ8-8において、この選定した中古車を購入するか否かを判定する。ステップ8-8において、この選定した中古車を購入しないと判定すると、フローを終了する。また、ステップ8-8においてこの選定した中古車を購入すると判定すると、ステップ8-9において、購入方法は現金か否かを判定する。購入方法が現金であると判定すると、ステップ9-0において、現金での支払い方法の演算処理を行う。また、ステップ8-8において選定した中古車を購入しないと判定すると、フローを終了する。また、ステップ9-0において現金での支払い方法の演算処理を行うと、ステップ9-1において、演算した現金での購入方法を保存するか否かの判定をする。このステップ9-1において現金での支払い方法の演算結果を保存すると判定をすると、ステップ9-2において演算した現金での購入方法の保存を行う。このステップ9-1において購入方法の保存をしないと判定するか、ステップ9-2において演算した現金での購入方法の保存を行うと、ステップ9-3において、別な購入方法（ローン、リース）との対比を行ふか否かを判定する。このステップ9-3においては、現金での購入方法以外の購入方法（ローン、リース）について演算処理した結果が保存されている場合にだけ購入方法の対比を行ふと判定することが可能なのであって、現金での購入方法以外の購入方法（ローン、リース）についての演算処理した結果が保存されていない場合は、購入方法の対比を行わないと判定することになる。ステップ9-3において購入方法の対比を行ふと判定すると、ステップ9-4において、図8-1に示す如く、2つの購入方法の対比（現金と、ローン又はリース）を行う。このステップ9-4において2つの購入方法の対比を行ふと、ステップ9-5において、対比されている2つの購入方法のいずれかの購入方法の選択を行う。

【0097】ステップ9-3において購入方法の対比を行わないと判定するか、ステップ9-5において購入方法の選択を行うと、ステップ9-6において、現金での購入方法、あるいはステップ9-5において選択した購入方法（ローン又はリース）を変更するか否かの判定を行う。このステップ9-6において購入方法の変更を行わないと判定すると、ステップ9-7において、成約・売買契約書の作成処理を行う。この成約・売買契約書の作成処理は、図8-2に示す処理フローチャートに基づいて行われる。まず、ステップ9-7-1において、ユーザーが希望する条件に一致する中古車を小売共通在庫の在庫中より選定した車両の詳細情報を図8-3に示す如く表示する。図8-3の車両の詳細情報においては、メーカー名（トヨタ）、車種（クラウン）、タイプ（4ドアハードトッ

プ）、グレード（RサルーンGマルチV）、ミッション（フロア4速オートマチック）、年式（平成5年10月発売）、ボディカラー（シルキーエレガントトーニングII）、イメージカラー（シルキーホワイト）、走行距離（34,500Km）、車検満了日（平成5年10月22日）、あがり区分（自家用）、修復歴の有無（無し）、定期点検記録簿（有り）、装備記号、車両所在地（水道橋ショールーム）、車両本体価格（2,520,000円）、オプション合計（0円）、車両合計価格（2,520,000円）、保証内容（6ヶ月または5000km）が示される。このステップ9-7-1においてユーザーが選定した在庫車両の詳細情報を表示すると、ステップ9-7-2において、オプション装備品の装着を希望するか否かを判定する。すなわち、ユーザーが選定した在庫車両に希望するオプション装備品があるか否かを判定する。ユーザーが自己が選定した在庫車両にオプション装備品を装着する希望があった場合には、ステップ9-7-3において、図8-4に示す如く、装着を希望するオプション装備品の入力を行う。

【0098】このステップ9-7-3において装着を希望するオプション装備品の入力をを行うか、ステップ9-7-2においてオプション装備品の装着を希望しないと判定すると、ステップ9-7-4において、諸費用の入力を図8-5に示す如く行う。諸費用には、法定諸費用と登録諸費用がある。法定諸費用は、車を取得するために支払わなければならない法律で定められている費用で、自動車税、自動車重量税、自動車取得税、自賠責保険料がある。自動車税は、ユーザーが選択したトヨタ、クラウン・4ドアハードトップ・RサルーンGマルチVの場合、30,000円で、自動車重量税は50,400円、自動車取得税は中古車であるので掛からず（0円）、自賠責保険料は32,150円となり、法定費用の合計は、112,550円となる。また、登録諸費用は、購入する車両をユーザーのものとして陸運局に登録する手続きに要する費用のことと、登録費用、同預かり法定費用、ナンバー変更費用、同預かり法定費用、車庫証明費用、同預かり法定費用、下取り費用、同預かり法定費用、整備費用、納車費用がある。登録費用は陸運局に登録するためのディーラーの手数料（25,000円）、同預かり法定費用は陸運局に登録する際に支払う費用（700円）、ナンバー変更費用は陸運局で新しいナンバーを割り当てて貰うための手続きを行う手数料（1,000円）、同預かり法定費用は陸運局でナンバープレートを交付してもらうために支払う費用（1,420円）、車庫証明費用は所轄の警察署において車庫証明書を発行してもらうために警察署に手続きするディーラーの手数料（10,000円）、同預かり法定費用は所轄の警察署に車庫証明書の発行をしてもらうときに警察署に支払う手数料（2,500円）、下取り費用は下取り車をディーラーまで引き取る費用（8,000円）

円)、同預かり法定費用は下取り費用を預かる費用(500円)、整備費用は購入する車両を整備したときの費用(0円)、納車費用は購入する車両をユーザーの手元に運送する費用(8,000円)である。これらの登録費用の合計は、66,120円である。法定費用の合計、112,550円と、登録費用の合計、66,120円を合わせた諸費用合計が、178,670円となる。

【0099】このようにステップ97-4において諸費用の入力を行うと、ステップ97-5において、任意保険の入力/確認を行う。任意保険は、まず、図86に示す如く、保険料を決定する被保険者の等級(1等級~16等級)を例えば、6等級と選択し、被保険者の免責料金(なし、3万円、5万円、10万円)を例えば、無しと選択し、家族限定割引を適用するか否かで適用しないを選択し、エアバックが有るか無いかを入力する。また、図87に示す如く、任意保険の内容を確定する。すなわち、任意保険の種類(年令を問わず担保、21才未満不担保、26才未満不担保、フリート)を例えば、26才未満不担保と選択し、対人賠償保険の額(2000万円、3000万円、5000万円、7000万円、8000万円、10000万円、15000万円、無制限)を例えば、無制限を選択し、対物賠償保険の額(100万円、200万円、300万円、500万円、1000万円)を1000万円と選択し、搭乗者傷害保険(100万円、200万円、300万円、500万円、1000万円)を1000万円と選択する。すると、図88に示す如く、任意保険の一覧表示をする。

【0100】ステップ97-5において任意保険の入力/確認を行うと、ステップ97-6において、車両保険の入力/確認を行う。すなわち、図89に示す如く、保険の種類(一般の車両保険、車対車+特約(A))を一般の車両保険と選択すると、図90に示す如く、自動車車両保険の一覧表示がなされる。ステップ97-6において車両保険の入力/確認を行うと、ステップ97-7において、下取車があるときは、図91に示す如く、下取査定額の調整を行う。この下取査定額の調整は、商談を成立させるための値引きで、図91においては、下取車として、ニッサン、シルビア・クーペ、平成3年式、2000cc、スーパーブラック(色)、オートマチック車、走行距離52500km、下取査定額624,000円が示されており、この下取車について下取金額を上乗せして下取るときに下取調整額が下取価格に加算される。この下取査定額の調整にあたっては、下取対象車がいつでも販売できる最低価格を知ることが重要である。このいつでも販売できるというのは、業者間で行われるオークションであり、このオークション価格が分かれれば、そのオークション価格を当該下取車の最低販売価格(ベース)と考えることができ、このオークション価格を見ながら下取価格を決めれば、業者のリスクを小さく

することができる。この図91に示される下取査定額の調整画面には、下取査定額と共に暗号化(又は、符号化)した数字(図91においては、GSAX0500Xと表示される)が表示され、これによって当該査定車のオークション価格が分かるようになっている。このオークション価格調整を見ることによって、下取査定額の調整額を容易(利益をどの位に設定するかによって下取最高額を決めることができる)に決定することができる。この下取調整額は、中古車販売側から見れば、中古車の価格を値引きしたことと同じである。したがって、ステップ97-7において下取車があるときに下取査定額の調整を行うと、ステップ97-8において、図92に示す如く、値引額の一覧表示を行う。すなわち、下取査定額624,000円の中に下取調整額14,000円が含まれている場合には、図91に示す如く、値引き合計額として、下取調整額(14,000円)、車両本体価引(今回は車両本体価格を値引きしていないので、0円)、JAF(日本自動車連盟)会費分(6,000円)、端数値引額(4,630円)で、値引き合計額が、24,630円となる。

【0101】ステップ97-8において値引額の一覧表示を行うと、ステップ97-9において、支払総額の確認を図93に示す如く行う。図93では、店頭渡現金価格(2,520,000円)、諸費用合計(178,670円)、消費税額(129,050円)、現金お支払総額(2,993,410円)、JAF会費計(年払)(無料サービス)、保険料計(年払)(165,690円)、下取査定額(624,000円)、内下取調整額(14,000円)が確認される。ステップ97-10においては、売買契約書の作成を行う。

【0102】ステップ89において購入方法が現金でないと判定するか、ステップ96において購入方法の変更を行わないと判定すると、ステップ98において、購入方法はローンか否かを判定する。このステップ98において購入方法がローンであると判定すると、ステップ98において、ローンでの購入方法の演算処理を行う。ローンでの購入方法には、通常ローンとフリーローン(残価設定ローン)がある。このいずれかを選択することになる。このステップ98においてローンでの購入方法の演算処理を行うと、ステップ100において、演算したローンでの購入方法を保存するか否かの判定をする。このステップ100においてローンでの購入方法の演算結果を保存すると判定をすると、ステップ101において演算したローンでの購入方法の保存を行う。このステップ100において購入方法の保存をしないと判定するか、ステップ101において演算したローンでの購入方法の保存を行うと、ステップ102において、別な購入方法(支払い条件の異なるローン、リース、現金)との対比を行うか否かを判定する。このステップ102においては、今回演算処理されたローンでの購入方法と異なる

る購入方法（支払い条件の異なるローン、リース、現金）について演算処理した結果が保存されている場合にだけ購入方法の対比を行うと判定することが可能なのであって、今回演算処理されたローンでの購入方法と異なる購入方法（支払い条件の異なるローン、リース、現金）についての演算処理した結果が保存されていない場合は、購入方法の対比を行わないと判定することになる。ステップ102において購入方法の対比を行うと判定すると、ステップ103において、図94に示す如く、2つの購入方法の対比（ローンと、支払い条件の異なるローン又はリースもしくは現金）を行う。このステップ103において2つの購入方法の対比を行うと、ステップ104において、対比されている2つの購入方法のいずれかの購入方法の選択を行う。

【0103】ステップ102において購入方法の対比を行わないと判定するか、ステップ104において購入方法の選択を行うと、ステップ105において、ローンでの購入方法、あるいはステップ104において選択した購入方法（支払い条件の異なるローン又はリースもしくは現金）を変更するか否かの判定を行う。このステップ105において購入方法を変更しないと判定すると、ステップ97に移る。また、ステップ98において購入方法がローンでないと判定するか、ステップ105において購入方法を変更すると判定すると、ステップ106において、リースでの購入方法の演算処理を行う。このステップ106においてリースでの購入方法の演算処理を行うと、ステップ107において、演算したリースでの購入方法を保存するか否かの判定をする。このステップ107においてリースでの購入方法の演算結果を保存すると判定をすると、ステップ108において演算したリースでの購入方法の保存を行なう。このステップ107において購入方法の保存をしないと判定するか、ステップ108において演算したリースでの購入方法の保存を行うと、ステップ109において、別な購入方法（現金、ローン）との対比を行うか否かを判定する。このステップ109においては、リースでの購入方法以外の購入方法（現金、ローン）について演算処理した結果が保存されている場合にだけ購入方法の対比を行うと判定することが可能なのであって、リースでの購入方法以外の購入方法（現金、ローン）についての演算処理した結果が保存されていない場合は、購入方法の対比を行わないと判定することになる。ステップ109において購入方法の対比を行うと判定すると、ステップ110において、図95に示す如く、2つの購入方法の対比（リースと、現金又はローン）を行う。このステップ110において2つの購入方法の対比を行うと、ステップ111において、対比されている2つの購入方法のいずれかの購入方法の選択を行う。

【0104】ステップ109において購入方法の対比を行わないと判定するか、ステップ111において購入方

法の選択を行うと、ステップ112において、リースでの購入方法、あるいはステップ111において選択した購入方法（現金又はローン）を変更するか否かの判定を行う。このステップ112において購入方法を変更しないと判定すると、ステップ97に移る。また、ステップ112において購入方法を変更すると判定すると、ステップ113において、現金購入方法に変更するか否かを判定する。このステップ113において現金購入方法に変更すると判定すると、ステップ90の現金での購入方法の演算処理に移る。また、ステップ113において現金購入方法に変更しないと判定すると、ステップ99のローンでの購入方法の演算処理に移る。このようにして国産中古車に関してフルバーチャル処理が行われる。

【0105】図96～図105には、本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第2の実施の形態を示す処理フローチャートが示されている。図1に図示のステップ4においてユーザーが購入希望している車が外国車であると判定すると、図96に示されるステップ114において、希望する外国車の購入方法は現金か否かを判定する。以下、図96～図99に図示のステップ114～ステップ156の処理は、図1～図5に図示のステップ7～ステップ49と同様の処理が行われる。このステップ114～ステップ156の処理がステップ7～ステップ49の処理と相違する点は、ステップ7～ステップ49の処理が国産車であるのに対し、ステップ114～ステップ156の処理が外国車である点である。また、ステップ117の処理においては、図35に図示のステップ10-1～ステップ10-6と同様の処理が、ステップ123の処理においては、図39に図示のステップ16-1～ステップ16-10と同様の処理が、また、ステップ126の処理においては、図48に図示のステップ19-1～ステップ19-6と同様の処理がそれぞれ行われる。

【0106】図99に図示のステップ154において購入予定車の車種・グレードが未定であると判定し、ステップ155のフルバーチャル処理を選択すると、まず、ステップ157において、購入希望の車について希望するメーカーはないか否かを判定する。このステップ157において希望するメーカーがないと判定すると、ステップ158において、図106に示す如くメーカー所在国名を一覧表示する。このステップ158においてメーカー所在国名の一覧表示を行うと、ステップ159において、このメーカー所在国名の中から希望するメーカー所在国名（例えば、アメリカ合衆国）を選択する。希望するメーカー所在国名を選択すると、図107に示す如く、選択したメーカー所在国名の表示と共に、当該メーカー所在国（例えば、アメリカ合衆国）の保有するメーカー名（ゼネラルモータース、フォード、クライスラー、ダイヤモンドスター）を表示する。このステップ159においてメーカー所在国名（例えば、アメリカ合衆

国)を選択すると、ステップ160において、図108に示す如く、選定国(例えば、アメリカ合衆国)のメーカー名と当該メーカーの該当車種の件数の一覧表示を行う。このステップ160において選択したメーカー所在国(メーカー名の一覧表示を行うと、ステップ161において、この外国メーカー名の中から希望するメーカー名(例えば、フォード)を選択する。また、ステップ157において希望するメーカーがあると判定すると、ステップ162において、希望する外国メーカー名を入力する。このようにステップ161において希望するメーカー名(例えば、フォード)を選択し、ステップ162において希望する外国メーカー名を入力すると、ステップ163において、図109に示す如く、選定したメーカーの中で予算に合った車種・タイプを一覧表示する。予算に合った車種・タイプを検索するため、プローブ/クーペは平成4年9月発売、サンダーバードクーペは平成5年1月発売、マスタング/クーペは平成6年5月発売、プローブ/クーペは平成6年6月発売と車種・タイプが異なることによって、また同一車種・タイプ車であっても車の状態によって発売年月が異なったものとなる。このステップ163において予算に合った車種・タイプを一覧表示すると、ステップ164において、一覧表示した車種・タイプの中から希望する車種・タイプを選択する。

【0107】このステップ164において希望する車種・タイプ(例えば、平成4年9月発売のプローブ/クーペ)を選択すると、ステップ165において、図110に示す如く、選択した車種・タイプ(例えば、平成4年9月発売のプローブ/クーペ)の外観をデジタル・カメラで写した車体全体の写真を見て確認する。ステップ165において選択した車種・タイプの確認をすると、ステップ166において、選定した車種・タイプについてのグレードを図111に示す如く一覧表示する。ここで例として挙げたフォード・プローブ/クーペ(発売年月:平成4年9月)のグレードは、1種類で、GTである。このステップ166において選定した車種・タイプについてのグレードの一覧表示をすると、ステップ167において、一覧表示したグレードの中(本実施の形態においては1種類のみ)から希望するグレード(例えば、GT)を選択する。ステップ167において、一覧表示したグレードの中から希望するグレードを選択すると、ステップ168において、図112に示す如く選択したグレードの確認を行う。図112に示される確認事項は、メーカー名(フォード)、車種(プローブ)、タイプ(クーペ)、排気量(2500cc)、グレード(GT)、年式(平成4年9月発売)、ミッション(フロア4速オートマチック)、適正走行距離(49,000km)、流通小売価格(1,555千円)、車体の全体写真である。適正走行距離は、当該車の平均的な総走行距離を示したもので、流通小売価格というのとは、外観上損傷がなく、平均的距離を乗った車の買取価格から適正利益を上乗せして決定した標準小売販売価格のことである。

傷がなく、平均的距離を乗った車の買取価格から適正利益を上乗せして決定した標準小売販売価格のことである。

【0108】ステップ168において選択したグレードの確認を行うと、ステップ169において、図113に示す如く、選択した車種・タイプ、グレードのカタログ情報の表示を行う。このステップ169においてカタログ情報の表示を行うと、ステップ170において、選択したグレードを保存するか否かを判定する。このステップ170において選択したグレードを保存しないと判定するとステップ189において、小売共通在庫に登録されている希望する各種条件に適合した中古車の検索を行う。また、このステップ170において選択したグレードを保存すると判定すると、ステップ171において、図109に示す如く選定したメーカーの中で予算に合った車種・タイプを一覧表示する。このステップ171において予算に合った車種・タイプを一覧表示すると、ステップ172において、一覧表示した車種・タイプの中から前回選定した希望した車種・タイプ(プローブ/クーペ)とは異なる車種・タイプ(例えば、マスタング/クーペ)を選択する。ステップ172において希望する車種・タイプ(マスタング/クーペ)を選択すると、ステップ173において、選択した車種・タイプを確認する。ステップ173において選択した車種・タイプの確認をすると、ステップ174において、選定した車種・タイプについてのグレードを一覧表示し、ステップ175において、この一覧表示されたグレードの中から希望するグレード(例えば、コンバーチブル)を選択する。

【0109】ステップ175において、一覧表示したグレードの中から希望するグレード(コンバーチブル)を選択すると、ステップ176において、図112と同様に新たに選択した車種・タイプのグレードの確認を行う。確認事項は、メーカー名(フォード)、車種(マスタング)、タイプ(クーペ)、排気量(3800cc)、グレード(コンバーチブル)、年式(平成5年1月発売)、ミッション(フロア4速オートマチック)、適正走行距離(48,100km)、流通小売価格(1,810千円)、車体の全体写真である。適正走行距離は、当該車の平均的な総走行距離を示したもので、流通小売価格というのとは、外観上損傷がなく、平均的距離を乗った車の買取価格から適正利益を上乗せして決定した標準小売販売価格のことである。このステップ176において車種・タイプのグレードの確認を行うと、ステップ177において、図113に示すカタログ情報と同様に新しく選択した車種・タイプ、グレードのカタログ情報の表示を行う。このステップ177においてカタログ情報の表示を行うと、ステップ178において、前回保存した車種・タイプのグレードと新しく選定した車種・タイプのグレードとの対比を行うか否かを判定する。このステップ178において前回保存した車種・タイプのグレ

ードと新しく選定した車種・タイプのグレードとの対比を行なわないと判定するとステップ189に移る。また、このステップ178において前回保存した車種・タイプのグレードと新しく選定した車種・タイプのグレードとの対比を行うと判定すると、図114に示す如くステップ179において、前回選択した車種・タイプのグレードと今回新しく選択した車種・タイプのグレードとを対比して表示する。そして、ステップ180において、この表示された2種類の車種・タイプのグレードのいずれかを選択する。このステップ180においていずれかの車種・タイプのグレード（例えば、プローブ／クーベ）を選択すると、ステップ181において、サンルーフ／エアバックの希望設定を行う。すなわち、このステップ181においては、ユーザーが購入希望する中古車にサンルーフの装備のあるものを希望するか、エアバックが装備されているものを希望するかの希望設定を行う。このステップ181においてユーザーが購入希望する中古車にサンルーフの装備のあるものを希望すれば、小売価格も高くなり、購入予算に影響してくる。同様に、エアバックが装備されているものを希望すれば、小売価格も高くなり、購入予算に影響してくる。このステップ181におけるサンルーフ／エアバックの希望設定では、サンルーフ及びエアバック共に希望する場合、サンルーフ又はエアバックのいずれかを希望する場合、サンルーフ及びエアバックの両方を希望しない場合のいずれかを選択することになる。

【0110】ステップ181においてサンルーフ／エアバックの希望設定を行うと、ステップ182において、希望走行距離を入力する。この希望走行距離は、ユーザーが単に希望する走行距離であって、希望する車種・タイプのグレードの適正走行距離を基準にして、適正走行距離より少走行の距離、適正走行距離と同様の距離、適正走行距離より多走行距離のいずれかが具体的な数値で入力されることになる。このステップ182において希望走行距離を入力を行うと、ステップ183において、サンルーフ／エアバック、希望走行距離によって予算額を超過したか否かを判定する。すなわち、ステップ181においてサンルーフ及び又はエアバックの装備している車を希望すると予算額が超過し、希望走行距離が適正走行距離より多走行距離の場合は、予算額が超過する。ステップ183においてサンルーフ／エアバック、希望走行距離によって予算額が超過していないと判定すると、ステップ185に移る。また、ステップ183においてサンルーフ／エアバック、希望走行距離によって予算額が超過したと判定すると、ステップ184において予算額の変更を行なわないと判定すると、ステップ1

81に戻り、ステップ184において予算額の変更を行なわないと判定すると、ステップ185において、図71に示す如く装備品の希望を選択する。装備品としては、ステレオ・コンポ・CD、テレビ、ナビゲーション、空気清浄機、アルミホイール、エアロパーツがある。これらについては、装備品のグレードによってオプションA、オプションB、オプションCの区別がある。このステップ185において装備品の希望を選択すると、ステップ186において、装備品の希望によって予算額が超過したか否かを判定する。ステップ186において装備品の装備された車を希望しないことによって予算額に変更がなく、予算額が超過していないと判定すると、ステップ188に移る。また、この装備品の希望による予算額の超過は、図71に示す如き装備品のいずれかが装備されていることを希望することによって、予算超過となる。ステップ186において装備品の希望によって予算額が超過したと判定すると、ステップ187において、予算額の変更をするか否かを判定する。このステップ187において予算額の変更をしないと判定すると、ステップ185に戻り、装備品の希望をしないに変更する。また、ステップ187において予算額の変更をすると判定すると、ステップ188において、図115に示す如く、在庫検索条件の確認を行う。この在庫検索条件としては、メーカー名（フォード）、車種（プローブ）、タイプ（クーベ）、排気量（2500cc）、グレード（GT）、年式（平成4年9月発売）、ミッション（フロア4速オートマチック）、ボディカラー（ブラック）、走行距離（49,000km前後を希望）、車両価格（1,555千円前後を希望）がある。このステップ188において在庫検索条件の確認を行うと、ステップ189に移る。【0111】ステップ170において選択したグレードを保存しないと判定するか、ステップ178において前回保存した車種・タイプのグレードと新しく選定した車種・タイプのグレードとの対比を行なわないと判定するか、ステップ188において在庫検索条件の確認を行うとステップ189において、小売共通在庫に登録されている希望する各種条件に適合した中古車の検索を行う。このステップ189において小売共通在庫に登録されている希望する各種条件に適合した中古車の検索を行うと、ステップ190において、条件に合った中古車があったか否かの判定を行う。このステップ190において条件に合った中古車があったと判定すると、ステップ191において、選定した車種・タイプのグレードの小売共通在庫に登録された在庫状況の表示を行う。また、このステップ190において条件に合った中古車が無いと判定すると、ステップ192において、希望する条件に合った中古車の予約登録を行うか否かの判定を行う。すなわち、選定した車種・タイプのグレードの小売共通在庫にユーザーが希望する条件に合った中古車が登録され

ていないので、現在、ユーザーが希望する条件に合った中古車を購入できない状態となっており、ユーザーが、希望する条件に合った中古車が小売共通在庫に登録されるまで待つと主張した場合に、希望する条件に合った中古車が小売共通在庫に登録されたときに最先に購入交渉権を得るための予約を行う登録（予約登録）をするか否かを判定する。

【0112】ステップ192において希望する条件に合った中古車の予約登録を行わないと判定すると、ステップ193において、中古車購入の希望条件を変更するか否かの判定を行う。すなわち、ユーザーの希望する条件に合った中古車が見つからない場合に、希望する条件を変更する意思があるか否かを判定する。このステップ193において中古車購入の希望条件を変更しないと判定すると、この処理フローは、終了する。また、ステップ193において中古車購入の希望条件を変更する、すなわち、ユーザーが中古車購入の希望条件を変更することによって小売共通在庫に登録されている中古車の購入を希望する場合には、ステップ157に戻り、ユーザーの中古車購入の希望条件の選定をやり直す。また、ステップ192において希望する条件に合った中古車の予約登録を行うと判定すると、ステップ194において、中古車購入の予約登録処理を行う。この予約登録は、ユーザーが希望する条件の中古車を希望しており、当該希望条件に適合した中古車が小売共通在庫として登録されたときに優先的に売買交渉権を確保する登録である。この予約登録によって、ユーザーは該当する車が市場に出されてた時に優先的に購入する権利が確保され、ディーラーは、現在どのような車が求められているかが明確になり、中古車在庫の回転を早くするための情報として役に立つ。まず、図116に示す如く在庫なしの画面表示が成されると、ユーザーは、処理を終了するか予約登録をするかの選択を行う。予約登録をする場合は、まず、一定の予約金（例えば、10,000円）を入金し、図117に示す如く予約条件の選択を行う。すなわち、ユーザーが選択した車種・タイプ、グレードの詳細な条件を1つ又は2つを表示し、自分が希望する車種・タイプ、グレード（例えば、プローブ／クーペ、GT）の車を選択する。さらに、図75に示す如きユーザーの顧客情報を入力することによって予約登録を完了する。

【0113】また、ステップ190において条件に合った中古車があったと判定すると、ステップ191において、選定した車種・タイプのグレードの小売共通在庫に登録された在庫状況を最高価格のものから低価格のものへ価格順に（降順）図118に示す如く表示される。この表示方法には、図119に示す如く、価格順表示（昇順、降順）、車検順表示（多順、少順）、走行順表示（多順、少順）がある。図118においては、ブラック、シルバークリアコートメタリック、リオレッドクリアコートの3種類のボディカラーの車が示されている。

このステップ191において選定した車種・タイプのグレードの小売共通在庫に登録された在庫状況の表示が行われると、ステップ195において、表示された小売共通在庫の中から購入希望車両を選定する。ステップ195において購入希望車両を選定すると、ステップ196において、小売共通在庫の在庫中より選定した車両の詳細情報を表示する。この車両の個別のデータは、備考情報として表示することができ、当該在庫車両の所有業者情報を表示することができる。

【0114】ステップ196において小売共通在庫の在庫中より選定した車両の詳細情報を表示すると、ステップ197において、この選定した中古車を購入するか否かを判定する。ステップ197において、この選定した中古車を購入しないと判定すると、フローを終了する。また、ステップ197においてこの選定した中古車を購入すると判定すると、ステップ198において、購入方法は現金か否かを判定する。購入方法が現金であると判定すると、ステップ199において、現金での支払い方法の演算処理を行う。また、ステップ197において選定した中古車を購入しないと判定すると、フローを終了する。また、ステップ199において現金での支払い方法の演算処理を行うと、ステップ200において、演算した現金での購入方法を保存するか否かの判定をする。このステップ200において現金での支払い方法の演算結果を保存すると判定をすると、ステップ201において演算した現金での購入方法の保存を行う。このステップ201において購入方法の保存をしないと判定するか、ステップ201において演算した現金での購入方法の保存を行うと、ステップ202において、別な購入方法（ローン、リース）との対比を行うか否かを判定する。このステップ202においては、現金での購入方法以外の購入方法（ローン、リース）について演算処理した結果が保存されている場合にだけ購入方法の対比を行うと判定することが可能なのであって、現金での購入方法以外の購入方法（ローン、リース）についての演算処理した結果が保存されていない場合は、購入方法の対比を行わないと判定することになる。ステップ202において購入方法の対比を行うと判定すると、ステップ203において、図120に示す如く、2つの購入方法の対比（現金と、ローン又はリース）を行う。このステップ203において2つの購入方法の対比を行うと、ステップ204において、対比されている2つの購入方法のいずれかの購入方法の選択を行う。

【0115】ステップ202において購入方法の対比を行わないと判定するか、ステップ204において購入方法の選択を行うと、ステップ205において、現金での購入方法、あるいはステップ204において選択した購入方法（ローン又はリース）を変更するか否かの判定を行う。このステップ205において購入方法の変更を行わないと判定すると、ステップ206において、成約・

売買契約書の作成処理を行う。この成約・売買契約書の作成処理は、図82に示す処理フローチャートと同様に行われる。

【0116】また、ステップ2198において購入方法が現金でないと判定するか、ステップ205において購入方法の変更を行うと判定すると、ステップ207において、購入方法はローンか否かを判定する。このステップ207において購入方法がローンであると判定すると、ステップ208において、ローンでの購入方法の演算処理を行う。このローンでの購入方法には、通常ローンとフリーローン（残価設定ローン）とがあり、ステップ208におけるローンでの購入方法の演算処理に当たっては、このいずれかを選択することになる。このステップ208においてローンでの購入方法の演算処理を行うと、ステップ209において、演算したローンでの購入方法を保存するか否かの判定を行う。このステップ209においてローンでの購入方法の演算結果を保存すると判定をすると、ステップ210において演算したローンでの購入方法の保存を行う。このステップ209において購入方法の保存をしないと判定するか、ステップ210において演算したローンでの購入方法の保存を行うと、ステップ211において、別な購入方法（リース、現金）との対比を行うか否かを判定する。このステップ211においては、今回演算処理されたローンでの購入方法と異なる購入方法（支払い条件の異なるローン、リース、現金）について演算処理した結果が保存されている場合にだけ購入方法の対比を行うと判定することが可能なのであって、今回演算処理されたローンでの購入方法と異なる購入方法（支払い条件の異なるローン、リース、現金）についての演算処理した結果が保存されていない場合は、購入方法の対比を行わないと判定することになる。ステップ211において購入方法の対比を行うと判定すると、ステップ212において、図121に示す如く、2つの購入方法の対比（ローンと、支払い条件の異なるローン又はリースもしくは現金）を行う。このステップ212において2つの購入方法の対比を行うと、ステップ213において、対比されている2つの購入方法のいずれかの購入方法の選択を行う。

【0117】ステップ213において購入方法の対比を行わないと判定するか、ステップ213において購入方法の選択を行うと、ステップ214において、ローンでの購入方法、あるいはステップ213において選択した購入方法（支払い条件の異なるローン又はリースもしくは現金）を変更するか否かの判定を行う。このステップ214において購入方法を変更しないと判定すると、ステップ206に移る。また、ステップ207において購入方法がローンでないと判定するか、ステップ214において購入方法を変更すると判定すると、ステップ215において、リースでの支払方法の演算処理を行う。このステップ215においてリースでの支払方法の演算処

理を行うと、ステップ216において、演算したリースでの購入方法を保存するか否かの判定をする。このステップ216においてリースでの支払い方法の演算結果を保存すると判定をすると、ステップ217において演算したリースでの購入方法の保存を行う。このステップ216において購入方法の保存をしないと判定するか、ステップ217において演算したリースでの購入方法の保存を行うと、ステップ218において、別な購入方法（現金、ローン）との対比を行うか否かを判定する。

10 10のステップ218においては、リースでの購入方法以外の購入方法（現金、ローン）について演算処理した結果が保存されている場合にだけ購入方法の対比を行うと判定することが可能なのであって、リースでの購入方法以外の購入方法（現金、ローン）についての演算処理した結果が保存されていない場合は、購入方法の対比を行わないと判定することになる。ステップ218において購入方法の対比を行うと判定すると、ステップ219において、図122に示す如く、2つの購入方法の対比（リースと、現金又はローン）を行う。このステップ219において2つの購入方法の対比を行うと、ステップ220において、対比されている2つの購入方法のいずれかの購入方法の選択を行う。

【0118】ステップ218において購入方法の対比を行わないと判定するか、ステップ220において購入方法の選択を行うと、ステップ221において、リースでの購入方法、あるいはステップ220において選択した購入方法（現金又はローン）を変更するか否かの判定を行う。このステップ221において購入方法を変更しないと判定すると、ステップ206に移る。また、ステップ221において購入方法を変更すると判定すると、ステップ222において、現金購入方法に変更するか否かを判定する。このステップ242において現金購入方法に変更すると判定すると、ステップ199の現金での購入方法の演算処理に移る。また、ステップ222において現金購入方法に変更しないと判定すると、ステップ208のローンでの購入方法の演算処理に移る。

【0119】このようにして外国中古車に関するフルバーチャル処理が行われる。

【0120】図123～図128には、本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第3の実施の形態を示す処理フローチャートが示されている。図5に図示のステップ47において購入予定車の車種・グレードが未定でない、すなわち購入予定車の車種・グレードが決定していると判定すると、ステップ49においてセミバーチャル処理を行う。このセミバーチャル処理は、図123～図128に示される処理フローチャートによって行われる。

【0121】図において、ステップ223において、購入予定車のグレードの希望がないか否かを判定する。このステップ223において購入予定車のグレードの希望

がないと判定すると、ステップ224において、図129に示す如く購入希望車種の頭文字に該当するボタンを選択して希望車種の入力（例えば、クラウン 4ドアハードトップ）を行う。このステップ224において希望車種の選択を行うと、ステップ225において、図130に示す如く、決定した希望車種の確認を行うと共に、図53に示す如く購入予定車の理想条件の設定を順次行う。購入予定車の理想条件には、ボディカラー、定員、ミッション、駆動輪、燃料形態、ナンバープレート、排気量、年式／使用期間がある。この図130に示す如き購入予定車についての理想条件を順次選択していく。ステップ225において表示された購入予定車の理想条件の内イメージを選択すると、ステップ226において、図56に示す如く、購入予定車についてのボディカラーの色系を一覧表示する。このボディカラーの色系は、購入予定車として希望する色系統を示すもので、単色を示すものではなく、同じ色系統でもメーカーによって異なっており、漠然とどういった色系統を希望するかを示すものである。ボディカラーの色系には、白系、真珠系、黄系、橙系、桃系、茶系、赤系、緑系、青系、紺系、紫系、金系、銀系、鉄系、黒系がある。このステップ226において購入予定車のボディカラーの色系の一覧表示を行うと、ステップ227において、このボディカラーの色系の中から希望するボディカラーの色系を選択する。

【0122】ステップ227において希望するボディカラーの色系を選択すると、ステップ228において、図57に示す如く、購入予定車についての乗車定員を一覧表示する。この乗車定員は、購入予定車に乗車できる最大人数のこと、乗車定員には、1人、2人、3人、4人、5人、6人、7人、8人、9人、10人以上がある。このステップ228において購入予定車の乗車定員の一覧表示を行うと、ステップ229において、この乗車定員の中から希望する乗車定員数を選択する。ステップ229において希望する乗車定員数を選択すると、ステップ230において、図58に示す如きミッションから希望するミッションの選択を行う。このミッションには、オートマチック・トランス・ミッション（オートマチック）とマニュアル・トランス・ミッション（マニュアル）とがある。このステップ230において希望ミッションの選択を行うとステップ231において、図59に示す如き駆動輪（方式）から希望する駆動輪の選択を行う。この駆動輪には、2WD（前輪駆動又は後輪駆動）と4WD（4輪駆動）とがある。このステップ231において駆動輪の選択を行うとステップ232において、図60に示す如き燃料形態から希望する燃料形態の選択を行う。この燃料形態には、ガソリン（ガソリンエンジン）と軽油（ディーゼルエンジン）とがある。このステップ232において燃料形態（例えば、ガソリン）の選択を行うと、ステップ233において、図61に示

す如きナンバープレートから希望するナンバープレートの一覧表示を行う。このナンバープレートには、1ナンバー、3ナンバー、4ナンバー、5/7ナンバーがある。このナンバープレートは、予め基準が定められており、1ナンバーは、普通貨物車（トラック）、3ナンバーは、普通乗用車（排気量2000ccを超える乗用車）、4ナンバーは小型貨物車（商用車）、5/7ナンバーは、小型乗用車（排気量2000cc以下の乗用車）となっている。また、このナンバープレートは、購入希望する車の大きさとも関係してくる（例えば、大きさを大型車として5/7ナンバーを希望することはできない）。このステップ233においてナンバープレートの選択を行うと、ステップ234において、ナンバープレートの選択を行う。

【0123】ステップ234においてナンバープレートの選択を行うと、ステップ235において、図62に示す如く、購入予定車についての排気量を一覧表示する。この排気量は、購入予定車として希望する排気量枠を示すもので、排気量には、1000cc以下、1001cc～1500cc、1501cc～2000cc、2001cc～2500cc、2501cc～3000cc、3001cc～3500cc、3501cc～4000cc、4001cc～4500cc、4501cc～6000cc、6001cc以上がある。この排気量の選択は、購入希望する車のナンバープレートと関係している。このステップ235において購入予定車についての排気量の一覧表示が行われると、ステップ236において、一覧表示された排気量の中から希望する排気量の選択を行う。ステップ236において排気量の選択を行うと、ステップ237において、図63に示す如き使用期間又は年式のいずれかについて、希望する使用期間又は希望する年式の選択を行う。この使用期間の場合は、使用した年限（例えば、4年）を選択し、年式の場合は、初年度登録年（例えば、平成5年）を選択する。この使用期間又は年式の選択は、中古車の価格帯等を特定する上で重要なものである。このステップ237において使用期間又は年式の選択を行うと、ステップ238において、ステップ224における購入予定車の理想条件の入力を全て行ったか否かを判定し、このステップ238において購入予定車の理想条件の入力を全て行っていないと判定すると、購入予定車の理想条件の入力が全て行われるのを待つ。

【0124】このステップ238において購入予定車の理想条件の入力が全て行われると、ステップ239において、選定した車種・タイプについてのグレードを図67に示す如く一覧表示する。ここで例として挙げたクラウン・4ドアハードトップ（初年度登録月：平成5年8月）のグレードは、5種類で、RサルーンG マルチV、RサルーンG、Rサルーン マルチV、Rサルーン、Rツーリング マルチVである。このステップ239において選定した車種・タイプについてのグレードの

一覧表示をすると、ステップ240において、一覧表示したグレードの中から希望するグレード（例えば、RサルーンG マルチV）を選択する。ステップ240において、一覧表示したグレードの中から希望するグレードを選択すると、ステップ241において、図68に示す如く選択したグレードの確認を行う。図68に示される確認事項は、メーカー名（トヨタ）、車種（クラウン）、タイプ（4ドアハードトップ）、排気量（3000cc）、グレード（RサルーンG マルチV）、年式（平成5年8月発売）、ミッション（フロア4速オートマチック）、適正走行距離（37,600km）、流通小売価格（2,340千円）、車体の全体写真である。適正走行距離は、当該車の平均的な総走行距離を示したもので、流通小売価格というのは、外観上損傷がなく、平均的距離を乗った車の買取価格から適正利益を上乗せして決定した標準小売販売価格のことである。ステップ241において選択したグレードの確認を行うと、ステップ242において、選択したグレードを保存するか否かを判定する。このステップ242において選択したグレードを保存しないと判定すると、ステップ243において、図69に示す如く選択した車種・タイプ、グレードの車の内容を示すカタログ情報の表示を行う。

【0125】また、ステップ223において、購入予定車のグレードの希望があると判定すると、ステップ244において、図129に示す如く決定している購入希望車種の頭文字に該当するボタンを選択して希望車種の入力（例えば、クラウン・4ドアハードトップ）を行う。このステップ244において希望車種の選択を行うと、ステップ245において、図63に示す如き使用期間又は年式のいずれかについて、希望する使用期間又は希望する年式の選択を行う。この使用期間の場合は、使用した年限（例えば、4年）を選択し、年式の場合は、初年度登録年（例えば、平成5年）を選択する。この使用期間又は年式の選択は、中古車の価格帯等を特定する上で重要なものである。このステップ245において使用期間又は年式の設定を行うと、ステップ246において、選定した車種・タイプについてのグレードを図67に示す如く一覧表示する。ここで例として挙げたクラウン・4ドアハードトップ（初年度登録月：平成5年8月）のグレードは、5種類で、RサルーンG マルチV、RサルーンG、Rサルーン マルチV、Rサルーン、Rツーリング マルチVである。このステップ245において選定した車種・タイプについてのグレードの一覧表示をすると、ステップ247において、一覧表示したグレードの中から既に決定しているグレード（例えば、RサルーンG マルチV）を選択する。ステップ247において、グレードの選択をすると、ステップ248において、図56に示す如く、購入を希望する車種タイプ・グレードについてのボディカラーの色系を一覧表示する。このボディカラーの色系は、購入予定車として希望する

色系統を示すもので、単色を示すものではなく、同じ色系統でもメーカーによって異なっており、漠然とどういった色系統を希望するかを示すものである。ボディカラーの色系には、白系、真珠系、黄系、橙系、桃系、茶系、赤系、緑系、青系、紺系、紫系、金系、銀系、鉄系、黒系がある。このステップ248において購入予定車のボディカラーの色系の一覧表示を行うと、ステップ249において、このボディカラーの色系の中から希望するボディカラーの色系を選択する。ステップ249において希望するボディカラーの色系を選択すると、ステップ250において、図58に示す如きミッションから希望するミッションの選択を行う。このミッションには、オートマチック・トランス・ミッション（オートマチック）とマニュアル・トランス・ミッション（マニュアル）がある。このステップ250において希望ミッションの選択を行うとステップ251において、図68に示す如く選定した車種・タイプ・グレードの確認を行う。図68に示される確認事項は、メーカー名（トヨタ）、車種（クラウン）、タイプ（4ドアハードトップ）、排気量（3000cc）、グレード（RサルーンG マルチV）、年式（平成5年8月発売）、ミッション（フロア4速オートマチック）、適正走行距離（37,600km）、流通小売価格（2,340千円）、車体の全体写真である。適正走行距離は、当該車の平均的な総走行距離を示したもので、流通小売価格というのは、外観上損傷がなく、平均的距離を乗った車の買取価格から適正利益を上乗せして決定した標準小売販売価格のことである。このステップ251において選定した車種・タイプ・グレードの確認を行うと、ステップ243において、図69に示す如く選択した車種・タイプ、グレードの車の内容を示すカタログ情報の表示を行う。

【0126】ステップ242において選択したグレードを保存すると判定すると、ステップ252において、選択したグレードの保存を行う。このステップ252において選択したグレードの保存を行うと、ステップ253において、再度、図67に示す如く選定した車種タイプについてのグレードの一覧表示を行う。ここで例として挙げたクラウン・4ドアハードトップ（初年度登録月：平成5年8月）のグレードは、5種類で、RサルーンG マルチV、RサルーンG、Rサルーン マルチV、Rサルーン、Rツーリング マルチVである。このステップ253において選定した車種・タイプについてのグレードの一覧表示をすると、ステップ254において、一覧表示したグレードの中から前回選定したグレード（RサルーンG マルチV）と異なるグレード（例えば、RサルーンG）を選択する。ステップ254において前回選定したグレードと異なるグレードを選択すると、ステップ255において、図130に示す如く新たに選定したグレードの確認を行う。図130に示される確認事項は、メーカー名（トヨタ）、車種（クラウン）、タイプ

(4ドアハードトップ)、排気量(3000cc)、グレード(RサルーンG)、年式(平成5年1月発売)、ミッション(フロア4速オートマチック)、適正走行距離(32,600km)、流通小売価格(2,240千円)、車体の全体写真である。このステップ255において選定した車種・タイプ・グレードの確認を行うと、ステップ256において、新たに選定したグレードと保存してあるグレードとの比較を行うか否かを判定する。このステップ256において、新たに選定したグレードと保存してあるグレードとの比較を行わないと判定すると、ステップ243において、図69に示す如く選択した車種・タイプ、グレードの車の内容を示すカタログ情報の表示を行う。また、ステップ256において新たに選定したグレードと保存してあるグレードとの比較を行うと判定すると、ステップ257において、図131に示す如く、前回選択したグレードと今回選択したグレードを対比して表示する。このステップ257において前回選択したグレードと今回選択したグレードを対比して表示すると、ステップ258において、対比して表示してあるグレードのいずれかのグレードを選択を行い、ステップ243において、図69に示す如くいずれか選択した車種・タイプ、グレードの車の内容を示すカタログ情報の表示を行う。

【0127】ステップ243において選択したグレードの車の内容を示すカタログ情報の表示を行うと、ステップ259において、小売共通在庫に登録されている希望する各種条件に適合した中古車の検索を行う。このステップ259において小売共通在庫に登録されている希望する各種条件に適合した中古車の検索を行うと、ステップ260において、条件に合った中古車があつたか否かの判定を行う。このステップ260において条件に合つた中古車があつたと判定すると、ステップ261において、選定した車種・タイプのグレードの小売共通在庫に登録された在庫状況の表示を行う。このステップ261において選定した車種・タイプのグレードの小売共通在庫に登録された在庫状況の表示が行われると、ステップ262において、表示された小売共通在庫の在庫の中から購入希望車両を選定する。ステップ262において購入希望車両を選定すると、ステップ263において、小売共通在庫の在庫中より選定した車両の詳細情報を例えれば、図78に示す如く表示する。この図78に示される車両の個別のデータは、備考情報として、図79に示す如く表示することができ、当該在庫車両の所有業者情報を図80に示す如く表示することができる。ステップ263において小売共通在庫の在庫中より選定した車両の詳細情報を表示すると、ステップ264において、この選定した中古車を購入するか否かを判定する。

【0128】また、ステップ260において条件に合つた中古車が無いと判定すると、ステップ265において、ユーザーが希望する条件に合つた中古車が市場に出

るまで待つ場合、希望する条件に合つた中古車の予約登録を行うか否かの判定を行う。すなわち、選定した車種・タイプのグレードの小売共通在庫にユーザーが希望する条件に合つた中古車が登録されていないため、現在、ユーザーが希望する条件に合つた中古車を購入できない状態となっており、ユーザーが、希望する条件に合つた中古車の購入を強く希望し、当該希望車が小売共通在庫に登録されるまで待つと希望した場合に、希望する条件に合つた中古車が小売共通在庫に登録されたときに最先に購入交渉権を得るための予約を行う登録(予約登録)をするか否かを判定する。ステップ265において希望する条件に合つた中古車の予約登録を行うと判定すると、ステップ266において、予約登録処理を行う。また、ステップ265において希望する条件に合つた中古車の予約登録を行わないと判定すると、ステップ267において、中古車購入の希望条件を変更するか否かの判定を行う。すなわち、ユーザーの希望する条件に合つた中古車が見つからない場合に、希望する条件を変更する意思があるか否かを判定する。このステップ267において中古車購入の希望条件を変更しないと判定すると、この処理フローは、終了する。また、ステップ267において中古車購入の希望条件を変更する、すなわち、ユーザーが中古車購入の希望条件を変更することによって小売共通在庫に登録されている中古車の購入を希望する場合には、ステップ225に戻り、ユーザーの中古車購入の希望条件の選定をやり直す。

【0129】ステップ265において、小売共通在庫の在庫中より選定した車両について購入を決定しないと判定すると、フローを終了する。また、ステップ265において小売共通在庫の在庫中より選定した車両について購入を決定すると判定すると、ステップ268において、購入方法は現金か否かを判定する。購入方法が現金であると判定すると、ステップ269において、現金での支払い方法の演算処理を行う。ステップ269において現金での支払い方法の演算処理を行うと、ステップ270において、演算した現金での購入方法を保存するか否かの判定をする。このステップ270において現金での支払い方法の演算結果を保存すると判定をすると、ステップ271において演算した現金での購入方法の保存を行う。このステップ271において演算した現金での購入方法の保存を行うか、ステップ270において購入方法の保存をしないと判定すると、ステップ272において、別な購入方法(ローン、リース)との対比を行うか否かを判定する。このステップ272においては、現金での購入方法以外の購入方法(ローン、リース)について演算処理した結果が保存されている場合にだけ購入方法の対比を行うと判定することが可能なのであって、現金での購入方法以外の購入方法(ローン、リース)について演算処理した結果が保存されていない場合は、購入方法の対比を行わないと判定することになる。ステ

ステップ272において購入方法の対比を行うと判定すると、ステップ273において、図81に示す如く、2つの購入方法の対比（現金と、ローン又はリース）を行う。このステップ273において2つの購入方法の対比を行うと、ステップ274において、対比されている2つの購入方法のいずれかの購入方法の選択を行う。

【0130】ステップ272において購入方法の対比を行わないと判定するか、ステップ274において購入方法の選択を行うと、ステップ275において、現金での購入方法、あるいはステップ274において選択した購入方法（ローン又はリース）を変更するか否かの判定を行う。このステップ275において購入方法の変更を行わないと判定すると、ステップ276において、成約・売買契約書の作成処理を行う。この成約・売買契約書の作成処理は、図82に示す処理フローチャートと同様に行われる。

【0131】また、ステップ268において購入方法が現金でないと判定するか、ステップ275において購入方法の変更を行うと判定すると、ステップ277において、購入方法はローンか否かを判定する。このステップ277において購入方法がローンであると判定すると、ステップ278において、ローンでの支払い方法の演算処理を行う。このローンでの購入方法には、通常ローンとフリーローン（残価設定ローン）とがあり、ステップ278におけるローンでの購入方法の演算処理に当たっては、このいずれかを選択することになる。このステップ278においてローンでの購入方法の演算処理を行うと、ステップ279において、演算したローンでの購入方法を保存するか否かの判定を行う。このステップ279においてローンでの購入方法の演算結果を保存すると判定をすると、ステップ280において演算したローンでの購入方法の保存を行う。このステップ279において購入方法の保存をしないと判定するか、ステップ280において演算したローンでの購入方法の保存を行うと、ステップ281において、別な購入方法（支払い条件の異なるローン、リース、現金）との対比を行うか否かを判定する。このステップ281においては、今回演算処理されたローンでの購入方法と異なる購入方法（支払い条件の異なるローン、リース、現金）について演算処理した結果が保存されている場合にだけ購入方法の対比を行うと判定することが可能なのであって、今回演算処理されたローンでの購入方法と異なる購入方法（支払い条件の異なるローン、リース、現金）についての演算処理した結果が保存されていない場合は、購入方法の対比を行わないと判定することになる。ステップ281において購入方法の対比を行うと判定すると、ステップ282において、図94に示す如く、2つの購入方法の対比（ローンと、支払い条件の異なるローン又はリースもしくは現金）を行う。このステップ282において2つの購入方法の対比を行うと、ステップ283において、

対比されている2つの購入方法のいずれかの購入方法の選択を行う。

【0132】ステップ281において購入方法の対比を行わないと判定するか、ステップ283において購入方法の選択を行うと、ステップ284において、ローンでの購入方法、あるいはステップ283において選択した購入方法（支払い条件の異なるローン又はリースもしくは現金）を変更するか否かの判定を行う。このステップ284において購入方法を変更しないと判定すると、ステップ276に移る。また、ステップ277において購入方法がローンでないと判定するか、ステップ274において購入方法を変更すると判定すると、ステップ285において、リースでの購入方法の演算処理を行う。このステップ285においてリースでの購入方法の演算処理を行うと、ステップ286において、演算したリースでの購入方法を保存するか否かの判定をする。このステップ286においてリースでの購入方法の演算結果を保存すると判定をすると、ステップ287において演算したリースでの購入方法の保存を行う。このステップ286において購入方法の保存をしないと判定するか、ステップ287において演算したリースでの購入方法の保存を行うと、ステップ288において、別な購入方法（現金、ローン）との対比を行うか否かを判定する。このステップ288においては、リースでの購入方法以外の購入方法（現金、ローン）について演算処理した結果が保存されている場合にだけ購入方法の対比を行うと判定することが可能なのであって、リースでの購入方法以外の購入方法（現金、ローン）についての演算処理した結果が保存されていない場合は、購入方法の対比を行わないと判定することになる。

【0133】ステップ288において購入方法の対比を行うと判定すると、ステップ289において、図95に示す如く、2つの購入方法の対比（リースと、現金又はローン）を行う。このステップ289において2つの購入方法の対比を行うと、ステップ290において、対比されている2つの購入方法のいずれかの購入方法の選択を行う。

【0134】ステップ288において購入方法の対比を行わないと判定するか、ステップ290において購入方法の選択を行うと、ステップ291において、リースでの購入方法、あるいはステップ290において選択した購入方法（現金又はローン）を変更するか否かの判定を行う。このステップ291において購入方法を変更しないと判定すると、ステップ276に移る。また、ステップ291において購入方法を変更すると判定すると、ステップ292において、現金購入方法に変更するか否かを判定する。このステップ291において現金購入方法に変更すると判定すると、ステップ269の現金での購入方法の演算処理に移る。また、ステップ292において現金購入方法に変更しないと判定すると、ステップ2

78のローンでの購入方法の演算処理に移る。このようにして国産中古車に関してセミバーチャル処理が行われる。

【0135】図132～図137には、本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第4の実施の形態を示す処理フローチャートが示されている。この図132～図137に図示の処理フローチャートは、図99に図示のステップ156において購入予定車の車種・グレードが未定でない、すなわち購入予定車の車種・グレードが決定していると判定したときに行う外国車についてのセミバーチャル処理である。図において、ステップ293において、購入予定外車のグレードの希望がないか否かを判定する。このステップ293において購入予定外車のグレードの希望がないと判定すると、ステップ294において、図138に示す如く購入希望車種の頭文字に該当するボタン（例えば、A）を選択して希望車種の入力（例えば、アウディA6セダン）を行う。このステップ294において希望車種の選択を行うと、ステップ295において、図139に示す如く、決定した希望車種の確認を行うと共に、購入予定外車の理想条件の設定を順次行う。購入予定外車の理想条件には、ボディカラー、定員、ミッション、駆動輪、燃料形態、ナンバープレート、排気量、年式／使用期間がある。この図139に示す如き購入予定外車の理想条件を順次選択していく。ステップ295において表示された購入予定外車の理想条件の内イメージを選択すると、ステップ296において、図56に示す如く、購入予定外車についてのボディカラーの色系を一覧表示する。このボディカラーの色系は、購入予定外車として希望する色系統を示すもので、単色を示すものではなく、同じ色系統でもメーカーによって異なっており、漠然とどういった色系統を希望するかを示すものである。ボディカラーの色系には、白系、真珠系、黄系、橙系、桃系、茶系、赤系、緑系、青系、紺系、紫系、金系、銀系、鉄系、黒系がある。このステップ296において購入予定外車のボディカラーの色系の一覧表示を行うと、ステップ297において、このボディカラーの色系の中から希望するボディカラーの色系を選択する。

【0136】ステップ297において希望するボディカラーの色系を選択すると、ステップ298において、図57に示す如く、購入予定外車についての乗車定員を一覧表示する。この乗車定員は、購入予定外車に乗車できる最大人数のことで、乗車定員には、1人、2人、3人、4人、5人、6人、7人、8人、9人、10人以上がある。このステップ298において購入予定外車の乗車定員の一覧表示を行うと、ステップ299において、この乗車定員の中から希望する乗車定員数を選択する。ステップ299において希望する乗車定員数を選択すると、ステップ300において、図58に示す如きミッションから希望するミッションの選択を行う。このミッショ

ンには、オートマチック・トランス・ミッション（オートマチック）とマニュアル・トランス・ミッション（マニュアル）がある。このステップ300において希望ミッションの選択を行うとステップ301において、図59に示す如き駆動輪（方式）から希望する駆動輪の選択を行う。この駆動輪には、2WD（前輪駆動又は後輪駆動）と4WD（4輪駆動）がある。このステップ301において駆動輪の選択を行うとステップ302において、図60に示す如き燃料形態から希望する燃料形態の選択を行う。この燃料形態には、ガソリン（ガソリンエンジン）と軽油（ディーゼルエンジン）がある。このステップ302において燃料形態（例えば、ガソリン）の選択を行うと、ステップ303において、図61に示す如きナンバープレートから希望するナンバープレートの一覧表示を行う。このナンバープレートには、1ナンバー、3ナンバー、4ナンバー、5／7ナンバーがある。このナンバープレートは、予め基準が定められており、1ナンバーは、普通貨物車（トラック）、3ナンバーは、普通乗用車（排気量2000ccを超える乗用車）、4ナンバーは小型貨物車（商用車）、5／7ナンバーは、小型乗用車（排気量2000cc以下の乗用車）となっている。また、このナンバープレートは、購入希望する車の大きさとも関係してくる（例えば、大きさを大型車として5／7ナンバーを希望することはできない）。このステップ303においてナンバープレートの選択を行うと、ステップ304において、ナンバープレートの選択を行う。

【0137】ステップ304においてナンバープレートの選択を行うと、ステップ305において、図62に示す如く、購入予定外車についての排気量を一覧表示する。この排気量は、購入予定外車として希望する排気量枠を示すもので、排気量には、1000cc以下、1001cc～1500cc、1501cc～2000cc、2001cc～2500cc、2501cc～3000cc、3001cc～3500cc、3501cc～4000cc、4001cc～4500cc、4501cc～6000cc、6001cc以上がある。この排気量の選択は、購入希望する車のナンバープレートと関係している。このステップ305において購入予定外車についての排気量の一覧表示が行われると、ステップ306において、一覧表示された排気量の中から希望する排気量の選択を行う。ステップ306において排気量の選択を行うと、ステップ307において、図63に示す如き使用期間又は年式のいずれかについて、希望する使用期間又は希望する年式の選択を行う。この使用期間の場合は、使用した年限（例えば、3年）を選択し、年式の場合は、初年度登録年（例えば、平成6年）を選択する。この使用期間又は年式の選択は、中古車の価格帯等を特定する上で重要なものである。このステップ307において使用期間又は年式の選択を行うと、ステップ308において、ステップ295

における購入予定外車の理想条件(図139)の入力を全て行ったか否かを判定し、このステップ308において購入予定外車の理想条件の入力を全て行っていないと判定すると、購入予定外車の理想条件の入力が全て行われるのを待つ。また、ステップ308において、購入予定外車の理想条件の入力が全て行われたと判定すると、ステップ309において、選定した車種・タイプについてのグレードを図140に示す如く一覧表示する。ここで例として挙げたアウディA6・セダン(初年度登録月:平成7年6月)のグレードは、3種類で、2.6, 2.8, 2.8クワトロである。このステップ309において選定した車種・タイプについてのグレードの一覧表示をすると、ステップ310において、一覧表示したグレードの中から希望するグレード(例えば、2.6)を選択する。ステップ310において、一覧表示したグレードの中から希望するグレードを選択すると、ステップ311において、図141に示す如く選択したグレードの確認を行う。図141に示される確認事項は、メーカー名(アウディ)、車種(A6)、タイプ(セダン)、排気量(2600cc)、グレード(2.6)、年式(平成7年1月発売)、ミッション(フロア4速オートマチック)、適正走行距離(20,800km)、流通小売価格(2,600千円)、車体の全体写真である。適正走行距離は、当該車の平均的な総走行距離を示したもので、流通小売価格というは、外観上損傷がなく、平均的距離を乗った車の買取価格から適正利益を上乗せして決定した標準小売販売価格のことである。ステップ311において選択したグレードの確認を行うと、ステップ312において、選択したグレードを保存するか否かを判定する。このステップ312において選択したグレードを保存すると判定すると、ステップ321において、図142に示す如く選択した車種・タイプ、グレードの車の内容を示すカタログ情報の表示を行う。

【0138】また、ステップ293において、購入予定外車のグレードの希望があると判定すると、ステップ313において、図138に示す如く決定している購入希望車種の頭文字に該当するボタン(例えば、ア)を選択して希望外車の車種の入力(例えば、アウディA6)を行う。このステップ313において希望外車の車種の選択を行うと、ステップ314において、図63に示すように使用期間又は年式のいずれかについて、希望する使用期間又は希望する年式の選択を行う。この使用期間の場合は、使用した年限(例えば、3年)を選択し、年式の場合は、初年度登録年(例えば、平成6年)を選択する。この使用期間又は年式の選択は、中古車の価格帯等を特定する上で重要なものである。このステップ314において使用期間又は年式の設定を行うと、ステップ315において、選定した外車の車種・タイプについてのグレードを図140に示す如く一覧表示する。ここで例として挙げたアウディA6(初年度登録月:平成7年6

月)のグレードは、3種類で、2.6, 2.8, 2.8クワトロである。このステップ315において選定した外車の車種・タイプについてのグレードの一覧表示をすると、ステップ316において、一覧表示したグレードの中から既に決定しているグレード(例えば、2.6)を選択する。ステップ316において、グレードの選択をすると、ステップ317において、図56に示す如く、購入を希望する車種タイプ・グレードについてのボディカラーの色系を一覧表示する。このボディカラーの色系は、購入予定外車として希望する色系統を示すもので、単色を示すものではなく、同じ色系統でもメーカーによって異なっており、漠然とどういった色系統を希望するかを示すものである。ボディカラーの色系には、白系、真珠系、黄系、橙系、桃系、茶系、赤系、緑系、青系、紺系、紫系、金系、銀系、鉄系、黒系がある。このステップ317において購入予定外車のボディカラーの色系の一覧表示を行うと、ステップ318において、このボディカラーの色系の中から希望するボディカラーの色系を選択する。ステップ318において希望するボディカラーの色系を選択すると、ステップ319において、図58に示す如きミッションから希望するミッションの選択を行う。このミッションには、オートマチック・トランス・ミッション(オートマチック)とマニュアル・トランス・ミッション(マニュアル)とがある。このステップ319において希望ミッションの選択を行うとステップ320において、図141に示す如く選定した車種・タイプ・グレードの確認を行う。図141に示される確認事項は、メーカー名(アウディ)、車種(A6)、タイプ(セダン)、排気量(2600cc)、グレード(2.6)、年式(平成7年1月発売)、ミッション(フロア4速オートマチック)、適正走行距離(20,800km)、流通小売価格(2,600千円)、車体の全体写真である。適正走行距離は、当該車の平均的な総走行距離を示したもので、流通小売価格というは、外観上損傷がなく、平均的距離を乗った車の買取価格から適正利益を上乗せして決定した標準小売販売価格のことである。ステップ312において選択したグレードを保存しないと判定するか、ステップ320において選定した外車の車種・タイプ・グレードの確認を行うと、ステップ321において、図142に示す如く、選択した車種・タイプ、グレードの車の内容を示すカタログ情報の表示を行う。

【0139】また、ステップ312において選択したグレードを保存すると判定すると、ステップ322において、選択したグレードの保存を行う。このステップ322において選択したグレードの保存を行うと、ステップ323において、再度、図140に示す如く選定した外車の車種タイプについてのグレードの一覧表示を行う。ここで例として挙げたアウディ・A6・セダン(初年度登録月:平成7年6月)のグレードは、3種類で、2.

6, 2, 8, 2, 8 クワトロである。このステップ3 2 3において選定した外車の車種・タイプについてのグレードの一覧表示を行うと、ステップ3 2 4において、一覧表示した選定した外車の車種・タイプについてのグレードの中から前回選定したグレード(2, 6)と異なるグレード(例えば、2, 8)を選択する。ステップ3 2 4において前回選定したグレードと異なるグレードを選択すると、ステップ3 2 5において、図1 4 3に示す如く新たに選定したグレードの確認を行う。図1 4 3に示される確認事項は、メーカー名(アウディ)、車種(A 6)、タイプ(セダン)、排気量(2800cc)、グレード(2, 8)、年式(平成7年1月発売)、ミッション(フロア4速オートマチック)、適正走行距離(2 3, 350km)、流通小売価格(2, 880千円)、車体の全体写真である。このステップ3 2 5において選定した外車の車種・タイプについてのグレードの確認を行うと、ステップ3 2 6において、新たに選定した外車の車種・タイプについてのグレード(2, 8)と保存してある前回選定した外車の車種・タイプについてのグレード(2, 6)との比較を行うか否かを判定する。このステップ3 2 6において、新たに選定したグレードと保存してあるグレードとの比較を行わないと判定すると、ステップ3 2 1において、図1 4 4に示す如く選択した外車の車種・タイプ、グレードの車の内容を示すカタログ情報の表示を行う。また、ステップ3 2 6において新たに選定したグレード(2, 8)と保存してある前回選定したグレード(2, 6)との比較を行うと判定すると、ステップ3 2 7において、図1 4 5に示す如く、前回選択したグレードと今回選択したグレードを対比して表示する。このステップ3 2 7において前回選択したグレードと今回選択したグレードを対比して表示すると、ステップ3 2 8において、対比して表示してあるグレードのいずれかのグレード(2, 8又は2, 6)の選択を行い、ステップ3 2 1において、対比して表示してあるグレードの内、いずれか選択した外車の車種・タイプ、グレードの車の内容を示すカタログ情報の表示を、前回選択したグレード(2, 6)の場合は図1 4 2に示す如く、今回選択したグレード(2, 8)の場合は図1 4 4に示す如く行う。

【0140】ステップ3 2 1において選択した外車の車種・タイプ、グレードの車の内容を示すカタログ情報の表示を行うと、ステップ3 2 9において、小売共通在庫に登録されている希望する各種条件に適合した中古車の検索を行う。このステップ3 2 9において小売共通在庫に登録されている希望する各種条件に適合した中古車の検索を行うと、ステップ3 3 0において、条件に合った中古車があつたか否かの判定を行う。このステップ3 3 0において条件に合った中古車があつたと判定すると、ステップ3 3 1において、図1 4 6に示す如く、選定した外車の車種・タイプのグレードの小売共通在庫に登録

された在庫状況の表示を行う。このステップ3 3 1において選定した車種・タイプ(例えば、アウディ・A6・セダン)のグレード(例えば、2, 6)の小売共通在庫に登録された在庫状況の表示が行われると、ステップ3 3 2において、図1 4 6に表示された小売共通在庫の在庫の中から購入希望車両を選定する。ステップ3 3 2において購入希望車両を選定すると、ステップ3 3 3において、小売共通在庫の在庫中より選定した車両の詳細情報を例えば、図1 4 7に示す如く表示する。この図1 4 7に示される車両の個別のデータは、備考情報として、図1 4 8に示す如く表示することができ、当該在庫車両の所有業者情報を図1 4 9に示す如く表示することができる。ステップ3 3 3において小売共通在庫の在庫中より選定した車両の詳細情報を表示すると、ステップ3 3 4において、この選定した中古車を購入するか否かの判定を行う。

【0141】また、このステップ3 3 0において条件に合った中古外車が無いと判定すると、ステップ3 3 5において、希望する条件に合った中古外車の予約登録を行うか否かの判定を行う。この予約登録といふのは、選定した車種・タイプのグレードの小売共通在庫にユーザーが希望する条件に合った中古車が登録されていないため、現在、ユーザーが希望する条件に合った中古車を購入できない状態となっており、ユーザーが、希望する条件に合った中古車の購入を強く希望し、当該希望車が小売共通在庫に登録されるまで待つと希望した場合に、希望する条件に合った中古車が小売共通在庫に登録されたときに最先に購入交渉権を得るための予約をする登録のことである。ステップ3 3 5において希望する条件に合った中古車の予約登録を行うと判定すると、ステップ3 3 6において、予約登録処理を行う。また、ステップ3 3 5において希望する条件に合った中古車の予約登録を行わないと判定すると、ステップ3 3 7において、中古車購入の希望条件を変更するか否かの判定を行う。すなわち、ユーザーの希望する条件に合った中古車が見つからない場合に、希望する条件を変更して異なる車種・グレードの外車を購入する意思があるか否かを判定する。このステップ3 3 7において中古車購入の希望条件を変更しないと判定すると、この処理フローは、終了する。また、ステップ3 3 7において中古車購入の希望条件を変更する、すなわち、ユーザーが中古車購入の希望条件を変更することによって小売共通在庫に登録されている中古車の購入を希望する場合には、ステップ2 9 3に戻り、ユーザーの中古車購入の希望条件の選定をやり直す。

【0142】また、ステップ3 3 4において、小売共通在庫の在庫中より選定した車両について購入を決定しないと判定すると、フローを終了する。そして、ステップ3 3 4において小売共通在庫の在庫中より選定した車両について購入を決定すると判定すると、ステップ3 3 8

において、購入方法は現金か否かを判定する。購入方法が現金であると判定すると、ステップ339において、現金での購入方法の演算処理を行う。ステップ339において現金での購入方法の演算処理を行うと、ステップ340において、演算した現金での購入方法を保存するか否かの判定をする。このステップ340において現金での購入方法の演算結果を保存すると判定をすると、ステップ341において演算した現金での購入方法の保存を行う。このステップ341において演算した現金での購入方法の保存を行うか、ステップ340において購入方法の保存をしないと判定すると、ステップ342において、別な購入方法（ローン、リース）との対比を行うか否かを判定する。このステップ342においては、現金での購入方法以外の購入方法（ローン、リース）について演算処理した結果が保存されている場合にだけ購入方法の対比を行うと判定することが可能なのであって、現金での購入方法以外の購入方法（ローン、リース）についての演算処理した結果が保存されていない場合は、購入方法の対比を行わないと判定することになる。ステップ342において購入方法の対比を行うと判定すると、ステップ343において、図150に示す如く、2つの購入方法の対比（現金と、ローン又はリース、図150では現金とローンの対比）を行う。このステップ343において2つの購入方法の対比を行うと、ステップ344において、対比されている2つの購入方法のいずれかの購入方法の選択を行う。

【0143】ステップ342において購入方法の対比を行わないと判定するか、ステップ344において購入方法の選択を行うと、ステップ345において、現金での購入方法、あるいはステップ344において選択した購入方法（ローン又はリース）を変更するか否かの判定を行う。このステップ345において購入方法の変更を行わないと判定すると、ステップ346において、成約・売買契約書の作成処理を行う。また、ステップ338において購入方法が現金でないと判定するか、ステップ345において購入方法の変更を行うと判定すると、ステップ347において、購入方法はローンか否かを判定する。このステップ347において購入方法がローンであると判定すると、ステップ348において、ローンでの購入方法の演算処理を行う。このローンでの購入方法には、通常ローンとフリーローン（残価設定ローン）とがあり、ステップ348におけるローンでの購入方法の演算処理に当たっては、このいずれかを選択することになる。このステップ348においてローンでの購入方法の演算処理を行うと、ステップ349において、演算したローンでの購入方法を保存するか否かの判定を行う。このステップ349においてローンでの購入方法の演算結果を保存すると判定すると、ステップ350において演算したローンでの購入方法の保存を行う。このステップ349において購入方法の保存をしないと判定するか、

ステップ350において演算したローンでの購入方法の保存を行うと、ステップ351において、別な購入方法（支払い条件の異なるローン、リース、現金）との対比を行うか否かを判定する。このステップ351においては、今回演算処理されたローンでの購入方法と異なる購入方法（支払い条件の異なるローン、リース、現金）について演算処理した結果が保存されている場合にだけ購入方法の対比を行うと判定することが可能なのであって、今回演算処理されたローンでの購入方法と異なる購入方法（支払い条件の異なるローン、リース、現金）についての演算処理した結果が保存されていない場合は、購入方法の対比を行わないと判定することになる。ステップ351において購入方法の対比を行うと判定すると、ステップ352において、図151に示す如く、2つの購入方法の対比（ローンと、支払い条件の異なるローン又はリースもしくは現金、図151ではローンとリースの対比）を行う。このステップ352において2つの購入方法の対比を行うと、ステップ353において、対比されている2つの購入方法のいずれかの購入方法の選択を行う。

【0144】ステップ351において購入方法の対比を行わないと判定するか、ステップ353において購入方法の選択を行うと、ステップ354において、ローンでの購入方法、あるいはステップ353において選択した購入方法（支払い条件の異なるローン又はリースもしくは現金）を変更するか否かの判定を行う。このステップ354において購入方法を変更しないと判定すると、ステップ346に移る。また、ステップ347において購入方法がローンでないと判定するか、ステップ354において購入方法の変更を行うと判定すると、ステップ355において、リースでの購入方法の演算処理を行う。このステップ355においてリースでの購入方法の演算処理を行うとステップ356において、演算したリースでの購入方法を保存するか否かの判定をする。このステップ356においてリースでの購入方法の演算結果を保存すると判定をすると、ステップ357において演算したリースでの購入方法の保存を行う。このステップ356において購入方法の保存をしないと判定するか、ステップ357において演算したリースでの購入方法の保存を行うと、ステップ358において、別な購入方法（現金、ローン）との対比を行うか否かを判定する。このステップ358においては、リースでの購入方法以外の購入方法（現金、ローン）について演算処理した結果が保存されている場合にだけ購入方法の対比を行うと判定することが可能なのであって、リースでの購入方法以外の購入方法（現金、ローン）についての演算処理した結果が保存されていない場合は、購入方法の対比を行わないと判定することになる。

【0145】ステップ358において購入方法の対比を行うと判定すると、ステップ359において、図152

に示す如く、2つの購入方法の対比（リースと、現金又はローン、図152ではリースと現金の対比）を行う。このステップ359において2つの購入方法の対比を行うと、ステップ360において、対比されている2つの購入方法のいずれかの購入方法の選択を行う。

【0146】ステップ358において購入方法の対比を行わないと判定するか、ステップ360において購入方法の選択を行うと、ステップ361において、リースでの購入方法、あるいはステップ360において選択した購入方法（現金又はローン）を変更するか否かの判定を行う。このステップ361において購入方法を変更しないと判定すると、ステップ348において、成約・売買契約書の作成処理を行う。また、ステップ361において購入方法を変更すると判定すると、ステップ362において、購入方法を現金購入方法に変更するか否かを判定する。このステップ362において購入方法を現金購入方法に変更すると判定するとステップ339に戻り現金での購入方法の演算処理を行う。また、ステップ362において購入方法を現金購入方法に変更しないと判定すると、ステップ348に戻りローンでの購入方法の演算処理を行う。

【0147】このようにして外国産中古車に関してセミバーチャル処理が行われる。

【0148】図153～図160には、本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第5の実施の形態を示す処理フローチャートが示されている。この図153～図160に図示の処理フローチャートは、図3に図示のステップ26において小売り共通在庫に直接アクセスすると判定したとき、及び図97に図示のステップ134において小売り共通在庫に直接アクセスすると判定したときに行うセミアリティ処理である。図において、ステップ363において、ユーザーが購入を希望する車が国産車か外車かの特定を行う。このステップ363においてユーザーが購入を希望する車が例えば、国産車と特定すると、ステップ364において、図129に示す如く、希望する車種の頭文字（例えば、ク）を選択し、希望する車種の頭文字で始まる小売共通在庫に登録された全メーカーについての車種タイプを一覧表示すると、ステップ365において、一覧表示された全メーカーの中から希望する車種タイプ（例えば、クラウン 4ドアハードトップ）を選定する。ステップ365において希望する車種タイプ（例えば、クラウン 4ドアハードトップ）の選定を行うと、ステップ366において、図161に示す如く、選定した車種タイプについて小売共通在庫に登録された年式（発売年月）別に在庫台数を表示する。図161においては、小売共通在庫に登録された総数が85台で、その内、同一車種/タイプ（クラウン 4ドアハードトッ

プ）について小売共通在庫に登録された総数が16台となっており、平成2年1月～12月発売のクラウン 4ドアハードトップについて小売共通在庫に登録された中古車が4台、平成7年1月～7月発売のクラウン4ドアハードトップについて小売共通在庫に登録された中古車が11台、平成7年8月～12月発売のフルモデルチェンジされたクラウン 4ドアハードトップについて小売共通在庫に登録された中古車が1台となっている。

【0149】ステップ366において選定した車種タイプについて小売共通在庫に登録された年式（発売年月）別に在庫台数の表示を行うと、ステップ367において、希望した年式に相当する中古車があるか否かを判定する。このステップ367において予め希望していた年式に相当する中古車がないと判定すると、ステップ368において、希望する年式を変更するか否かを判定する。このステップ368において希望する年式を変更しないと判定すると、このフローを終了する。また、このステップ368において希望する年式を変更すると判定すると、ステップ369において、再度、図161に示す如く、選定した車種タイプについて小売共通在庫に登録された年式（発売年月）別に在庫台数を表示する。ステップ367において希望した年式に相当する中古車があると判定するか、ステップ369において選定した車種タイプについて小売共通在庫に登録された年式（発売年月）別に在庫台数を表示すると、ステップ370において、選定した車種タイプ（クラウン 4ドアハードトップ）について小売共通在庫に登録された各種年式の中から希望する年式（例えば、平成7年1月～7月発売）を選択する。ステップ370において選定した車種タイプ（クラウン 4ドアハードトップ）について小売共通在庫に登録された各種年式の中から希望する年式（平成7年1月～7月発売）を選択すると、ステップ371において、図162、図163に示す如く、選定した車種タイプ・年式（平成7年1月～7月発売のクラウン 4ドアハードトップ）について小売共通在庫に登録された各グレード別に在庫台数を一覧表示する。この平成7年1月～7月発売のクラウン 4ドアハードトップについて小売共通在庫に登録されたグレードは、RサルーンG マルチV（2台）、RサルーンG（2台）、Rサルーン マルチV（1台）、Rサルーン（2台）、Rツーリング（2台）、RツーリングS マルチV（1台）、RツーリングS（1台）の7種類である。

【0150】このステップ371において選定した車種タイプ・年式（平成7年1月～7月発売のクラウン4ドアハードトップ）について小売共通在庫に登録されたグレード別に在庫台数の一覧表示を行うと、ステップ372において、予め希望していたグレードに相当する中古車があるか否かを判定する。このステップ372において予め希望していたグレードに相当する中古車がないと判定すると、ステップ373において、希望するグレ

ドを変更するか否かを判定する。このステップ373において希望するグレードを変更しないと判定すると、このフローを終了する。また、このステップ373において希望するグレードを変更すると判定すると、ステップ374において、再度、図162、図163に示す如く、選定した車種タイプ・年式（平成7年1月～7月発売のクラウン 4ドアハードトップ）について小売共通在庫に登録された各グレード別に在庫台数を一覧表示する。

【0151】ステップ372において希望したグレードに相当する中古車があると判定するか、ステップ374において選定した車種タイプ・年式（平成7年1月～7月発売のクラウン 4ドアハードトップ）について小売共通在庫に登録された各グレード別に在庫台数を一覧表示すると、ステップ375において、選定した車種タイプ・年式（平成7年1月～7月発売のクラウン 4ドアハードトップ）について小売共通在庫に登録された各グレードの中から希望するグレード（例えば、RサルーンG マルチV）を選択する。ステップ375において選定した車種タイプ・年式（平成7年1月～7月発売のクラウン 4ドアハードトップ）について小売共通在庫に登録された各グレードの中から希望するグレード（RサルーンG マルチV）を選択すると、ステップ376において、図164に示す如く、選定した車種タイプ・年式・グレード（平成7年1月～7月発売のクラウン 4ドアハードトップ、RサルーンG マルチV）について小売共通在庫に登録された各ボディカラー別に在庫台数を一覧表示する。本実施の形態においては、選定した車種タイプ・年式・グレード（平成7年1月～7月発売のクラウン 4ドアハードトップ、RサルーンG マルチV）について小売共通在庫に登録された中古車のボディカラーは2種類（シルキー・エレガントトーニングII、ウォームグレーパールマイカ）である。

【0152】ステップ376において選定した車種タイプ・年式・グレード（平成7年1月～7月発売のクラウン 4ドアハードトップ、RサルーンG マルチV）について小売共通在庫に登録された各ボディカラー別に在庫台数を一覧表示すると、ステップ377において、予め希望していたボディカラーに相当する中古車があるか否かを判定する。このステップ377において予め希望していたボディカラーに相当する中古車がないと判定すると、ステップ378において、希望するボディカラーを変更するか否かを判定する。このステップ378において希望するボディカラーを変更しないと判定すると、このフローを終了する。また、このステップ378において希望するボディカラーを変更すると判定すると、ステップ379において、再度、図164に示す如く、選定した車種タイプ・年式・グレード（平成7年1月～7月発売のクラウン 4ドアハードトップ、RサルーンG マルチV）について小売共通在庫に登録された各ボデ

ィカラー別に在庫台数を一覧表示する。

【0153】ステップ377において希望したボディカラーに相当する中古車があると判定するか、ステップ378において選定した車種タイプ・年式・グレード（平成7年1月～7月発売のクラウン 4ドアハードトップ、RサルーンG マルチV）について小売共通在庫に登録された各ボディカラー別に在庫台数を一覧表示すると、ステップ380において、選定した車種タイプ・年式・グレード（平成7年1月～7月発売のクラウン 4ドアハードトップ、RサルーンG マルチV）について小売共通在庫に登録された各ボディカラーの中から希望するボディカラー（例えは、シルキー・エレガントトーニングII）を選択する。ステップ380において選定した車種タイプ・年式・グレード（平成7年1月～7月発売のクラウン 4ドアハードトップ、RサルーンG マルチV）について小売共通在庫に登録された各ボディカラーの中から希望するボディカラー（シルキー・エレガントトーニングII）を選択すると、ステップ381において、図165に示す如く、選定した車種タイプ・年式・グレード・ボディカラー（平成7年1月～7月発売のクラウン 4ドアハードトップ、RサルーンG マルチV、シルキー・エレガントトーニングII）について小売共通在庫に登録された中古車を各走行距離帯別に在庫台数を一覧表示する。ステップ381において選定した車種タイプ・年式・グレード・ボディカラー（平成7年1月～7月発売のクラウン 4ドアハードトップ、RサルーンG マルチV、シルキー・エレガントトーニングII）について小売共通在庫に登録された中古車を各走行距離帯別に在庫台数を一覧表示すると、ステップ382において、予め希望していた走行距離帯に相当する中古車があるか否かを判定する。このステップ382において予め希望していた走行距離帯に相当する中古車がないと判定すると、ステップ383において、希望する走行距離帯を変更するか否かを判定する。このステップ383において希望する走行距離帯を変更しないと判定すると、このフローを終了する。また、このステップ383において希望する走行距離帯を変更すると判定すると、ステップ384において、再度、図165に示す如く、選定した車種タイプ・年式・グレード・ボディカラー（平成7年1月～7月発売のクラウン 4ドアハードトップ、RサルーンG マルチV、シルキー・エレガントトーニングII）について小売共通在庫に登録された中古車を各走行距離帯別に在庫台数を一覧表示する。

【0154】ステップ382において希望した走行距離帯に相当する中古車があると判定するか、ステップ384において選定した車種タイプ・年式・グレード・ボディカラー（平成7年1月～7月発売のクラウン 4ドアハードトップ、RサルーンG マルチV、シルキー・エレガントトーニングII）について小売共通在庫に登録された各走行距離帯別に在庫台数を一覧表示すると、ステップ

385において、選定した車種タイプ・年式・グレード・ボディカラー（平成7年1月～7月発売のクラウン4ドアハードトップ、RサルーンG マルチV、シルキーエレガントトーニングII）についての希望走行距離帯（例えば、20001km～40000km）を選択する。このステップ385において選定した車種タイプ・年式・グレード・ボディカラー（平成7年1月～7月発売のクラウン4ドアハードトップ、RサルーンG マルチV、シルキーエレガントトーニングII）についての希望走行距離帯（20001km～40000km）を選択すると、ステップ386において、図166に示す如く、選定した車種タイプ・年式・グレード・ボディカラー・走行距離帯について小売共通在庫に登録された中古車を各価格帯別に在庫台数を一覧表示する。このステップ386において選定した車種タイプ・年式・グレード・ボディカラー・走行距離帯について小売共通在庫に登録された中古車を各価格帯別に在庫台数の一覧表示を行うと、ステップ387において、希望した価格帯に相当する中古車があるか否かを判定する。このステップ387において予め希望していた価格帯に相当する中古車がないと判定すると、ステップ388において、希望する価格帯を変更するか否かを判定する。このステップ388において希望する価格帯を変更しないと判定すると、このフローを終了する。また、このステップ388において希望する価格帯を変更すると判定すると、ステップ389において、再度、図166に示す如く、選定した車種タイプ・年式・グレード・ボディカラー・走行距離帯（平成7年1月～7月発売のクラウン4ドアハードトップ、RサルーンG マルチV、シルキーエレガントトーニングI I, 20001km～40000km走行）について小売共通在庫に登録された中古車を各価格帯別に在庫台数を一覧表示する。

【0155】ステップ387において希望した価格帯に相当する中古車があると判定するか、ステップ389において選定した車種タイプ・年式・グレード・ボディカラー・走行距離帯（平成7年1月～7月発売のクラウン4ドアハードトップ、RサルーンG マルチV、シルキーエレガントトーニングII, 20001km～40000km走行）について小売共通在庫に登録された各価格帯別に在庫台数を一覧表示すると、ステップ390において、選定した車種タイプ・年式・グレード・ボディカラー・走行距離帯（平成7年1月～7月発売のクラウン4ドアハードトップ、RサルーンG マルチV、シルキーエレガントトーニングII, 20001km～40000km走行）についての希望価格帯（例えば、200万円～300万円）を選択する。このステップ390において選定した車種タイプ・年式・グレード・ボディカラー・走行距離帯

走行距離帯（平成7年1月～7月発売のクラウン4ドアハードトップ、RサルーンG マルチV、シルキーエレガントトーニングII, 20001km～40000km走行）についての希望価格帯（例えば、200万円～300万円）を選択すると、ステップ391において、図167に示す如く、選定した車種タイプ・年式・グレード・ボディカラー・走行距離帯・価格帯について小売共通在庫に登録された全中古車を状況と共に価格降順（価格の高いものから価格の低いもの順）に一覧表示する。本実施の形態においては、選定した車種タイプ・年式・グレード・ボディカラー・走行距離帯・価格帯（平成7年1月～7月発売のクラウン4ドアハードトップ、RサルーンG マルチV、シルキーエレガントトーニングII, 20001km～40000km走行, 200万円～300万円）に該当する中古車が小売共通在庫に1台しか登録されていないため、図167に示す如く、1台しか表示されない。この小売共通在庫に登録される中古車の台数が多くなれば、表示し切れないほどの台数となる。

【0156】ステップ391において選定した車種タイプ・年式・グレード・ボディカラー・走行距離帯・価格帯について小売共通在庫に登録された全中古車を状況と共に価格降順に一覧表示すると、ステップ392において、表示された小売共通在庫に登録された全中古車の在庫一覧表示を価格昇順（価格の低いものから価格の高いもの順）に表示変更するか否かを判定する。このステップ392において表示された小売共通在庫に登録された全中古車の在庫一覧表示を価格昇順に表示変更すると判定すると、ステップ393において、表示された小売共通在庫に登録された全中古車の在庫一覧表示を価格昇順に表示変更すると判定すると、ステップ394において、表示された小売共通在庫に登録された全中古車の在庫一覧表示を車検残の多い順に表示を変更するか否かを判定する。このステップ394において表示された小売共通在庫に登録された全中古車の在庫一覧表示を車検残の多い順に表示を変更すると判定すると、ステップ395において、表示された小売共通在庫に登録された全中古車の在庫一覧表示を車検残の多い順に表示変更する。そして、ステップ394において表示された小売共通在庫に登録された全中古車の在庫一覧表示を車検残の多い順に表示変更しないと判定するか、ステップ395において表示された小売共通在庫に登録された全中古車の在庫一覧表示を車検残の多い順に表示変更すると、ステップ396において、表示された小売共通在庫に登録された全中古車の在庫一覧表示を走行距離の多い順に表示変更するか否かを判定する。このステップ396において表示された小売共通在庫に登録された

全中古車の在庫一覧表示を走行距離の多い順に表示変更すると判定すると、ステップ397において、表示された小売共通在庫に登録された全中古車の在庫一覧表示を走行距離の多い順に表示変更する。

【0157】ステップ397において表示された小売共通在庫に登録された全中古車の在庫一覧表示を走行距離の多い順に表示変更すると、ステップ398において、選定した車種タイプ・年式・グレード・ボディカラー・走行距離帯・価格帯（平成7年1月～7月発売のクラウン 4ドアハードトップ、RサルーンG マルチV、シリキーエレガントトーニングII、20000km～40000km走行、200万円～300万円）に該当する小売共通在庫に登録されている全中古車の中から希望する車両を選択する。このステップ398において希望する車両を選択すると、ステップ399において、小売共通在庫登録されている全中古車の中から選択した車両の詳細情報の表示を図168に示す如く行う。ステップ399において小売共通在庫登録されている全中古車の中から選択した車両の詳細情報の表示を行うと、ステップ400において、この選定した中古車を購入するか否かを判定する。ステップ400において、小売共通在庫の中より選定した車両について購入を決定しないと判定すると、フローを終了する。また、ステップ400において小売共通在庫の在庫中より選定した車両について購入を決定すると、ステップ401において、購入方法は現金か否かを判定する。購入方法が現金であると判定すると、ステップ402において、現金での支払い方法の演算処理を行う。

【0158】ステップ402において現金での支払い方法の演算処理を行うと、ステップ403において、演算した現金での購入方法を保存するか否かの判定をする。このステップ403において現金での支払い方法の演算結果を保存すると判定をすると、ステップ404において演算した現金での購入方法の保存を行う。このステップ404において演算した現金での購入方法の保存を行うか、ステップ403において購入方法の保存をしないと判定すると、ステップ405において、別な購入方法（ローン、リース）との対比を行うか否かを判定する。このステップ405においては、現金での購入方法以外の購入方法（ローン、リース）について演算処理した結果が保存されている場合にだけ購入方法の対比を行うと判定することが可能なのであって、現金での購入方法以外の購入方法（ローン、リース）についての演算処理した結果が保存されていない場合は、購入方法の対比を行わないと判定することになる。ステップ405において購入方法の対比を行うと判定すると、ステップ406において、図81と同様に2つの購入方法の対比（現金と、ローン又はリース）を行う。このステップ406において2つの購入方法の対比を行うと、ステップ407において、対比されている2つの購入方法のいずれかの購入方法の選択を行う。

購入方法の選択を行う。

【0159】ステップ405において購入方法の対比を行わないと判定するか、ステップ407において購入方法の選択を行うと、ステップ408において、現金での購入方法、あるいはステップ407において選択した購入方法（ローン又はリース）を変更するか否かの判定を行う。このステップ408において購入方法の変更を行わないと判定すると、ステップ409において、成約・売買契約書の作成処理を行う。この成約・売買契約書の作成処理は、図82に示す処理フローチャートと同様に行われる。

【0160】また、ステップ401において購入方法が現金でないと判定するか、ステップ408において購入方法の変更を行うと判定すると、ステップ410において、購入方法はローンか否かを判定する。このステップ410において購入方法がローンであると判定すると、ステップ411において、ローンでの支払い方法の演算処理を行う。このローンでの購入方法には、通常ローンとフリーローン（残価設定ローン）とがあり、ステップ411におけるローンでの購入方法の演算処理に当たっては、このいずれかを選択することになる。このステップ411においてローンでの購入方法の演算処理を行うと、ステップ412において、演算したローンでの購入方法を保存するか否かの判定を行う。このステップ412においてローンでの購入方法の演算結果を保存すると判定をすると、ステップ413において演算したローンでの購入方法の保存を行う。このステップ412において購入方法の保存をしないと判定するか、ステップ413において演算したローンでの購入方法の保存を行うと、ステップ414において、別な購入方法（支払い条件の異なるローン、リース、現金）との対比を行うか否かを判定する。このステップ414においては、今回演算処理されたローンでの購入方法と異なる購入方法（支払い条件の異なるローン、リース、現金）について演算処理した結果が保存されている場合にだけ購入方法の対比を行うと判定することが可能なのであって、今回演算処理されたローンでの購入方法と異なる購入方法（支払い条件の異なるローン、リース、現金）についての演算処理した結果が保存されていない場合は、購入方法の対比を行わないと判定することになる。ステップ414において購入方法の対比を行うと判定すると、ステップ415において、図94と同様に2つの購入方法の対比（ローンと、支払い条件の異なるローン又はリースもしくは現金）を行う。このステップ415において2つの購入方法の対比を行うと、ステップ416において、対比されている2つの購入方法のいずれかの購入方法の選択を行う。

【0161】ステップ414において購入方法の対比を行わないと判定するか、ステップ416において購入方法の選択を行うと、ステップ417において、ローンで

の購入方法、あるいはステップ416において選択した購入方法（支払い条件の異なるローン又はリースもしくは現金）を変更するか否かの判定を行う。このステップ417において購入方法を変更しないと判定すると、ステップ409に移る。また、ステップ410において購入方法がローンでないと判定するか、ステップ407において購入方法を変更すると判定すると、ステップ418において、リースでの購入方法の演算処理を行う。このステップ418においてリースでの購入方法の演算処理を行うと、ステップ419において、演算したリースでの購入方法を保存するか否かの判定をする。このステップ419においてリースでの購入方法の演算結果を保存すると判定をすると、ステップ420において演算したリースでの購入方法の保存を行う。このステップ419において購入方法の保存をしないと判定するか、ステップ420において演算したリースでの購入方法の保存を行うと、ステップ421において、別な購入方法（現金、ローン）との対比を行うか否かを判定する。このステップ421においては、リースでの購入方法以外の購入方法（現金、ローン）について演算処理した結果が保存されている場合にだけ購入方法の対比を行うと判定することが可能なのであって、リースでの購入方法以外の購入方法（現金、ローン）についての演算処理した結果が保存されていない場合は、購入方法の対比を行わないと判定することになる。

【0162】ステップ421において購入方法の対比を行うと判定すると、ステップ422において、図95と同様に2つの購入方法の対比（リースと、現金又はローン）を行う。このステップ422において2つの購入方法の対比を行うと、ステップ423において、対比されている2つの購入方法のいずれかの購入方法の選択を行う。

【0163】ステップ421において購入方法の対比を行わないと判定するか、ステップ423において購入方法の選択を行うと、ステップ424において、リースでの購入方法、あるいはステップ423において選択した購入方法（現金又はローン）を変更するか否かの判定を行う。このステップ424において購入方法を変更しないと判定すると、ステップ409に移る。

【0164】また、ステップ424において購入方法を変更すると判定すると、ステップ425において、現金購入方法に変更するか否かを判定する。このステップ424において現金購入方法に変更すると判定すると、ステップ402の現金での購入方法の演算処理に移る。また、ステップ425において現金購入方法に変更しないと判定すると、ステップ411のローンでの購入方法の演算処理に移る。

【0165】このようにして中古車に関してセミアリティ処理が行われる。

【0166】図169～図171には、本発明に係る車

の新規購入と下取査定の処理方法の第6の実施の形態を示す処理フローチャートが示されている。この図169～図171に図示の処理フローチャートは、図3に図示のステップ28においてディーラーの展示場に実際に展示されている国産中古車の購入を希望すると判定、すなわち小売共通在庫にアクセスすることなく展示国産車両の購入相談であると判定したとき、及び図97に図示のステップ136においてディーラーの展示場に実際に展示されている中古外車の購入を希望すると判定、すなわち小売共通在庫にアクセスすることなく展示外車の購入相談であると判定したときに行うアリアリティ処理である。図において、ステップ426において、ユーザーが購入を希望したディーラーの展示場に実際に展示されている中古車について予め記憶されている詳細情報を表示する。このステップ426において展示車両の詳細情報を表示すると、ステップ427において、展示場に実際に展示されている中古車を購入するか否かを判定する。ステップ427において、小売共通在庫の在庫中より選定した車両について購入を決定しないと判定すると、フローを終了する。また、ステップ427において小売共通在庫の在庫中より選定した車両について購入を決定すると、ステップ428において、購入方法は現金か否かを判定する。購入方法が現金であると判定すると、ステップ429において、現金での支払い方法の演算処理を行う。

【0167】ステップ429において現金での支払い方法の演算処理を行うと、ステップ430において、演算した現金での購入方法を保存するか否かの判定をする。このステップ430において現金での支払い方法の演算結果を保存すると判定をすると、ステップ431において演算した現金での購入方法の保存を行う。このステップ431において演算した現金での購入方法の保存を行うか、ステップ430において購入方法の保存をしないと判定すると、ステップ432において、別な購入方法（ローン、リース）との対比を行うか否かを判定する。このステップ432においては、現金での購入方法以外の購入方法（ローン、リース）について演算処理した結果が保存されている場合にだけ購入方法の対比を行うと判定することが可能なのであって、現金での購入方法以外の購入方法（ローン、リース）についての演算処理した結果が保存されていない場合は、購入方法の対比を行わないと判定することになる。ステップ432において購入方法の対比を行うと判定すると、ステップ433において、図81と同様に2つの購入方法の対比（現金と、ローン又はリース）を行う。このステップ433において2つの購入方法の対比を行うと、ステップ434において、対比されている2つの購入方法のいずれかの購入方法の選択を行う。

【0168】ステップ432において購入方法の対比を行わないと判定するか、ステップ434において購入方

法の選択を行うと、ステップ435において、現金での購入方法、あるいはステップ434において選択した購入方法（ローン又はリース）を変更するか否かの判定を行う。このステップ435において購入方法の変更を行わないと判定すると、ステップ436において、成約・売買契約書の作成処理を行う。この成約・売買契約書の作成処理は、図82に示す処理フローチャートと同様に行われる。

【0169】また、ステップ428において購入方法が現金でないと判定するか、ステップ435において購入方法の変更を行うと判定すると、ステップ437において、購入方法はローンか否かの判定を行う。このステップ437において購入方法がローンであると判定すると、ステップ438において、ローンでの支払い方法の演算処理を行う。このローンでの購入方法には、通常ローンとフリーローン（残価設定ローン）とがあり、ステップ438におけるローンでの購入方法の演算処理に当たっては、このいずれかを選択することになる。このステップ438においてローンでの購入方法の演算処理を行うと、ステップ439において、演算したローンでの購入方法を保存するか否かの判定を行う。このステップ439においてローンでの購入方法の演算結果を保存すると判定をすると、ステップ440において演算したローンでの購入方法の保存を行う。このステップ439において購入方法の保存をしないと判定するか、ステップ440において演算したローンでの購入方法の保存を行うと、ステップ441において、別な購入方法（支払い条件の異なるローン、リース、現金）との対比を行うか否かを判定する。このステップ441においては、今回演算処理されたローンでの購入方法と異なる購入方法（支払い条件の異なるローン、リース、現金）について演算処理した結果が保存されている場合にだけ購入方法の対比を行うと判定することが可能なのであって、今回演算処理されたローンでの購入方法と異なる購入方法（支払い条件の異なるローン、リース、現金）についての演算処理した結果が保存されていない場合は、購入方法の対比を行わないと判定することになる。ステップ441において購入方法の対比を行うと判定すると、ステップ442において、図94と同様に2つの購入方法の対比（ローンと、支払い条件の異なるローン又はリースもしくは現金）を行う。このステップ442において2つの購入方法の対比を行うと、ステップ443において、対比されている2つの購入方法のいずれかの購入方法の選択を行う。

【0170】ステップ441において購入方法の対比を行わないと判定するか、ステップ443において購入方法の選択を行うと、ステップ444において、ローンでの購入方法、あるいはステップ443において選択した購入方法（支払い条件の異なるローン又はリースもしくは現金）を変更するか否かの判定を行う。このステップ

444において購入方法を変更しないと判定すると、ステップ436に移る。また、ステップ439において購入方法がローンでないと判定するか、ステップ444において購入方法を変更すると判定すると、ステップ445において、リースでの購入方法の演算処理を行う。このステップ445においてリースでの購入方法の演算処理を行うと、ステップ446において、演算したリースでの購入方法を保存するか否かの判定をする。このステップ446においてリースでの購入方法の演算結果を保存すると判定をすると、ステップ447において演算したリースでの購入方法の保存を行う。このステップ446において購入方法の保存をしないと判定するか、ステップ447において演算したリースでの購入方法の保存を行うと、ステップ448において、別な購入方法（現金、ローン）との対比を行うか否かを判定する。このステップ448においては、リースでの購入方法以外の購入方法（現金、ローン）について演算処理した結果が保存されている場合にだけ購入方法の対比を行うと判定することが可能なのであって、リースでの購入方法以外の購入方法（現金、ローン）についての演算処理した結果が保存されていない場合は、購入方法の対比を行わないと判定することになる。

【0171】ステップ448において購入方法の対比を行うと判定すると、ステップ449において、図95と同様に2つの購入方法の対比（リースと、現金又はローン）を行う。このステップ449において2つの購入方法の対比を行うと、ステップ450において、対比されている2つの購入方法のいずれかの購入方法の選択を行う。

【0172】ステップ448において購入方法の対比を行わないと判定するか、ステップ450において購入方法の選択を行うと、ステップ451において、リースでの購入方法、あるいはステップ450において選択した購入方法（現金又はローン）を変更するか否かの判定を行う。このステップ451において購入方法を変更しないと判定すると、ステップ438に移る。

【0173】また、ステップ451において購入方法を変更すると判定すると、ステップ452において、現金購入方法に変更するか否かを判定する。このステップ451において現金購入方法に変更すると判定すると、ステップ431の現金での購入方法の演算処理に移る。また、ステップ452において現金購入方法に変更しないと判定すると、ステップ440のローンでの購入方法の演算処理に移る。

【0174】このようにして中古車についてリアルティ処理が行われる。

【0175】図172～図178には、本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第7の実施の形態を示す処理フローチャートが示されている。この図172～図178に図示の処理フローチャートは、図1に図示

のステップ2において購入する車が中古車でない、すなわち新車であると判定したときに行う新車購入処理である。図において、ステップ453において、下取りに出す車がないか否かを判定する。すなわち、中古車を購入するユーザーが現在乗っている車（現車）を下取りに出すか否かの判定を行う。この現車を下取りに出すか出さないかによって購入できる予算額が変化し、購入する車の車種が変わってくるので、新車販売においてこの下取の有無は重要なことである。ステップ453において下取車があると判定すると、ステップ454において、現車の下取査定を行う。このステップ454における現車の下取査定は、図13～図18に示す処理フローチャートによって行われる。そして、ステップ455において下取り査定が終了したと判定するとステップ456に移る。ステップ456～ステップ474の処理は、図1～図3に図示のステップ7～ステップ25の処理と同様である。そして、ステップ475において、新車購入希望は国産車か外車かの特定を行う。新車購入希望は国産車を特定すると、国産新車購入処理となる。このステップ475において新車購入希望は国産車であると特定すると、ステップ476～ステップ494において、メーカー、車種・グレードの特定を行い、ステップ495～ステップ520において、図8～図11に図示のステップ8～ステップ11と同様の処理が行われる。このようにして国産新車購入処理が行われる。

【0176】図179～図183には、本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第8の実施の形態を示す処理フローチャートが示されている。この図179～図183に図示の処理フローチャートは、外車を新規購入する場合の新車購入処理である。図において、ステップ475において、ユーザーが購入希望している車が外車であると判定すると、ステップ521～ステップ567において外車の新車特定・購入処理が行われる。ステップ521～ステップ567の処理は、購入外国産新車の生産国、メーカー、車種・グレードの特定、特定した新車の購入処理が行われる。

【0177】図184には、本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法を実現するための車の新規購入と下取査定の処理装置の一実施の形態の基本構成が示されている。図において、600はCPUで、601はROM、602はRAM、603はI/O、604は入力装置、605はディスプレー、606は各機器を接続するバスラインである。CPU600は、不揮発性メモリーで、入力装置604からI/O603を介して入力される入力信号に基づいて駆動するもので、入力装置604の操作によって必要なデータをROM601から読み出してディスプレー605上に表示したり、入力装置604から入力されるデータをRAM602に格納したり、各種処理プログラムを備え、ROM601内のデータとRAM602内のデータとから必要な演算処理を行い、

この演算結果をディスプレー605上に表示したり、各種データによって演算されて条件設定された車を小売共通在庫にアクセスして検索する機能を有するものである。

【0178】ROM601は、各種データを予め記憶しておくもので、ROM601には、

- a) 現存の国産、外国産乗用車メーカーの名称
- b) 各メーカーの現在発売している車種及び過去に発売した車種と、そのタイプ
- c) 各メーカーの各車種及びタイプについてのモデル
- d) 各メーカーの各車種及びタイプについてのグレード・エンジン・型式・駆動装置・ドア数・過給器・定員・屋根形状
- e) 各メーカーの現在発売している車種及び過去7年内に発売した車種タイプの新車価格
- f) 各メーカーの各車種及びタイプについての各ボディーカラー
- g) 各メーカーの現在発売している車種及び過去に発売した車種タイプ、ボディカラーに基づいた年式だけによる本体の基本査定価格
- h) 各メーカーの現在発売している車種及び過去に発売した車種タイプ毎の基準走行距離
- i) 各車種タイプ毎の少走行時の単位距離当りの加算金額及び多走行時の単位距離当りの減算金額
- j) 車両の状況入力項目
- k) 総合評価点に対する評価額
- l) 外装の現状入力項目
- m) 修復歴の現状入力項目
- n) 事故箇所の現状入力項目
- o) 加修・補修歴の入力項目
- p) 外装関係の現状入力項目
- q) 内装の現状入力項目
- r) 電装品の現状入力項目
- s) 機関・足回りの現状入力項目
- t) 装備品の現状入力項目
- u) 各種減額、修理実費の入力項目
- v) 査定調整範囲
- w) オークション基本価格
- x) 各種保険料金
- y) ローンの利率
- z) リースの料率

等が記憶されている。RAM602は、揮発性メモリーで、入力装置604から入力したデータを格納すると共に、入力装置604から入力したデータに基づき演算した結果を格納する機能を有し、書き替え可能に構成されている。I/O603は、入力装置604とCPU600とを接続するインターフェイスである。

【0179】入力装置604は、データを書き込んだり、ROM601に記憶されているデータをCPU600に読み出させてプログラムを実行させたり、書き込ん

だデータに基づいてCPU600に演算処理させたり、CPU600で演算処理した結果をRAM602に書き込まれたりする入力機器である。この入力装置604は、キーボードでキー入力する方法、マウスでカーソルを移動して画面表示項目から選択入力する方法がある。また、さらに入力装置604は、必要項目を記入した読み取りスキャナーによる方法があり、この読み取りスキャナーによる方法の場合は、読み取りスキャナーによって車検証から必要事項を読み取らせる方法がある。この車検証を読み取らせる方法は、車検証をスキャナーに掛けることによって、車検証から顧客者の氏名、住所、査定対象者の型式（例えば、E-JZS135）、登録番号（例えば、練馬33ほ8304）、車体番号（例えば、88888）、排気量（例えば、3000cc）、ミッション（例えば、オートマチック）、駆動装置（例えば、2WD）、初年度登録年月日（例えば、平成7年1月28日）、車検満了日（例えば、平成10年1月27日）を読み取るようとしたものである。また、読み取りスキャナーの場合は、車検証以外に特製の査定書、マークシート等によっても可能である。さらには、所定の事項をバーコードで読み込むように構成することもできる。

【0180】ディスプレー605は、ROM601から読み出したデータを表示したり、CPU600で演算処理した結果を表示したりする表示装置である。バスライン606は、CPU600とROM601を、CPU600とRAM602を、CPU600とI/O603とを接続する接続線である。

【0181】このコンピュータシステムは、オフィスコンピュータ又はパーソナルコンピュータによって構成することが可能である。この場合、内外のあらゆる製造メーカー、内外のあらゆる製造メーカーが現在販売している全車種タイプ及び過去に発売した全車種タイプ、過去に発売された全車種タイプの全グレード、初年度登録年月から現在まで使用期間及び人気の度合いに基づく基準査定額、初年度登録年月日から現在までの当該車の基本走行データ等のデータは、ROM601に格納することになるが、これらのデータは、社会の情勢（例えば、流行）に応じて変化するため、定期的な修正が必要で、この修正は、ROM601の交換、あるいはROM601内のデータの書き替えを行うことになる。この場合、このコンピュータシステムを利用する者にデータを提供する側がROM601の交換、ROM601内のデータの書き替え等を行うことになる。

【0182】また、このコンピュータシステムは、過去7以内に存在した内外のあらゆる製造メーカー、内外のあらゆる製造メーカーが現在発売している全車種タイプ・グレード・新車価格、内外のあらゆる製造メーカーが過去に発売した全車種タイプ、過去に発売された全車種タイプの全グレード、初年度登録年月から現在までの使用期間及び人気の度合いに基づく基準査定額、初年度登

録年月日から現在までの当該車の車種タイプ別・グレード別の基本走行データ（基準走行距離）等、社会の情勢に応じて変化する車のあらゆるデータをホストコンピュータに持たせ、これらのデータを使用する者に端末機をもたせてランで接続することもできる。この場合、これらのデータを使用する者は端末機を操作することによって必要に応じてホストコンピュータに格納されているデータを読み出し、現車の査定を行うことができる。このように必要なデータをホストコンピュータに持たせると、これらのデータを社会の情勢に合わせてホストコンピュータ側で任意に変更したり、ホストコンピュータ側で定期的（例えば、月毎に）データの書き替えを行うことによって、希望する車種の最新の市場価格及び小売共通在庫登録されている全車種の各情報を端末機所有者に提供でき、中古車を売り、中古車の買取り査定を行うディーラーは、最新のデータに基づいて購入者の希望する車種の検索を行ったり、より正確に中古車の買取り査定を行うことができる。

## 【0183】

20 【発明の効果】本願請求項1に記載の発明によれば、ユーザーが新たに車を購入する際に、応対する販売員に十分な知識がなくてもユーザーの希望に沿って車の特定を無理なく誘導し、ユーザーの希望する最適の車を自社在庫を越えた広い市場から簡単にかつスマーズに検索することができ、適正な価格で現車を下取りすることができる。

【0184】本願請求項2に記載の発明によれば、ユーザーが新たに車を購入する際に、応対する販売員に車両に関する十分な知識がなくてもユーザーの希望に沿って車の特定を無理なく誘導し、ユーザーの希望する最適の車を自社在庫を越えた広い市場から簡単にかつスマーズに検索することができ、適正な価格で現車を下取りすることができる。

30 【0185】本願請求項3に記載の発明によれば、ユーザーが新たに車を購入する際に、応対する販売員に車両に関する十分な知識がなくてもユーザーの希望に沿って車の特定を無理なく誘導し、ユーザーの希望する最適の車を自社在庫を越えた広い市場から簡単にかつスマーズに検索することができ、適正な価格で現車を下取りすることができる。

【0186】本願請求項4に記載の発明によれば、ユーザーが新たに車を購入する際に、応対する販売員に車両に関する十分な知識がなくてもユーザーの希望に沿って車の特定を無理なく誘導し、ユーザーの希望する最適の車を自社在庫を越えた広い市場から簡単にかつスマーズに検索することができ、売買契約をスマーズに行うことができる。

40 【0187】本願請求項5に記載の発明によれば、ユーザーが新たに車を購入する際に、応対する販売員に車両に関する十分な知識がなくてもユーザーの希望に沿って車の特定を無理なく誘導し、ユーザーの希望する最適の車を自社在庫を越えた広い市場から簡単にかつスマーズに検索することができ、現車の下取査定を簡単にかつ適性に行うことができる。

【0188】本願請求項6に記載の発明によれば、外装の現況を正確に把握し、ディーラー査定価格に適正に反

映させ、適正な確定査定価格を誰にでも簡単に短時間で算出することができる。

【0189】本願請求項7に記載の発明によれば、加修・補修歴を正確に把握し、ディーラー査定価格に適正に反映させ、適正な確定査定価格を誰にでも簡単に短時間で算出することができる。

【0190】本願請求項8に記載の発明によれば、外装関係の現状を正確に把握し、ディーラー査定価格に適正に反映させ、適正な確定査定価格を誰にでも簡単に短時間で算出することができる。

【0191】本願請求項9に記載の発明によれば、内装の現況を正確に把握し、ディーラー査定価格に適正に反映させ、適正な確定査定価格を誰にでも簡単に短時間で算出することができる。

【0192】本願請求項10に記載の発明によれば、電装品の現況を正確に把握し、ディーラー査定価格に適正に反映させ、適正な確定査定価格を誰にでも簡単に短時間で算出することができる。

【0193】本願請求項11に記載の発明によれば、機関・足回りの現況を正確に把握し、ディーラー査定価格に適正に反映させ、適正な確定査定価格を誰にでも簡単に短時間で算出することができる。

【0194】本願請求項12に記載の発明によれば、車両購入者が任意に支払い方法・支払い条件を選定することができる。

【0195】本願請求項13に記載の発明によれば、車両購入の支払い条件を購入者の経済状況を考慮して最適の支払い方法・支払い条件を提示することができる。

【0196】本願請求項14に記載の発明によれば、下取査定時に特別な経験を有していない者でも簡単に当該下取車の下取り価格の査定幅を特定することができる。

【0197】本願請求項15に記載の発明によれば、ユーザーが新たに車を購入する際に、応対する販売員に車両に関する十分な知識がなくてもユーザーの希望に沿って車の特定を無理なく誘導し、ユーザーの希望する最適の車を自社在庫を越えた広い市場から簡単にかつスマートに検索することができ、適正な価格で現車を下取りすることができる。

【0198】本願請求項16に記載の発明によれば、ユーザーが新たに車を購入する際に、応対する販売員に車両に関する十分な知識がなくてもユーザーの希望に沿って車の特定を無理なく誘導し、ユーザーの希望する最適の車を自社在庫を越えた広い市場から簡単にかつスマートに検索することができ、適正な価格で現車を下取りすることができる。

【0199】本願請求項17に記載の発明によれば、ユーザーが新たに車を購入する際に、応対する販売員に車両に関する十分な知識がなくてもユーザーの希望に沿って車の特定を無理なく誘導し、ユーザーの希望する最適の車を自社在庫を越えた広い市場から簡単にかつスマートに検索することができ、適正な価格で現車を下取りする。

ズに検索することができる。

【0200】本願請求項18に記載の発明によれば、ユーザーが新たに車を購入する際に、応対する販売員に車両に関する十分な知識がなくてもユーザーの希望に沿って車の特定をすることができ、売買契約をスムーズに行うことができる。

【0201】本願請求項19に記載の発明によれば、ユーザーが新たに車を購入する際に、応対する販売員に下取査定の経験がない場合であっても、現車の下取査定を簡単にかつ適性に行うことができる。

【0202】本願請求項20に記載の発明によれば、下取査定時に特別な経験を有していない者でも簡単に当該下取車の下取り価格の査定幅を特定することができる。

【0203】本願請求項21に記載の発明によれば、購入者は各ディーラーを回って自分の希望する車両を探し回らなくても、購入者が希望する車両が市場に出回った際に直ちに購入の交渉を行えるようにすることができる。

【0204】本願請求項22に記載の発明によれば、購入者は各ディーラーを回って自分の希望する車両を探し回らなくても、購入者が希望する車両が市場に出回った際に直ちに購入の交渉を行えるようにすることができる。

【0205】本願請求項23に記載の発明によれば、新車の購入を希望するユーザーが内外国で現在発売されている新車の状況を詳細に把握していないなくても、ユーザーの希望を順次特定していくことによりユーザーの希望する車を無理なく誘導して探し出し、ユーザーの希望に最も適した車を簡単にかつスマートに検索することができ、下取車がある場合に、適正な価格で現車を下取りすることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第1の実施の形態を示す処理フローチャートである。

【図2】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第1の実施の形態を示す処理フローチャートである。

【図3】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第1の実施の形態を示す処理フローチャートである。

【図4】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第1の実施の形態を示す処理フローチャートである。

【図5】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第1の実施の形態を示す処理フローチャートである。

【図6】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第1の実施の形態を示す処理フローチャートである。

【図7】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第1の実施の形態を示す処理フローチャートである。

【図8】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第1の実施の形態を示す処理フローチャートである。

【図9】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第1の実施の形態を示す処理フローチャートである。

【図10】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第1の実施の形態を示す処理フローチャートである。

【図11】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第1の実施の形態を示す処理フローチャートである。

【図12】新規に車の購入を希望するユーザーの顧客情報の入力表示図である。

【図13】新規に車を購入するユーザーが所有する現車の下取査定の処理方法を示す処理フローチャートである。

【図14】新規に車を購入するユーザーが所有する現車の下取査定の処理方法を示す処理フローチャートである。

【図15】新規に車を購入するユーザーが所有する現車の下取査定の処理方法を示す処理フローチャートである。

【図16】新規に車を購入するユーザーが所有する現車の下取査定の処理方法を示す処理フローチャートである。

【図17】新規に車を購入するユーザーが所有する現車の下取査定の処理方法を示す処理フローチャートである。

【図18】新規に車を購入するユーザーが所有する現車の下取査定の処理方法を示す処理フローチャートである。

【図19】下取り車情報の入力状況を示す図である。

【図20】外装の現状の入力状況を示す図である。

【図21】下取り車の修復歴の状況を入力した状態を示す図である。

【図22】下取り車の事故箇所の現状を入力した状態を示す図である。

【図23】下取り車の加修・補修歴の損傷程度を入力した状態を示す図である。

【図24】下取り車の外装関係の現状を入力した状態を示す図である。

【図25】下取り車の内装の現状の入力状況を示す図である。

【図26】下取り車の電装品の現状の入力状況を示す図である。

【図27】下取り車の機関・足回りの現状の入力状況を示す図である。

示す図である。

【図28】下取り車の装備品の現状の入力状況を示す図である。

【図29】下取り車の装備品の現状の入力状況を示す図である。

【図30】下取り車の各種減額、修理実費を入力するための図である。

【図31】下取り査定車の確定下取り査定額を表示した図である。

10 【図32】図31において表示された確定下取り査定の査定詳細情報を表示した図である。

【図33】図31において表示された確定下取り査定の査定詳細情報を表示した図である。

【図34】下取り査定車の暫定下取り査定額を表示した図である。

【図35】現金購入による予算の作成フローチャートである。

【図36】税込み年収の選択表示図である。

20 【図37】現金で購入する場合の下取り車ありの場合の購入計画表を示す図である。

【図38】現金で購入する場合の下取り車なしの場合の購入計画表を示す図である。

【図39】ローン購入による予算の作成フローチャートである。

【図40】通常ローンで購入する場合の下取り車ありの場合の購入計画表を示す図である。

【図41】図40に示す購入計画に基づく購入予算の内訳・支払い方法・支払い明細を示す図である。

【図42】通常ローンで購入する場合の下取り車なしの場合の購入計画表を示す図である。

30 【図43】図42に示す購入計画に基づく購入予算の内訳・支払い方法・支払い明細を示す図である。

【図44】フリーローンで購入する場合の下取り車ありの場合の購入計画表を示す図である。

【図45】図44に示す購入計画に基づく購入予算の内訳・支払い方法・支払い明細を示す図である。

【図46】フリーローンで購入する場合の下取り車なしの場合の購入計画表を示す図である。

【図47】図46に示す購入計画に基づく購入予算の内訳・支払い方法・支払い明細を示す図である。

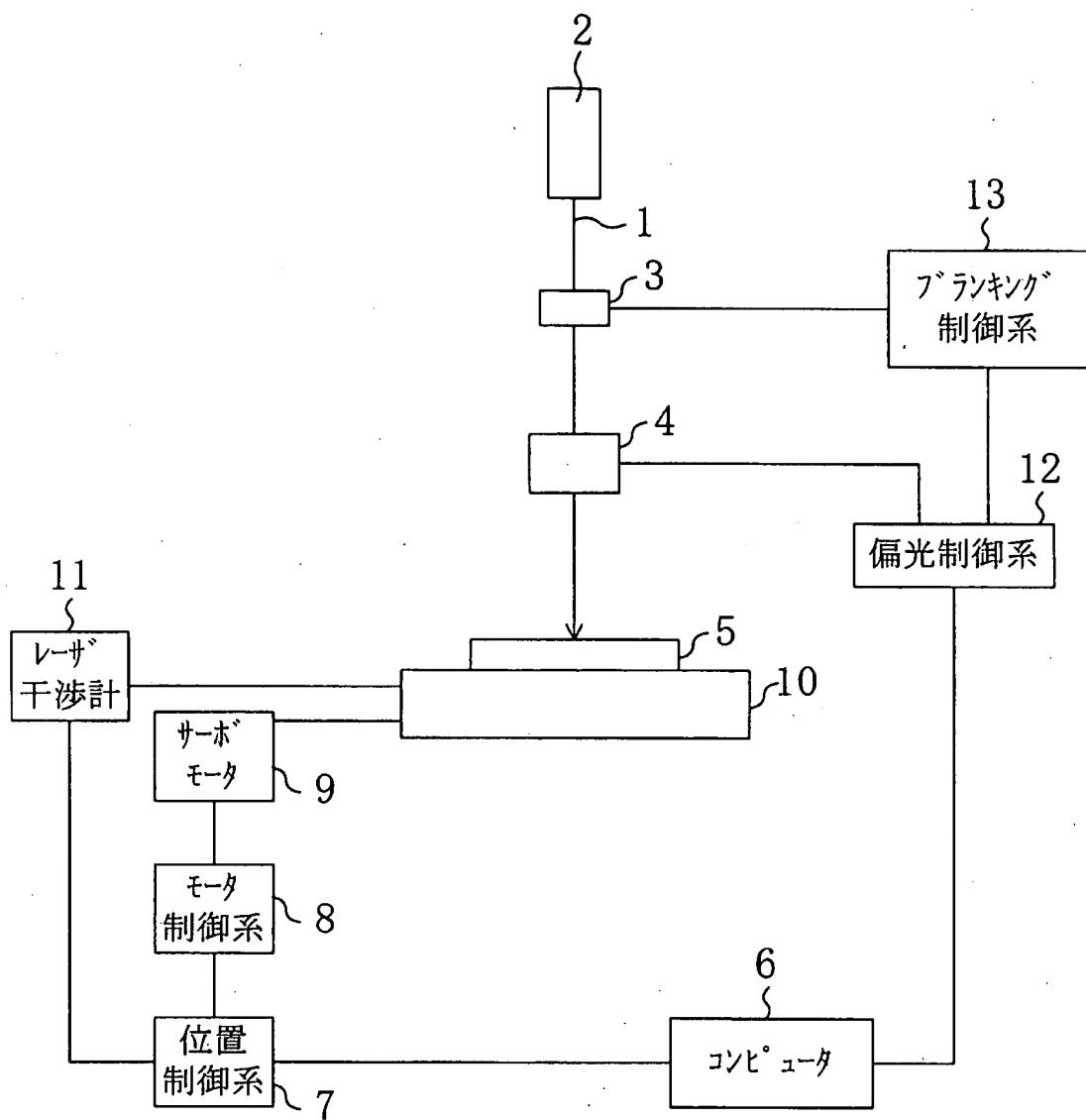
40 【図48】リース購入による予算の作成フローチャートである。

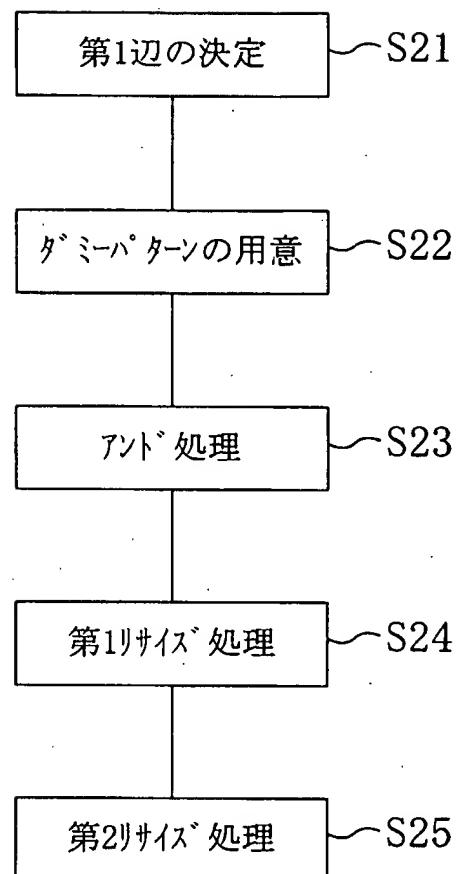
【図49】リースで購入する場合の下取り車ありの場合の概算予算入力を示す図である。

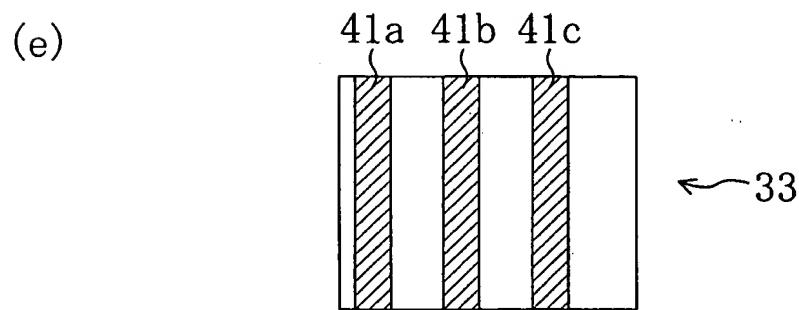
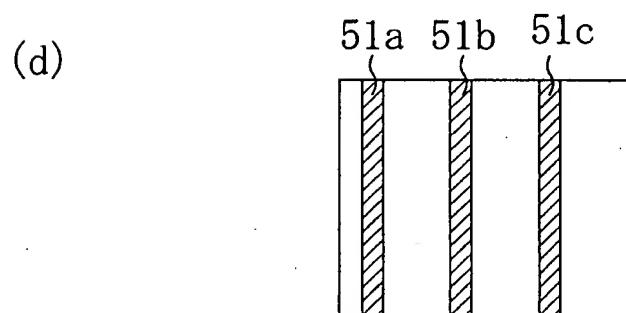
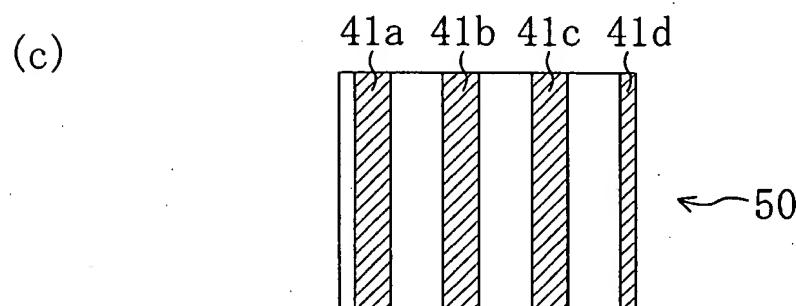
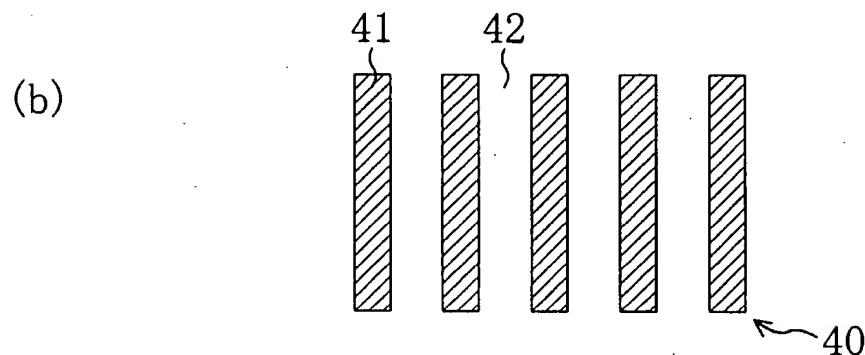
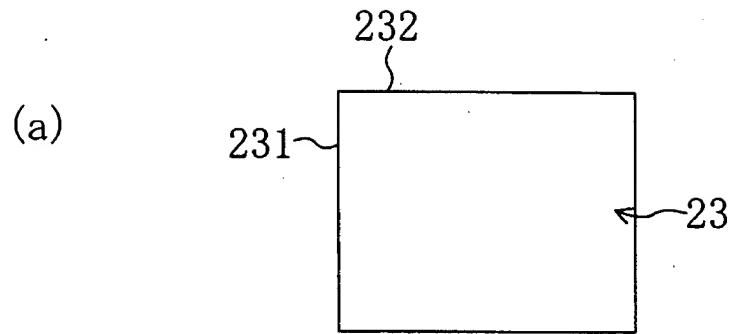
【図50】図49に示す購入計画に基づく購入予算の内訳・支払い方法・支払い明細を示す図である。

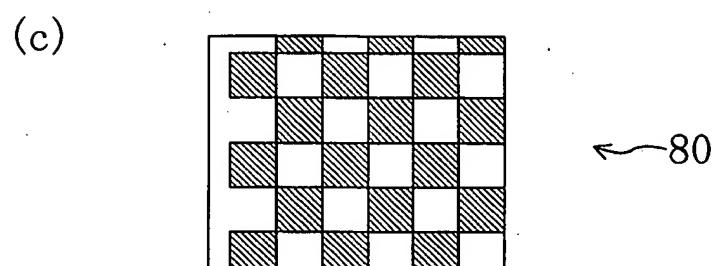
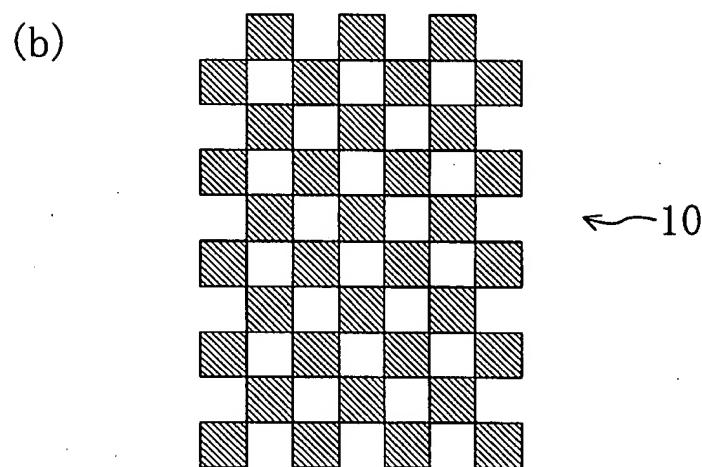
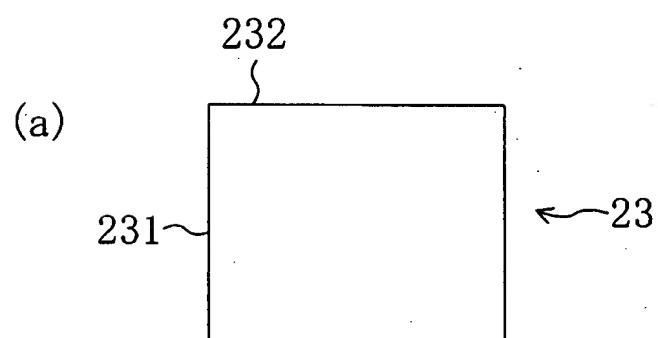
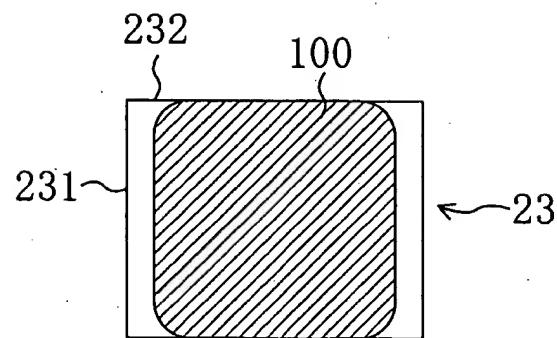
【図51】リースで購入する場合の下取り車なしの場合の概算予算入力を示す図である。

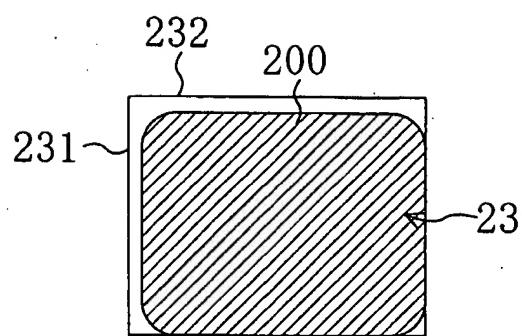
50 【図52】図51に示す購入計画に基づく購入予算の内訳・支払い方法・支払い明細を示す図である。











【図5 3】購入予定車の理想条件の選択表示図である。  
 【図5 4】購入予定車の希望イメージの選択表示図である。  
 【図5 5】購入予定車の大きさの選択表示図である。  
 【図5 6】購入予定車のボディカラーの選択表示図である。  
 【図5 7】購入予定車の定員数の選択表示図である。  
 【図5 8】購入予定車のミッションの選択表示図である。  
 【図5 9】購入予定車の駆動輪の選択表示図である。  
 【図6 0】購入予定車の燃料形態の選択表示図である。  
 【図6 1】購入予定車のナンバープレートの選択表示図である。  
 【図6 2】購入予定車の排気量の選択表示図である。  
 【図6 3】購入予定車の使用機関／年式の選択表示図である。  
 【図6 4】購入予定車のメーカーの選択表示図である。  
 【図6 5】購入予定車の希望車種の選択表示図である。  
 【図6 6】購入選択車種の確認情報を表示する図である。  
 【図6 7】購入希望した車種タイプについての在庫車のグレードを表示する図である。  
 【図6 8】購入希望した車両のグレードを確認するための図である。  
 【図6 9】購入希望した車両のカタログ情報を示す図である。  
 【図7 0】現在選定したグレードと保存グレードとの対比を示す図である。  
 【図7 1】装着を希望する装備品の一覧表示図である。  
 【図7 2】購入希望する車両の在庫検索条件を示す図である。  
 【図7 3】購入希望する車両の在庫がない場合の報告を示す図である。  
 【図7 4】購入希望する車両の予約条件を示す図である。  
 【図7 5】購入者の購入予約状態を示す図である。  
 【図7 6】購入希望する車両の在庫があった場合の在庫状況を示す図である。  
 【図7 7】図7 6に示す在庫車両の表示方法を変更するための表示方法選択図である。  
 【図7 8】図7 6に示す在庫車両の中から購入を希望した車両の詳細情報を示す図である。  
 【図7 9】図7 8に示す在庫車両の備考情報を示す図である。  
 【図8 0】図7 8に示す在庫車両の所有業者情報を示す図である。  
 【図8 1】現金の購入支払い方法と通常ローンの購入支払い方法の対比を示す図である。  
 【図8 2】成約・売買契約書の作成処理フローチャートを示す図である。

100  
 【図8 3】購入者が選定した在庫車両の詳細情報を示す図である。  
 【図8 4】図8 3で選定した在庫車両に装着を希望するオプション装備品の一覧を示す図である。  
 【図8 5】図8 3で選定した在庫車両を購入する際に要する法定諸費用と登録諸費用を示す図である。  
 【図8 6】図8 3で選定した在庫車両の購入者が入る任意保険の形態を示す図である。  
 【図8 7】図8 6において設定した任意保険の内容を確定するための図である。  
 【図8 8】図8 7において確定した任意保険を一覧表示した図である。  
 【図8 9】車両保険の種類を示す図である。  
 【図9 0】図8 9において選択した自動車車両保険の内容を一覧表示した図である。  
 【図9 1】下取査定額の調整を示す図である。  
 【図9 2】値引額の詳細を一覧表示する図である。  
 【図9 3】支払総額の詳細を示す図である。  
 【図9 4】リースの購入支払い方法と通常ローンの購入支払い方法の対比を示す図である。  
 20 【図9 5】リースの購入支払い方法と現金の購入支払い方法の対比を示す図である。  
 【図9 6】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第2の実施の形態を示す処理フローチャートである。  
 【図9 7】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第2の実施の形態を示す処理フローチャートである。  
 【図9 8】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第2の実施の形態を示す処理フローチャートである。  
 30 【図9 9】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第2の実施の形態を示す処理フローチャートである。  
 【図1 0 0】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第2の実施の形態を示す処理フローチャートである。  
 【図1 0 1】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第2の実施の形態を示す処理フローチャートである。  
 40 【図1 0 2】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第2の実施の形態を示す処理フローチャートである。  
 【図1 0 3】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第2の実施の形態を示す処理フローチャートである。  
 【図1 0 4】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第2の実施の形態を示す処理フローチャートである。  
 50 【図1 0 5】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処

101

理方法の第2の実施の形態を示す処理フローチャートである。

【図106】メーカー所在国名を一覧表示した図である。

【図107】図106において選定したメーカー所在国名と当該メーカー所在国に存在するメーカー名を示す図である。

【図108】図107に表示されたメーカー所在国のメーカー名の一覧表示図である。

【図109】図108において選定したメーカーの車種・タイプの一覧表示図である。

【図110】図109において選択した車種の確認情報を示す図である。

【図111】図109において選択した車種タイプについてのグレードの一覧表示図である。

【図112】図111において選択した車両のグレードの確認をするための図である。

【図113】図109において選択した車両のカタログ情報を示す図である。

【図114】現在選定したグレードと保存されているグレードとを対比して示した図である。

【図115】図109において選択した購入希望車両の在庫検索条件を示す図である。

【図116】図109において選択した購入希望車両の在庫がない場合の報告を示す図である。

【図117】図109において選択した購入希望車両の予約条件を示す図である。

【図118】図109において選択した購入希望車両の在庫車両を一覧表示した図である。

【図119】図118に示す在庫車両の表示方法を変更するための表示方法選択図である。

【図120】現金の購入支払い方法と通常ローンの購入支払い方法の対比して表示した図である。

【図121】リースの購入支払い方法と通常ローンの購入支払い方法の対比して表示した図である。

【図122】リースの購入支払い方法との購入支払い方法の対比して表示した図である。

【図123】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第3の実施の形態を示す処理フローチャートである。

【図124】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第3の実施の形態を示す処理フローチャートである。

【図125】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第3の実施の形態を示す処理フローチャートである。

【図126】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第3の実施の形態を示す処理フローチャートである。

【図127】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第3の実施の形態を示す処理フローチャートである。

102

理方法の第3の実施の形態を示す処理フローチャートである。

【図128】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第3の実施の形態を示す処理フローチャートである。

【図129】希望車種の頭文字の選定と、該頭文字から始まる車種の一覧を表示した図である。

【図130】図129において決定した希望車種の確認をするための図である。

【図131】現在選定したグレードと保存されているグレードとを対比して示した図である。

【図132】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第4の実施の形態を示す処理フローチャートである。

【図133】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第4の実施の形態を示す処理フローチャートである。

【図134】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第4の実施の形態を示す処理フローチャートである。

【図135】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第4の実施の形態を示す処理フローチャートである。

【図136】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第4の実施の形態を示す処理フローチャートである。

【図137】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第4の実施の形態を示す処理フローチャートである。

【図138】希望車種の頭文字の選定と、該頭文字から始まる車種の一覧を表示した図である。

【図139】購入予定車の理想条件の選択表示図である。

【図140】図138において選択した車種タイプについての在庫車両別にグレード表示した図である。

【図141】図140に表示された在庫車両の中から選択した在庫車両のグレードの確認をするための図である。

【図142】図140において選択した在庫車両のカタログ情報を示す図である。

【図143】図141において選択した在庫車両とは別な在庫車両のグレードの確認をするための図である。

【図144】図143において選択した在庫車両のカタログ情報を示す図である。

【図145】図143において選択した在庫車両のグレードと保存されている図140において選択した在庫車両のグレードを対比して示す図である。

【図146】購入希望する車種・タイプ・グレードの車両の在庫状況を示す図である。

【図147】図146に図示の在庫車両の中から選択し

40

50

た車両の詳細情報を示す図である。

【図148】図147に示す在庫車両の備考情報を示す図である。

【図149】図147に示す在庫車両の所有業者情報を示す図である。

【図150】現金の購入支払い方法と通常ローンの購入支払い方法の対比して表示した図である。

【図151】リースの購入支払い方法と通常ローンの購入支払い方法の対比して表示した図である。

【図152】リースの購入支払い方法との購入支払い方法の対比して表示した図である。

【図153】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第5の実施の形態を示す処理フローチャートである。

【図154】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第5の実施の形態を示す処理フローチャートである。

【図155】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第5の実施の形態を示す処理フローチャートである。

【図156】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第5の実施の形態を示す処理フローチャートである。

【図157】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第5の実施の形態を示す処理フローチャートである。

【図158】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第5の実施の形態を示す処理フローチャートである。

【図159】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第5の実施の形態を示す処理フローチャートである。

【図160】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第5の実施の形態を示す処理フローチャートである。

【図161】購入希望する車種・タイプ・グレードについての車両の発売年月別の在庫状況を示す図である。

【図162】購入希望する車種・タイプ・グレード・発売年月についての車両のグレード別の在庫状況を示す図である。

【図163】購入希望する車種・タイプ・グレード・発売年月についての車両のグレード別の在庫状況を示す図である。

【図164】購入希望する車種・タイプ・グレード・発売年月・グレードについての車両のボディカラー別の在庫状況を示す図である。

【図165】購入希望する車種・タイプ・グレード・発売年月・グレード・ボディカラーについての車両の走行距離別別の在庫状況を示す図である。

【図166】購入希望する車種・タイプ・グレード・発

売年月・グレード・ボディカラー・走行距離別についての車両の価格帯別の在庫状況を示す図である。

【図167】図166において選定した車両の在庫を一覧表示した図である。

【図168】図167において選定した在庫車両中から選択した車両の詳細情報を示す図である。

【図169】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第6の実施の形態を示す処理フローチャートである。

10 【図170】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第6の実施の形態を示す処理フローチャートである。

【図171】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第6の実施の形態を示す処理フローチャートである。

【図172】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第7の実施の形態を示す処理フローチャートである。

20 【図173】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第7の実施の形態を示す処理フローチャートである。

【図174】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第7の実施の形態を示す処理フローチャートである。

【図175】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第7の実施の形態を示す処理フローチャートである。

【図176】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第7の実施の形態を示す処理フローチャートである。

30 【図177】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第7の実施の形態を示す処理フローチャートである。

【図178】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第7の実施の形態を示す処理フローチャートである。

【図179】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第8の実施の形態を示す処理フローチャートである。

40 【図180】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第8の実施の形態を示す処理フローチャートである。

【図181】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第8の実施の形態を示す処理フローチャートである。

【図182】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第8の実施の形態を示す処理フローチャートである。

50 【図183】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法の第8の実施の形態を示す処理フローチャートで

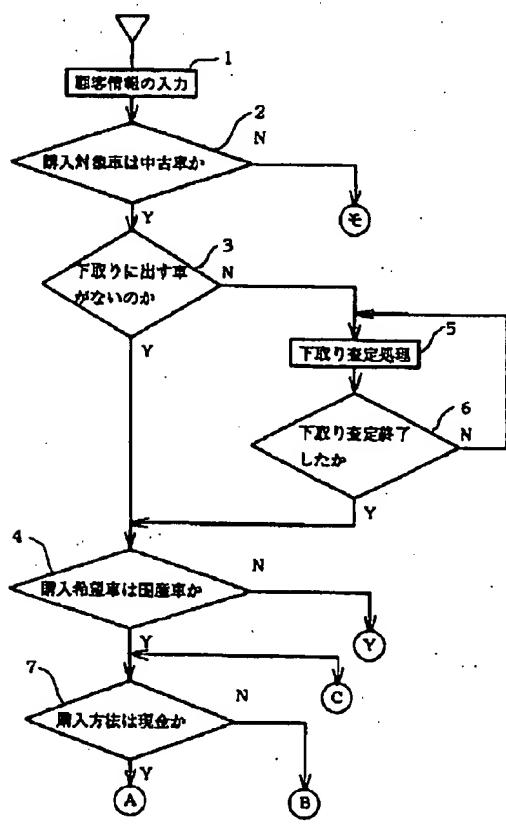
ある。

【図184】本発明に係る車の新規購入と下取査定の処理方法を実現するための車の新規購入と下取査定の処理装置の一実施の形態を示す基本構成図である。

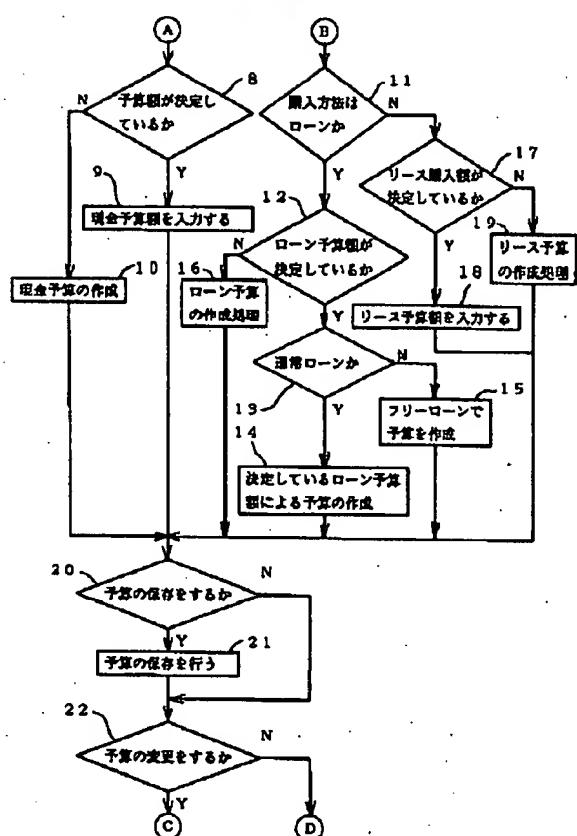
【符号の説明】

600.....C  
PU  
601.....R  
OM  
602.....R 10

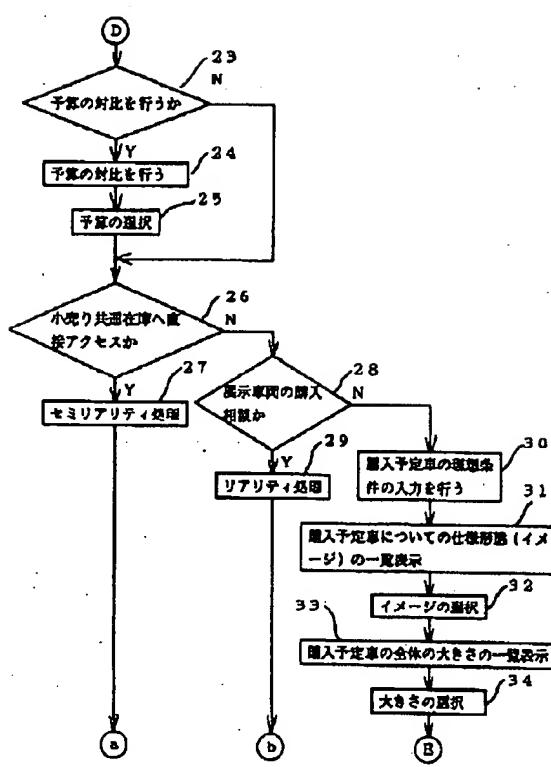
【図1】



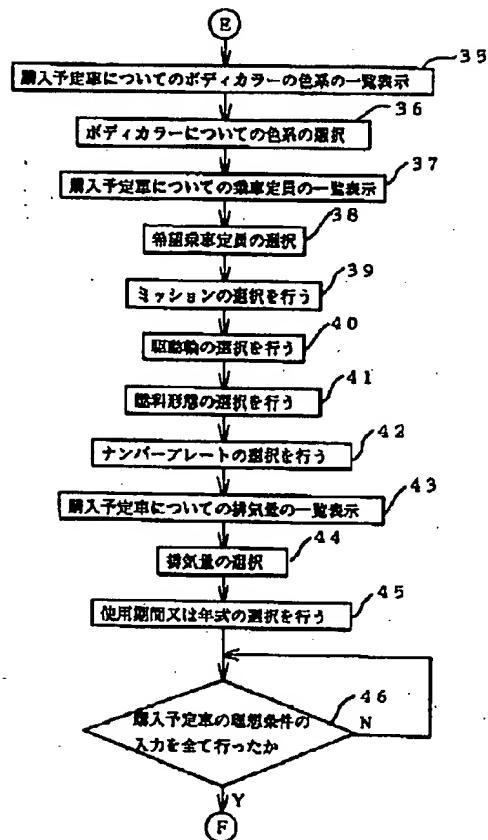
【図2】



【図3】



【図4】

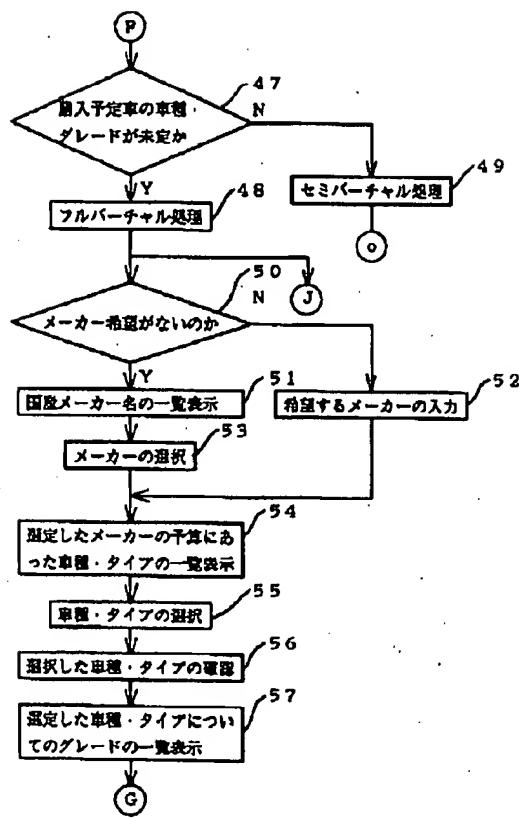


【図12】

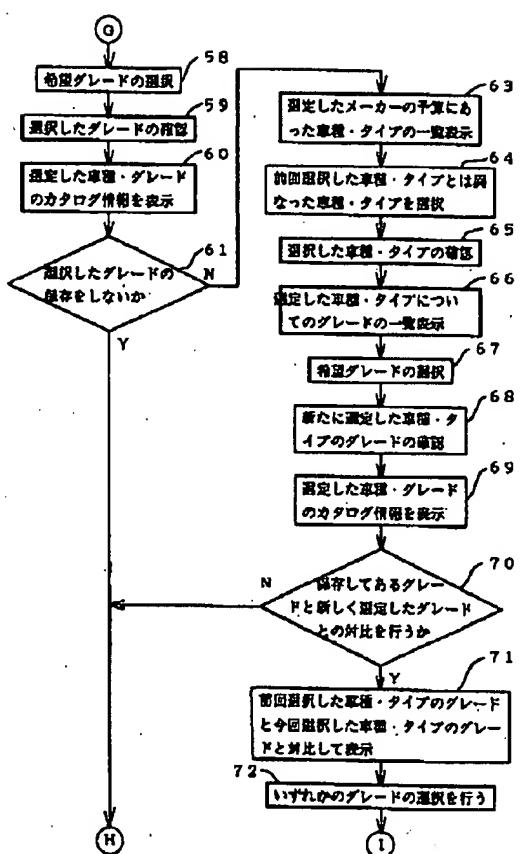
◆◆ キャンペーン登録の入力 ◆◆

お客様氏名	日本 太郎	性別	<input checked="" type="radio"/> 男性 <input type="radio"/> 女性
生年月日	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 大正 <input type="radio"/> 昭和	45 年 10 月 23 日生	
郵便番号	160		
ご住所	東京都新宿区西新宿7-22-45		
N・S エクセルビル 5F			
ご連絡先	(03)5933-7510	その他連絡先	(03)754-8304
お問い合わせ	株式会社 ナイス		
部署名	営業部		
勤務先電話	(03)3730-8547	内線番号	

【図5】



【図6】

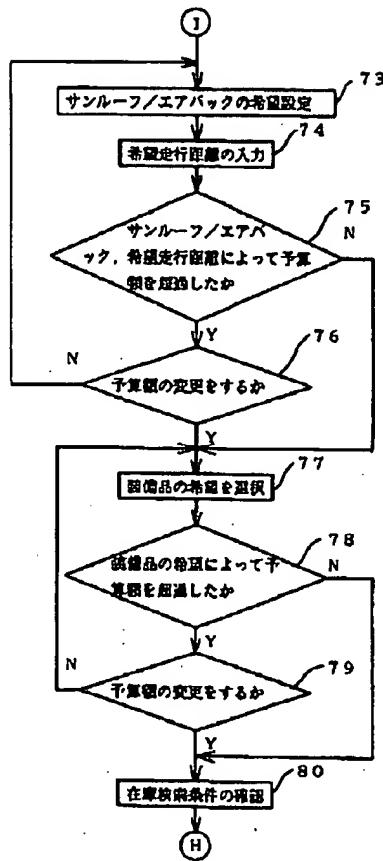


【図20】

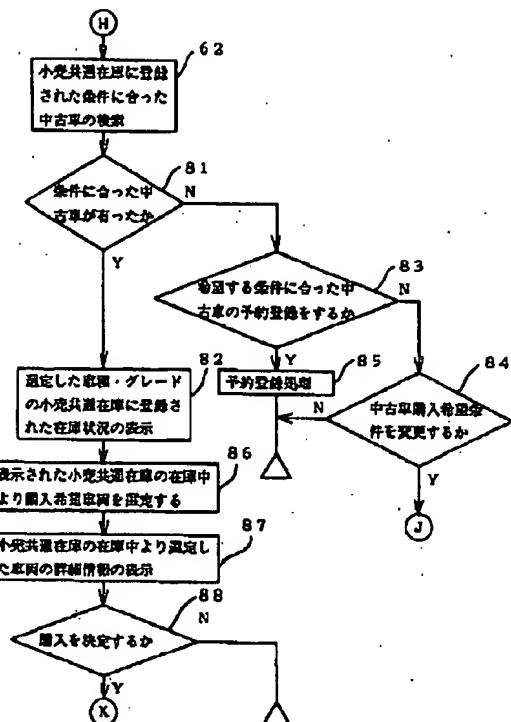
◆◆ クロスオーバー入力 ◆◆

修復歴	<input checked="" type="checkbox"/> 修復歴なし	<input type="checkbox"/> 修復歴あり	
改造歴	<input checked="" type="checkbox"/> 改造なし	<input type="checkbox"/> ドレスアップ改造	<input type="checkbox"/> 改造済
全塗装	<input checked="" type="checkbox"/> 全塗装のみ実施	<input type="checkbox"/> 全塗装あり	<input type="checkbox"/> 全塗装のみ必要あり
---			
現状事故車	<input type="checkbox"/> 事故車ではない	<input type="checkbox"/> 事故車である	

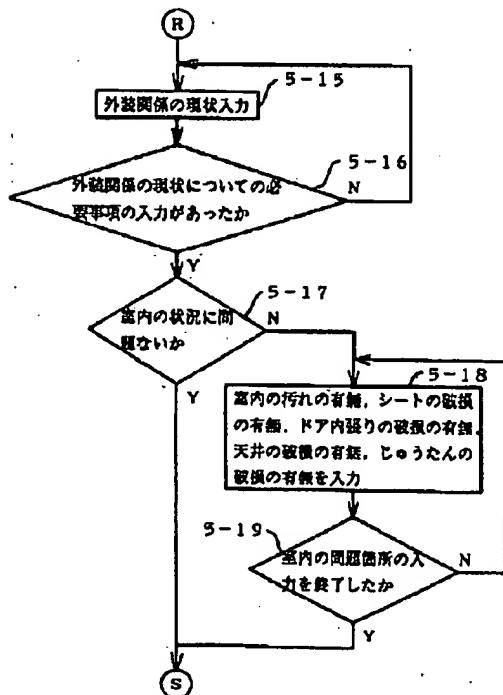
【図7】



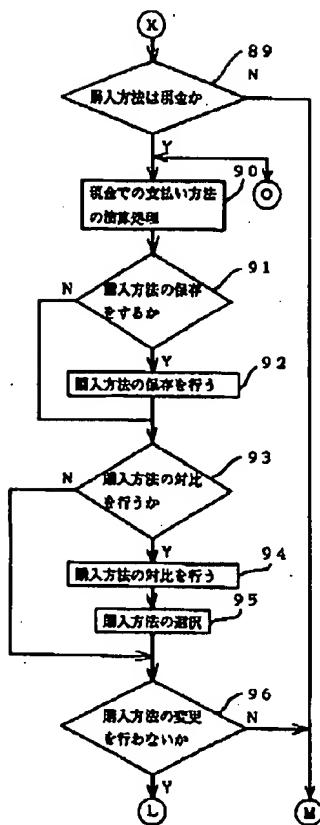
【図8】



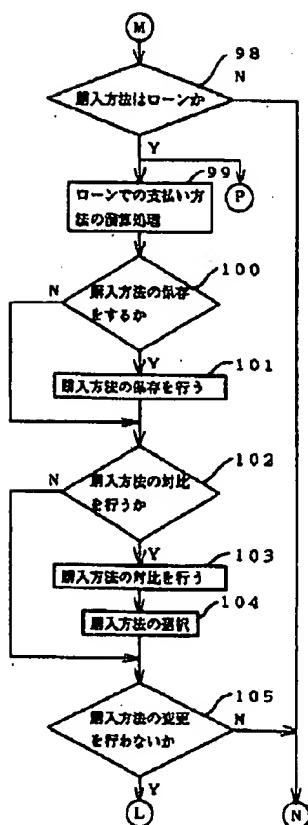
【図15】



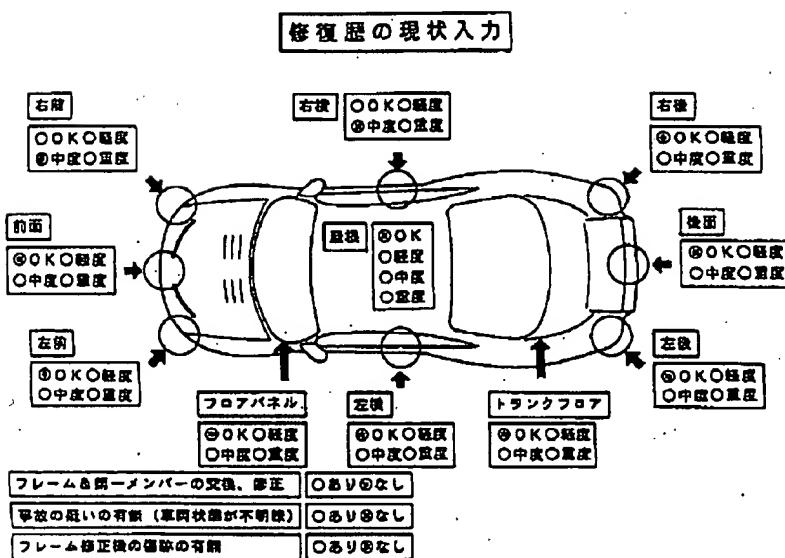
【図9】



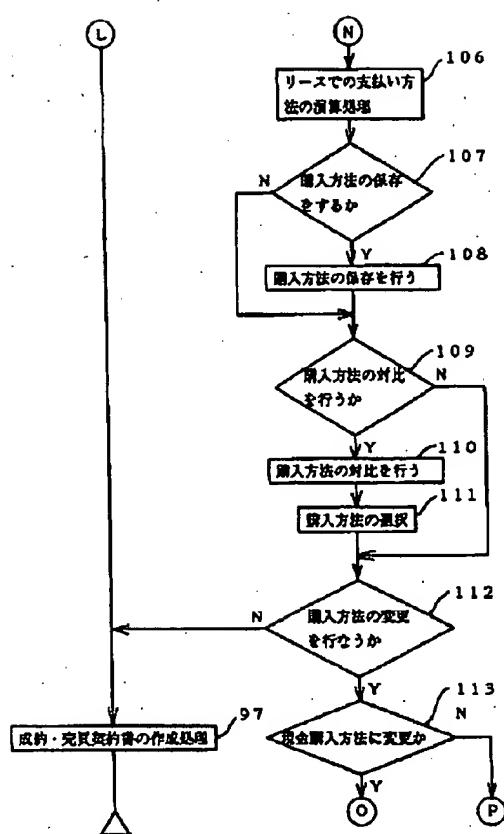
【図10】



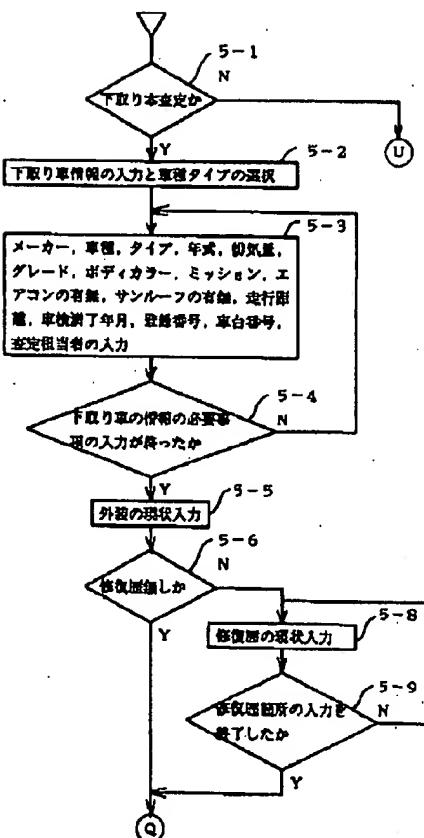
【図21】



【図11】

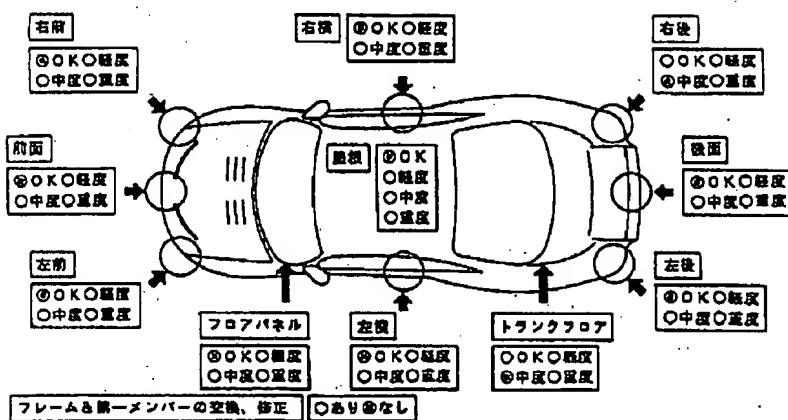


【図13】

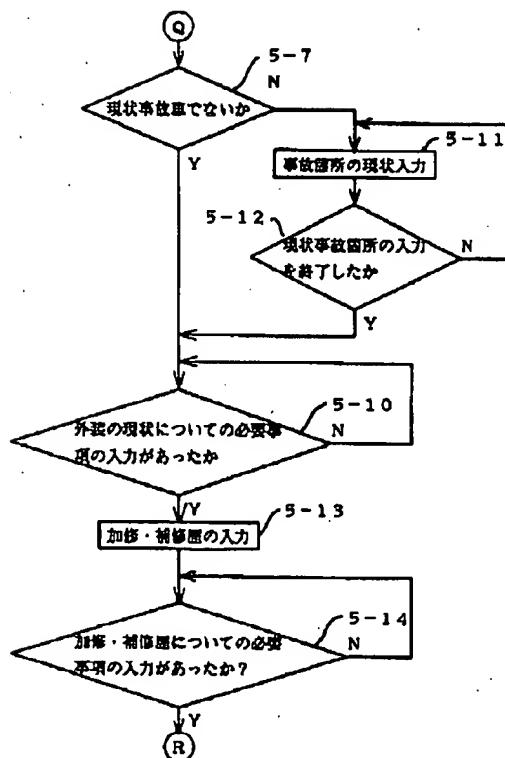


【図22】

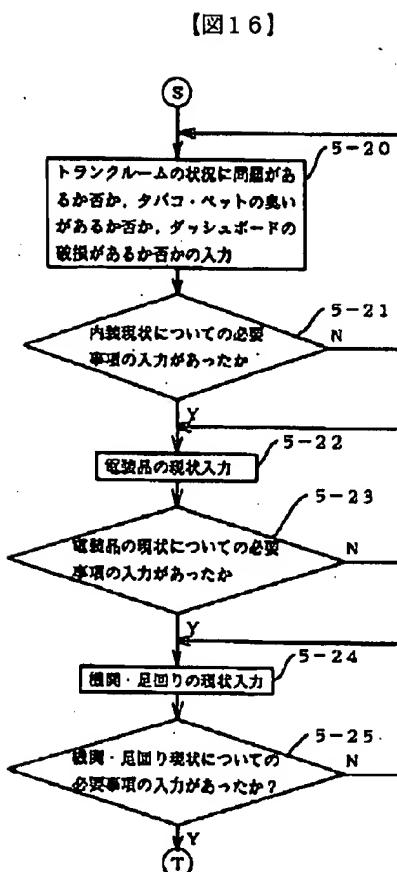
事故箇所の現状入力



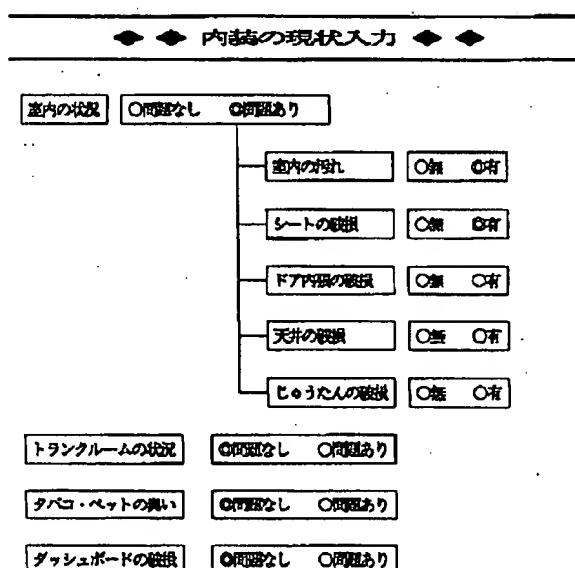
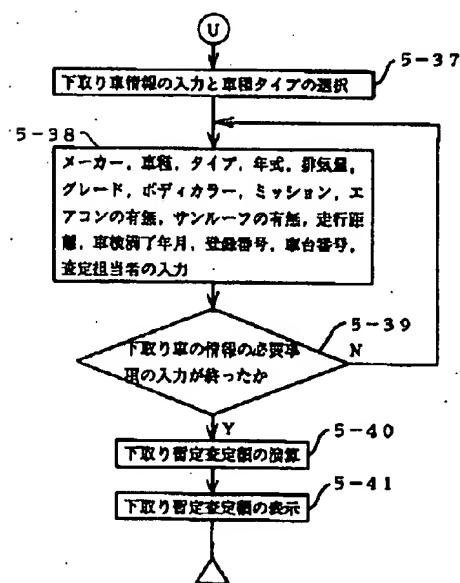
【図14】



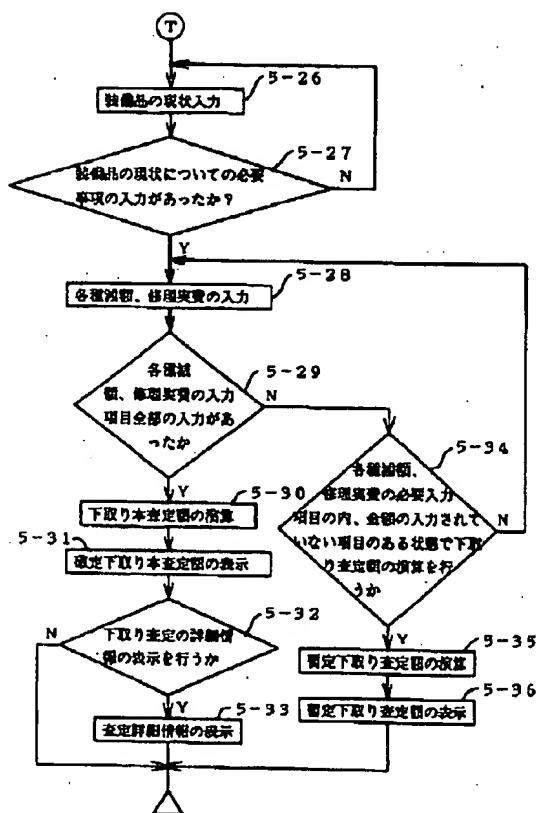
【図18】



【図25】



【図17】



【図19】

◆◆ 下取り車情報の入力 ◆◆

メーカー	トヨタ		
車種	クラウン		
タイプ	セダン		
年式	平成7年	初年度登録月	9月登録
排気量	3000cc		
グレード	RサルーンG		
ボディカラー	シルバーメタリック		
ミッション	<input checked="" type="radio"/> オートマ <input type="radio"/> マニュアル		
A/C有無	<input checked="" type="radio"/> 有り <input type="radio"/> 無し		
S/R有無	<input checked="" type="radio"/> 有り <input type="radio"/> 無し		
現車走行距離	4996 Km		
車検済年月日	平成10年8月		
登録番号	新潟 - 33 - ほ - 8354		
車台番号	8888B		
登録担当者	酒井和正		

【図26】

◆◆ 修理工具の現状入力 ◆◆

エアコン	<input checked="" type="radio"/> 通常の使用可 <input type="radio"/> 通常の使用不可
バッテリ	<input checked="" type="radio"/> 通常の使用可 <input type="radio"/> 交換が必要
時計	<input checked="" type="radio"/> 通常の使用可 <input type="radio"/> 交換が必要
パワーウィンドウ左側	<input checked="" type="radio"/> 通常の使用可 <input type="radio"/> 作動不可修理要
パワーウィンドウ左挿	<input checked="" type="radio"/> 通常の使用可 <input type="radio"/> 作動不可修理要
パワーウィンドウ右側	<input checked="" type="radio"/> 通常の使用可 <input type="radio"/> 作動不可修理要
パワーウィンドウ右挿	<input checked="" type="radio"/> 通常の使用可 <input type="radio"/> 作動不可修理要
ワイパー洗浄	<input checked="" type="radio"/> 通常の使用可 <input type="radio"/> 交換が必要
メーターハートル	<input checked="" type="radio"/> 通常の使用可 <input type="radio"/> 通常の使用不可

エアバック	
<input checked="" type="radio"/> 標準	<input checked="" type="radio"/> 使用可能
<input type="radio"/> OOP-A	<input type="radio"/> 使用不可
<input type="radio"/> OOP-B	<input type="radio"/> 使用不可
<input type="radio"/> OOP-C	<input checked="" type="radio"/> 使用不可
<input checked="" type="radio"/> 標準	<input checked="" type="radio"/> 使用可能
<input type="radio"/> OOP-A	<input checked="" type="radio"/> 使用可能
<input type="radio"/> OOP-B	<input checked="" type="radio"/> 使用可能
<input type="radio"/> OOP-C	<input checked="" type="radio"/> 使用可能
4WS	
<input checked="" type="radio"/> 標準	<input checked="" type="radio"/> 使用可能
<input type="radio"/> OOP-A	<input checked="" type="radio"/> 使用可能
<input type="radio"/> OOP-B	<input checked="" type="radio"/> 使用可能
<input type="radio"/> OOP-C	<input checked="" type="radio"/> 使用可能
<input checked="" type="radio"/> 標準	<input checked="" type="radio"/> 使用可能
<input type="radio"/> OOP-A	<input checked="" type="radio"/> 使用可能
<input type="radio"/> OOP-B	<input checked="" type="radio"/> 使用可能
<input type="radio"/> OOP-C	<input checked="" type="radio"/> 使用可能
工具、ジャッキ	
<input checked="" type="radio"/> 使用可能	
<input type="radio"/> 使用不可	

【図29】

【図23】

加減・補修歴の入力		
バンパー	ドア	ステップ
フロント	左前	左
リア	左後	右
フェンダー	右前	
左前	右後	ボンネット
左後	後部	ルーフ
右前	ミラー	トランクの蓋
右後	左	トランクの床
エプロン	右	
フロント	電動ミラー	インテーパネル左
リア	左	インテーパネル右
	右	ラジエータセル
ルームクリーニング	<input type="radio"/> OK	<input type="radio"/> OK
シートの補修歴	<input type="radio"/> OK	<input type="radio"/> OK
ドア内張りの補修歴	<input type="radio"/> OK	<input type="radio"/> OK
天井の補修歴	<input type="radio"/> OK	<input type="radio"/> OK
じゅうたんの補修歴	<input type="radio"/> OK	<input type="radio"/> OK

【図24】

◆◆ 外装部材の現状入力 ◆◆		
バンパー	ドア	ステップ
フロント	左前	左
リア	左後	右
フェンダー	右前	
左前	右後	ボンネット C
左後	後部	ルーフ
右前	ミラー	トランクの蓋 A
右後	×	トランクの床 C
エプロン	右	
フロント	電動ミラー	インテーパネル左
リア	C	インテーパネル右
	右	ラジエータセル
タイヤ	ガラスの交換	
左前	<input type="radio"/> OK	<input type="radio"/> OK
左後	<input type="radio"/> OK	<input type="radio"/> OK
右前	<input type="radio"/> OK	<input type="radio"/> OK
右後	<input type="radio"/> OK	<input type="radio"/> OK
スペア	<input type="radio"/> OK	<input type="radio"/> OK
ヘッドライト	OK	OK
テール・コンビランプ	OK	OK

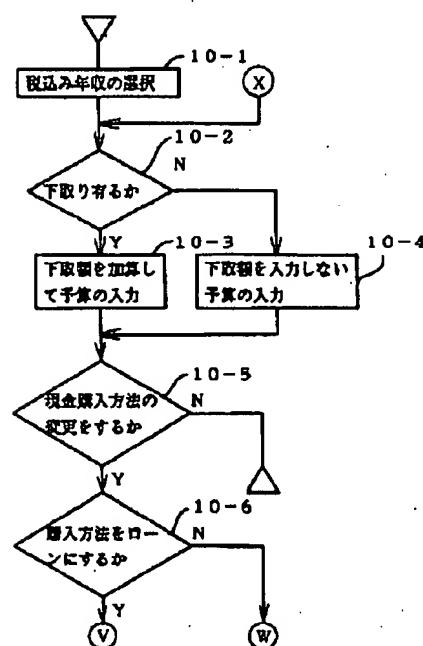
【図27】

◆◆ 機器部・足回りの現状入力 ◆◆		
エンジン	<input type="radio"/> OK	通常に使用できる <input type="radio"/> 通常の使用が困難
ミッション	<input type="radio"/> OK	通常に使用できる <input type="radio"/> 通常の使用が困難
電力伝送装置	<input type="radio"/> OK	通常に使用できる <input type="radio"/> 通常の使用が困難
ステアリング	<input type="radio"/> OK	通常に使用できる <input type="radio"/> 通常の使用が困難
サスペンション	<input type="radio"/> OK	通常に使用できる <input type="radio"/> 通常の使用が困難
ブレーキ	<input type="radio"/> OK	通常に使用できる <input type="radio"/> 通常の使用が困難
マフラー	<input type="radio"/> OK	通常に使用できる <input type="radio"/> 通常の使用が困難
その他の機器・足回り	<input type="radio"/> OK	通常に使用できる <input type="radio"/> 通常の使用が困難

【図28】

◆◆車内備品の状況入力◆◆							
ステレオ・コンポ・CD				チ レ ピ			
<input type="radio"/> 備 甲	<input type="radio"/> 使用 可能	<input type="radio"/> 備 甲	<input type="radio"/> 使用 可能				
<input type="radio"/> COP-A		<input type="radio"/> COP-A					
<input type="radio"/> COP-B		<input type="radio"/> COP-B					
<input type="radio"/> COP-C	<input type="radio"/> 使用 不可	<input type="radio"/> COP-C	<input type="radio"/> 使用 不可				
<input type="radio"/> 無 し		<input type="radio"/> 無 し					
ナビゲーション				空 気 清 淨 器			
<input type="radio"/> 備 甲	<input type="radio"/> 使用 可能	<input type="radio"/> 備 甲	<input type="radio"/> 使用 可能				
<input type="radio"/> COP-A		<input type="radio"/> COP-A					
<input type="radio"/> COP-B		<input type="radio"/> COP-B					
<input type="radio"/> COP-C	<input type="radio"/> 使用 不可	<input type="radio"/> COP-C	<input type="radio"/> 使用 不可				
<input type="radio"/> 無 し		<input type="radio"/> 無 し					
アルミホイール				ス ポ イ ラ ー			
<input type="radio"/> 備 甲	<input type="radio"/> 使用 可能	<input type="radio"/> 備 甲	<input type="radio"/> 使用 可能				
<input type="radio"/> COP-A		<input type="radio"/> COP-A					
<input type="radio"/> COP-B		<input type="radio"/> COP-B					
<input type="radio"/> COP-C	<input type="radio"/> 使用 不可	<input type="radio"/> COP-C	<input type="radio"/> 使用 不可				
<input type="radio"/> 無 し		<input type="radio"/> 無 し					

【図35】



【図32】

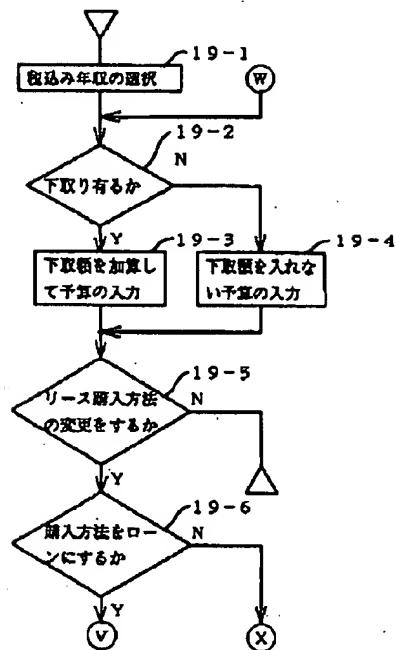
◆◆車内備品の状況表示◆◆							
外 装				内 装			
バンパー	0	室内の状況	0				
フェンダー	0	トランクルームの状況	0				
エプロン	0	室内の真い	0				
ドア	0	ダッシュボード	0				
ミラー	0	電 話 品					
電 話 ミ ラ ー	0	エアコン	0				
ス ッ ト ブ	0	バ ッ テ リ	0				
ボンネット	0	時 計	0				
ルーフ	0	パワーウィンドウ	0				
トランク	0	ワイパー開閉	0				
ガラス	0	メーターパネル	0				
タイヤ	0	機関・足回り					
駆動 機 有 り	0	エンジンの燃費等	0				
改 造 車	0	ミッションの燃費等	0				
全 体 换 え	0	動力伝達装置の燃費等	0				
現 状 車 故 事	0	ステアリングの燃費等	0				
インナーパネル	0	サスペンションの燃費	0				
ラジエータセル	0	ブレーキの燃費等	0				
ヘッドライト	0	マフラーの燃費等	0				
テール・コンビランプ	0	その他の燃費の燃費等	0				

【図30】

◆◆ 各種登録項目、修理実績の入力 ◆◆

外装	内装		
車体の修理歴有り	円	室内の状況	円
追加改造車	円	トランクルームの状況	円
車部の現状状況	円	室内の真い	円
		ダッシュボードの状況	円
機器等			
エンジン	円	荷物品	
ミッション	円	ステレオ	円
動力伝達装置	円	テレビ	円
ステアリング	円	ナビゲーション	円
サスペンション	円	空気清浄機	円
ブレーキ	円	アルミホイール	円
マフラー	円	スピーカー	円
車輌用・足回り	円	エアバック	円
		4W8	円
		ABS	円
電装品			
メーター・パネル	円		

【図48】



【図36】

◆◆ 脱込み年収の選択 ◆◆

脱込み年収	
100万円未満	400万円以上 450万円未満
100万円以上 150万円未満	450万円以上 500万円未満
150万円以上 200万円未満	500万円以上 550万円未満
200万円以上 250万円未満	550万円以上 600万円未満
250万円以上 300万円未満	600万円以上 650万円未満
300万円以上 350万円未満	650万円以上 700万円未満
350万円以上 400万円未満	700万円以上

【図31】

GSAX1667X

◆◆ 確定下取り査定額の表示 ◆◆

顧客名	日本 太郎	
メーター	トヨタ	
車種/タイプ	クラウン	セダン
グレード	RカーレーンG	
排気量	3000 cc	
ボディカラー	シルバーメタリック	
初年度登録日	7年 12月	
登録番号	銀川-33-は-8354	
車台番号	88888	
車検済了日	10年 11月	
査定拠点名/Tel	ナイス・センター渋谷店 03-3487-8353	
査定担当者	道田 和正	
査定日付	9年 5月 17日	
有効期限	9年 5月 31日迄	
確定下取り査定額	¥1,516,743	

【図37】

予算 ◆◆ ご予算の入力 ◆◆

ご購入計画 中古車購入(現金) 下取車あり

◆ ご購入予算 ◆		◆ 下取査定額情報 ◆	
ご購入予算	0 円	下取査定額	0 円
下取加算充当額	0 円	「下取査定」に基づく査定結果です。 下取り査定額を購入予算に加算しますか?	
下取合算購入予算	0 円	<input type="checkbox"/> 加算しない	<input type="checkbox"/> 全て加算
総支払予算額	0 円	<input type="checkbox"/> 一部加算	

4つの「ご予算の計算方法」より  
希望されるものをタッチして下さい。

計算方法		「現金用」「仮現用」 を予算に含む	「現金用」のみを 予算に含む	「仮現用」のみを 予算に含む	どちらも含まない (現金のみの予算)
車両充当予算	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円
現金用充当予算	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円
仮現用充当予算	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円
総支払予算額	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円

精算戻し金 0 円が発生します!

【図33】

装備品	
ステレオ・コンポ・CD	0
テ レ ビ	0
ナビゲーション	0
空気清浄器	0
アルミホイール	0
スポイラー	0
エアバック	0
4 W S	0
A B S	0
工具、ジャッキ	0

現車走行距離	4,396 Km
基準走行距離	11,000 Km
6,654 Km	少走行です
走行距離評価	¥66,540

選択下取車基準	¥1,124,118
---------	------------

【図38】

◆◆ ご予算の入力 ◆◆

ご購入計画 中古車購入（現金） 下取車なし

◆ ご購入予算 ◆

ご購入予算	0 円
総支払予算額	0 円

4つの「ご予算の計算方法」より  
希望されるものを切り替えて下さい。

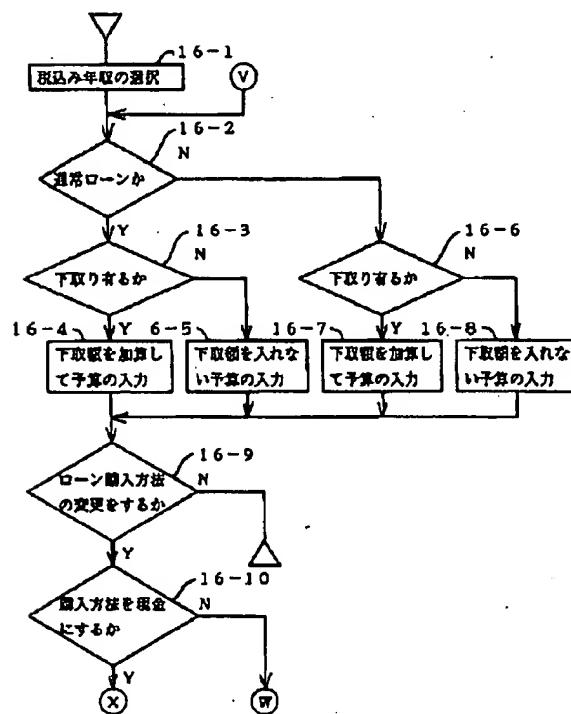
計算方法	「現用」「保険料」 を予算に含む	「現用」のみを 予算に含む	「保険料」のみを 予算に含む	どちらも含まない （車両のみの予算）
車両充当予算	0 円	0 円	0 円	0 円
諸費用充当予算	0 円	0 円	0 円	0 円
保険料充当予算	0 円	0 円	0 円	0 円
総支払予算額	0 円	0 円	0 円	0 円

【図34】

◆◆ 暫定下取り査定額の表示 ◆◆

顧客名	日本太郎	性
メーカー	トヨタ	
車種/タイプ	クラウン	セダン
グレード	RサルーンG	
排气量	3000 cc	
ボディカラー	シルバーメタリック	
初年度登録日	7年12月	
登録番号	競馬 - 33 - 12 - 8354	
車台番号	88888	
車検済日	10年12月	
査定箇所名/Tel	ナイス・センター浜松店	03-3487-8353
査定担当者	辻根士和正	
査定日付	9年5月17日	
有効期限	9年5月31日	
査定下取り査定額		
¥1,716,743		

【図39】



[図40]

◆◆ 概算予算の入力 ◆◆

ご購入計画 中古車購入（ローン） 通常ローン 下取車あり

◆ ご購入予算 ◆		◆ 下取査定額情報 ◆	
ご購入予算	0 円	下取査定額	0 円
下取加算充当額	0 円	「下取本設定」に基づく査定結果です。 下取り査定額を購入予算に加算しますか？	
下取合算予算	0 円	加算しない	全て加算
総支払予算額	0 円	一部加算	

4つの「ご予算の計算方法」より  
希望されるものをクリックして下さい。

精算戻し金 0 円が発生します！

計算方法 予算項目	「精算用」「保険料」 を予算に含む	「精算用」のみ 予算に含む	「保険料」のみ 予算に含む	どちらも含まない (車両のみの予算)
車両充当予算	0 円	0 円	0 円	0 円
諸費用充当予算	0 円	0 円	0 円	0 円
保険料充当予算	0 円	0 円	0 円	0 円
総支払予算額	0 円	0 円	0 円	0 円

[図41]

◆◆ ご予算の入力 ◆◆

予算 ご購入計画 中古車購入（ローン） 通常ローン 下取車あり

◆ ご購入予算内訳 ◆		★ お支払明細欄（予算） ★ 実質年率 5.9%	
車両充当予算	0 円	お支払回数	
諸費用充当予算	0 円	初回支払額	0 円
保険料充当予算	0 円	月々支払額	0 円
ご予算総額	0 円	ボーナス払い	0 円
◆ お支払い方法 ◆		ボーナス回数	
下取加算充当額	0 円	現 金	0 円
現金支払額	0 円	月々払い総額	0 円
現金合計	0 円	ボーナス払総額	0 円
ローン設定額	0 円	総お支払額	0 円
支払回数指定		ローン元金	0 円
ローンタイプ	月々均等 ボーナス併用	ローン金利	0 円

【図42】

予算予算 ◆◆ 極算予算の入力 ◆◆

ご購入計画 中古車購入（ローン） 通常ローン 下取車なし

◆ ご購入予算 ◆

ご購入予算	0円
税支払予算額	0円

4つの「ご予算の計算方法」より  
希望されるものを掛け下さい。

計算方法 予算項目	「税支用」「保険料」 を予算に含む	「税支用」のみを 予算に含む	「保険料」のみを 予算に含む	どちらも含まない (保険のみの予算)
車両充当予算	0円	0円	0円	0円
諸費用充当予算	0円	0円	0円	0円
保険料充当予算	0円	0円	0円	0円
税支払予算額	0円	0円	0円	0円

【図43】

予算 ◆◆ ご予算の入力 ◆◆

ご購入計画 中古車購入（ローン） 通常ローン 下取車なし

◆ ご購入予算内訳 ◆

車両充当予算	0円
諸費用充当予算	0円
保険料充当予算	0円
ご予算総額	0円

◆ お支払い方法 ◆

頭金	0円	
ローン設定額	0円	
支払回数指定		
ローンタイプ	月々均等	ボーナス併用

★ お支払明細欄（予算）★  
実質年率 5.9%

お支払回数	0円
初回支払額	0円
月々支払額	0円
ボーナス払い	0円
ボーナス回数	
頭金	0円
月々払い総額	0円
ボーナス払総額	0円
総お支払額	0円
ローン元金	0円
ローン金利	0円

【図44】

概算予算 ◆◆ 概算予算の入力 ◆◆

ご購入計画 中古車購入（ローン） フリーローン 下取車あり

◆ ご購入予算 ◆		◆ 下取査定額情報 ◆	
ご購入予算	0 円	下取査定額	0 円
下取加算充当額	0 円	「下取本査定」に基づく査定結果です。 下取り査定額を購入予算に加算しますか？	
下取合算予算	0 円	加算しない 全て加算 一部加算	
お支払回数			

2つの「ご予算の計算方法」より  
希望されるものをタッチして下さい。

結果戻し金 0 円が発生します！

計算方法 予算項目	「諸費用」「保険料」 を予算に含む		どちらも含まない (車両のみの予算)	
車両充当予算	0 円	想定車両残価	0 円	想定車両残価
諸費用充当予算	0 円	0 円	0 円	0 円
保険料充当予算	0 円	想支払予算額	0 円	想支払予算額
充当予算総額	0 円	0 円	0 円	0 円

【図45】

予算 ◆◆ ご予算の入力 ◆◆

ご購入計画 中古車購入（ローン） フリーローン 下取車あり

◆ ご購入予算内訳 ◆		★ お支払明細欄（予算） ★	
車両充当予算	0 円	支払年率 5.9%	
諸費用充当予算	0 円	お支払回数	
保険料充当予算	0 円	初回支払額	0 円
充当予算総額	0 円	月々支払額	0 円
想定車両残価	0 円	ボーナス払い	0 円
総支払予算額	0 円	ボーナス回数	

◆ お支払い方法 ◆

下取加算充当額	0 円	頭金	0 円
現金支払額	0 円	月々払い総額	0 円
頭金合計	0 円	ボーナス払総額	0 円
ローン設定額	0 円	総お支払額	0 円
支払回数指定		ローン元金	0 円
ローンタイプ	月々均等	ローン金利	0 円

【図46】

概要予算 ◆◆ 概算予算の入力 ◆◆

ご購入計画 中古車購入（ローン） フリーローン 下取車なし

◆ ご購入予算 ◆

ご購入予算	0 円
お支払回数	

2つの「ご予算の計算方法」より  
希望されるものをリツして下さい。

計算方法	「諸費用」「保険料」 を予算に含む	どちらも含まない (車両のみの予算)
予算項目		
車両充当予算	0 円	想定車両残価 0 円
諸費用充当予算	0 円	0 円 0 円
保険料充当予算	0 円	想支払予算額 0 円
充当予算総額	0 円	0 円 0 円

【図47】

予算 ◆◆ ご予算の入力 ◆◆

ご購入計画 中古車購入（ローン） フリーローン 下取車なし

◆ ご購入予算内訳 ◆

車両充当予算	0 円
諸費用充当予算	0 円
保険料充当予算	0 円
充当予算総額	0 円
想定車両残価	0 円
想支払予算額	0 円

◆ お支払い方法 ◆

頭金	0 円
ローン設定額	0 円
支払回数指定	
ローンタイプ	月々均等 6ヶ月供用

★ お支払明細欄（予算） ★  
実質年率 5.9%

お支払回数	0 円
初回支払額	0 円
月々支払額	0 円
ボーナス払い	0 円
ボーナス回数	
頭金	0 円
月々払い総額	0 円
ボーナス払総額	0 円
総お支払額	0 円
ローン元金	0 円
ローン金利	0 円

【図49】

概算予算 ◆◆ 概算予算の入力 ◆◆

ご購入計画 中古車リース 下取車あり

◆ ご購入予算 ◆

ご購入予算	0円
下取料充當額	0円
下取合計購入予算	0円
リース期間	

◆ 下取査定額情報 ◆

下取査定額	0円	
「下取査定」に基づく査定結果です。 下取り査定額を購入予算に加算しますか？		
加算しない	全て加算	一部加算

2つの「ご予算の計算方法」より  
希望されるものを切り替えて下さい。

精算戻し金 0円が発生します！

計算方法 「諸費用」「保険料」  
予算項目 を予算に含む

車両充當予算	0円	想定車両残価	0円
諸費用充當予算	0円	0円	0円
保険料充當予算	0円	純支払予算額	0円
充当予算総額	0円	0円	0円

どちらも含まない  
(車両のみの予算)

0円	想定車両残価	0円
0円	0円	0円
0円	純支払予算額	0円
0円	0円	0円

【図50】

予算 ◆◆ ご予算の入力 ◆◆

ご購入計画 中古車リース 下取車あり

◆ ご購入予算内訳 ◆

車両充當予算	0円
諸費用充當予算	0円
保険料充當予算	0円
充当予算総額	0円
想定車両残価	0円
純支払予算額	0円

★ お支払明細欄(予算) ★

リース料率 5.0%	
リース期間	0円
初回支払額	0円
月々支払額	0円
ボーナス払い	0円
ボーナス回数	

◆ お支払い方法 ◆

下取料充當額	0円	
現金支払額	0円	
頭金合計	0円	
リース残額	0円	
リース期間指定		
支払タイプ	月々均等	一括併用

頭金	0円
月々払い総額	0円
ボーナス払額	0円
総お支払額	0円
リース元金	0円
リース金利	0円

【図51】

概算予算 ◆◆ 概算予算の入力 ◆◆

ご購入計画 中古車リース 下取車なし

◆ ご購入予算 ◆

ご購入予算	0 円
リース期間	

2つの「ご予算の計算方法」より  
希望されるものをクリックして下さい。

計算方法 予算項目	「諸費用」「保険料」 を予算に含む		どちらも含まない (車両のみの予算)	
車両充当予算	0 円	想定車両残価	0 円	想定車両残価
諸費用充当予算	0 円	0 円	0 円	0 円
保険料充当予算	0 円	総支払予算額	0 円	総支払予算額
充当予算総額	0 円	0 円	0 円	0 円

【図52】

予算 ◆◆ ご予算の入力 ◆◆

ご購入計画 中古車リース 下取車なし

◆ ご購入予算内訳 ◆

車両充当予算	0 円
諸費用充当予算	0 円
保険料充当予算	0 円
充当予算総額	0 円
想定車両残価	0 円
総支払予算額	0 円

★ お支払明細額(予算) ★  
リース料率 5.0%

リース期間	
初回支払額	0 円
月々支払額	0 円
ボーナス払い	0 円
ボーナス回数	
頭金	0 円
月々払い総額	0 円
ボーナス払総額	0 円
総お支払額	0 円
リース元金	0 円
リース金利	0 円

◆ お支払い方法 ◆

頭金	0 円	
リース残額	0 円	
リース期間指定		
支払タイプ	月々均等	ボーナス併用

【図53】

◆◆ 理想条件の設定 ◆◆	
各項目の、理想の条件を設定して下さい。	
【イメージ】	希望のイメージを設定して下さい。
大きさ	希望の大きさを設定して下さい。
ボディカラー	希望のボディカラーを設定して下さい。
定員	希望の定員数を設定して下さい。
ミッション	希望のミッションを設定して下さい。
駆動輪	希望の駆動輪を設定して下さい。
燃料形態	希望の燃料形態を設定して下さい。
ナンバープレート	希望のプレートを設定して下さい。
排気量	希望の排気量を設定して下さい。
年式／使用期間	希望の年式を設定して下さい。

【図54】

◆◆ イメージの選択 ◆◆	
ご希望のイメージボタンをクリックして下さい。	
【ハッチバック】 例	ハッチバックはこのボタン
セダン 例	セダンをお探しの場合はこのボタン
ハードトップ 例	ハードトップはこのボタン
クーペ 例	クーペをお探しの場合はこのボタン
オープン or キャンバストップ 例	オープンタイプはこのボタン
クロカン4WD 例	クロカン4WDはこのボタン
ワゴン／バン ( 1 Box ) 例	1 Box xタイプはこのボタン
ワゴン／バン ( 2 Box ) 例	2 Box xタイプはこのボタン
トラック 例	トラックはこのボタン
バス 例	バスをお探しの場合はこのボタン

【図55】

◆◆ 大きさの選択 ◆◆

ご希望の大きさをクリックして下さい。

<input style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 30px; font-size: 10px; font-weight: bold; margin-bottom: 5px;" type="button" value="大型車"/> 大型車 具体例	「大型車」を選択する場合は、左のボタンをクリックして下さい。	<input style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 30px; font-size: 10px; font-weight: bold; margin-bottom: 5px;" type="button" value="中型車"/> 中型車 具体例	「中型車」を選択する場合は、左のボタンをクリックして下さい。
<input style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 30px; font-size: 10px; font-weight: bold; margin-bottom: 5px;" type="button" value="小型車"/> 小型車 具体例	「小型車」を選択する場合は、左のボタンをクリックして下さい。	<input style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 30px; font-size: 10px; font-weight: bold; margin-bottom: 5px;" type="button" value="軽自動車"/> 軽自動車 具体例	「軽自動車」を選択する場合は、左のボタンをクリックして下さい。

【図56】

◆◆ ボディカラーの選択 ◆◆

ご希望のボディカラーを選択して下さい。 (複数選択可)

<input style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; font-size: 10px; font-weight: bold; margin-bottom: 2px;" type="button" value="白"/> 白 「白系が」ご希望の場合はこのボタン	<input style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; font-size: 10px; font-weight: bold; margin-bottom: 2px;" type="button" value="茶"/> 茶 「茶系」がご希望の場合はこのボタン	<input style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; font-size: 10px; font-weight: bold; margin-bottom: 2px;" type="button" value="紫"/> 紫 「紫系」がご希望の場合はこのボタン
<input style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; font-size: 10px; font-weight: bold; margin-bottom: 2px;" type="button" value="真珠"/> 真珠 「パール系」がご希望はこのボタン	<input style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; font-size: 10px; font-weight: bold; margin-bottom: 2px;" type="button" value="赤"/> 赤 「赤系」がご希望の場合はこのボタン	<input style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; font-size: 10px; font-weight: bold; margin-bottom: 2px;" type="button" value="金"/> 金 「金系」がご希望の場合はこのボタン
<input style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; font-size: 10px; font-weight: bold; margin-bottom: 2px;" type="button" value="黄"/> 黄 「黄系」がご希望の場合はこのボタン	<input style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; font-size: 10px; font-weight: bold; margin-bottom: 2px;" type="button" value="緑"/> 緑 「緑系」がご希望の場合はこのボタン	<input style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; font-size: 10px; font-weight: bold; margin-bottom: 2px;" type="button" value="銀"/> 銀 「銀系」がご希望の場合はこのボタン
<input style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; font-size: 10px; font-weight: bold; margin-bottom: 2px;" type="button" value="檀"/> 檀 「檀系」がご希望の場合はこのボタン	<input style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; font-size: 10px; font-weight: bold; margin-bottom: 2px;" type="button" value="青"/> 青 「青系」がご希望の場合はこのボタン	<input style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; font-size: 10px; font-weight: bold; margin-bottom: 2px;" type="button" value="鉄"/> 鉄 「ガンメタ系」がご希望はこのボタン
<input style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; font-size: 10px; font-weight: bold; margin-bottom: 2px;" type="button" value="桃"/> 桃 「桃系」がご希望の場合はこのボタン	<input style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; font-size: 10px; font-weight: bold; margin-bottom: 2px;" type="button" value="紺"/> 紺 「紺系」がご希望の場合はこのボタン	<input style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; font-size: 10px; font-weight: bold; margin-bottom: 2px;" type="button" value="黒"/> 黒 「黒系」がご希望の場合はこのボタン

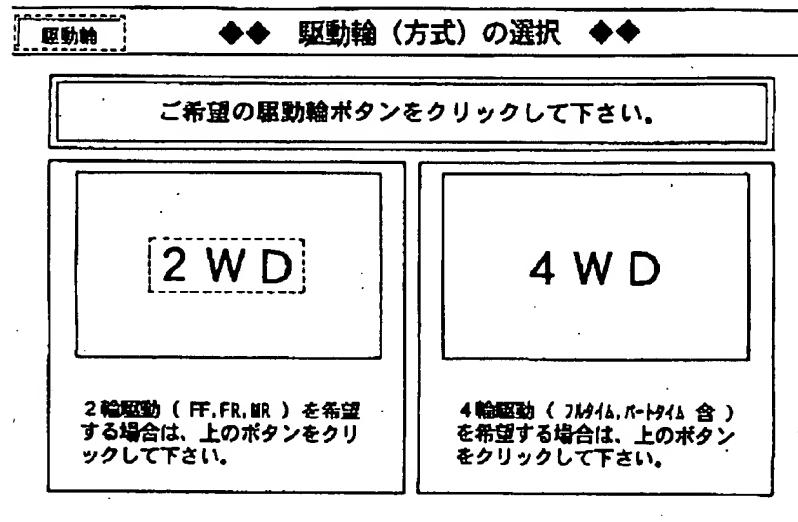
【図57】

◆◆ 定員 ◆◆	
ご希望の定員数を選択して下さい。（複数選択可）	
1人	1人乗りがご希望の場合はこのボタン
2人	2人乗りがご希望の場合はこのボタン
3人	3人乗りがご希望の場合はこのボタン
4人	4人乗りがご希望の場合はこのボタン
5人	5人乗りがご希望の場合はこのボタン
6人	6人乗りがご希望の場合はこのボタン
7人	7人乗りがご希望の場合はこのボタン
8人	8人乗りがご希望の場合はこのボタン
9人	9人乗りがご希望の場合はこのボタン
10人以上	10人以上の車をお探しの場合はこのボタン

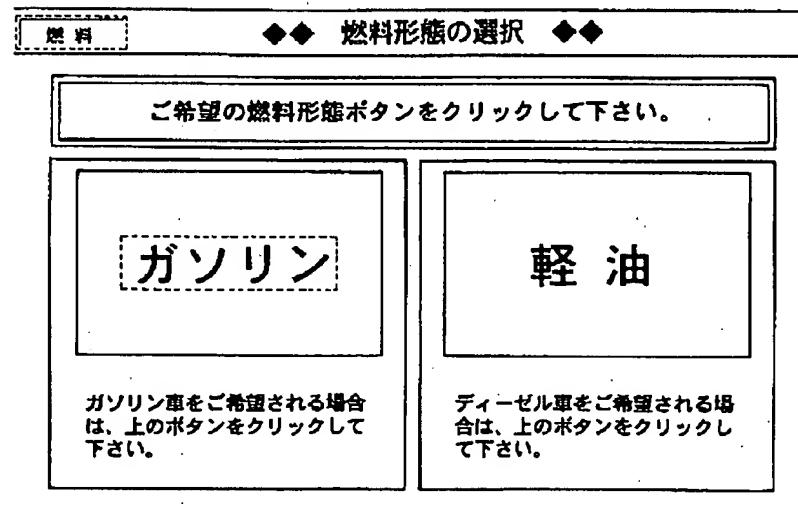
【図58】

◆◆ ミッション ◆◆	
ご希望のミッションボタンをクリックして下さい。	
オートマチック	マニュアル
「オートマチック車」を希望する場合は、上のボタンをクリックして下さい。	「マニュアル車」を希望する場合は、上のボタンをクリックして下さい。

【図59】



【図60】



【図61】

◆◆ ナンバープレートの選択 ◆◆

ナンバー

ご希望ナンバーを選択して下さい。

品川1× あ12-34 1ナンバー	普通貨物車 E・M・Dでは基本的に取扱いませんが、RV系の取扱い車種の一部が該当します。	小型貨物車 商用車はすべてこれに該当します。軽四のワゴン/バンなども含みます。
品川3× あ12-34 3ナンバー	普通乗用車 総排気量が2000ccを超える乗用車がこれに該当します。	小型乗用車 総排気量が2000cc以下の乗用車がこれに該当します。軽四の乗用車を含む

【図62】

◆◆ 排気量の選択 ◆◆

排気量

ご希望の排気量ボタンをクリックして下さい。

1000cc以下 自動車 表示	3001cc ~ 3500cc 自動車 表示
1001cc ~ 1500cc 自動車 表示	3501cc ~ 4000cc 自動車 表示
1501cc ~ 2000cc 自動車 表示	4001cc ~ 4500cc 自動車 表示
2001cc ~ 2500cc 自動車 表示	4501cc ~ 6000cc 自動車 表示
2501cc ~ 3000cc 自動車 表示	6001cc以上 自動車 表示

【図63】

年式 ◆◆ 使用期間／年式の選択 ◆◆

ご希望の使用期間または年式を選択して下さい。

「使用期間」で設定	「年式」で設定
-----------	---------

使用期間設定

使用期間  年を希望

7	8	9
4	5	6
+	2	3
0	削除	取消

【図64】

◆◆ メーカーの選択 ◆◆

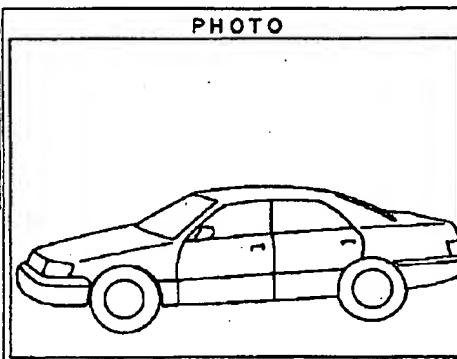
ご希望メーカーの選択をして下さい。

 該当車種 0件	 該当車種 0件	 該当車種 0件
 該当車種 0件	 該当車種 0件	 該当車種 0件
 該当車種 0件	 該当車種 0件	 該当車種 0件
 該当車種 0件	 該当車種 0件	国産 メーカー

【図65】

車種		◆◆ ご希望車種の選択 ◆◆	
下の一覧より、ご希望の車種を選択して下さい。		メーカー	該当車種 10 件中 5 件目を表示中
	車種名/タイプ名	発売年月	
	マジェスタ 4ドアハードトップ	H 5 年 1 月発売	
	マジェスタ 4ドアハードトップ	H 5 年 8 月発売	
	クラウン 4ドアハードトップ	H 5 年 1 月発売	
	クラウン 4ドアハードトップ	H 5 年 8 月発売	
	ウインダム 4ドアハードトップ	H 5 年 1 月発売	

【図66】

確認		◆◆ 選択車種の確認 ◆◆	
ご希望車種の確認をして下さい。			
メーカー名	PHOTO		
トヨタ			
車種名/タイプ名			
クラウン 4ドアハードトップ			
発売年月			
H 5 年 8 月			

[図67]

[図68]

確認		◆◆ 選択グレードの確認 ◆◆				GSAX2290X											
選択		トヨタ															
車種		クラウン															
タイプ		4ドアハードトップ															
排気量		3000 CC															
グレード		GT-L	74.9														
年式		平成 5 年 8 月発売															
ミッション		フロア 4速オートマチック															
走行距離		<p>平成 5 年 8 月登録車の適正走行距離 および、一般的な流通小売価格は次のと おりです。</p> <table border="1"> <tr> <td>適正走行距離</td> <td>37,800 km</td> </tr> <tr> <td>流通小売価格</td> <td>2,340 千円</td> </tr> </table>						適正走行距離	37,800 km	流通小売価格	2,340 千円						
適正走行距離	37,800 km																
流通小売価格	2,340 千円																
オプション情報		<table border="1"> <tr> <td>写真 PHOTO</td> <td>正面 FRONT</td> <td>後部 REAR</td> <td>運転席側 DRIVER'S SIDE</td> <td>助手席側 PASSENGER'S SIDE</td> </tr> <tr> <td colspan="2">カタログ情報 CATALOGUE</td> <td colspan="2">グレード GRADE</td> <td>グレード 对比 COMPARE</td> </tr> </table>						写真 PHOTO	正面 FRONT	後部 REAR	運転席側 DRIVER'S SIDE	助手席側 PASSENGER'S SIDE	カタログ情報 CATALOGUE		グレード GRADE		グレード 对比 COMPARE
写真 PHOTO	正面 FRONT	後部 REAR	運転席側 DRIVER'S SIDE	助手席側 PASSENGER'S SIDE													
カタログ情報 CATALOGUE		グレード GRADE		グレード 对比 COMPARE													
オプション OPTION																	

【図69】

◆◆ カタログ情報 ◆◆			
 	車種記号 E-JZS145 ATPUF エンジン形式 2JZ-GE		
	全長×全幅×全高 4810×1760×1415 シリンダー構造 水冷直列6気筒		
 <p>運転して販売を行なう場合は、 車両記号ある場合は、 車両記号を記入して販売を行なう</p> <p>走行距離 走行距離を記入して販売を行なう場合は、 走行距離を記入して販売を行なう</p> <p>オプション オプションを記入して販売を行なう場合は、 オプションを記入して販売を行なう</p> <p>オプション オプションを記入して販売を行なう場合は、 オプションを記入して販売を行なう</p>	ホイールベース 2,750 mm	エンジン構造 DOHC	
	トレック前/後 1480/1480 mm	ハブ形式	
	最低地上高 145 mm	燃料供給装置 EFI	
	室内長×幅×高 1975×1485×1160 mm	過給器	
	車両重量 1,680 kg	内径×行程 86.0×86.0 mm	
	定員 5 人	燃耗量 2,997 CC	
	車両認重量 1,985 kg	圧縮比 10.0	
	最小回転半径 5.5 m	最大出力 230 N·PS	
	燃費(60km/h) 16.3 km/リッター	最大トルク 29.0 kg-m	
	燃費(10・16km) 8.0 km/リッター	サスペンション(前) ダブルウイッシュボーン式	
ドア数 4ドア	サスペンション(後) ダブルウイッシュボーン式		
駆動装置 2WD	ブレーキ形式(前) ベンチレーテッドディスク		
種類 PS, PW	ブレーキ形式(後) ベンチレーテッドディスク		
燃油プレミアムガソリン			
タイヤ(前) 205/60R15 94H+15×8.5JJ			
タイヤ(後) 205/60R15 94H+15×8.5JJ			
新車価格 4,883,000 円 東京地区メーカー発表			

【図70】

◆◆ 保存グレードの対比 ◆◆		
保存 No. 1	希望のグレードが決定したら「決定ボタン」をクリックしてください。	保存 No. 2
メーカー トヨタ	メーカー トヨタ	
車種 クラウン	車種 マークII	
タイプ 4ドアハードトップ	タイプ 4ドアハードトップ	
排気量 3000 CC	排気量 3000 CC	
グレード ハードTOP	グレード ハードTOP	
年式 平成 5年 6月登録	年式 平成 7年 1月登録	
ミッション フロア4速オートマチック	ミッション フロア4速オートマチック	
平成 5年 6月登録車の標準価格		
適正走行距離は 37,600 km です		
流通小売価格は 2,340 千円です		
    		    
このグレードに決定		

【図71】

◆◆ 装備品のご希望選択 ◆◆

<b>ステレオ・コンポ・CD</b>	<b>テレビ</b>	<b>ナビゲーション</b>
オプション A      B      C	オプション A      B      C	オプション A      B      C
30,000円 <input type="button" value="削除"/>	150,000円 <input type="button" value="削除"/>	150,000円 <input type="button" value="削除"/>
<b>空気洗浄機</b>	<b>アルミニウムホイール</b>	<b>エアロパーツ</b>
オプション A      B      C	オプション A      B      C	オプション A      B      C
160,000円 <input type="button" value="削除"/>	170,000円 <input type="button" value="削除"/>	170,000円 <input type="button" value="削除"/>
<b>合計金額確認</b>		
車両価格	2,000,000円	
装備品合計	500,000円	
車両合計価格	2,500,000円	

【図72】

◆◆ 在庫検索条件の確認 ◆◆ GSAX2290X

「在庫検索」を行います。各希望条件を再確認して  
「在庫検索」ボタンをクリックして下さい。

	<b>メーカー</b> : トヨタ																		
<b>車種</b>	クラウン																		
<b>タイプ</b>	4ドアハードトップ																		
<b>排気量</b>	3000 CC																		
<b>グレード</b>	R150																		
<b>年式</b>	平成5年8月発売																		
<b>ミッション</b>	フロア4速オートマチック																		
<b>その他の各種 ご希望条件内容</b>	<table border="1"> <tbody> <tr> <td><b>ボディカラー</b></td> <td>白</td> <td>真珠</td> <td>黒</td> <td>銀</td> <td>青</td> </tr> <tr> <td>茶</td> <td>赤</td> <td>緑</td> <td>青</td> <td>白</td> <td>黒</td> </tr> <tr> <td>紫</td> <td>黄</td> <td>銀</td> <td>銀</td> <td>白</td> <td>黒</td> </tr> </tbody> </table>	<b>ボディカラー</b>	白	真珠	黒	銀	青	茶	赤	緑	青	白	黒	紫	黄	銀	銀	白	黒
<b>ボディカラー</b>	白	真珠	黒	銀	青														
茶	赤	緑	青	白	黒														
紫	黄	銀	銀	白	黒														
<b>走行距離</b>	30,000km前後を希望																		
<b>車両価格</b>	2,800千円前後を希望																		
<b>オプション装備品</b>																			

【図73】

在庫なし ◆◆ 在庫なしの報告画面 ◆◆

共通在庫数 352,117 台  
同一車種/タイプ 0 台

検索条件

メーカー   トヨタ	ボディカラー   白 黒 青 紺 赤 紫 銀 銀 青 銀 銀 銀
車種   クラウン	
タイプ   4ドアハードトップ	
排気量   3000 CC	走行距離   30000 千前後を希望
グレード   RX-G 1M4V	車両価格   2800 千円前後を希望
年式   平成15年1月発売	
ミッション   フロア4速オートマチック	

上記のご希望条件により「共通在庫情報」（在庫総数 352,117 台）にアクセスした結果、残念ながら希望条件どおりの車両が現在ストックされておりません。また、同一車種/タイプでの在庫車も現在未登録となっていますので、「ご予約」することをお薦め致します。ご予約頂ければ営業担当者（業者総数 9,850業者）が尽力をあげて、あなたのご希望どおりのお車をお探しするシステムとなっております。

ご予約  
RESERVE

戻す  
RETURN

検索した在庫車情報をご検討をして頂けます。

保存分  
対比

【図74】

◆◆ ご予約条件の選択 ◆◆

ご予約条件は、複数選択可能！

選択件数 1件

予約選択

ご予約の条件を下より選んで「選択ボタン」をクリックして下さい。

解除

メーカー   トヨタ	ボディカラー   白 黒 青 紺 赤 紫 銀 銀 青 銀 銀 銀
車種   クラウン	
タイプ   4ドアハードトップ	
排気量   3000 CC	走行距離   30000 千前後を希望
グレード   RX-G 1M4V	車両価格   2800 千円前後を希望
年式   平成15年1月発売	
ミッション   フロア4速オートマチック	

選択

メーカー   トヨタ	ボディカラー   白 黒 青 紺 赤 紫 銀 銀 青 銀 銀 銀
車種   マークII	
タイプ   4ドアハードトップ	
排気量   3000 CC	走行距離   15000 千前後を希望
グレード   1G 1M4V	車両価格   2200 千円前後を希望
年式   平成17年1月発売	
ミッション   フロア4速オートマチック	

【図75】

◆◆ お客様情報の登録（ご予約） ◆◆

必須項目を入力して「完了ボタン」をクリックして下さい。

お客様氏名	森樹子 太郎 様	性別	<input checked="" type="radio"/> 男性 <input type="radio"/> 女性
生年月日	<input type="radio"/> 明治 <input type="radio"/> 大正 <input checked="" type="radio"/> 昭和	40年	12月31日生
郵便番号	160		
ご住所	東京都新宿区 西新宿7-22-45		
ご連絡先	(03)1234-6678	その他連絡先	(03)123-4567
お勤め先	株式会社 ナイス		
部署名	営業部		
勤務先電話	(03)3367-1350	内線番号	

2週間以内に連絡がなければ、他の大型店  
にも聞合せますのでご了承下さい。

97/03/04

【図76】

◆◆ 在庫状況の表示 ◆◆

共通在庫数 352,117 台  
同一車種/タイプ 24,398 台

メーカー	トヨタ	年 式	平成 5 年 8 月発売
車種	クラウン	該当在庫	9 件中 表示 1
タイプ	4ドアハードトップ	5 件目を表示中	価格順
グレード	GT-G V	価格	ボディカラー
		登録月	走行距離/車検残了
			車両所在地
	252.0 シルキーエレガントレー ニングII	10月	34,500 km H 10年10月 水道橋ショールーム
	245.0 シルキーエレガントレー ニングII	8月	38,000 km H 10年 8月 大和店展示場
	242.5 シルキーエレガントレー ニングII	9月	35,000 km H 10年 9月 海浜中央車庫
	236.0 シルキーエレガントレー ニングII	8月	37,000 km H 10年 8月 日暮区第2車庫
	230.0 シルキーエレガントレー ニングII	9月	40,500 km H 10年 9月 町田店展示場
	販売中		

【図77】

在庫状況		◆◆ 在庫状況の表示 ◆◆			
メーカー	トヨタ	年 式	平成 5 年 8 月発売	共通在庫総数 355,117 台 同一車種/タイプ 14,388 台	
車種	クラウン	該当在庫	件中	表示モード	
タイプ	4ドアハードトップ	件目を表示中	表示モード		価格順
グレード	ローレル G ハード				
価格	(万)				
252		◆◆ 表示モード(照会順)設定 ◆◆			
245		下のボタンをクリックして照会順序を指定して下さい。			
242		価格順 表示	車検順 表示	多順 少順	走行順 表示
236		[昇順] 降順			[昇順] 降順
230	商談				

【図78】

在庫詳細		◆◆ 在庫車両の詳細情報 ◆◆			
メーカー	トヨタ	車両No.	000001 - 000003		
車種	クラウン	002400 - 000120			
タイプ	4ドアハードトップ	現在状況	フリー		
グレード	ローレル G ハード	試験	試験可		
ミッション	フルオートマチック	年 式	H 5 年 10 月登録		
ボディカラー	シルキーエレガントトレーニングII				
イメージカラー	シルキーホワイト				
走行距離	34,500 km	修復歴の有無	無し		
車検満了日	H 10 年 10 月 22 日	定期点検記録簿	有り		
あがり区分	自家用				
装備記号	AT PSP PW E C VHD DCS ABS ASR M VDC				
車両所在地	水道橋ショールーム				
車両本体価格	2,520,000 円	整備点検受渡し			
		6カ月 または 5000km (売り子ちゃん統一保証)			

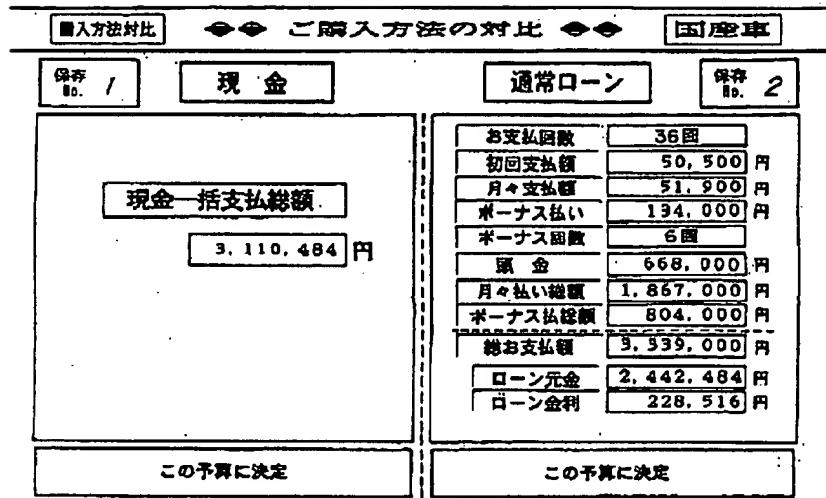
【図79】

在庫詳細		◆◆ 在庫車両の詳細情報 ◆◆			
メーカー	トヨタ	車両No.	000001 - 000003		
車種	クラウン		002400 - 000120		
タイプ	4ドアハードトップ	現在状況	フリー		
グレード	リバーア リバ	試乗	試乗可		
ミッション	フロア4速オートマチック	年式	H 6年10月登録		
ボディカラー	シルキーイエローブラック				
イメージカラー	シルキーホワイト				
走行距離	34,500 km	修復歴の有無	無し		
車検満了日	H 10年10月22日	定期点検記録簿	有り		
あがり区分	自家用				
◆◆ 在庫車の備考情報 ◆◆					
ワンオーナー車	ルームクリーニング処理済				
BBS-RS/17インチ	ボテンザRE71 9分山				
アルパインステレオ装備	ノーマルバーツ付属				
		受渡し			
		は 5000km			

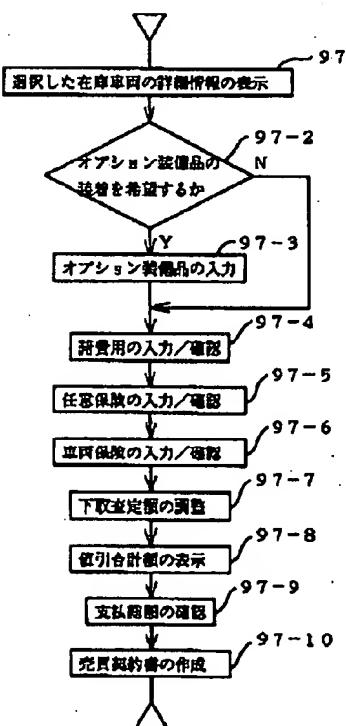
【図80】

在庫詳細		◆◆ 在庫車両の詳細情報 ◆◆			
メーカー	トヨタ	車両No.	000001 - 000003		
車種	クラウン		002400 - 000120		
タイプ	4ドアハードトップ	現在状況	フリー		
グレード	リバーア リバ	試乗	試乗可		
ミ					
本					
イ					
◆◆ 在庫車の所有業者情報 ◆◆					
業者コード	000001				
業者名(カナ)	ニホンジドウシャジョウホウサービス				
業者名	日本自動車情報サービス				
郵便番号	160				
所在地	東京都新宿区				
	西新宿7-22-45				
	エクセルビル 6F				
電話番号	(03)3367-1350	その他の連絡先			
FAX番号	(03)3363-3746				
代表者名	伊勢 良一	担当者名	永沼 久明		

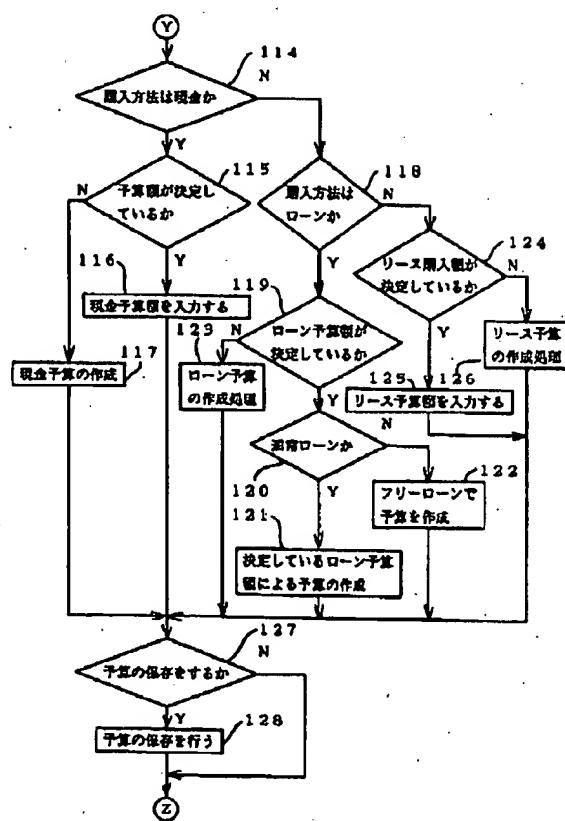
【図81】



【図82】



【図96】



【図83】

在庫詳細		◆◆ 在庫車両の詳細情報 ◆◆			
メーカー	トヨタ	車両No.	000001 - 000003		
車種	クラウン		002400 - 000120		
タイプ	4ドアハードトップ	現在状況	商談中		
グレード	170G リバビ	試乗	試乗可		
ミッション	フロア4速オートマチック	年式	H 5年 10月登録		
ボディカラー	シルキーエレガントトレーニングII				
イメージカラー	シルキーホワイト				
走行距離	34,500 km	修復歴の有無	無し		
車検満了日	H 10年 10月 22日	定期点検記録簿	有り		
あがり区分	自家用				
装備記号	AT PS PW ベンチシート ハンドルヒーター パワーウィンドウ パワーステアリング パワーウィンドウ パワーステアリング パワーウィンドウ				
車両所在地	水道橋ショールーム				
車両本体価格	2,520,000円	整備点検受渡し			
オプション合計	0円				
車両合計価格	2,520,000円	6ヶ月 または 5000km (売り子ちゃん保証)			

【図84】

在庫詳細		◆◆ 在庫車両の詳細情報 ◆◆			
メーカー	トヨタ	車両No.	000001 - 000003		
車種	クラウン		002400 - 000120		
◆◆ オプション装備品の入力 ◆◆					
オプション品名	単価	数量	金額		
1	0円	0	0円		
2	0円	0	0円		
3	0円	0	0円		
4	0円	0	0円		
5	0円	0	0円		
6	0円	0	0円		
7	0円	0	0円		
8	0円	0	0円		
9	0円	0	0円		
10	0円	0	0円		
オプション合計			0円		

【図85】

諸費用		◆◆ 諸費用の入力 ◆◆	
メーカー	トヨタ	年式	H 5年10月登録
車種	クラウン	車両本体価格	2,520,000円
タイプ	4ドアハードトップ	オプション合計	0円
グレード	セダンG ハイ	車両合計価格	2,520,000円
<< 法定諸費用 >>		<< 登録諸費用 >>	
自動車税	30,000円	登録費用	25,000円
自動車重量税	60,400円	同預かり法定費用	700円
自動車取得税	0円	ナンバー変更費用	10,000円
自動車保険料	32,150円	同預かり法定費用	1,420円
諸費用合計		車庫印明費用	
法定費用合計	112,550円	同預かり法定費用	10,000円
登録費用合計	66,120円	下取り費用	2,500円
諸費用合計	178,670円	同預かり法定費用	8,000円
(*) は課税対象項目です。			

【図86】

任意保険		◆◆ 任意保険の入力/確認 ◆◆	
メーカー	トヨタ	年式	H 5年10月登録
車種	クラウン	車両本体価格	2,520,000円
タイプ	4ドアハードトップ	オプション合計	0円
グレード	セダンG ハイ	車両合計価格	2,520,000円
被保険者/被保険車両情報の変更			
被保険者の等級	1等級	2等級	3等級
	5等級	6等級	7等級
	8等級	10等級	11等級
	13等級	14等級	15等級
被保険者の免責	なし	3万円	5万円
家族固定割引	適用する	適用しない	
エアバッグの有無	有り	無し	

【図87】

任意保険		◆◆ 任意保険の入力/確認 ◆◆			
メーカー	トヨタ	年式	H 5	年 10	月登録
車種	クラウン	車両本体価格	2,520,000 円		
タイプ	4ドアハードトップ	オプション合計	0 円		
グレード	GT-G	車両合計価格	2,520,000 円		

任意保険内容の変更					
任意保険の種類	年令を問わず担保		21才未満不担保		
	26才未満不担保		フリート		
対人賠償保険	2000万円	3000万円	5000万円	7000万円	
	8000万円	10000万円	15000万円	無制限	
対物賠償保険	100万円	200万円	300万円		
	500万円	1000万円			
搭乗者障害保険	100万円	200万円	300万円		
	500万円	1000万円			

【図88】

任意保険		◆◆ 任意保険の入力/確認 ◆◆			
メーカー	トヨタ	年式	H 5	年 10	月登録
車種	クラウン	車両本体価格	2,520,000 円		
タイプ	4ドアハードトップ	オプション合計	0 円		
グレード	GT-G	車両合計価格	2,520,000 円		

被保険者の等級	6等級	<b>PAP</b> 自動車総合保険 <small>本保険料定期引を適用する場合、保険料の10%が割引されます。また、被保険自動車にエアバッグが装備されている場合は、搭乗者障害保険料が割引されます</small>			
被保険者の免責	無し				
家族固定割引	適用しない				
エアバッグの有無	無し				
車両料率クラス	4				
賠償・搭乗料率クラス	C				
任意保険の種類	26才未満不担保				
対人賠償保険	無制限				
対物賠償保険	1000万円	保険料	85,690 円		
搭乗者障害保険	1000万円	(年払い)			

【図89】

車両保険		◆◆ 車両保険の入力/確認 ◆◆					
メーカー	トヨタ	年式	H 5	年	10	月登録	
車種	クラウン	車両本体価格	2,520,000 円				
タイプ	4ドアハードトップ	オプション合計	0 円				
グレード	ツーリングG ハイ	車両合計価格	2,520,000 円				

一般の車両保険

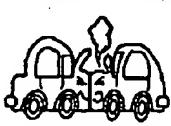
車対車 + 特約 (A)

車対車 + 特約 (B)

【図90】

車両保険		◆◆ 車両保険の入力/確認 ◆◆					
メーカー	トヨタ	年式	H 5	年	10	月登録	
車種	クラウン	車両本体価格	2,520,000 円				
タイプ	4ドアハードトップ	オプション合計	0 円				
グレード	ツーリングG ハイ	車両合計価格	2,520,000 円				

被保険者の等級	5等級	自動車車両保険	
被保険者の免責	無し	保険金額は、「車両標準価格表」記載の市場取引相場により決まります。	
車両料率クラス	4		
保険金額	2,550,000 円		

車両保険の種類	一般の車両保険
「被保険内容」については、右記のとおりです。	
	
<ol style="list-style-type: none"> <li>火災・爆発・盗難・台風・高潮・こうふ</li> <li>自動車との接触・衝突</li> <li>自動車以外の危険との接触・衝突</li> </ol>	
保険料	80,000 円
(年払い)	

【図91】

◆◆ 下取査定額の調整 ◆◆ OSAX0500X

メーカー	ニッサン	
車種	シルビア	
タイプ	クーペ	
年式	平成 3年式	初年度登録 7月登録
排気量	2,000 CC	
グレード	K'S HICAS	
ボディカラー	スーパーブラック	
ミッション	オートマチック	
A/C有無	有り	S/R有無 無し
走行距離	52500 km	車検満了月 平成 10年 7月

下取査定結果 (下取査定)		下取査定額 624,000 円
		下取調整額 0 円
		確定下取査定額 624,000 円

【図92】

◆◆ お支払い総額の確認 ◆◆

車両本体価格	2,520,000 円	特別商談No.	000001 - 000003
オプション合計	0 円		002400 - 000120
店頭返現金価格	2,520,000 円		
差引き余額	0 円	差引き現金価格	2,520,000 円

法定留置用料	112,350 円
登録部員用料	66,120 円
諸費用合計	178,470 円

取扱料金額	2,581,000 円
消費税率	5 %
消費税額	129,050 円

車両+諸費用+JAF	2,698,670 円
消費税額	129,050 円
保険料合計	165,690 円
現金お支払額	2,993,410 円

★ 値引合計額の確認 ★

下取査定額	14,000 円
車両本体値引	0 円
JAF値引額	6,000 円
諸費用値引額	4,630 円
値引合計額	24,630 円

差引き現金お支払総額		2,968,780 円
------------	--	-------------

【図93】

支払総額		◆◆ お支払い総額の確認 ◆◆			
車両本体価格		2,520,000 円		特別商談No. 000001 - 000003	
オプション合計		0 円		002400 - 000120	
店頭渡現金価格		2,520,000 円			
法定諸費用計	112,550 円	J A F入会費	0 円		
税務諸費用計	66,120 円	J A F年会費	0 円		
諸費用合計	178,670 円	J A F会員費	無料サービス		
譲税対象額	2,581,000 円	任意保険料	85,650 円		
消費税率	5 %	車両保険料	80,000 円		
消費税額	129,050 円	保険料計(年払)	165,650 円		
車両+諸費用+JAF	2,698,670 円	下取差定額 △	624,000 円		
消費税額	129,050 円	うち下取額差額 (+)	14,000 円		
保険料合計	165,650 円				
現金お支払額	2,993,410 円	差引き現金お支払額	2,369,410 円		

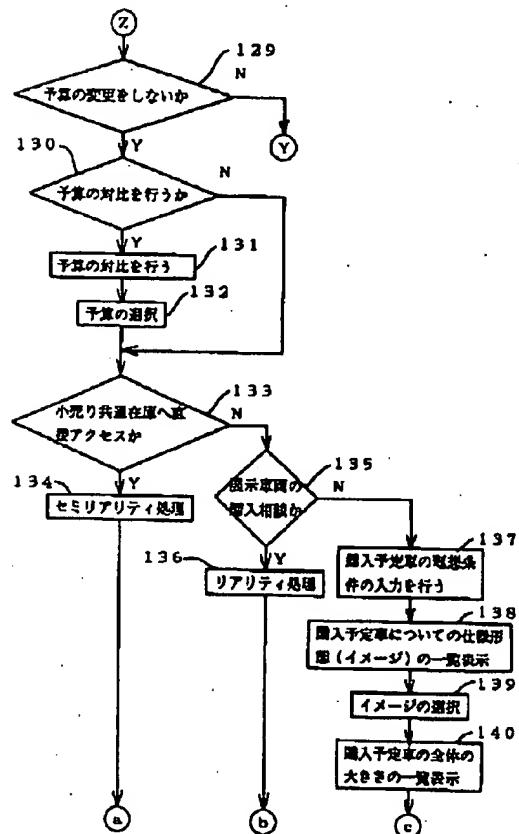
【図94】

購入方法対比		◆◆ ご購入方法の対比 ◆◆		国産車
保存 No. 2	通常ローン		リース	保存 No. 3
お支払回数	36回	リース期間	96ヶ月	
初回支払額	50,500 円	初回支払額	46,984 円	
月々支払額	51,900 円	月々支払額	48,500 円	
ボーナス払い	134,000 円	ボーナス払い	124,000 円	
ボーナス回数	6回	ボーナス回数	6 回	
頭 金	668,000 円	頭 金	622,000 円	
月々払い総額	1,867,000 円	月々払い総額	1,744,484 円	
ボーナス払総額	804,000 円	ボーナス払総額	774,000 円	
総お支払額	3,339,000 円	総お支払額	3,110,484 円	
ローン元金	2,442,484 円	ローン元金	2,906,390 円	
ローン金利	228,516 円	ローン金利	351,129 円	
この予算に決定		この予算に決定		

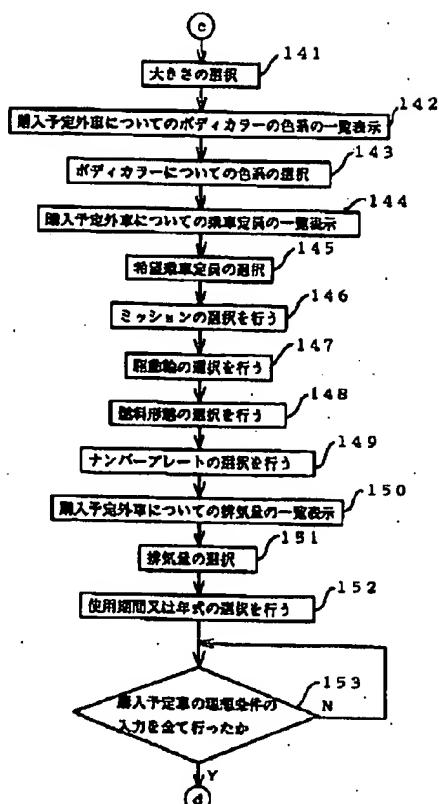
【図95】

購入方法対比		ご購入方法の対比		国産車
保存No. 3	リース	現金	保存No. 1	
リース期間	36ヶ月			
初回支払額	46,984 円			
月々支払額	48,500 円			
ボーナス払い	124,000 円			
ボーナス回数	6 回			
現金	622,000 円			
月々払い残額	1,744,484 円			
ボーナス払済額	774,000 円			
総お支払額	3,110,484 円			
リース元金	2,306,390 円			
リース金利	351,129 円			
この予算に決定		現金一括支払額	3,110,484 円	この予算に決定

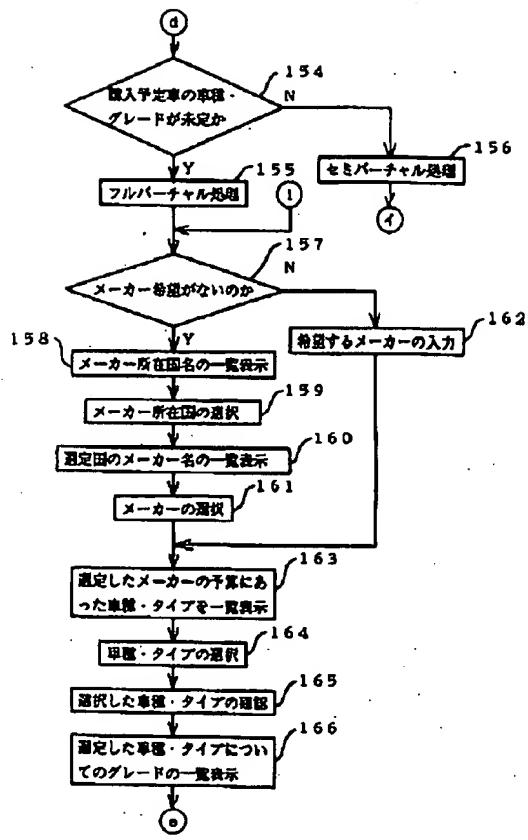
【図97】



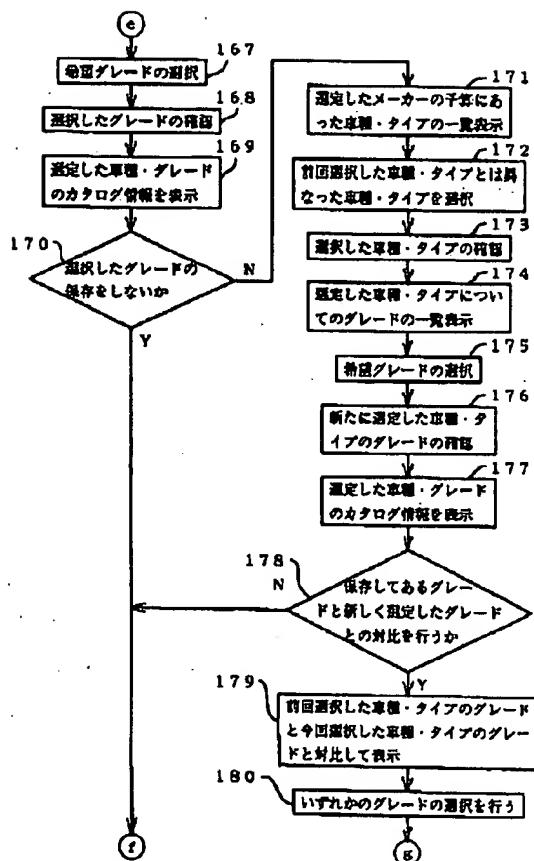
【図98】



【図99】

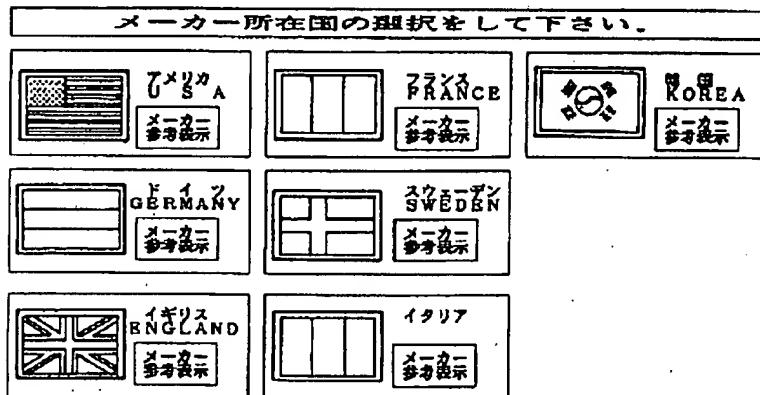


【図100】

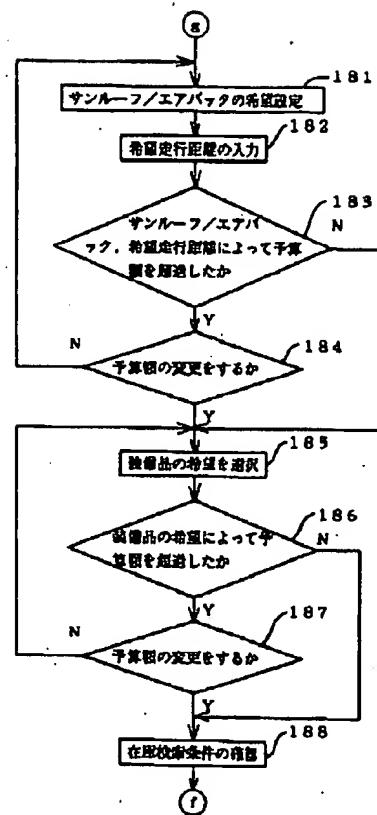


【図106】

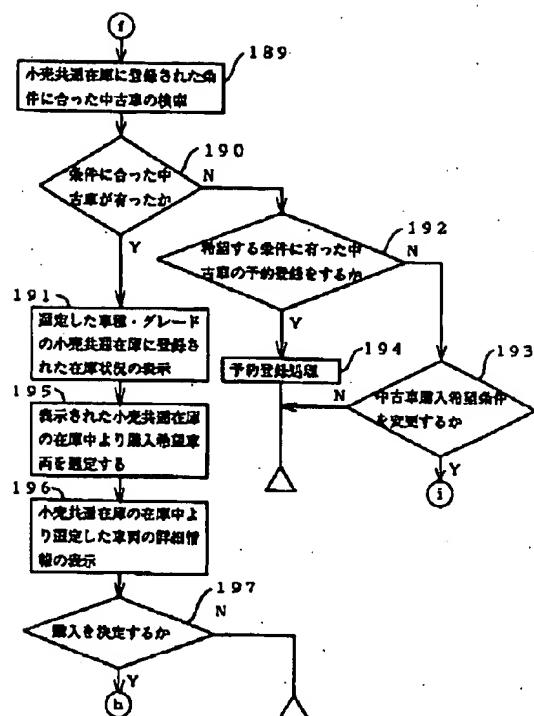
## ◆◆ メーカー所在国の一覧表示 ◆◆



【図101】



【図102】



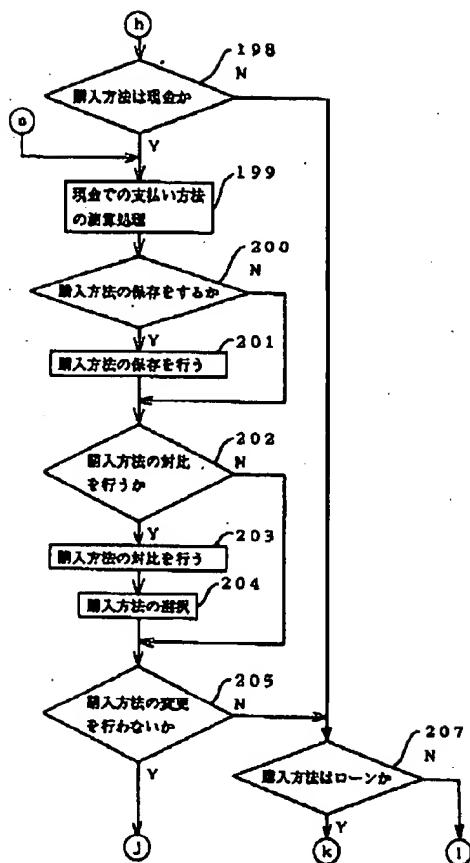
【図107】

◆◆ メーカー所在国の中選択 ◆◆

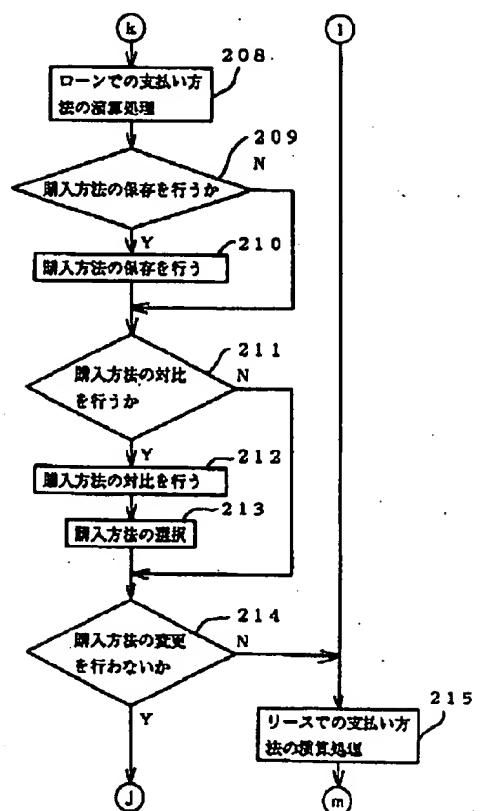
メーカー所在国の中選択をして下さい。

		保有メーカー	国 KORBA
U.S.A	---	ダラフライモーター フォード ダイヤモンドスター	メーカー二参考表示
	ENGLAND		メーカー三参考表示

【図103】



【図104】



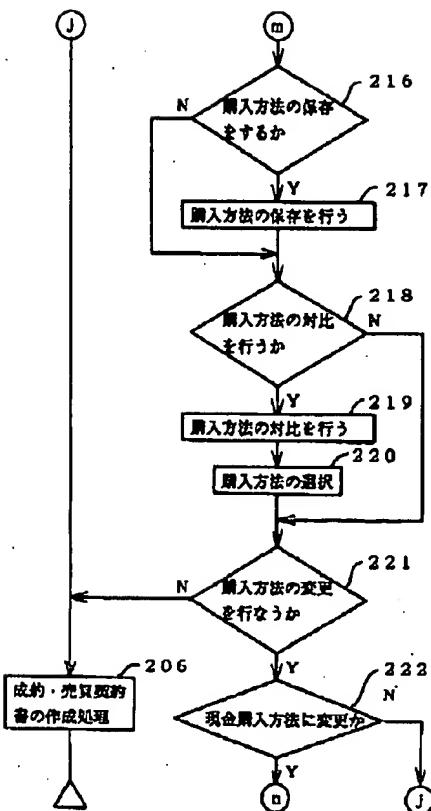
【図108】

## ◆◆ メーカーの選択 ◆◆

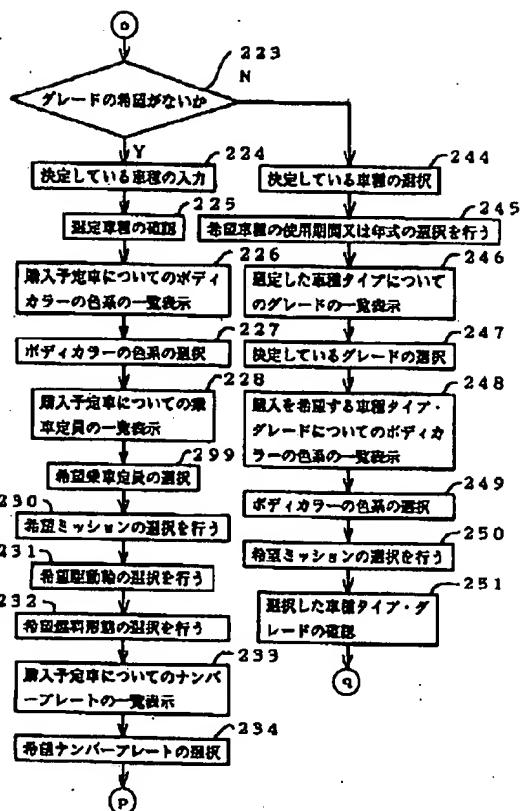
ご希望メーカーの選択をして下さい。

<input type="checkbox"/> トヨタ	該当車種 件		
<input type="checkbox"/> フォード	該当車種 件		
<input type="checkbox"/> クライスラー	該当車種 件		
<input type="checkbox"/> ダイナモンドスター	該当車種 件		アメリカ (U. S. A)

[图105]



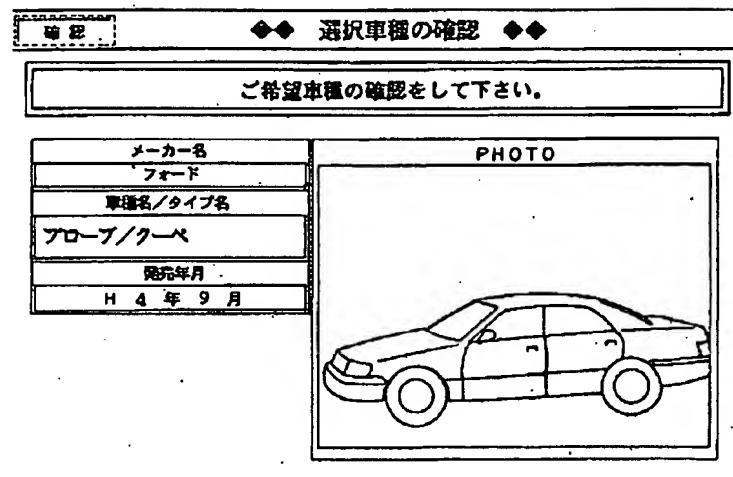
〔図123〕



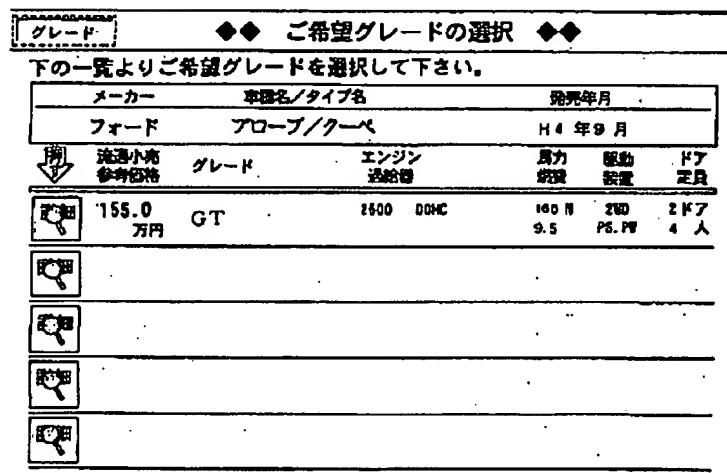
[図109]

車種		◆◆ ご希望車種の選択 ◆◆	
下の一覧より、ご希望の車種を 選択して下さい。		メーカー	該当車種 3 件中 3 件目を表示中
車種名/タイプ名	発売年月		
プロープ/クーペ	H 4 年 9 月発売		
サンダーバード/クーペ	H 5 年 1 月発売		
マスタング/クーペ	H 6 年 5 月発売		
プロープ/クーペ	H 6 年 6 月発売		

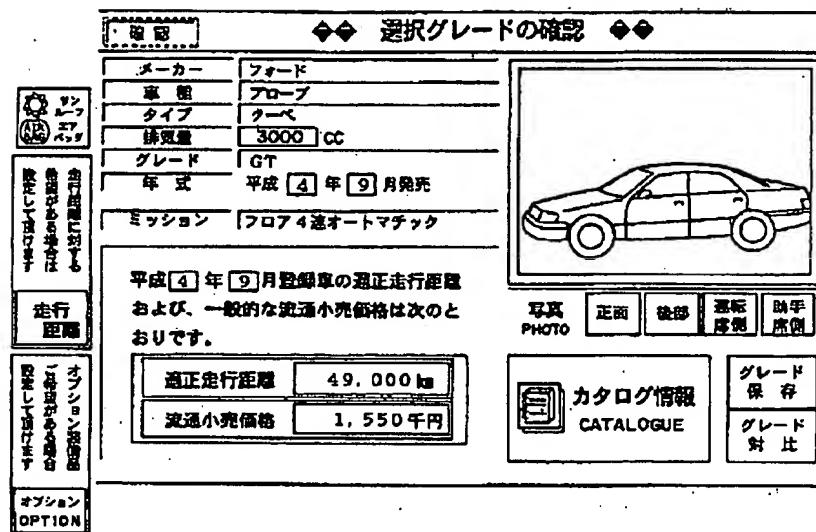
【図110】



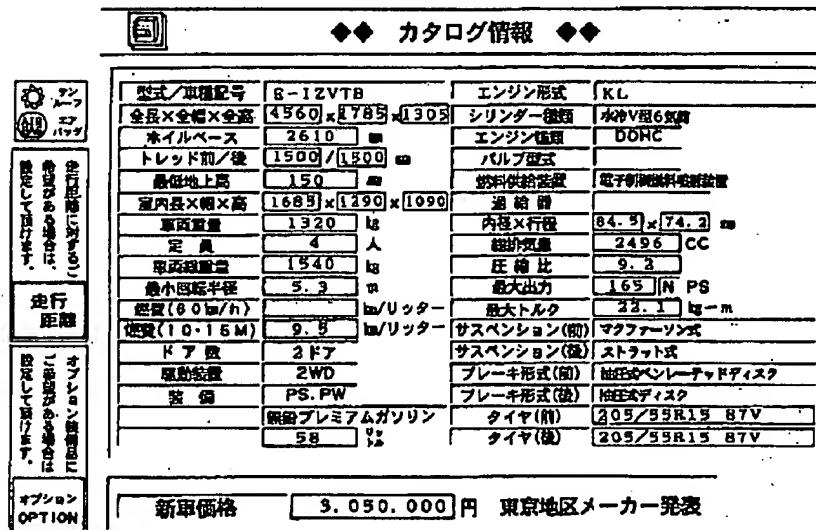
【図111】



【図112】



【図113】



【図114】

◆◆ 保存グレードの対比 ◆◆

保存 No. 1	希望のグレードが決定したら「決定ボタン」をクリックしてください。	保存 No. 2			
メーカー フォード	メーカー フォード				
車種 マスタング	車種 フローブ				
タイプ ターボ	タイプ ターボ				
排気量 2800 CC	排気量 2500 CC				
グレード コンバチブル	グレード GT				
年式 平成 5年 1月発売	年式 平成 4年 9月発売				
ミッション フロア4速オートマチック	ミッション フロア4速オートマチック				
平成 5年 1月登録車の標準値					
適正走行距離は 48,100 km です					
流通小売価格は 1,610千円 です					
<<< PHOTO >>>					
正面	後部	運転席	助手席	左ドア	右ドア
このグレードに決定			このグレードに決定		

【図115】

◆◆ 在庫検索条件の確認 ◆◆

「在庫検索」を行います。 各希望条件を再確認して  
「在庫検索」ボタンをクリックして下さい。

The hope of car		メーカー フォード
		車種 フローブ
		タイプ ターボ
		排気量 2500 CC
		グレード GT
		年式 平成 4年 9月発売
		ミッション フロア4速オートマチック
その他の各種ご希望条件内容		ボディカラー
		白 黒 銀 銀 茶 銀 銀 銀 紫 金 銀 銀
		走行距離 4,900 km前後を希望
		車両価格 1,550千円前後を希望
		オプション装備品
		エアコン パワステ パワーウィンドウ パワードア パワーリアサス パワーリアブレーキ パワーリアシートヒーター パワーリアシートモニターリモコン パワーリアシートモニターリモコン

[図116]

担当なし ◆◆ 在庫なしの報告画面 ◆◆

共通在庫台数 352,117 台  
同一車種/タイプ 0 台

検索条件	メーカー フォード	ボディカラー	白 黒 茶 銀 銀 青 紺 銀 銀 銀 黄 金 銀 銀 銀
	車種 フローブ		
	タイプ クーペ		
	排気量 2500 CC	走行距離 4,900	km前後を希望
	グレード GT	車両価格 1,550	千円前後を希望
	年式 平成4年9月発売		
	ミッション フロア4速オートマチック		

上記のご希望条件により「共通在庫情報」（在庫台数 352,117 台）に  
アクセスした結果、残念ながらご希望条件どおりの車両が現在ストック  
されておりません。また、同一車種/タイプでの在庫車も現在未登録と  
なっていますので、「ご予約」することをお認め致します。ご予約頂け  
れば販売業者（業者数 8,850業者）が魅力をあげて、あなたのご希  
望どおりのお車をお探しするシステムとなっております。

ご予約  
RESERVE

白紙に戻す  
RETURN

保存した在庫車  
登録のご依頼をして頂けます。

保存分  
対比

[図117]

予約選択 ◆◆ ご予約条件の選択 ◆◆

ご予約条件は  
複数選択可能！

選択件数 1 件

ご予約の条件を下より選んで「選択ボタン」をクリックして下さい。

選択	メーカー フォード	ボディカラー	白 黒 茶 銀 銀 青 紺 銀 銀 銀 黄 金 銀 銀 銀
	車種 フローブ		
	タイプ クーペ		
	排気量 2500 CC	走行距離 4,900	km前後を希望
	グレード GT	車両価格 1,550	千円前後を希望
	年式 平成4年9月発売		
	ミッション フロア4速オートマチック		

選択	メーカー フォード	ボディカラー	白 黒 茶 銀 銀 青 紺 銀 銀 銀 黄 金 銀 銀 銀
	車種 マスタング		
	タイプ クーペ		
	排気量 3800 CC	走行距離 48,100	km前後を希望
	グレード コンバーブル	車両価格 1,810	千円前後を希望
	年式 平成5年1月発売		
	ミッション フロア4速オートマチック		

【图118】

在庫状況		◆◆ 在庫状況の表示 ◆◆				共通在庫総数 352,117 台 同一車種/タイプ 24,338 台	
メーカー	フォード	年式	平成 4 年 8 月発売	車種	プローブ	該当在庫	3 件中
タイプ	クーペ	表示なし		3 件目を表示中	価格順		
グレード	GT						
価格 (万円)	ボディカラー	登録月	走行距離/車検満了 車内所在地				
155.0	ブラック	1月	43,000 km H10年1月 水道橋ショールーム				
141.0	シルバークリアコートメタリック	10月	52,000 km H9年10月 大和店展示場				
169.0	リオレッドクリアコート	3月	46,000 km H10年3月 海浜中央車庫				

【図119】

在庫状況		◆◆ 在庫状況の表示 ◆◆			共通在庫検数 同一車種/タイプ		252,117 台 24,388 台
メーカー	フォード				年 式	平成 4 年 9 月発売	
車種	プローブ				該当在庫	3 件中	車種一覧
タイプ	クーペ				3 件目を表示中		高価順
グレード	GT						低価順
価格 (万)	155						
走行 距離	141						
登録 年月	169						
登録 地點							
登録 状況							
登録 方法							
◆◆ 表示モード (照会順) 設定 ◆◆							
下のボタンをクリックして照会順序を指示して下さい。							
価格順 表示	<input checked="" type="checkbox"/> 昇順	車検順 表示	<input checked="" type="checkbox"/> 多順 少順	走行順 表示	<input checked="" type="checkbox"/> 多順 少順		

【図120】

購入方法対比		ご購入方法の対比		タト
保存	1	現金	通常ローン	保存
				2
お支払回数	36回			
初回支払額	57,480 円			
月々支払額	57,800 円			
ボーナス払い	149,000 円			
ボーナス回数	6回			
現金	680,000 円			
月々払い総額	2,080,480 円			
ボーナス払総額	894,000 円			
総お支払額	3,654,480 円			
ローン元金	2,720,000 円			
ローン金利	254,480 円			
この予算に決定		この予算に決定		

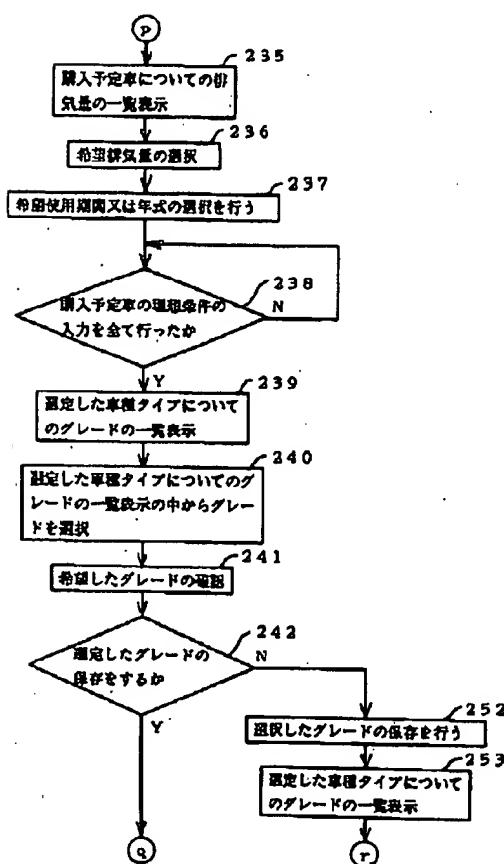
【図121】

購入方法対比		ご購入方法の対比		タト
保存	2	通常ローン	リース	保存
				3
お支払回数	36回			
初回支払額	57,480 円			
月々支払額	57,800 円			
ボーナス払い	149,000 円			
ボーナス回数	6回			
現金	680,000 円			
月々払い総額	2,080,480 円			
ボーナス払総額	894,000 円			
総お支払額	3,654,480 円			
ローン元金	2,720,000 円			
ローン金利	254,480 円			
この予算に決定		この予算に決定		

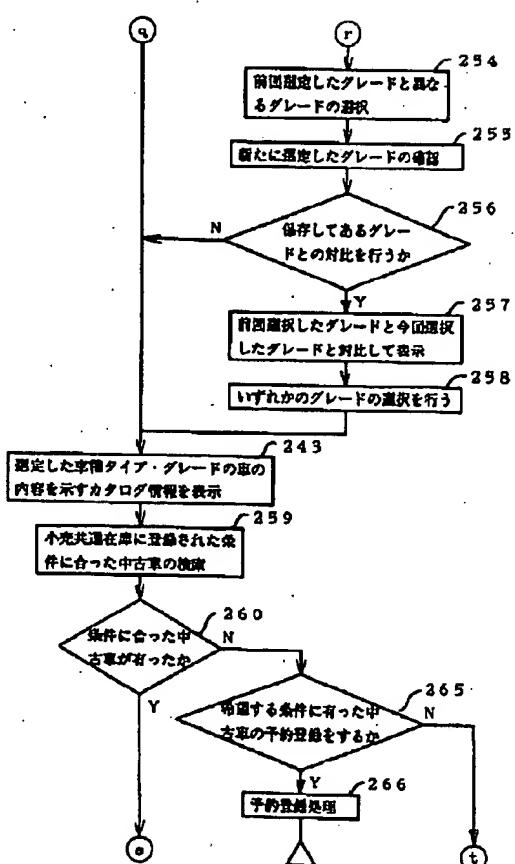
【図122】

購入方法対比		ご購入方法の対比		外
保有	リース	現金	保有	/
3	リース	現金	1	
リース期間	36ヶ月			
初回支払額	52,500 円			
月々支払額	52,900 円			
ボーナス払い	136,000 円			
ボーナス回数	6回			
保有	680,000 円			
月々払い総額	1,904,000 円			
ボーナス払総額	816,000 円			
残お支払額	3,400,000 円			
リース元金	2,520,965 円			
リース金利	384,648 円			
この予算に決定		この予算に決定		

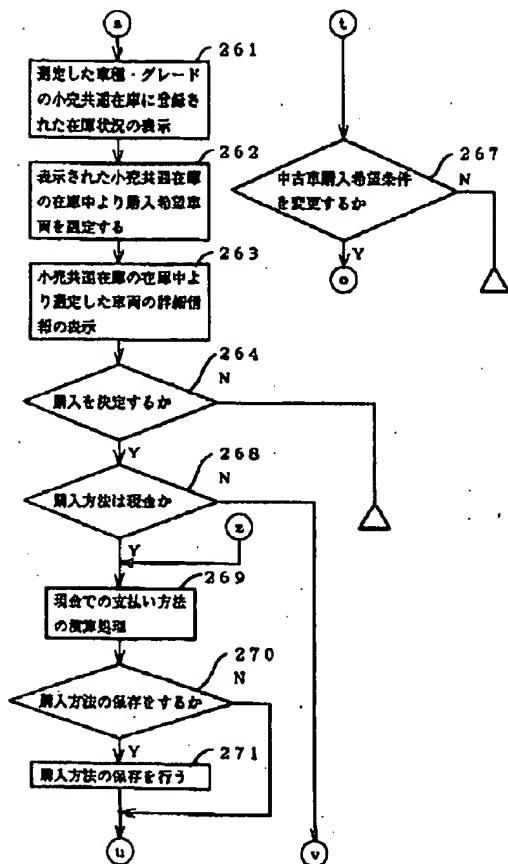
【図124】



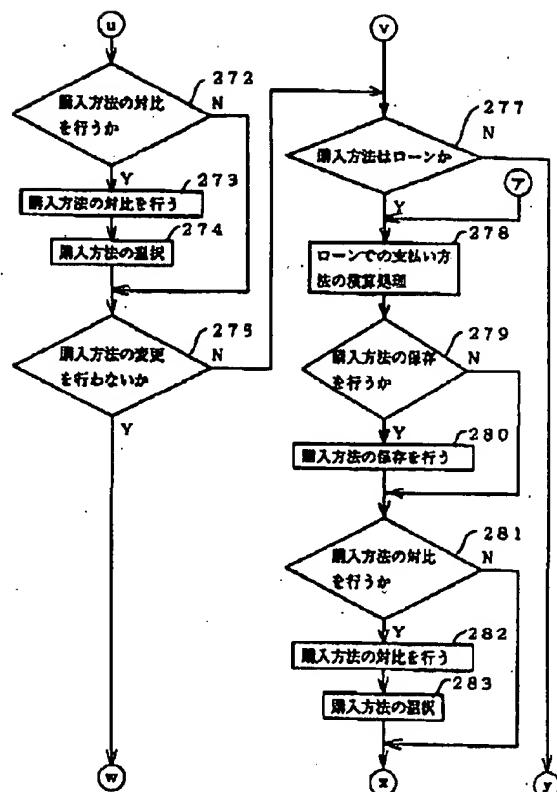
【図125】



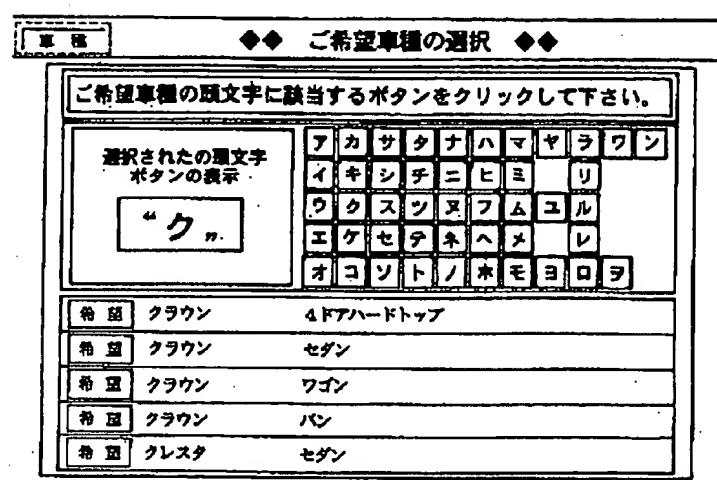
【図126】



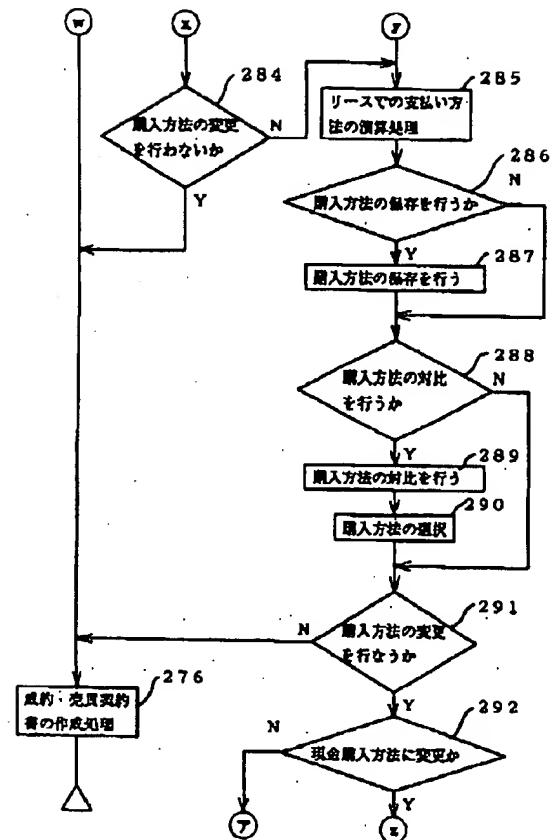
【図127】



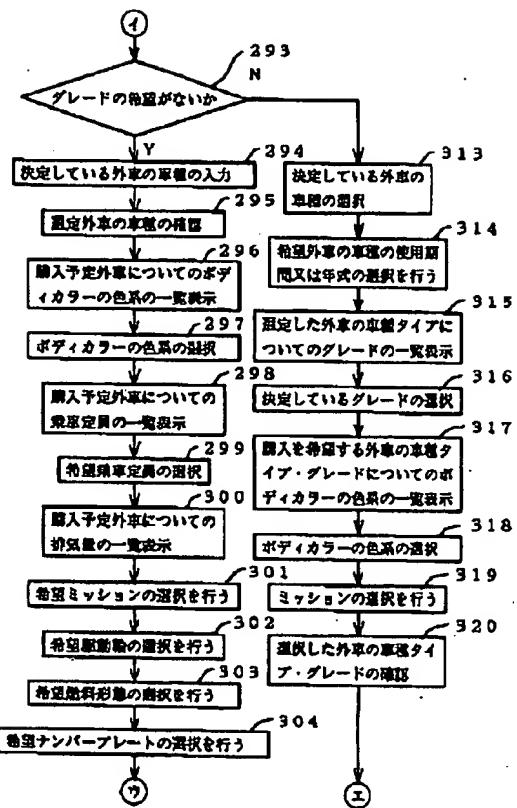
【図129】



### 【图128】



【图132】

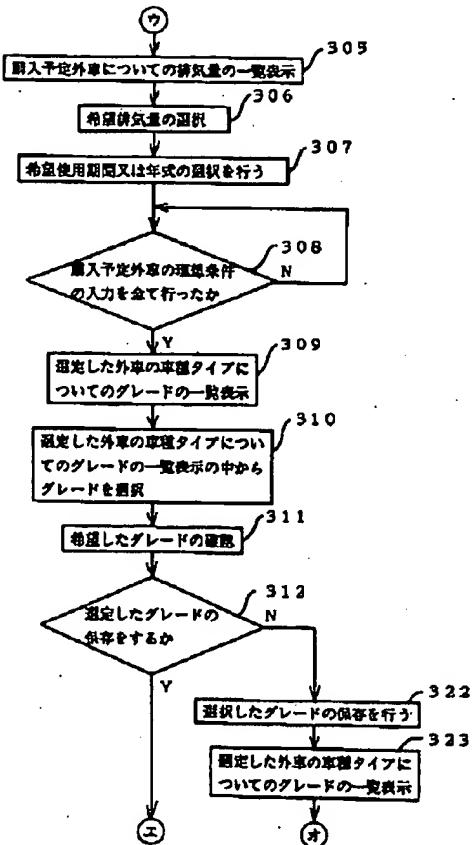


[図130]

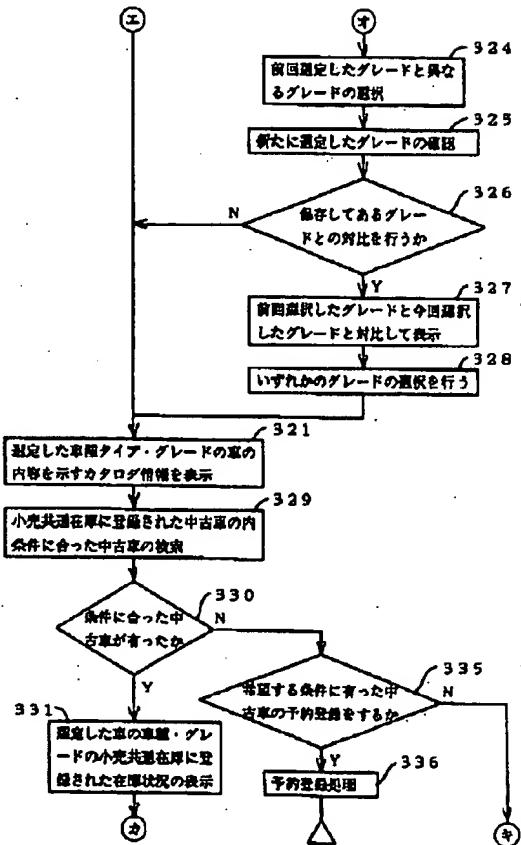
【図131】

◆◆ 保存グレードの対比 ◆◆	
保存 No. 1	希望のグレードが決定したら「決定ボタンを」クリックしてください。
メーカー トヨタ	保存 No. 2
車種 クラウン	
タイプ 4ドアハードトップ	
排気量 3000 CC	
グレード R1ル・G	
年 式 平成 5年 8月登録	
ミッション フロア4速オートマチック	
平成 5年 8月登録車の標準価	
適正走行距離は 17,600 km です	
流通小売価格は 2,340 千円です	
<<---- PHOTO ---->>	
正面	後部
運転席側	助手席側
車内	情報
このグレードに決定	
保存 No. 2	希望のグレードが決定したら「決定ボタンを」クリックしてください。
メーカー トヨタ	
車種 マークII	
タイプ 4ドアハードトップ	
排気量 3000 CC	
グレード R1ル・G	
年 式 平成 5年 1月登録	
ミッション フロア4速オートマチック	
平成 5年 1月登録車の標準価	
適正走行距離は 22,600 km です	
流通小売価格は 2,240 千円です	
<<---- PHOTO ---->>	
正面	後部
運転席側	助手席側
車内	情報
このグレードに決定	

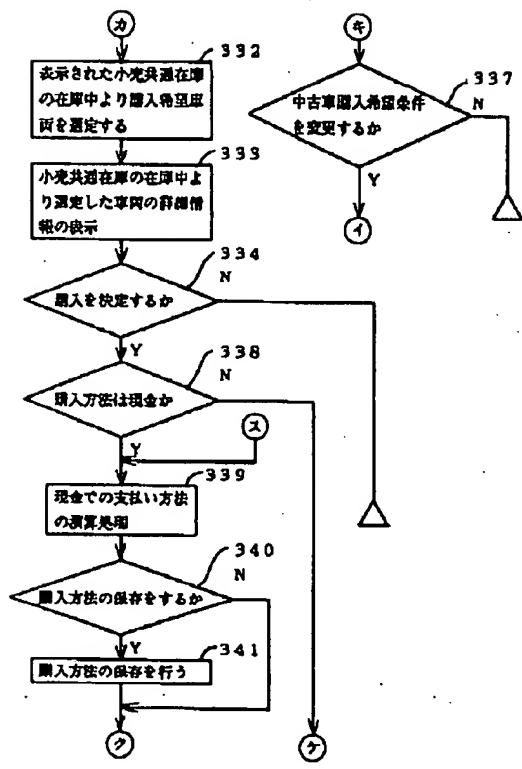
【図133】



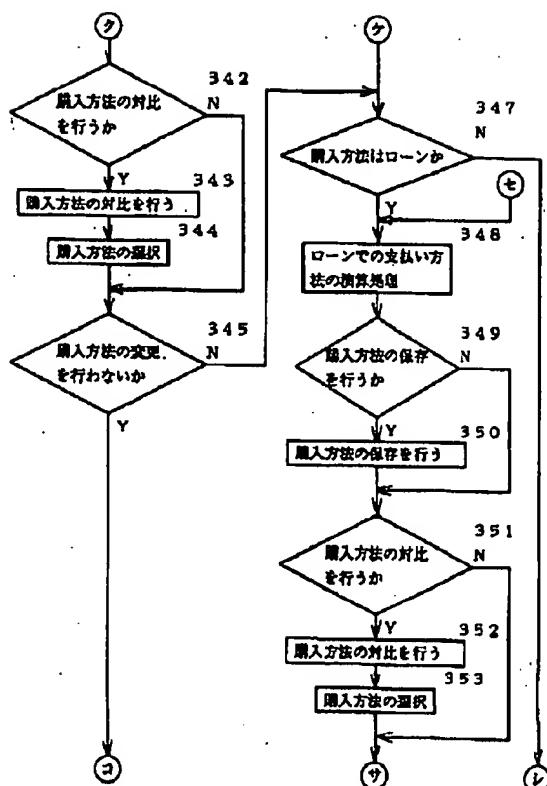
【図134】



【図135】



【図136】

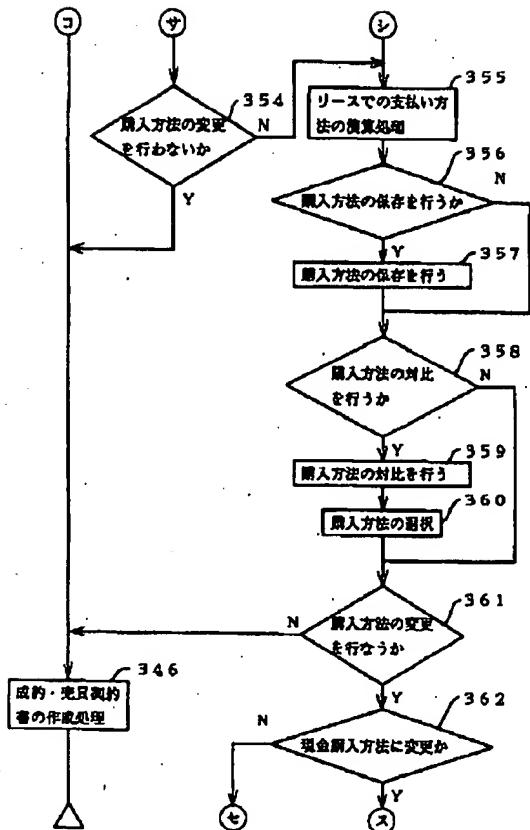


【図138】

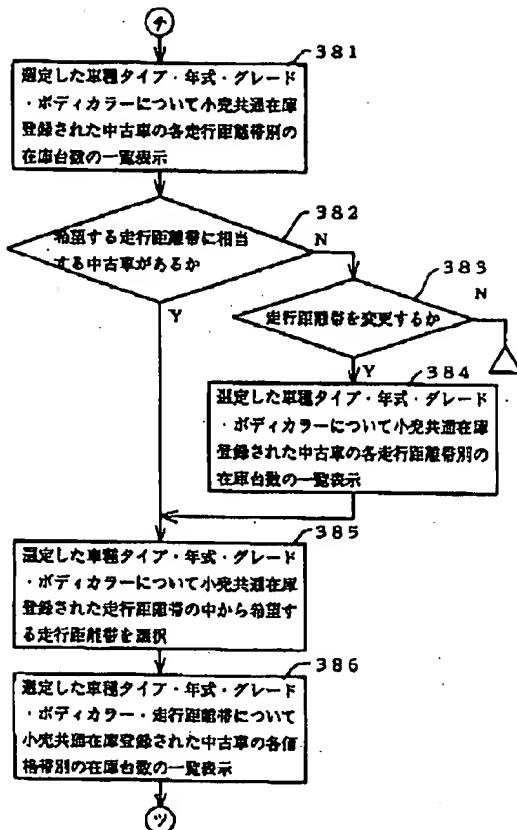
◆◆ ご希望車種の選択 ◆◆

ご希望車種の頭文字に該当するボタンをクリックして下さい。																																																			
選択されたの頭文字 ボタンの表示	<table border="1"> <tr><td>ア</td><td>カ</td><td>サ</td><td>タ</td><td>ナ</td><td>ハ</td><td>マ</td><td>ヤ</td><td>ラ</td><td>ワン</td></tr> <tr><td>イ</td><td>キ</td><td>シ</td><td>チ</td><td>ニ</td><td>ヒ</td><td>ミ</td><td>リ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td>ク</td><td>ス</td><td>ツ</td><td>ヌ</td><td>フ</td><td>ム</td><td>ユ</td><td>ル</td><td></td></tr> <tr><td>エ</td><td>ケ</td><td>セ</td><td>テ</td><td>ネ</td><td>ヘ</td><td>メ</td><td>レ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>オ</td><td>コ</td><td>ソ</td><td>ト</td><td>ノ</td><td>本</td><td>モ</td><td>ヨ</td><td>ロ</td><td>ヲ</td></tr> </table>	ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ヤ	ラ	ワン	イ	キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ	リ			ウ	ク	ス	ツ	ヌ	フ	ム	ユ	ル		エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ	レ			オ	コ	ソ	ト	ノ	本	モ	ヨ	ロ	ヲ
ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ヤ	ラ	ワン																																										
イ	キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ	リ																																												
ウ	ク	ス	ツ	ヌ	フ	ム	ユ	ル																																											
エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ	レ																																												
オ	コ	ソ	ト	ノ	本	モ	ヨ	ロ	ヲ																																										
希望	アウディA3 ハッチバック																																																		
希望	アウディA4 セダン																																																		
希望	アウディA4 ワゴン																																																		
希望	アウディA6 セダン																																																		
希望	アウディA6 ワゴン																																																		

【図137】



【図155】



【図139】

◆◆ 理想条件の設定 ◆◆					
各項目の、理想の条件を設定して下さい。					
これまでに決定した ご希望車種の確認 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>車種</td><td>アウディ A6</td></tr> <tr><td>タイプ</td><td>セダン</td></tr> </table>		車種	アウディ A6	タイプ	セダン
車種	アウディ A6				
タイプ	セダン				
ボディカラー	希望のボディカラーを設定して下さい。				
定員	希望の定員数を設定して下さい。				
ミッション	希望のミッションを設定して下さい。				
駆動輪	希望の駆動輪を設定して下さい。				
燃料形態	希望の燃料形態を設定して下さい。				
ナンバー プレート	希望のプレートを設定して下さい。				
排気量	希望の排気量を設定して下さい。				
年式/使用期間	希望の年式を設定して下さい。				

【図140】

◆◆ ご希望グレードの選択 ◆◆						
下の一覧よりご希望グレードを選択して下さい。						
メーカー	車種名/タイプ名		発売年月			
アウディ	A6 / セダン		H7年1月			
検索	流通小売 参考価格	グレード	エンジン 過給器	馬力 Nm	駆動 方式	ドア 定員
260 万円	2.6	2600 SOHC MPI	160 7.9	2WD PS,PS	4ドア 5人	
288 万円	2.8	2800 SOHC MPI	170 9.0	2WD PS,PS	4ドア 5人	
318 万円	2.8 クワトロ	2800 SOHC MPI	170 9.0	4WD PS,PS	4ドア 5人	
	万円			WD	ドア 人	
	万円			WD	ドア 人	

【図141】

確認 ◆◆ 選択グレードの確認 ◆◆	
マーク	アウディ
車種	A6
タイプ	セダン
排気量	2600 CC
グレード	2.6
年式	平成 7 年 1 月登録
ミッション	フロア4速オートマチック
走行距離	平成 7 年 6 月登録車の適正走行距離 および、一般的な流通小売価格は次のと おりです。
オプション	適正走行距離 20,800 km 流通小売価格 2,600 千円
オプション OPTION	カタログ情報 CATALOGUE
	グレード 保存
	グレード 対比

【図142】

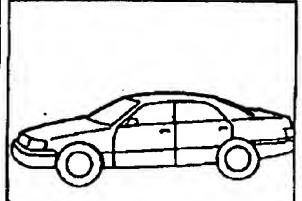
◆◆ カタログ情報 ◆◆

エンジン形式	ABC
型式/車両記号	E-4AABC
全長×全幅×全高	4795×1785×1435
ホイールベース	2685 mm
トレッド前/後	1525/1525 mm
最低地上高	125 mm
室内長×幅×高	- x - x -
車両重量	1470 kg
定員	5 人
車両荷重量	1745 kg
最小回転半径	5.3 m
燃費(50km/h)	-
燃費(10-15M)	7.9 km/リッター
ドア数	4ドア
駆動方式	2WD
駆動	PS PW
使用燃料	無鉛ハイオク
燃料タンク容量	60 リットル
エンジン形式	水冷V型6気筒
シリンダー構造	SOHC
バルブ形式	-
燃料供給装置	MPFI
過給器	-
内径×行程	92.5×81.0 mm
燃焼気量	2597 CC
圧縮比	10.0
最大出力	150 [N PS / 5500rpm]
最大トルク	22.9 kg-m / 3500rpm
サスペンション(前)	マクファーラントラット(リバティード)
サスペンション(後)	トレスラー(リバティード)
ブレーキ形式(前)	ベンチレーテッドディスク
ブレーキ形式(後)	ディスク
タイヤ(前)	205/60R16 LT-5297M717
タイヤ(後)	205/60R16 LT-5297M719

新車価格 4,880,000 円

【図143】

◆◆ 選択グレードの確認 ◆◆

メーカー	アウディ				
車種	A6				
タイプ	セダン				
排気量	2800 CC				
グレード	2.8				
年式	平成 [7] 年 [1] 月発売				
ミッション	フロア4速オートマチック				
平成[7]年[5]月登録車の適正走行距離 および、一般的な流通小売価格は次のとおりです。	<table border="1"> <tr> <td>適正走行距離</td> <td>23,350 km</td> </tr> <tr> <td>流通小売価格</td> <td>2,880千円</td> </tr> </table>	適正走行距離	23,350 km	流通小売価格	2,880千円
適正走行距離	23,350 km				
流通小売価格	2,880千円				
写真 PHOTO					
正面					
後部					
運転席側					
助手席側					

カタログ情報  
CATALOGUE

グレード  
保存  
グレード  
対比

【図144】

◆◆ カタログ情報 ◆◆			
エンジン	E-4 AAAH	エンジン形式	AAH
全長×全幅×全高	4795 × 1765 × 1435	シリンダー数	水冷V型6気筒
ホイルベース	2685	エンジン種類	SOHC
トレッド前/後	1525 / 1525	バルブ形式	-
最低地上高	125	燃料供給装置	MPFI
室内幅×奥×高	- × - × -	過給器	-
車両重量	1470	内径×行程	82.5 × 86.4
定員	5	総排気量	2771 CC
車両燃費	1745	圧縮比	10.3
最小回転半径	5.3	最大出力	170 N PS / 5500rpm
燃費(8.0 km/h)	-	最大トルク	25.5 kg-m / 3500rpm
燃費(10.1.5 M)	9.0	サスペンション(前)	フロントストラット(オーリングタイヤ)
ドア数	4ドア	サスペンション(後)	リーフ-スプリングタイヤ
駆動形式	2WD	ブレーキ形式(前)	ベンチレーテッドディスク
装備	PS, PW	ブレーキ形式(後)	ディスク
使用燃料	無鉛ハイオク	タイヤ(前)	205/60 R15 スタッドレスタイヤ
燃料タンク容量	80	タイヤ(後)	205/60 R15 スタッドレスタイヤ

新車価格 5,580,000 円

【図145】

◆◆ 保存グレードの対比 ◆◆	
保存 No. 1	希望のグレードが決定したら「決定ボタン」をクリックしてください。
メーカー	アウディ
車種	A6
タイプ	セダン
排気量	2800 CC
グレード	2.8
年式	平成 7 年 1 月発売
ミッション	フロア4速オートマチック
平成 7 年 3 月登録車の標準価	
適正走行距離は 23,350 km です	
流通小売価格は 2,880 千円 です	
<<---- PHOTO ---->>	
正面	後部
運転席側	助手席側
助手席側	情報
このグレードに決定	
保存 No. 2	
メーカー	アウディ
車種	A6
タイプ	セダン
排気量	2600 CC
グレード	2.6
年式	平成 7 年 1 月発売
ミッション	フロア4速オートマチック
平成 7 年 6 月登録車の標準価	
適正走行距離は 20,800 km です	
流通小売価格は 2,600 千円 です	
<<---- PHOTO ---->>	
正面	後部
運転席側	助手席側
助手席側	情報
このグレードに決定	

【図146】

在庫状況		◆◆ 在庫状況の表示 ◆◆			在庫在庫総 353,117 台 同一車種/タイプ 16 台	
メーカー	アウディ	年 式	平成 7 年 1 月発売			
車種	A6	該当在庫	3 件中	表示中		
タイプ	セダン	3 件目を表示中				
グレード	2.6			価格	ボディカラー	走行距離/車検満了
				(万円)		登録月 車両所在地
	291.0 インディゴパールエフェクト	10月	km H 10年 10月			水道橋ショールーム
	271.5 カサブランカ	8月	km H 10年 8月			大和店展示場
	268.5 クリスタルシルバーメタリック	9月	km H 10年 9月			海浜中央車庫

【図147】

在庫詳細		◆◆ 在庫車両の詳細情報 ◆◆		
メーカー	アウディ	000001 - 000003		
車種	A6	002400 - 000120		
タイプ	セダン	在庫状況	フリー	
グレード	2.6	該当	販売可	
ミッション	フロア4速オートマチック	年 式	H 7 年 6 月登録	
ボディカラー	インディゴパールエフェクト			
イメージカラー	ミッドナイトブルー			
走行距離	2800 km	検査歴の有無	無し	
車検満了日	H 10年 6月 1日	定期点検履歴	有り	
あがり区分	自家用	装備記号	AT PS PW	
			AM MS BS SL	
			BL AL DC	
車両所在地	水道橋ショールーム	車両本体価格	2,910,000円	整備点検受渡し
				6ヶ月 または 5000km (壳り子ちゃん統一保証)

[図148]

在庫詳細		◆◆ 在庫車両の詳細情報 ◆◆			
メーカー	アウディ	000001	-	000003	
車種	A6	002400	-	000120	
タイプ	セダン	取扱状況	フリー	試乗可	
グレード	2.6	年式	H	7年	6月登録
ミッション	フロア4速オートマチック				
ボディカラー	インディゴパールエフェクト				
イメージカラー	ミッドナイトブルー				
走行距離	2800 km	修復履歴の有無	無し		
車検済了日	H 10年 6月 1日	定期点検記録簿	有り		
あかり区分	自家用				
◆◆ 在庫車の参考情報 ◆◆					
ワンオーナー車	ルームクリーニング処理済				
ノーマルバーツ付属	ノーマルバーツ付属	受渡し			
アルバインステレオ装備	9分山	は 5000km			
		統一保証)			

[図149]

在庫詳細		◆◆ 在庫車両の詳細情報 ◆◆			
メーカー	アウディ	000001	-	000003	
車種	A6	002400	-	000120	
タイプ	セダン	取扱状況	フリー		
グレード	2.6	試乗	試乗可		
ボディカラー	インディゴパールエフェクト				
イメージカラー	ミッドナイトブルー				
◆◆ 在庫車の所有業者情報 ◆◆					
業者コード	000001				
業者名(カナ)	ニホンジドウシャジョウホウサービス				
業者名	日本自動車情報サービス				
郵便番号	160				
所在地	東京都新宿区 西新宿7-22-45				
電話番号	(03)3367-1350	その他連絡先			
FAX番号	(03)3363-3746				
代表者名	伊藤 良一	担当者名	永沼 久明		

【図150】

購入方法対比		ご購入方法の対比		タト 車
保存 No. 1	現 金	通常ローン	保存 No. 2	
現金一括支払総額	3,400,000 円			
		お支払回数	36回	
		初回支払額	57,480 円	
		月々支払額	57,800 円	
		ボーナス払い	149,000 円	
		ボーナス回数	6回	
		原 金	680,000 円	
		月々払い総額	2,080,480 円	
		ボーナス支払額	894,000 円	
		総お支払額	3,654,480 円	
		ローン元金	2,720,000 円	
		ローン金利	254,480 円	
この予算に決定		この予算に決定		

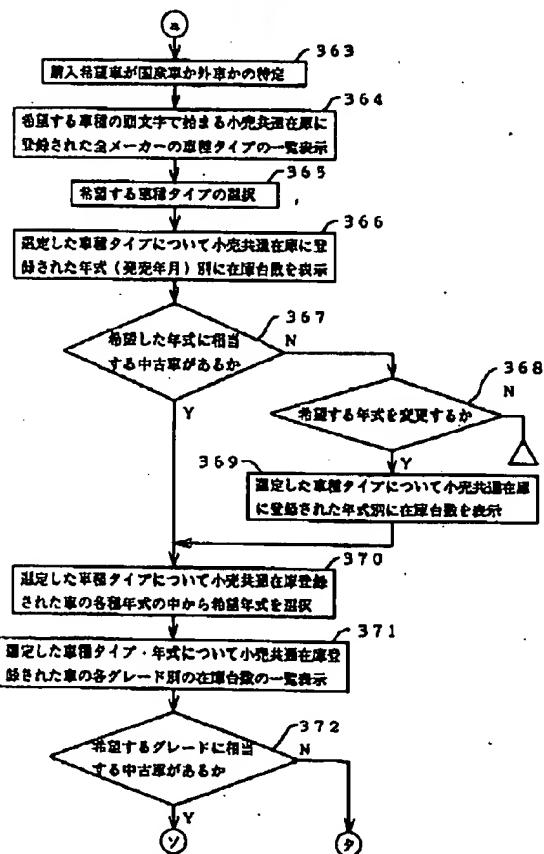
【図151】

購入方法対比		ご購入方法の対比		タト 車
保存 No. 2	通常ローン	リース	保存 No. 3	
お支払回数	36回	リース期間	36ヶ月	
初回支払額	57,480 円	初回支払額	52,500 円	
月々支払額	57,800 円	月々支払額	52,900 円	
ボーナス払い	149,000 円	ボーナス払い	136,000 円	
ボーナス回数	6回	ボーナス回数	6回	
原 金	680,000 円	原 金	680,000 円	
月々払い総額	2,080,480 円	月々払い総額	1,904,000 円	
ボーナス支払額	894,000 円	ボーナス支払額	816,000 円	
総お支払額	3,654,480 円	総お支払額	3,400,000 円	
ローン元金	2,720,000 円	リース元金	2,520,965 円	
ローン金利	254,480 円	リース金利	384,648 円	
この予算に決定		この予算に決定		

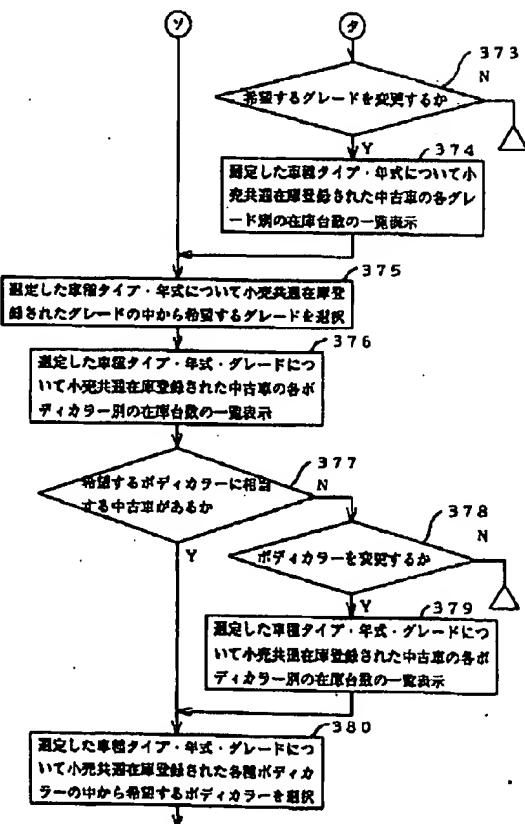
【図152】

購入方法対比		ご購入方法の対比		外車
保有 No.	リース	現金	保有 No.	
リース期間	36ヶ月			
初回支払額	52,500 円			
月々支払額	52,900 円			
ボーナス払い	136,000 円			
ボーナス回数	6回			
頭金	680,000 円			
月々払い残額	1,904,000 円			
ボーナス払額	816,000 円			
計お支払額	3,400,000 円			
リース元金	2,520,965 円			
リース金利	384.648 円			
この予算に決定		この予算に決定		

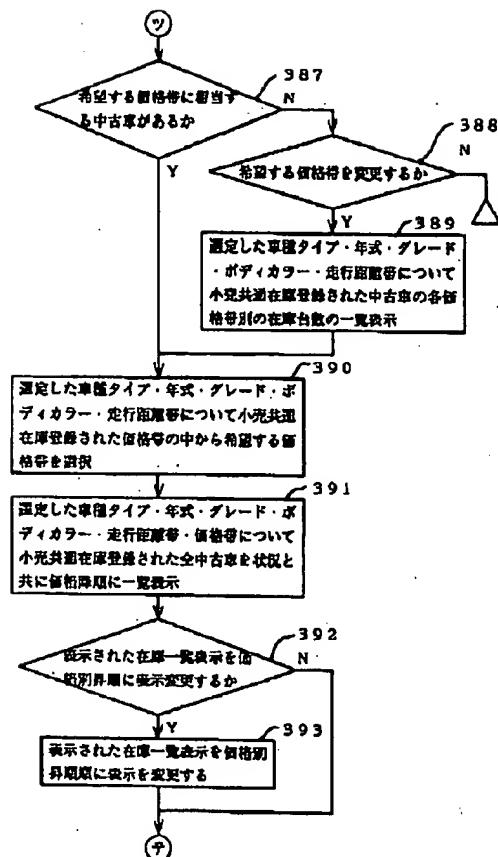
【図153】



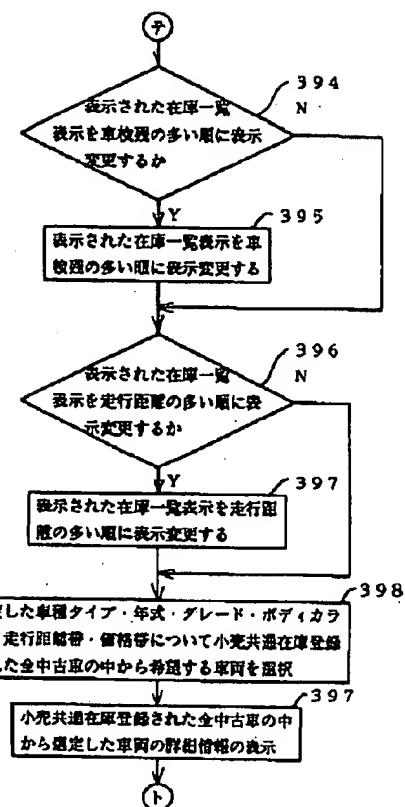
【図154】



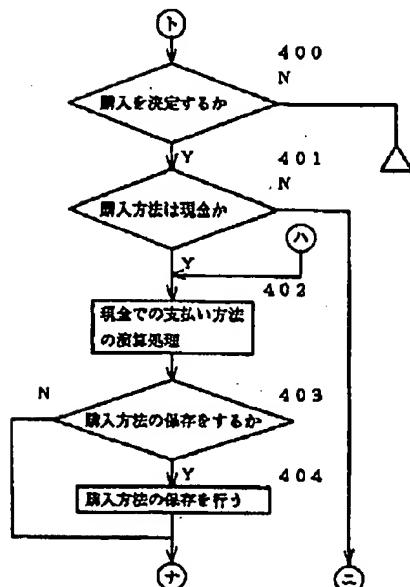
[图156]



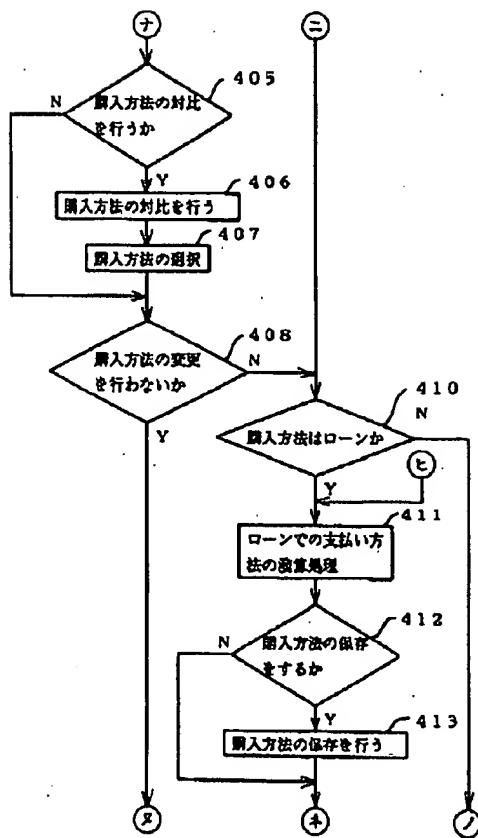
【図157】



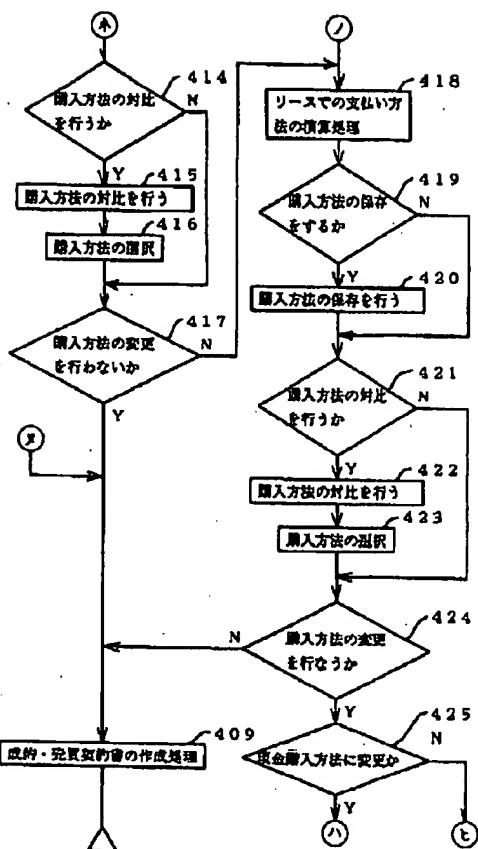
【図158】



【図159】



【図160】



【図161】

在庫状況		◆◆ 在庫状況の表示 ◆◆		共通在庫数 同一車種/タイプ	
メーカー	トヨタ			85 台	
車種	クラウン			16 台	
タイプ	4ドアハードトップ	該当在庫 3 件中 3 件目を表示中	表示モード 年式順		
年式(発売年月)	改良区分名	在庫台数			
平成 2年 1月 ~ 12月発売		4台			
平成 7年 1月 ~ 7月発売		11台			
平成 7年 8月 ~ 12月発売 フルモデルチェンジ		1台			

【図162】

◆◆ 在庫状況の表示 ◆◆				共通在庫台数 85 台	同一車種/タイプ 16 台
メーカー	トヨタ			年 式 平成 7 年 1 月発売	
車種	クラウン			該当在庫 7 件中	表示モード
タイプ	4ドアハードトップ			5 件目を表示中	グレード
グレード	排気量	馬力	在庫台数	確認	
RサルーンG マルチV	3000 cc	230N	2台	グレード確認	
RサルーンG	3000 cc	230N	2台	グレード確認	
RサルーンG マルチV	3000 cc	230N	1台	グレード確認	
Rサルーン	3000 cc	230N	2台	グレード確認	
Rツーリング	3000 cc	230N	2台	グレード確認	

【図163】

◆◆ 在庫状況の表示 ◆◆				共通在庫台数 85 台	同一車種/タイプ 16 台
メーカー	トヨタ			年 式 平成 7 年 1 月発売	
車種	クラウン			該当在庫 7 件中	表示モード
タイプ	4ドアハードトップ			7 件目を表示中	グレード
グレード	排気量	馬力	在庫台数	確認	
RツーリングS マルチV	3000 cc	230N	1台	グレード確認	
RツーリングS	3000 cc	230N	1台	グレード確認	

【図164】

◆◆ 在庫状況の表示 ◆◆		共通在庫数 85 台 同一車種/タイプ 16 台	
メーカー	トヨタ	年式	平成 7 年 1 月発売
車種	クラウン	該当在庫 2 件中 表示中	
タイプ	4ドアハードトップ	2 件目を表示中	
グレード	111-YG 135V	67/64	
ボディカラーの表示		在庫台数	
<input type="checkbox"/>	シルキーエレガントトーニングII	1台	
<input type="checkbox"/>	ウォームグレーパールマイカ	1台	

【図165】

◆◆ 在庫状況の表示 ◆◆		共通在庫数 85 台 同一車種/タイプ 16 台	
メーカー	トヨタ	年式	平成 7 年 1 月発売
車種	クラウン	該当在庫 2 件中 表示中	
タイプ	4ドアハードトップ	2 件目を表示中	
グレード	111-YG 135V	走行km	
走行距離帯の表示		在庫台数	
<input type="checkbox"/>	20001 km ~ 30000 km	1台	
<input type="checkbox"/>	30001 km ~ 40000 km	0台	

【図166】

在庫状況		◆◆ 在庫状況の表示 ◆◆			共通在庫総数 同一車種/タイプ	
メーカー	トヨタ	年式	平成7年1月発売		85台	
車種	クラウン	該当在庫	2件中	表示なし	16台	
タイプ	4ドアハードトップ					
グレード	ロイヤル 7591			価格順		
価格帯の表示			在庫台数			
250万円 ~ 300万円			1台			
200万円 ~ 250万円			1台			

【図167】

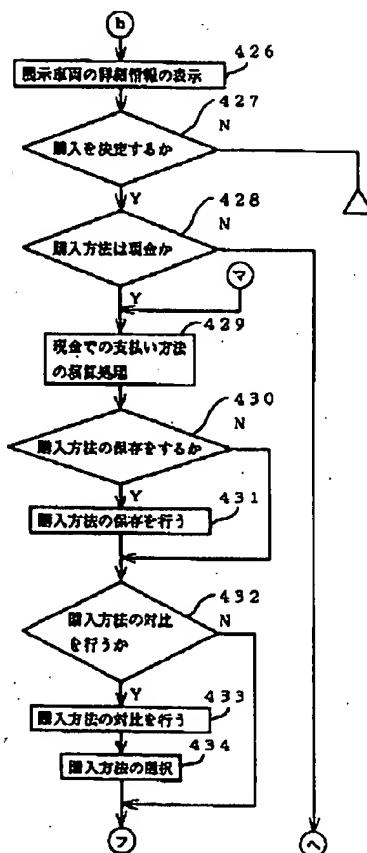
在庫状況		◆◆ 在庫状況の表示 ◆◆			共通在庫総数 同一車種/タイプ	
メーカー	トヨタ	年式	平成7年1月発売		85台	
車種	クラウン	該当在庫	1件中	表示なし	16台	
タイプ	4ドアハードトップ					
グレード	ロイヤル 7591			価格順		
価格 (万円)	ボディカラー	登録月	走行距離/車検済了			
256.0	シルキーエレガントレー ニングII	1月	28,000km H10年1月			

【図168】

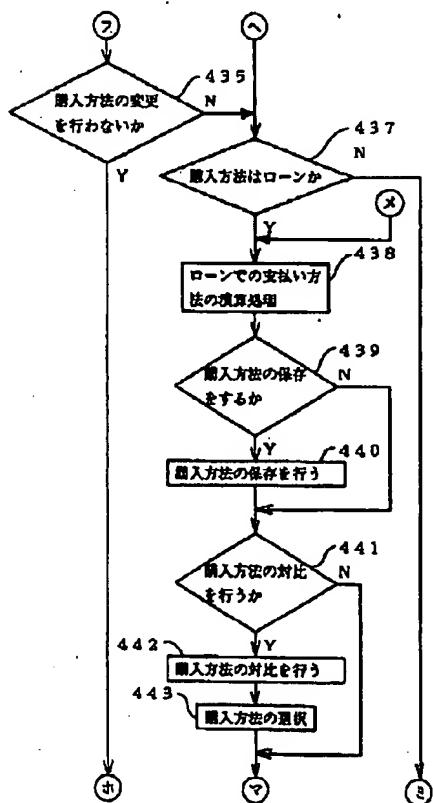
◆◆ 在庫車両の詳細情報 ◆◆

メーカー	トヨタ	車両No.	200001 - 200003 001800 - 000760
車種	クラウン	現在状況	フリー
タイプ	4ドアハードトップ	試乗	試乗可
グレード	RFルーフ 70系	年式	H 7年 1月登録
ミッション	プロア4速オートマチック		
ボディカラーライ	シルキーエレガントトレーニングII		
イメージカラーライ	シルキーウホワイト		
走行距離	28,000km	修復歴の有無	無し
車検満了日	H 10年 1月	定期点検記録簿	有り
あがり区分	自家用		
装備記号	■■■		
車両所在地	第4センター		
車両本体価格	2,560,000円	整備点検受渡し	
オプション合計	0円	6ヶ月 または 5000km	
車両合計価格	2,560,000円	(充り子ちゃん統一保証)	

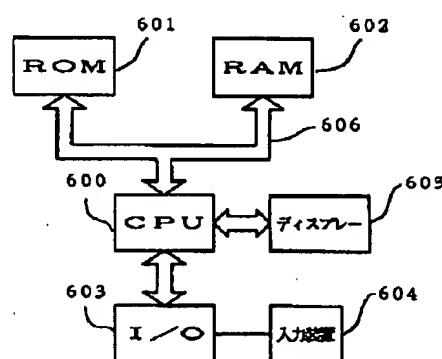
【図169】



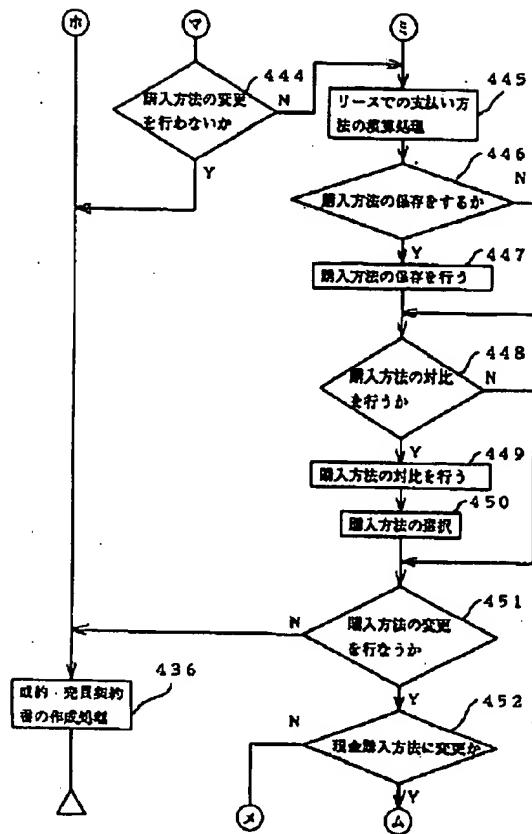
【図170】



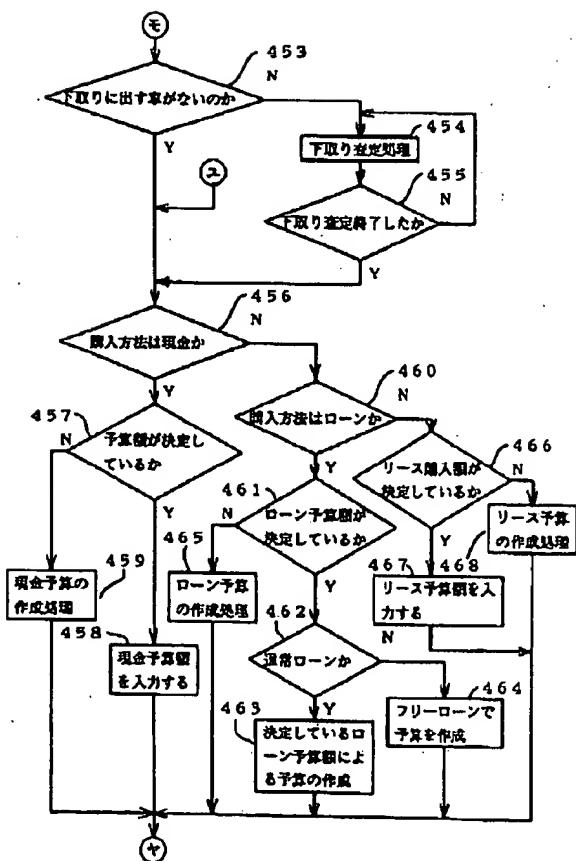
【図184】



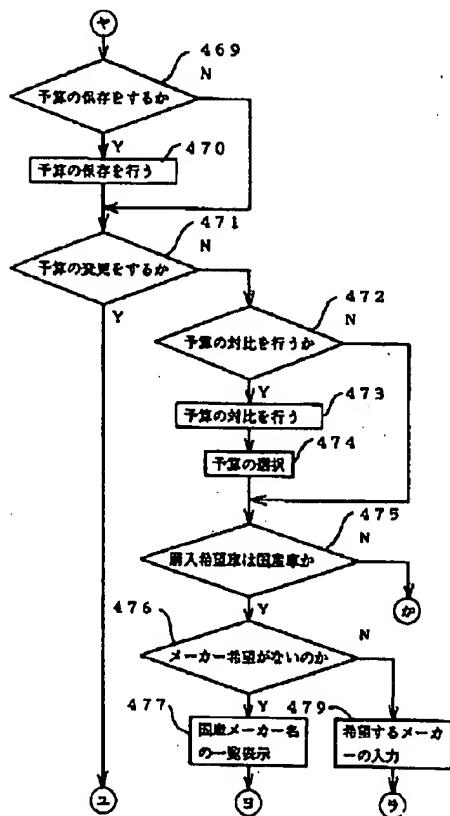
【図171】



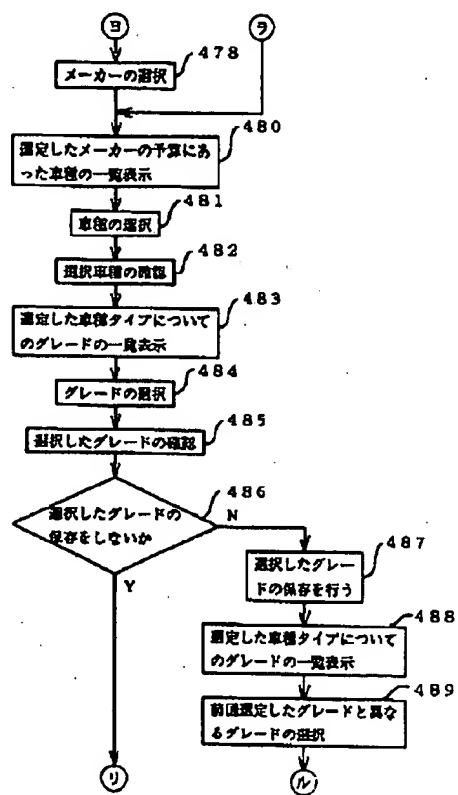
【図172】



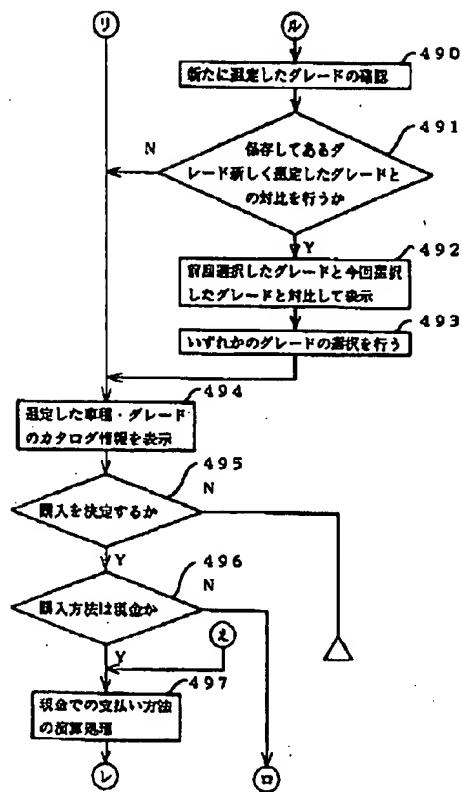
【図173】



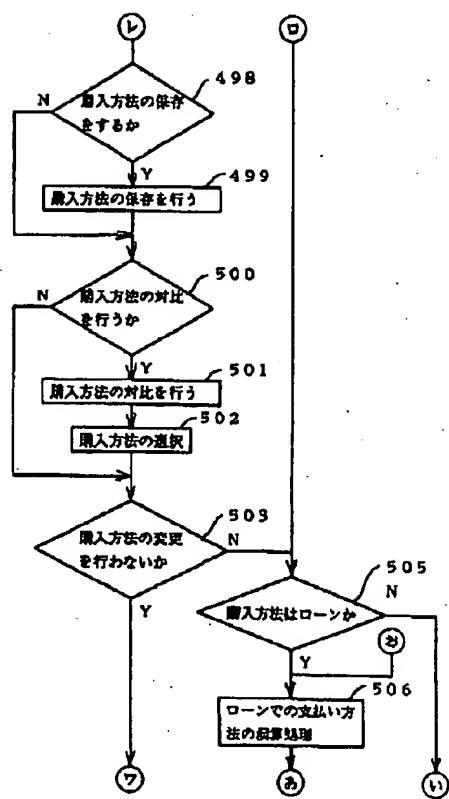
【図174】



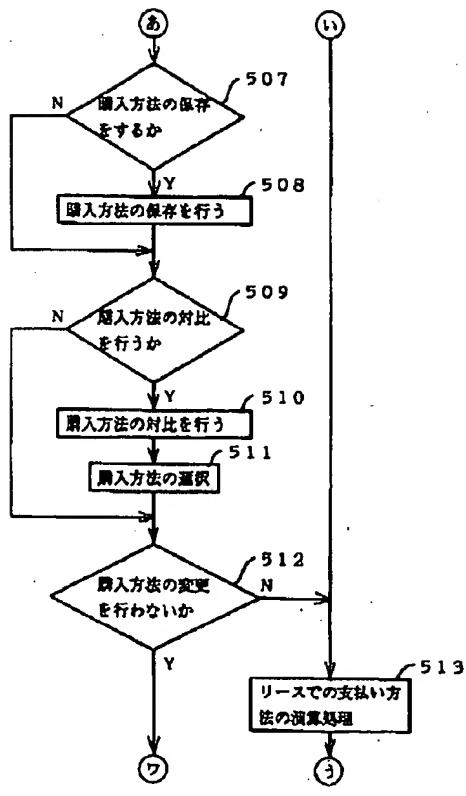
【図175】



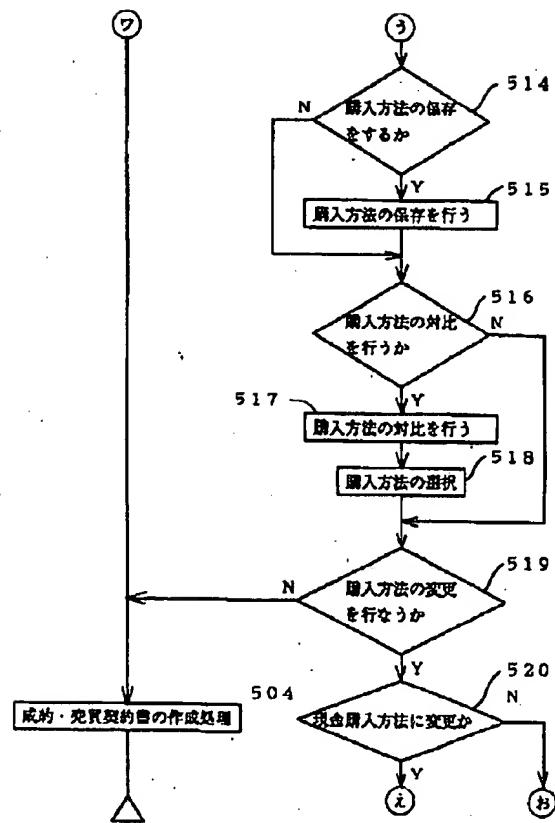
【図176】



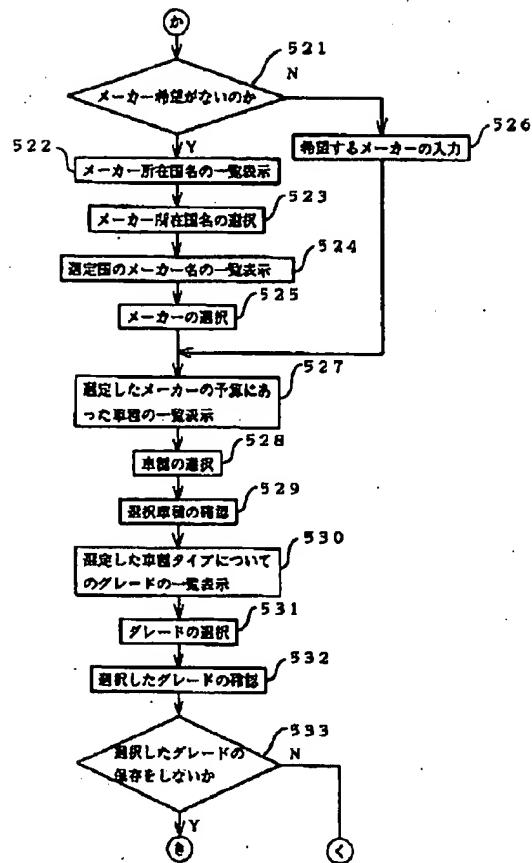
【図177】



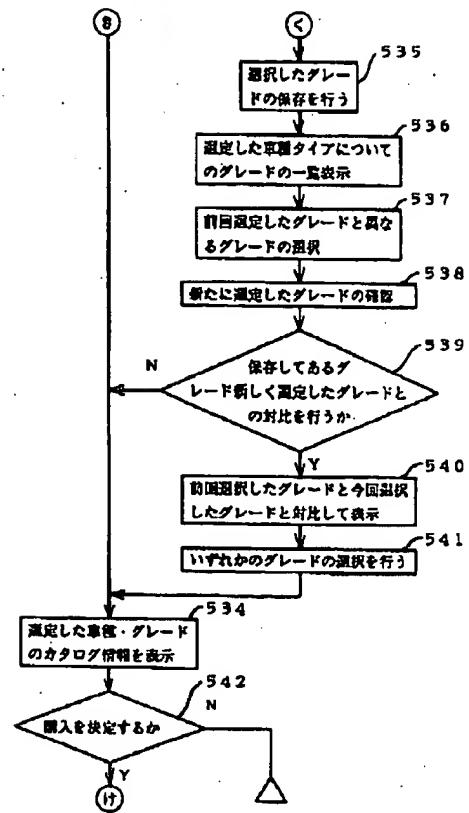
【図178】



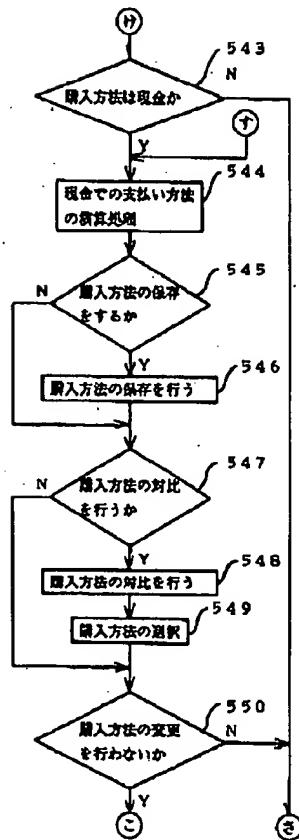
【図179】



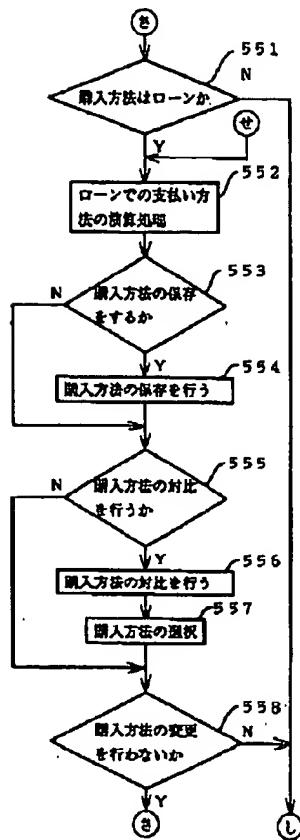
【図180】



【図181】



【図182】



[図183]

